HP LaserJet 8150、8150 N、8150 DN、8150 HN、および 8150 MFP プリンタ

目次

ユーザーズガイド

著作権とライセンス

初版、2000 年 10 月

保証

このマニュアルに記載されている事柄は、予告なしに変更されることがあります。

Hewlett-Packard はこの情報に関していかなる保証も行いません。HEWLETT-PACKARD は特定使用目的における商品価値および適合性に対するいかなる間接的な保証も行いません。

Hewlett-Packard は、本書内容の提供、または使用に関連した直接的、間接的、付随的、または誘発的な損害に対する責任を負いません。

商標

Acrobat は Adobe Systems Incorporated の商標です。

PostScript® は Adobe Systems Incorporated の商標であり、いくつかの行政区域で登録されている可能性があります。

Arial、Monotype、および Times New Roman は米国における Monotype Corporation の登録商標です。

Helvetica、Palatino、Times、および Times Roman は、Linotype AG またはその子会社、あるいは両方の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、MS Windows、Windows、および Windows NT は Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

TrueType は、Apple Computer, Inc. の米国における商標です。

ENERGY STAR は、U.S. EPA の米国における登録済みのサービスマークです。

Hewlett-Packard 社製品のサポート体制

本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。本製品と共に、Hewlett-Packard 社およびサポートパートナーからさまざまなサポートサービスをご利用いただけます。これらのサービスは、必要な結果を迅速かつプロフェショナルに出すために計画されたものです。

オンラインサービス：

モデムで情報に 24 時間アクセスする方法としては、以下のサービスをお勧めします。

ワールドワイドウェブ

プリンタドライバ、HP プリンタソフトウェアの更新、および製品やサポート情報は、下記の URL から入手できます。

米国内	http://www.hp.com
ヨーロッパ	http://www2.hp.com

プリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードできます。

中国	http://www.hp.com.cn
日本	http://www.jpn.hp.com
韓国	http://www.hp.co.kr
台湾	http://www.hp.com.tw
またはローカルドライバ Web サイト	http://www.dds.com.tw

ソフトウェアユーティリティおよび電子情報を入手

米国およびカナダでは

Phone:
(661) 257-5565

Fax:
(661) 257-6995

郵送先
HP Distribution
P.O. Box 907
Santa Clarita, CA
91380-9007
U.S.A.

アジア太平洋諸国では

(65) 7400-4477 (香港、インドネシア、フィリピン、マレーシア、またはシンガポールの場合) をダイヤルして Mentor Media にお問い合わせください。韓国の場合は、(82) (2) 3270-0805 または (820) (2) 3270-0893 をダイヤルしてください。

オーストラリア、ニュージーランド、およびインドでは

オーストラリアの場合は (61) (3) 8877-8000、ニュージーランドの場合は (64) (9) 356-6640、インドの場合は (91) (11) 682-6035 をダイヤルしてください。

英国およびヨーロッパ

+44 (0) 1429 865 511 をダイヤルしてください。

HP のアクセサリおよびサプライの直接注文

1-800-538-8787 (米国内) または 1-800-387-3154 (カナダ) をダイヤルしてください。

HP サポートアシスタントコンパクトディスク

このサポートツールでは、HP 製品のテクニカルおよび製品情報を提供するための、総合的なオンライン情報システムをご利用いただけます。米国またはカナダにおいてこの季刊サービスをご希望の場合は、1-800-457-1762 をダイヤルしてください。香港、インドネシア、マレーシア、またはシンガポールの場合は、(65) 740-4477 をダイヤルして Fulfill Plus にお問い合わせください。

HP サービス情報

HP 認定のディーラーを見つけるには、米国内では 1-800-243-9816、カナダでは 1-800-387-3867 をダイヤルしてください。

HP サービス契約

米国内では 1-800-743-8305、カナダでは 1-800-268-1221 をダイヤルしてください。拡張サービスの場合は、1-800-446-0522 をダイヤルしてください。

カスタマ サポート オプション ワールドワイド

米国およびカナダのカスタマ サポートおよび製品修理アシスタンス

保証期間中は、月曜から金曜までの米国山岳部時間で午前 6 時から午後 6 時 までの無料ダイヤル (208) 323-2551 をご利用ください。

ただし、標準長距離電話料金は適用されます。ダイヤルされる場合は、システムとシリアル番号をご用意ください。

プリンタの修理が必要な場合は、1-800-243-9816 をダイヤルして最寄りの HP 認定サービスプロバイダを探すか、(208) 323-2551 をダイヤルして HP 集中サービスディスパッチまでご連絡ください。

保証期間終了後は電話によるアシスタンスを使って、製品についての質問の答えが得られます。月曜から金曜までの山岳部時間で午前 6 時から午後 6 時まで、(900) 555-1500 (1 分間 2.50* ドル、米国内のみ) をダイヤルするか、1-800-999-1148 (1 通話につき 25 ドル *、Visa または Master Card、米国およびカナダ内のみ) をダイヤルしてください。通話料金の徴収は、サポート技術者と接続した時点で開始されます。

* 価格は変動します。

利用可能なヨーロッパ カスタマ サポート センターの言語と国内オプション

CET で月曜から金曜、午前 8 時 30 分から午後 6 時までご利用いただけます。

HP では、保証期間中、電話による無料サポートサービスを提供しています。下記の電話番号をダイヤルすると、サポートチームに接続してアシスタンスを受けることができます。保証期間が過ぎた後でサポートが必要な場合は、同じ電話番号を使って有料でサポートを受けることが可能です。1 件ごとに料金がチャージされます。HP に連絡される場合は、製品名、シリアル番号、購入日、および問題点についての説明をご用意ください。

英語	アイルランド：(353) (1) 662-5525 英国：(44) (171) 512-5202 国際：(44) (171) 512-5202
オランダ語	ベルギー：(32) (2) 626-8806 オランダ：(31) (20) 606-8751
フランス語	フランス：(33) (01) 43-62-3434 ベルギー：(32) (2) 626-8807 スイス：(41) (84) 880-1111
ドイツ語	ドイツ：(49) (180) 525-8143 オーストリア：(43) (1) 0660-6386
ノルウェー語	ノルウェー：(47) 2211-6299
デンマーク語	デンマーク：(45) 3929-4099
フィンランド語	フィンランド：(358) (9) 0203-47288

次のページに続く。

スウェーデン語	スウェーデン：(46) (8) 619-2170
イタリア語	イタリア：(39) (2) 264-10350
スペイン語	スペイン：(34) (90) 232-1123
ポルトガル語	ポルトガル：(351) (1) 441-7199

国内サポート番号

アルゼンチン	787-8080
オーストラリア	(61) (3) 272-8000
ブラジル	022-829-6612
カナダ	(208) 323-2551
中国	(86) (10) 65053888-5959
チリ	800-360999
チェコ共和国	(42) (2) 471-7321
ギリシア	(30) (1) 689-6411
香港	(852) 800-96-7729
ハンガリー	(36) (1) 343-0310
インド	(91) (11) 682-6035 (91) (11) 682-6069
インドネシア	(62) (21) 350-3408
韓国	(82) (2) 3270-0700
ソウル以外の韓国の地域	(82) (080) 999-0700
日本	(81) (3) 3335-8333
マレーシア	(60) (3) 295-2566

次のページに続く。

メキシコ (メキシコシチー)	01 800-22147
メキシコ (メキシコシチー以外のメキシコの地域)	01 800-90529
ニュージーランド	(64) (9) 356-6640
フィリピン	(63) (2) 894-1451
ポーランド	(48) (22) 37-5065
ポルトガル	(351) (1) 301-7330
ロシア	(7) (95) 923-5001
シンガポール	(65) 272-5300
台湾	(886) (02) 717-0055
タイ	+66 (0) 2 661-4011
トルコ	(90) (1) 224-5925

目次

3 高度な印刷作業

4 プリンタの保守

5 問題解決法

6 HP デジタルコピー

7 サービスおよびサポート

A 仕様

B コントロールパネルのメニュー

C プリンタメモリと拡張

D プリンタコマンド

E 規制情報

はじめに

このセクションでは、オンラインユーザーズガイドの特徴と、ユーザーズガイドを最大限に利用するためのヒントを紹介します。次の内容を概説します。

追加機能には、Acrobat Reader のメニューとツールバーからアクセスできます。

ナビゲーション機能

ボタン	ボタン名	機能
	[ページアップ / ページダウン] ボタン	ページアップ矢印で 1 ページ前に戻り、ページダウン矢印で 1 ページ先に進みます。
	[目次] アイコン	オンラインユーザーズガイドの目次を表示します。
	[はじめに] アイコン	このガイドの「はじめに」を表示します。
	[索引] アイコン	オンラインユーザーズガイドのテキスト索引を表示します。索引エントリは関連トピックとリンクしています。

テキスト表記法

一部のテキストは、特定の意味または機能を示すために、異なる書式で示されています。次の表では、テキストの異なる書式と各書式の意味を示します。

テキスト書式スタイル	意味または機能
KEY CAP	プリンタのボタンやコンピュータのキーボードのキーを表します。
Hypertext	テキストが同じ文書内の別のページにリンクしていることを示します。下線の付いたテキストをクリックすると、そのページにジャンプします。青い下線の付いたテキストには、ページ番号やセクションの見出しが含まれる場合がありますが、この書式のテキストは、すべてリンクしていることを示します。
DISPLAY PANEL	コントロールパネルに表示されるテキストを示します。
Input	ユーザーがコマンドプロンプトまたはダイアログボックスで入力するテキストを示します。

Acrobat Reader の追加機能

ページの右側にあるナビゲーションボタンに加えて、Adobe Acrobat Reader は、便利な機能を他にも数多く備えています。

ボタン	ボタン名	機能
	Actual Size (実寸サイズ表示)	文書の表示を当該ページの実寸サイズに設定します。
	Fit Page (ページ全体表示)	当該ページ全体がウィンドウに収まるように文書の表示を変更します。
	Fit Visible Width (ページ幅で表示)	表示される内容とページ幅がウィンドウに収まるように文書の表示を変更します。
	Page Only (ページのみ)	ブックマークやサムネイルなしで当該ページのみを表示します。

ボタン	ボタン名	機能
	Page With Book-marks (ブックマーク付きページ)	当該ページと文書内の別のセクションへのブックマークを画面の左側に表示します。
	Page With Thumbnails (サムネイル付きページ)	当該ページと各ページの小さなイメージを画面の左側のウィンドウに表示します。
	Back (戻る)	前のリンクに戻ったり、直前に行った変更を取り消すことができます。
	Find (検索)	[検索] ダイアログ ボックスを表示します。
	Zoom (ズーム)	用紙サイズを変更できます。

使い方のヒント

章から章へナビゲートするにはブックマークを使います。

大量のテキストを読み込む場合は、ブックマークをオフにして、ページ表示を全画面表示に変更します。

特定の用語を検索するには、[ツール] メニューの検索機能を使います。

リンクからリンクへ移動するときには、Adobe Acrobat Reader の [戻る] ボタン (20 ページ) を使用して前のページに戻ります。

この文書を印刷する - 最高品質かつ最高速で印刷するには、常に互換性のある PostScript レベル 3 エミュレーションプリンタドライバを使用して印刷します。

これらの印刷ファイルのサイズによっては、一度にこの文書を全部印刷するのではなく一部を印刷するようお勧めします。

このオンラインユーザーズガイドを印刷するときに用紙を節約するには、クイックセットを作成して用紙の両面 (両面印刷) にオンライン ユーザーズガイドを 2 ページ分印刷することができます (n アップ印刷)。これらの機能の詳細は、プリンタドライバのヘルプを参照してください

1 プリンタの基本

概要

HP LaserJet シリーズプリンタをご購入いただきありがとうございます。プリンタをまだセットアップしていない場合は、プリンタ付属のセットアップガイドを参照してプリンタをセットアップしてください。

HP デジタルコピー (HP LaserJet 8150 MFP に装備されている) の詳細は、338 ページのセクションまたは HP デジタルコピーに付属のセットアップガイドを参照してください。

プリンタのセットアップが完了し、印刷する準備ができたところで、この章をお読みになりプリンタの基礎知識を学習します。この章では、以下の項目について説明しています。

次のページに続く。

プリンタの機能と長所

速度とスループット

- 一回で送信する RIP ONCE テクノロジー
- レターサイズまたは ISO A4 サイズの用紙で 32 枚 / 分 (ppm)
- デューティサイクル：レターサイズまたは ISO A4 サイズの用紙で 1 か月 150,000 ページ
- 250 MHz のマイクロプロセッサ

解像度

- REt (Resolution Enhancement テクノロジー) による 600 dpi (ドット / インチ)
- FastRes 1200 ではフルスピードで 1200 dpi の印字品質
- 220 を超えるグレー階調

メモリ

- RAM 容量 32 MB (8150/8150 N/8150 DN/8150 HN)、業界標準 100 ピン DIMM (Dual In-Line Memory Modules) により拡張可能 (最大 160 MB)
- RAM 容量 64 MB (8150 MFP)、業界標準 100 ピン DIMM (Dual In-Line Memory Modules) により拡張可能 (最大 160 MB)
- Memory Enhancement テクノロジー (MEt) によってデータが自動的に圧縮され、RAM の使用効率が向上
- 3.2 GB のハードディスク (8150 MFP)

生産性が向上 (8150 MFP)

- 高速で便利なデジタルコピー機能
- 電子照合、デュアルスキャンヘッド、および自動ホッチキス機能を含む先進の用紙ハンドリング
- 紙の文書を簡単に電子メールに変換して送信するデジタル送信モジュール

言語とフォント

- HP PCL 6
- HP PCL 5e （互換性確保のため）
- PJL (Printer Job Language = プリンタジョブ言語)
- PML (Printer Management Language = プリンタ管理言語)
- スケーラブル TrueType 45 書体
- PostScript Level 3 エミュレーション標準

用紙ハンドリングオプション

- 給紙
  - **トレイ 1:** 通常の用紙、OHP フィルム、ラベル紙、および封筒用の多用途トレイ。用紙 100 枚まで収納します。
  - **トレイ 2 と 3:** 500 枚給紙トレイ 2 つ。これらのトレイは用紙サイズを自動的に認識します。
  - **オプションの 2 x 500 枚給紙トレイ (トレイ 4 と 5):** 500 枚給紙トレイ 2 つ。これらのトレイは用紙サイズを自動的に認識します。
  - **オプションの 2000 枚給紙トレイ (トレイ 4):** 2000 枚給紙トレイ 1 つ。このトレイは用紙サイズを自動的に認識します。

次のページに続く。

- **オプションの両面印刷ユニット**：両面印刷 (用紙の両面) が可能です。
- **オプションの封筒フィーダ**：封筒を自動的に 100 枚まで給紙します。
- **オプションのカスタムサイズ用紙トレイ**：カスタムサイズの用紙に印刷できます。用紙を 500 枚まで収納します (**トレイ 3 または 5 の代わりに使用**)。

- 排紙
  - **標準排紙ビン (フェースダウンビン):** 用紙を 500 枚まで収納します。いっぱいになると、自動的に認識します。
  - **フェースアップビン**：用紙を 100 枚まで収納します。OHP フィルム、ラベル紙、封筒の印刷に最良の結果を提供します。
  - **オプションのホッチキス機能付 5 ビン メールボックス:** 5 つのビンがそれぞれ用紙を 250 枚まで収納します。ジョブごとにホッチキスで留めることによってジョブを分割できます。
  - **オプションの 8 ビンメールボックス**：8 つのビンがそれぞれ用紙を 250 枚まで収納します。
  - **オプションの 7 ビン卓上メールボックス:** 7 つのビンがそれぞれ用紙を 120 枚まで収納します。このメールボックスは、卓上印刷用に設計されています。
  - **オプションの 3,000 枚スタッカ**：用紙を 3,000 枚まで収納します。
  - **オプションの 3,000 枚ホッチキス/スタッカ:** 用紙を 3,000 枚まで収納し、1 つの文書を 50 枚まで複数箇所をホッチキスで留めます。

次のページに続く。

- **給紙 / 排紙**
  - HP デジタルコピー： フラットベッドと自動文書フィーダは、最大 A3 サイズすなわち 11x17 サイズのオリジナル文書をコピーすることができます。自動文書フィーダは、用紙を 50 枚まで収納します。

接続性

- 3 EIO (拡張 I/O) スロット
- HP JetDirect EIO カード、Ethernet (10Base-T、10Base2)、Token Ring、Fast Ethernet 10/100Base-TX
- パラレル
- HP Fast InfraRed Connect (高速赤外線通信)
- Foreign Interface Harness (HP LaserJet 8150 MFP または HP デジタルコピー装備の HP LaserJet 8150 プリンタ)

環境関連機能

- エコノモード**ではトナーの使用量が約 50% 削減され、トナーカートリッジの寿命が延長** (HP **ではエコノモード の常時使用をお勧めしません**)
- パワーセーブ設定によってエネルギーを節約 (Energy Star ガイドラインに準拠)
- プリンタには再生可能のパーツや素材を高い割合で使用

ファームウェアのアップデート

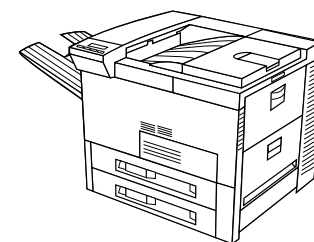
ファームウェアをインターネットからダウンロードすることができます。

最新のファームウェアをダウンロードするには、http://www.hp.com/go/lj8150_firmware にアクセスして画面の指示に従ってください。ファームウェアのアップデートを複数のプリンタに簡単に送信するには HP Web JetAdmin を使用します (http://www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください)。

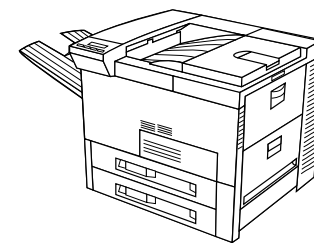
プリンタの情報

構成

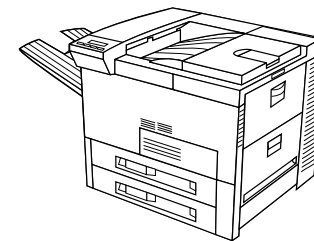
HP LaserJet 8150 プリンタ

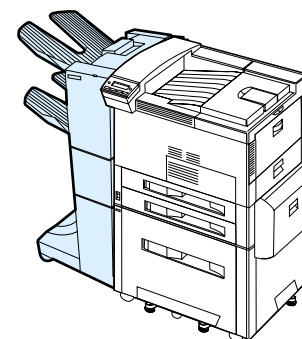
HP LaserJet 8150 プリンタ (製品番号 C4265A) は、32 MB RAM、幅広サイズ印刷機能、500 枚給紙トレイ 2 つ、および 100 枚多用途給紙トレイ 1 つを標準装備しています。

注記 HP LaserJet 8150 プリンタを Macintosh に接続する場合、オプションの EIO カードが必要になります。

HP LaserJet 8150 N プリンタ

HP LaserJet 8150 N プリンタ (製品番号 C4266A) は、32 MB RAM、幅広サイズ印刷機能、500 枚給紙トレイ 2 つ、100 枚多用途給紙トレイ 1 つ、および HP JetDirect EIO プリントサーバーを標準装備しています。

次のページに続く。

HP LaserJet 8150 DN プリンタ

HP LaserJet 8150 DN プリンタ （製品番号 C4267A）は、32 MB RAM、幅広サイズ印刷機能、500 枚給紙トレイ 2 つ、100 枚多用途給紙トレイ 1 つ、HP JetDirect EIO プリントサーバー、および両面印刷ユニット (両面印刷用) を標準装備しています。

HP LaserJet 8150 HN プリンタ

HP LaserJet 8150 HN プリンタ (製品番号 C4269A) は、32MB RAM、幅広サイズ印刷機能、500 枚給紙トレイ 2 つ、100 枚多用途給紙トレイ 1 つ、2,000 枚給紙トレイ 1 つ (トレイ 4)、3,000 枚スタッカ、HP JetDirect EIO プリントサーバー、および両面印刷ユニット (両面印刷用) を標準装備しています。

HP LaserJet 8150 MFP プリンタ

HP LaserJet 8150 MFP プリンタ (製品番号 C4268A) は、64MB RAM、幅広サイズ印刷機能、ハードディスク、500 枚給紙トレイ 2 つ、100 枚多用途給紙トレイ 1 つ、2,000 枚給紙トレイ 1 つ (トレイ 4)、3,000 枚ホッチキス / スタッカ、HP JetDirect EIO プリントサーバー、両面印刷ユニット (両面印刷用)、コピー接続 EIO ボード、および HP デジタルコピー機能を標準装備しています。

プリンタの各部名称

標準排紙ビン（フェースダウンビン）
調整可能用紙ストッパー
上部カバー
コントロール
パネル
トレイ 1
（多用途）
フェース
アップビン
左ドア
（プリンタ内）
前面ドア
オン / オフ
スイッチ
トレイ 1 拡張部
トレイ 3
トレイ 2
右ドア
トレイ 1 用紙幅ガイド

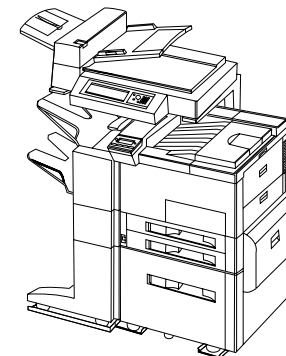
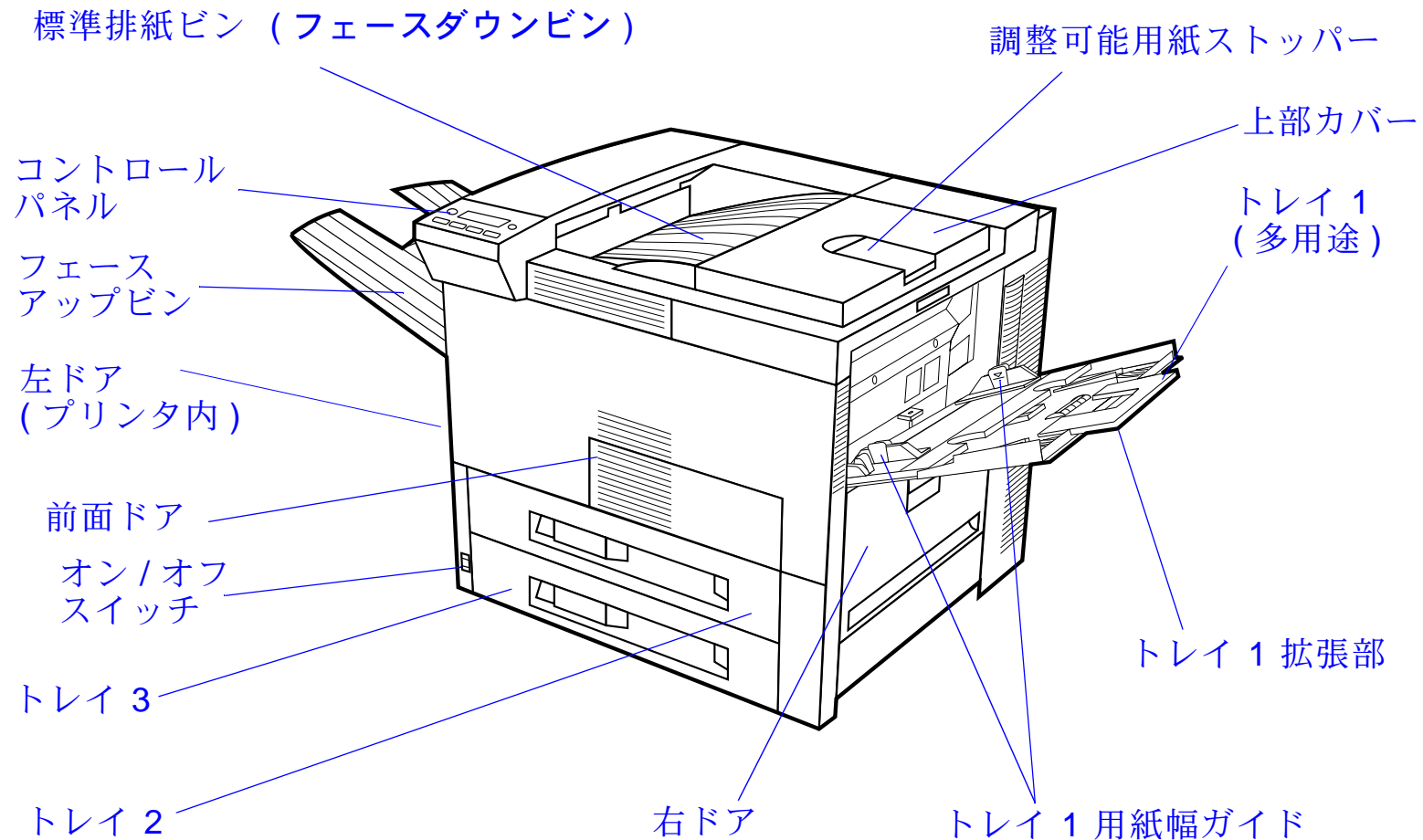
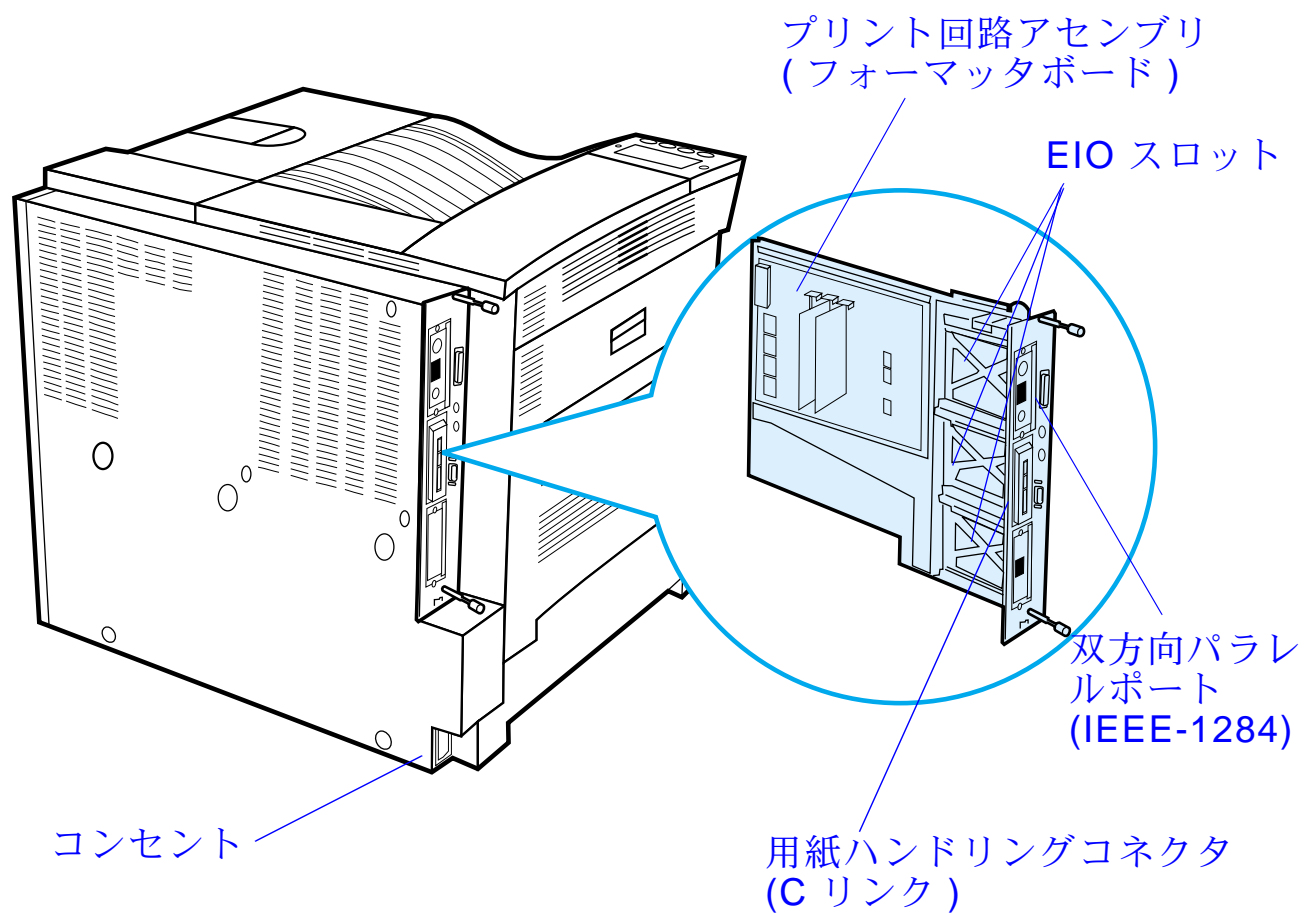
次のページに続く。

プリント回路アセンブリ
(フォーマッタボード)

EIO スロット

双方向パラレルポート
(IEEE-1284)

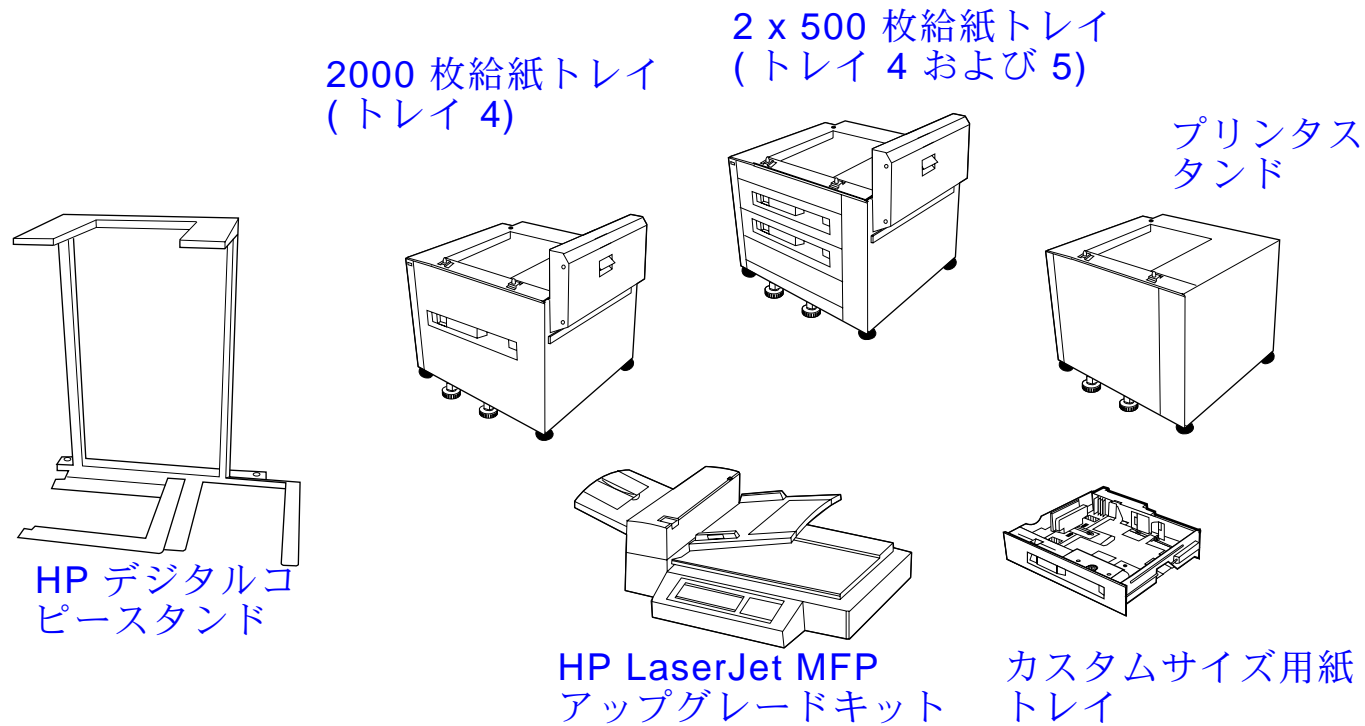
コンセント

用紙ハンドリングコネクタ
(C リンク)

アクセサリとサプライ品

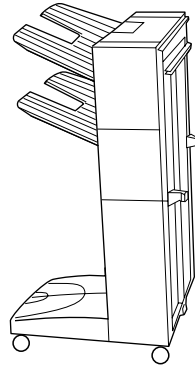
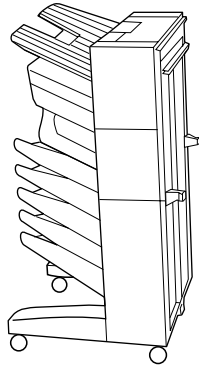
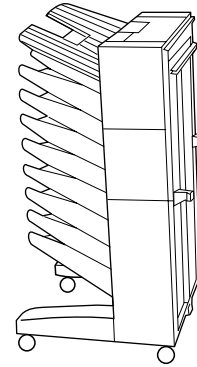
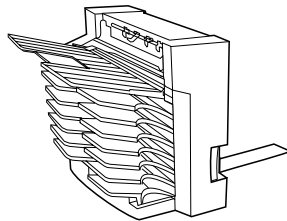
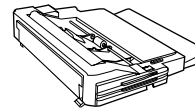
オプションのアクセサリやサプライ品を使ってプリンタの機能を拡張できます。

最高の性能を発揮させるために、プリンタ専用に設計されたアクセサリやサプライ品を使用してください。

このプリンタは 3 つの拡張 I/O (EIO) カードをサポートします。他のアクセサリやオプションも入手可能です。ご注文方法については、40 ページを参照してください。

アクセサリ例

次のページに続く。

3,000 枚ホッチキス / スタッカまたは 3,000 枚スタッカ

ホッチキス機能付 5 ビンメールボックス

8 ビンメールボックス

7 ビン卓上メールボックス

両面印刷ユニット

封筒フィーダ

HP Fast InfraRed Connect

次のページに続く。

オプションのハードディスク

ハードディスクアクセサリを使用して、選択した印刷ジョブを保存したり、RIP ONCE テクノロジをサポートしたり、ダウンロードしたフォントと様式をプリンタに永久保存したりすることができます。標準のプリンタメモリとは異なり、ハードディスクに保存されたアイテムは、プリンタの電源を切断してもプリンタ内に残ります。ハードディスクにダウンロードされたフォントは、プリンタのユーザー全員が利用可能です。

ハードディスクは、ソフトウェアを使用して書き込み禁止にし、セキュリティを強化することも可能です。

Windows ユーザー

大容量記憶デバイス上でファイルの削除およびフォントの管理を行う場合は、HP LaserJet Resource Manager を使用します (83 ページ参照)。詳細については、プリンタソフトウェアのヘルプを参照してください。

HP では、プリンタおよびアクセサリで使用できる、新しいソフトウェアツールを常時、紹介しています。これらのツールはインターネットを介して無償でご利用いただけます。HP の Web サイトにアクセスして詳細な情報を入手する方法については、3 ページを参照してください。

次のページに続く。

Macintosh ユーザー

フォントおよびファイルをダウンロードするには、HP LaserJet Utility を使用します。詳細については、78 ページの HP LaserJet Utility (Macintosh) または使用中の HP LaserJet Utility ソフトウェアに付属の HP LaserJet Utility Guide オンラインヘルプを参照してください。

注記 HP LaserJet Utility は、伝統的な中国語、簡易字中国語、韓国語、日本語、チェコ語、ロシア語、およびトルコ語では使用できません。

ご注文にあたって

このプリンタ用に設計されたアクセサリのみを使用してください。アクセサリをご注文になる場合は、HP 正規代理店にお問い合わせください。(このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制を参照してください。)

	製品	説明または用途	注文番号
用紙 ハンドリング	2 x 500 枚給紙トレイ	500 枚用トレイ 2 つとフィーダ	C4780A
	2000 枚給紙トレイ	2000 枚用トレイ 1 つとフィーダ	C4781A
	封筒フィーダ	封筒を自動的に 100 枚まで給紙します。	C3765B
	カスタムサイズ用紙トレイ	カスタムサイズの用紙に印刷できます。	C4184A
	両面印刷ユニット (デュプレクサ)	用紙の裏表両面に自動印刷できます。	C4782A
	7 ビン卓上メールボックス	7 つの排紙ビンがそれぞれ用紙を 120 枚まで収納できます。	C4783A

	製品	説明または用途	注文番号
用紙 ハンドリング （続き）	8 ビンメールボックス	8 つの排紙ビンがそれぞれ用紙を 250 枚まで収納できます。	C4785A
	ホッチキス機能付 5 ビンメールボックス	5 つの排紙ビンがそれぞれ用紙を 250 枚まで収納できます。ジョブごとにホッチキスで留めることによってジョブを分割できます。	C4787A
	3,000 枚スタッカ	用紙を 3,000 枚収納します。	C4779A
	3,000 枚ホッチキス / スタッカ	用紙を 3,000 枚収納し、文書ごとに 50 枚までホッチキスで留めます。	C4788A
	HP LaserJet MFP アップグレードキット	A コピーモジュールは、32 cpm、両面印刷機能、および幅広サイズ印刷機能を標準装備しています。	C4166A

	製品	説明または用途	注文番号
プリンタスタンド	プリンタスタンド	排紙アクセサリが取り付けられているとき、2000 枚給紙トレイ (トレイ 4) または 2 x 500 枚給紙トレイ (トレイ 4 および 5) の代わりに使用します。 注記：このプリンタスタンドは、HP デジタルコピーには使用できません。	C2975A
	HP デジタルコピー用スタンド	使用するとプリンタとコピーモジュールに適した構成になります。	C4231A

	製品	説明または用途	注文番号
印刷用サプライ品	HP 多用途用紙 (他の HP メディアは、事務用品販売店でお求めいただけます。)	HP ブランドの多用途用紙 (1 箱 10 連入り、各連 500 枚)。サンプルのご注文は、1-800-471-4701 (米国内) まで。	HPM1120
	HP LaserJet 専用紙 (他の HP メディアは、事務用品販売店でお求めいただけます)。	HP LaserJet プリンタ専用の、HP ブランドのプレミアム 用紙 (1 箱 10 連入り、各連 500 枚)。サンプルのご注文は、1-800-471-4701 番 (米国内) まで。	HPJ1124
	トナーカートリッジ (20000 ページ)	交換用 HP UltraPrecise トナーカートリッジ	C4182X
	ホッチキスカートリッジ (ホッチキス機能付 5 ビンメールボックス)	ホッチキスカートリッジ (3 パック入り)。各カートリッジにはホッチキスの針が 2000 個あります。	C3772A

	製品	説明または用途	注文番号
	ホッチキスカートリッジ (3,000 枚ホッチキス / スタッカ)	ホッチキスカートリッジ (3 パック入り)。各カートリッジにはホッチキスの針が 5,000 個あります。	C4791A
メモリ、フォント、および大容量記憶装置	DIMM (Dual Inline Memory Module) (100 ピン)	プリンタの能力を向上し、大規模なジョブの処理を実現する (HP ブランドの DIMM で最大 160 MB)。	
	SDRAM DIMM (100 ピン)	8 MB 16 MB 32 MB 64 MB	C7842A C7843A C7845A C7846A
	フラッシュ DIMM (100 ピン)	フォントおよび様式の永久記憶域	
		2 MB 4 MB 8 MB	C4286A C4287A C8530A

	製品	説明または用途	注文番号
メモリ、フォント、および大容量記憶装置（続き）	フォント DIMM (100 ピン)	8 MB アジア言語 ROM 伝統的な中国語 簡易字中国語	 C4292A C4293A D4838A
	ハードディスク	フォントおよび様式の永久記憶域。RAM での RIP ONCE の複数部数コピーには大きすぎるジョブの RIP ONCE 複数部数コピーが可能です (146 および 166 ページ参照)。	C2985B
ケーブルおよびインタフェースのアクセサリ	パラレルケーブル	3 メートル IEEE-1284 ケーブル 10 メートル IEEE-1284 ケーブル	C2946A C2947A
	Macintosh ネットワークケーブルキット (EIO カードが別途必要です)	PhoneNET または LocalTalk 接続用 1 対 1 接続 (Macintosh DIN-8 ケーブルのオスとオス)	92215N 92215S

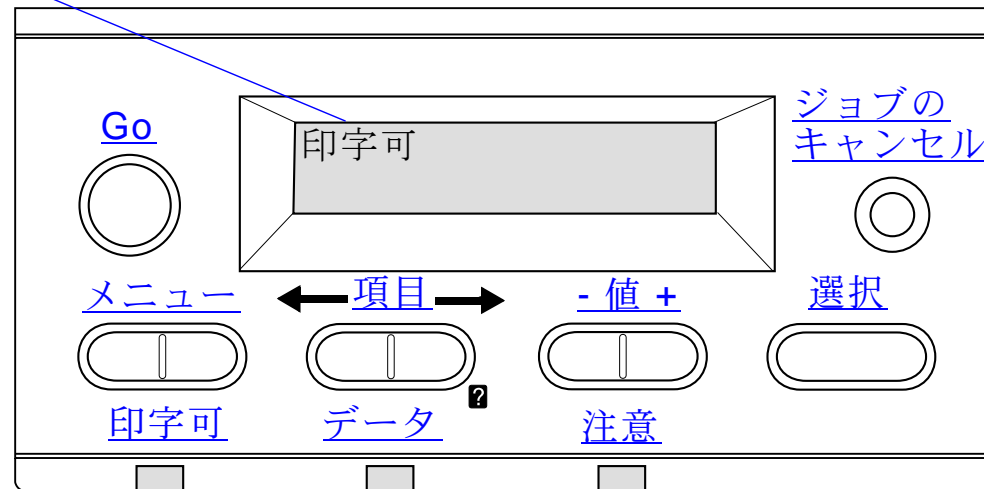
	製品	説明または用途	注文番号
ケーブルおよびインタフェースのアクセサリ (続き)	拡張 I/O カード	HP JetDirect プリントサーバー用マルチプロトコル EIO ネットワークカード	
		● Ethernet RJ-45 のみ	J3110A
		● Ethernet RJ-45 および BNC、LocalTalk	J3111A
		● Token Ring RJ-45 および DB-9	J3112A
		● Fast Ethernet、10/100Base-TX RJ-45 のみ	J4169A
		HP JetDirect 接続カード：	
		● USB、シリアル、LocalTalk	J4135A
	HP Fast InfraRed Connect	IRDA に準拠している任意のポータブルデバイス (ラップトップコンピュータなど) からワイヤレス印刷が可能になります。	C4103A

	製品	説明または用途	注文番号
ケーブルおよびインタフェースのアクセサリ（続き）	パワーボックス	プリンタがプリンタスタンド上に設置されているときに、マルチビン メールボックスをプリンタに接続するためのものです。この製品は、HP 2000 枚給紙トレイおよび HP 2 x 500 枚給紙トレイだけに付属しています。	C4789A
保守整備用キット	Preventive Maintenance Kit (予防保守キット)	予備フューザ、転送ローラ、フィードローラ、および分割ローラを含みます。	
		110V 仕様用	C3914A
		220V 仕様用	C3915A
マニュアル類	*HP LaserJet Printer Family Paper Specification Guide (HP LaserJet プリンタファミリー用紙仕様ガイド)*	HP LaserJet プリンタで用紙および他の印刷メディアを使用するための手引き	5090-3392

	製品	説明または用途	注文番号
マニュアル類（続き）	*PCL 5/PJL Technical Reference Documentation Package (PCL 5/PJL テクニカルリファレンス文書パッケージ)*	HP LaserJet プリンタでプリンタコマンドを使用するための手引き	5021-0377
	HP LaserJet 8150、8150 N、8150 DN 、8150 HN、および 8150 MFP プリンタユーザーズガイド	CD で提供されるオンラインユーザーズガイド。この CD-ROM には , サポートされている言語がすべて含まれています。	C4265-60104
	ユーザーズマニュアルのセット	追加のセットアップガイドおよびレディリファレンスガイド。サポートされているすべての言語に用意されています。	C4265-99001 (英語版)
	HP 3000 枚スタッカおよび HP 3000 枚ホッチキス / スタッカ (C4779x と C4788x) のインストールガイド	HP 3000 枚スタッカおよび HP 3000 枚ホッチキス / スタッカをインストールするための手順	C4788-90900

	製品	説明または用途	注文番号
マニュアル類 (続き)	HP 3000 枚スタッカおよび HP 3000 枚ホッチキス / スタッカ (C4779x と C4788x) ユーザーズガイド	CD で提供されるオンラインユーザーズガイド	C4788-90901

コントロールパネルのレイアウト

コントロールパネルには 3 つの表示ライト、6 個のキー、および 2 行表示のディスプレイ (行あたり 16 文字) があります。

コントロールパネルのライト

ライト		意味
印字可		
	消灯	プリンタがオフラインまたはエラー。
	点灯	プリンタは印字可能状態。
	点滅	プリンタがオフラインになるまで待機のこと。
データ		
	消灯	プリンタに印刷データなし。
	点灯	プリンタに印刷データがあるが、準備未完了、またはオフライン。
	点滅	プリンタが処理中またはデータ印刷中。

コントロールパネルのレイアウト

ライト	意味
消灯	プリンタは正常状態。
点灯	問題発生。電源を切ってからリセットすること。
点滅	操作が必要。コントロールパネルの表示を確認のこと。

設定ページ

設定ページを印刷する方法については、328 ページを参照してください。

コントロールパネル：キー

キー	機能
[Go]	● プリンタをオンラインまたはオフラインにします。 ● プリンタバッファ内のデータを印刷します。 ● オフラインにした後の再開時に印刷を可能にします。プリンタメッセージのほとんどをクリアし、プリンタをオンラインにします。 ● トレイ x ノ キュウシ [タイプ] [サイズ] やヨウシ サイズ ガ マチガッテイマスなどのエラーメッセージの表示中の印刷を可能にします。 ● トレイ 1 に用紙がセットされ、プリンタのコントロールパネルのヨウシ トリアツカイ メニューでトレイ 1 モード＝カセットと設定されている場合は、手差し要求が確定されます。 ● トレイ 1 からの手差し要求をオーバーライドし、次に使用できるトレイから用紙を選択します。 ● コントロールパネルのメニューを終了します (コントロールパネルの設定を保存するには、まず [選択] を押します)。

キー	機能
[ジョブのキャンセル]	処理中のジョブをキャンセルします。ジョブの大きさによってキャンセルにかかる時間が異なります (1 回だけ押してください)。
[メニュー]	コントロールパネルのメニューを順番に表示します。ボタンの右側を押すと次のメニューに進み、ボタンの左側を押すと以前のメニューに戻ります。
[項目]	選択したメニューの各項目を表示します。ボタンの右側を押すと次に進み、ボタンの左側を押すと後ろに戻ります。プリンタのオンラインヘルプを参照する場合も、このキーを使用します (230 ページ参照)。
[- 値 +]	選択したメニュー項目の各値を表示します。[+] を押すと次に進み、[-] を押すと後ろに戻ります。
[選択]	● 現在、表示されている項目の値を保存します。選択値の横にアスタリスク (*) が表示され、新しいデフォルトであることを示します。プリンタの電源を切ったりリセットしたりしてもデフォルト値は保存されます (ただし、リセット メニューを使って出荷時設定を復元すれば失われます)。 ● コントロールパネルからプリンタ情報ページの 1 つを印刷します。

コントロールパネルのメニュー

432 ページには、コントロールパネルの項目と設定可能な値がすべて記載されています。

[メニュー] を押してコントロールパネルのメニューにアクセスします。プリンタにトレイを追加したり、他のアクセサリを取り付けたりすると、新しいメニュー項目が自動的に表示されます。

コントロールパネルの設定を変更するには：

1 希望のメニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 希望の項目が表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

3 希望の設定が表示されるまで、[+ 値 -] を繰り返し押します。

4 [選択] を押して設定を保存します。選択値の横にアスタリスク (*) が表示され、デフォルトであることを示します。

5 [Go] を押してメニューを終了します。

次のページに続く。

注記 プリンタドライバおよびアプリケーション　ソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます (アプリケーション ソフトウェアの設定はプリンタドライバの設定よりも優先されます)。

メニューまたは項目にアクセスできないときは、それがプリンタのオプションとして存在しないか、またはネットワーク管理者がその機能をロックしている可能性があります (コントロールパネルにはアクセス キョヒ メニュー ロック ジョウタイと表示されます)。ネットワーク管理者に相談してください。

コントロールパネルのメニューマップを印刷するには：

コントロールパネルのメニューマップを印刷する方法については、331 ページを参照してください。

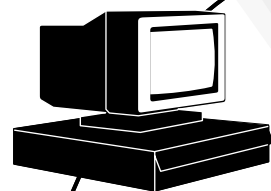
用紙ハンドリングでの LED ステータスの意味

次の表では、オプションの 2000 枚給紙トレイ (トレイ 4)、オプションの 2 x 500 枚給紙トレイ (トレイ 4 と 5)、およびオプションの HP 排紙装置で表示されるステータス表示ライトの意味を説明します。

ライト	オプションの 2000 枚給紙トレイおよび 2 x 500 枚給紙トレイ (トレイ 4 と 5)	オプションの HP 排紙装置
緑色点灯	アクセサリはオンで、使用可能です。	アクセサリはオンで、使用可能です。
黄色点灯	アクセサリではハードウェアの作動不良が発生しています。	アクセサリではハードウェアの作動不良が発生しています。
黄色点滅	アクセサリ内で紙詰まりが発生しているか、または紙詰まりでない場合でも用紙をトレイから取り出す必要があります。	アクセサリ内で紙詰まりが発生しているか、または紙詰まりでない場合でも用紙をマルチビンメールボックスから取り出す必要があります。
	右下側のドアが開いている可能性があります。	アクセサリが正しくプリンタに取り付けられていません。

ライト	オプションの 2000 枚給紙トレイおよび 2 x 500 枚給紙トレイ (トレイ 4 と 5)	オプションの HP 排紙装置
消灯	プリンタがパワーセーブモードになっている可能性があります。[Go] を押します。	プリンタがパワーセーブモードになっている可能性があります。[Go] を押します。
	アクセサリに電力が供給されていません。電源装置、電源ケーブル、および C リンクケーブルを確認します。	アクセサリに電力が供給されていません。電源装置、電源ケーブル、および C リンクケーブルを確認します。

プリンタのソフトウェア

Windows
クライアント

Windows ソフトウェア

HP Common Installer
HP Common Drivers

ネットワーク
管理者

Windows ソフトウェア

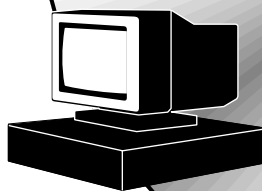
HP Resource Manager
HP Common Installer
HP Internet Installer
HP Disk Image Utility
HP Common Drivers

Macintosh ソフトウエア

PPD
HP LaserJet Utility*
フォント *
ガイドのファイル *
(英語版のみ)

Macintosh ソフトウェア

PPD
HP LaserJet Utility*
フォント *
ガイドのファイル *
(英語版のみ)

Macintosh
クライアント

* これらの製品は、伝統的な中国語、簡易字中国語、韓国語、日本語、チェコ語、ロシア語、およびトルコ語では使用できません。

プリンタの機能を最大限に活用するには、CD に収録されているプリンタドライバをインストールする必要があります。その他のソフトウェアプログラムは、推奨されますが、操作上、必須ではありません。詳細は、ReadMe ファイルを参照してください。

注記 ネットワーク管理者へ：HP LaserJet Resource Manager は、ネットワーク管理者のコンピュータだけにインストールします。その他の必要なソフトウェアは、サーバーコンピュータおよびすべてのクライアントコンピュータにロードします。
プリンタを管理するには、Web ブラウザにサーバーベースのツール (HP Web JetAdmin) を開きます。詳細は、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

インターネットを使って、最新ドライバ、追加ドライバ、その他のソフトウェアを入手できます。Windows ベースのコンピュータ構成によっては、プリンタソフトウェアのインストールプログラムによって、コンピュータからインターネットにアクセスして、最新のソフトウェアを入手できるかどうかが確認されます。インターネットにアクセスできない場合は、このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制に従って、最新のソフトウェアを入手します。

次のページに続く。

プリンタには HP LaserJet 印刷システムを収録した CD が付属しています。また、エンドユーザーやにネットワーク管理者に有用なソフトウェアコンポーネントおよびドライバも収録されています。最新の情報については ReadMe ファイルを参照してください。

印刷システムには、次の環境で操作しているエンドユーザー用に設計されたソフトウェアが入っています。

- Microsoft Windows 3.1x
- Microsoft Windows 9x
- Microsoft Windows NT 4.0
- Windows 2000
- IBM OS/2 バージョン 2.0 以降
- Apple Mac OS 7.5 以上
- AutoCad

次のページに続く。

印刷システムには、次のネットワーク オペレーティング システム を使用している
ネットワーク管理者のためのソフトウェアも入っています。

- Novell NetWare 3.x、4.x、 または 5.x
- Microsoft Windows 9x
- Microsoft Windows NT 4.0 または Windows 2000
- Apple AppleTalk (LocalTalk または EtherTalk)

UNIX やその他のネットワーク オペレーティング システム 用のネットワークプリタインストールソフトウェアは、インターネットの WEB サイト、または最寄りの HP 製品販売店を通して入手いただけます (このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制を参照してください)。

上記の環境を使用しているエンドユーザーおよびネットワーク管理者用のドライバやソフトウェアコンポーネントについて、以下の項で説明します。

プリンタドライバ

プリンタドライバは、コンピュータがプリンタと通信し、プリンタの機能を制御するために必要です。

Windows

ドライバに関する詳細情報については、72 ページの Windows プリンタドライバへのアクセスの項を参照してください。

Macintosh

ドライバの詳細情報については、77 ページの Apple LaserWriter 8 ドライバを参照してください。

注記 その他の付属ソフトウェアおよびサポートされる言語については、CD に含まれる “Installation Notes” ファイルで確認してください。

プリンタに付属しているドライバ

プリンタには以下のプリンタドライバが付属しています。最新のドライバは、インターネットからダウンロードすることができます（このユーザーズガイドのHewlett-Packard 社製品のサポート体制を参照してください）。Windows コンピュータの構成によっては、プリンタソフトウェアのインストールプログラムによって、コンピュータからインターネットにアクセスして、最新のドライバを入手できるかどうかが自動的に確認されます。

	PCL 5e	PCL 6	PS[1]
Windows 3.1x	✓	✓	✓
Windows 9x	✓	✓	✓
Windows NT 4.0	✓	✓	✓
Windows 2000	✓	✓	✓
Macintosh コンピュータ[2]			✓

1. このユーザーズガイドでは、PostScript Level 3 エミュレーションを PS と呼びます。
2. PPD のみが含まれます (77 ページ参照)。Apple LaserWriter 8 ドライバは、Mac OS システムソフトウェアに付属しています。あるいは、Apple Computer, Inc. から直接入手できます。

システムにインストールする適切なインストールオプションを次の表から選択してください。

Windows でのインストール

[標準インストール]	以下のものをインストールするには、**[標準インストール]** を選択します。 PCL 6 双方向通信機能 フォント スタンドアロンステータス
[カスタムインストール]	以下の作業を実行するには、**[カスタムインストール]** を選択します。 ドライバのみ (PCL 6、PCL 5e、および PS) をコピーします。 カスタマイズされたインストーラ (PCL 6、PCL 5e、PS、双方向通信、フォント、スタンドアロンステータス、および Resource Manager) を作成します。 印刷システムインストーラをすべてコピーします。

次のページに続く。

Macintosh でのインストール

[インストール]	以下のものをインストールするには、**[インストール]** を選択します。 PostScript プリンタドライバで使用する PPD ファイル HP LaserJet Utility ンラインヘルプ
[カスタム]	必要なソフトウェアのみをインストールするには、**[カスタム]** を選択します。

追加ドライバ

以下の追加プリンタ ドライバは、プリンタに組み込まれています。

- OS/2 PCL/PCL 6 プリンタドライバ
- OS/2 PS プリンタドライバ
- AutoCAD

注記　ご希望のプリンタドライバが CD に入っていない場合、またはここに記載されていない場合は、アプリケーション ソフトウェアのインストールディスクや ReadMe ファイルで、このプリンタのサポートが含まれるかどうかを確認してください。含まれない場合は、そのソフトウェアのメーカーまたは販売店に連絡して、このプリンタ用のドライバをお求めください。

Windows 用ソフトウェア

印刷システムソフトウェアを使用してプリンタをインストールします。Windows 9x、NT、または 2000 システムからネットワーク (Novell NetWare あるいは Microsoft Windows ネットワーク) にプリンタをインストールする場合は、印刷システムソフトウェアの指示に従ってインストールすると、ネットワークプリンタが正しく設定されます。

注記

プリンタをネットワークで使用する場合は、ネットワーククライアントとサーバーを正しく設定して通信する必要があります。

ネットワークプリンタの設定と管理を追加する場合は、HP Web JetAdmin を使用してください。.

HP Web JetAdmin は、ネットワーク管理者が WEB ブラウザを使用してアクセスできるサーバーベースのツールです。サポートされているホストシステムと利用可能な言語を参照したり、ソフトウェアをダウンロードしたりする場合は、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

Windows 用の印刷ソフトウェアのインストール (CD)

Windows 9 x、Windows NT 4.0、および Windows 2000 の場合

1 実行中のアプリケーションをすべて終了します。

2 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します (コンピュータの構成によっては、インストールプログラムが自動的に開始する場合があります)。

3 **[スタート]** ボタンをクリックします。

4 **[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。

5 コマンドラインのボックスに 「**D:¥SETUP**」(または該当のドライブディレクトリ名) と入力し、**[OK]** をクリックします。

6 コンピュータ画面の指示に従います。

次のページに続く。

Windows 3.1x の場合

1 実行中のアプリケーションをすべて終了します。

2 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

3 **Windows** のプログラム マネージャで **[ファイル]** メニューをクリックします。

4 x **[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。

5 コマンドラインのボックスに 「**D:¥SETUP**」(または該当のドライブディレクトリ名) と入力し、**[OK]** をクリックします。

6 コンピュータ画面の指示に従います。

Macintosh 用の印刷ソフトウェアのインストール

注記 CD-ROM に含まれる “Installation Notes” をお読みください。

1 実行中のアプリケーションをすべて終了します。

2 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

3 **[インストーラ]** アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

4 **[アップル]** メニューの **[セレクタ]** を選択します。

5 **[LaserWriter 8] アイコンをクリックします。**アイコンが表示されない場合は、Hewlett-Packard 社製品のサポート体制にお問い合わせください。あるいは、Apple Computer, Inc. にお問い合わせください。

6 現在、複数のゾーンを持つネットワークに接続している場合は、**[AppleTalk ゾーン]** ボックスで、プリンタが置かれているゾーンを選択します。プリンタが置かれているゾーンがわからない場合は、ネットワーク管理者におたずねください。

7 セレクタの右側で、希望のプリンタ名を選択します。プリンタのアイコンが表示されます。

8 ウィンドウの左上隅にあるクローズボックスをクリックして、**[セレクタ]** を閉じます。

Windows プリンタドライバへのアクセス

ソフトウェアをインストールしてから、ドライバを設定するには、以下のいずれかの方法を使ってドライバにアクセスします。

オペレーティング システム	一時的に設定を変更する場合 (特定のソフトウェア用)	デフォルト設定を変更する場合 (全アプリケーション用)
Windows 9x	**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、次に **[プロパティ]** をクリックします (実際には、異なる操作手順も可能です。ここに挙げているのは最も一般的な手順です)。	**[スタート]** ボタンをクリックして、**[設定]** をポイントし、次に **[プリンタ]** をクリックします。プリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックして、**[プロパティ]** を選択します。
Windows NT 4.0/ Windows 2000	**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、次に **[プロパティ]** をクリックします (実際には、異なる操作手順も可能です。ここに挙げているのは最も一般的な手順です)。	**[スタート]** ボタンをクリックして、**[設定]** をポイントし、次に **[プリンタ]** をクリックします。**[ドキュメントのデフォルト値]** をマウスの右ボタンでクリックして選択し、セットアップの属性 (例 : 用紙の向き、サイズ、トレイ) を変更するか、あるいは [プロパティ] を選択してアクセサリの設定、追加、または変更を行います。

オペレーティング システム	一時的に設定を変更する場合 (特定のソフトウェア用)	デフォルト設定を変更する場合 (全アプリケーション用)
Windows 3.1x	**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックします。次に **[プリンタ]** をクリックして、**[オプション]** をクリックします (実際には、異なる操作手順も可能です。ここに挙げられているのは最も一般的な手順です)。	Windows のコントロールパネルで **[プリンタ]** をダブルクリックします。次にプリンタをハイライトして、**[設定]**をクリックします。

注記 プリンタドライバおよびアプリケーション ソフトウェアの設定は、そのプリンタのコントロールパネルの設定よりも優先されます (アプリケーション ソフトウェアの設定はプリンタドライバの設定よりも優先されます)。

正しいプリンタドライバの選択

Windows の場合、プリンタの使用方法に基づいてプリンタドライバを選択します。

- プリンタの機能を最大限に活用するには、PCL 6 を使用します。旧バージョンの PCL ドライバまたは旧タイプのプリンタと互換性を持たせる必要がない限り、PCL 6 の使用をお勧めします。
- 旧タイプのプリンタを使った場合の印刷結果と同程度の印刷結果で良ければ、PCL 5e ドライバを使用します。
- PostScript Level 3 との互換性を持たせるには、PS ドライバを使用します。
- プリンタは、PS および PCL の各プリンタ言語を自動的に切り替えます。

Macintosh の場合は、PS ドライバである Apple LaserWriter 8 ドライバを使用します。

プリンタドライバのヘルプ

各プリンタドライバにはヘルプ画面があり、使用している Windows オペレーティングシステムのバージョンによって、[ヘルプ] ボタン、F1 キー、またはプリンタドライバの右上隅の疑問符 (?) のボタンを使って起動できます。これらのヘルプ画面から、特定のドライバに関する詳しい情報が得られます。プリンタドライバのヘルプはアプリケーション ソフトウェアのヘルプとは別個のものです。

HP JetSend の通信技術

HP JetSend は Hewlett-Packard 社が提供する新技術であり、デバイス間の通信が簡単に直接行えます。HP JetSend をプリンタに組み込むことにより、ネットワーク上にある JetSend 対応の送信デバイスから、情報を受信できるようになります。送信デバイスが同じオフィス内または遠隔地にあっても関係ありません。

HP Fast InfraRed Connect アクセサリを使用する場合は、JetSend 対応の赤外線デバイスからの情報をプリンタで受信できるようになります。JetSend 送信デバイスの例として、JetSend ソフトウェアを実行中の PC やラップトップ、または JetSend を組み込んだスキャナなどが挙げられます。JetSend はネットワーク接続されたデバイス間では単純な IP アドレス割り当てを使用し、赤外線デバイス間では直接情報を発信します。

注記 HP JetSend は、伝統的な中国語、簡易字中国語、韓国語、日本語、チェコ語、ロシア語、およびトルコ語では使用できません。

次のページに続く。

JetSend ソフトウェアをダウンロードするには、JetSend の Web サイト (www.jetsend.hp.com) にアクセスしてください。JetSend をインストールすることにより、PC 間および PC と JetSend 対応のプリンタとの間で社内文書を直接交換できるようになり、アプリケーション ソフトウェアまたはソフトウェアバージョンとの非互換性の問題もありません。これにより、各作業者が自分の PC で文書を作成し、JetSend 対応のプリンタにコピーを直接送信できるようになり、デバイス固有のドライバや構成作業は必要ありません。

JetSend の Web サイトにアクセスすると、JetSend 対応のプリンタと簡単に、直接通信できる、その他のデバイスがわかります。

JetSend 通信技術の仕組み

ネットワークデバイス

ネットワークデバイス間で JetSend の機能を使用するには、プリンタ構成ページ (328 ページ参照) を印刷して、使用中の JetSend IP アドレスを確認します。次に、JetSend を経由してプリンタに情報を送信する予定の人に、自分の IP アドレスを知らせます。

JetSend 送信デバイスから情報を送信する場合、送信者はプリンタの IP アドレスを入力し、[送信] を押すだけです。

次のページに続く。

赤外線デバイス

JetSend 赤外線機能を使用するには、送信デバイスと受信デバイスとの間に複数の赤外線センサを配置し、送信デバイスにある [送信] オプションを選択します。

デバイスには JetSend がインストールされているため、最適な通信相手とのネゴシエーションが自動的に行われます。

注記 HP JetSend は Macintosh では使用できません。

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア

Apple LaserWriter 8 ドライバ

Apple LaserWriter 8 ドライバは、Mac OS システムソフトウェアに組み込まれています。あるいは、Apple Computer, Inc. から直接入手できます。

PostScript Printer Description File（PPD）

PPD を Apple LaserWriter 8 ドライバと併用することにより、プリンタ機能へのアクセスおよびコンピュータとプリンタ間の通信が可能になります。PPD および他のソフトウェアのインストールプログラムは、CD に収録されています。コンピュータに付属している Apple LaserWriter 8 ドライバを使用します。

HP LaserJet Utility (Macintosh)

注記 HP LaserJet Utility は、伝統的な中国語、簡易字中国語、韓国語、日本語、**チェコ語、ロシア語、およびトルコ語**では使用できません。

HP LaserJet Utility を使用することにより、ドライバで利用できない機能を制御できます。わかりやすい操作画面によって、Macintosh コンピュータからのプリンタ機能の選択が、一層容易になりました。HP LaserJet Utility を使って、以下の操作を行います。

- プリンタのコントロールパネルに表示されるメッセージのカスタマイズ
- プリンタの命名、ネットワーク上のゾーンへのプリンタの割り付け、ファイルとフォントのダウンロード、およびプリンタ設定の変更
- プリンタのパスワード設定
- プリンタコントロールパネル上の機能をコンピュータからロックすることによる、不正アクセスの防止 (プリンタソフトウェアのヘルプを参照)
- IP 印刷を行うためのプリンタの構成と設定
- ディスクまたはフラッシュメモリの初期化
- RAM、ディスク、またはフラッシュメモリのフォントの管理
- Administer Job Retention 機能

詳細については、LaserJet Utility ガイドを参照してください。

フォント

注記 Machintosh コンピュータの場合、フォントは、伝統的な中国語、簡易字中国語、韓国語、および日本語では使用できません。

プリンタ内に常駐する PS フォントに対応するスクリーンフォントが 45 個インストールされています。

ネットワーク用ソフトウェア

HP Web JetAdmin

ブラウザベースの HP Web JetAdmin ソフトウェアは、サポートされている任意のサーバープラットフォームにインストールできます。サポートされているシステムは次のとおりです。[1]

- Microsoft Windows NT 4.0 または Windows 2000
- HP-UX
- Sun Solaris
- Red Hat Linux
- SuSE Linux

一度インストールすると、HP Web JetAdmin により、サポートされている WEB ブラウザを使用するクライアント PC は、プリンタを管理することができます。

最新のサポートされているサーバープラットフォームについては、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

1. HP Web JetAdmin はプリンタに付属の CD には収録されていませんが、インターネットから入手できます (http://www.hp.com/go/webjetadmin)*。インターネットへのアクセス手段がない場合は、このユーザーズガイドの最初にある「Hewlett-Packard 社製品のサポート体制」のページを参照して、ソフトウェアを入手してください。

注記 HP Web JetAdmin Web サイトでは、多くの言語で HP Web JetAdmin にアクセスすることができます。

HP Web JetAdmin を使って、以下の操作を行います。

- HP JetDirect プリントサーバーによってネットワークに接続されたプリンタの設置と構成
- ネットワークプリンタの管理とトラブルシューティングを任意の場所から実行

UNIX 対応 HP JetDirect プリンタインストーラ

UNIX 対応 HP JetDirect プリンタインストーラは、HP-UX ネットワークシステムと Sun Solaris ネットワークシステムに対応した簡単なプリンタインストールユーティリティです。詳細またはソフトウェアのダウンロードについては、www.hp.com/support/net_printing にアクセスしてください。

HP LaserJet Utility（Macintosh）

HP LaserJet Utility を使用することにより、ドライバで利用できない機能を制御できます。わかりやすい操作画面によって、Macintosh コンピュータからのプリンタ機能の選択が、一層容易になりました。HP LaserJet Utility を使って、次の操作を行います。

- プリンタのコントロールパネルに表示されるメッセージのカスタマイズ
- プリンタの命名、ネットワーク上のゾーンへのプリンタの割り当て、ファイルおよびフォントのダウンロード、およびプリンタ設定の変更
- プリンタのパスワード設定
- プリンタコントロールパネル上の機能をコンピュータからロックすることによる、不正アクセスの防止 (プリンタソフトウェアのヘルプを参照)
- IP 印刷用のプリンタの設定
- ディスクまたはフラッシュメモリの初期化
- RAM、ディスク、またはフラッシュメモリのフォントの管理
- 管理者ジョブ保留機能

詳細については、LaserJet Utility ガイドを参照してください。

注記 HP LaserJet Utility は、伝統的な中国語、簡易字中国語、韓国語、日本語、**チェコ語、ロシア語、およびトルコ語**では使用できません。

HP LaserJet Resource Manager

注記 ハードディスクとフラッシュメモリ DIMM はオプションのプリンタアクセサリです。

HP LaserJet Resource Manager は、ネットワーク管理者のコンピュータのみにインストールします。HP LaserJet Resource Manager を使用すると、ドライバにはない、ハードディスクやフラッシュメモリの機能を制御できます。双方向通信が必要となります。

注記 HP LaserJet Resource Manager は、Macintosh では使用できません。

Macintosh を使用している場合は、これらの機能は、HP LaserJet Utility (バージョン 3.5.1 またはそれ以上) で利用可能です。

次のページに続く。

HP LaserJet Resource Manager を使って以下の操作を実行できます。

- ディスクおよびフラッシュメモリの初期化
- ネットワーク上にあるディスクおよびフラッシュメモリにおける、フォントのダウンロード、削除、および管理
  - PostScript Type 1、PostScript Type 42 (TrueType フォントを PostScript 形式に変換したもの)、TrueType、および PCL ビットマップの各フォント
- ネットワーク上にあるプリンタファームウェアのダウンロード、削除、および管理

注記 Type 1 フォントをダウンロードするには、Adobe Type Manager がロードされ、オンに設定されている必要があります。

- HP デジタルコピーのファームウェア オペレーティングシステムのアップデート

2 印刷作業

概要

この章では、以下の**基本的な印刷作業**について説明します。

注記 オプションの HP 排紙装置についての詳細は、その装置に付属のユーザーズガイドを参照してください。

コピーに関する情報は、338 ページの「HP デジタルコピー」を参照してください。

給紙トレイの選択

トレイ 1 のセット

注記 用紙仕様については、403 ページを参照してください

トレイ 1 の操作をカスタマイズするには、153 ページを参照してください。

注意 紙詰まりを防ぐには、印刷中にトレイ 1 に用紙を挿入したり、取り出したりしないでください。

プリンタの故障を避けるには、ラベル紙、封筒、および OHP フィルムはトレイ 1 からのみ印刷します。これらの用紙をフェースアップビンに給紙し、両面印刷は行わないでください。

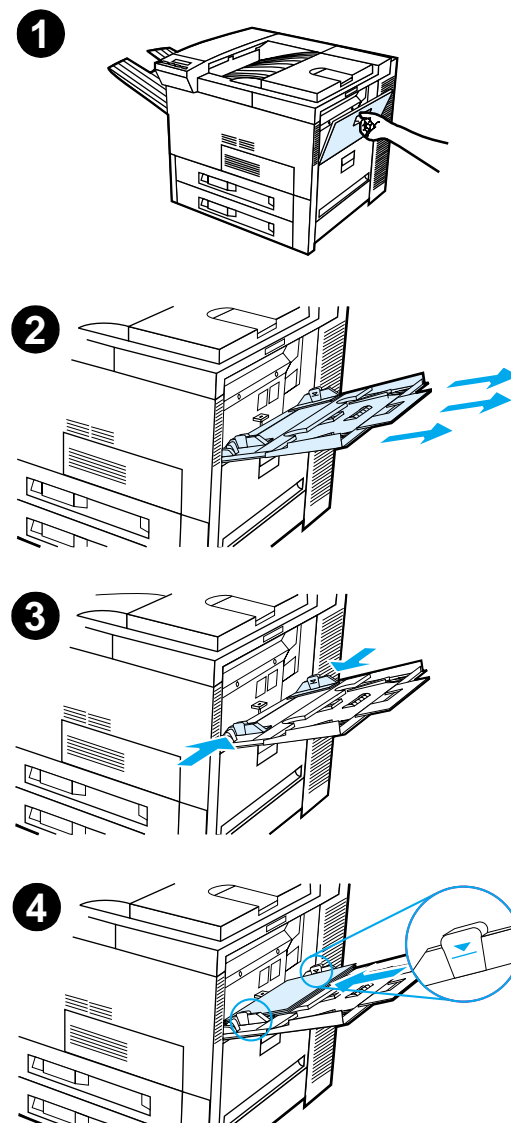
複数の OHP フィルムに印刷するときは、OHP フィルムがプリンタから排出されたらすぐに取り出します。これはフィルムが互いにくっつかないようにするためです。

1 トレイ 1 を開けます。

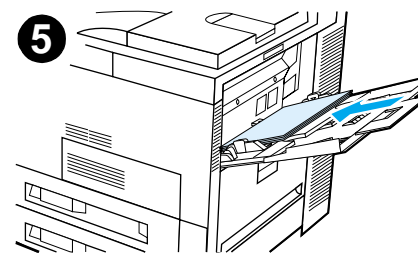
2 印刷する用紙サイズに応じて、必要であれば、トレイの拡張部を引き出します。

3 適切な用紙サイズのマークまで用紙幅ガイドをスライドさせます。

4 用紙セット上限マークを超えないように、用紙をトレイにセットします。

次のページに続く。

5 用紙のセット方法はサイズによって異なります。

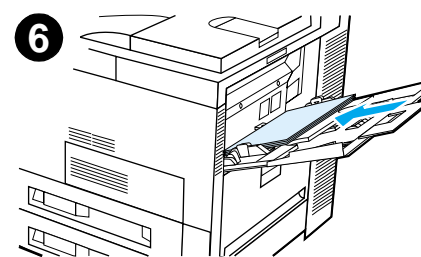
a レターサイズまたは A4 サイズの用紙を、先頭のページをプリンタの後部に向け、片面印刷の場合は印刷面を上にしてセットします。両面印刷の場合は、先頭のページをプリンタの後部に向け、先に印刷する面を下にしてセットします。

b ショートエッジ給紙メディアを、先頭のページをプリンタに向け、片面印刷の場合は印刷面を上にしてセットします。両面印刷の場合は、先頭のページをプリンタから離し、先に印刷する面を下にしてメディアをセットします (用紙の仕様については、405 ページを参照してください)。

注記

トレイ 1 から封筒を印刷する場合の詳細は 130 ページを参照してください。

---

6 用紙が折れ曲がらずに、用紙幅ガイドの間にしっかりと収まるまで、用紙をプリンタにスライドさせます。

注記

重量が 105 g/m² (28 ポンド) を超える用紙の場合、トレイ 1 からフェースアップビンに出力して、カールが発生しないようにします。普通紙以外の用紙への印刷で問題がある場合は、159 ページの「フューザ調節モードの変更」を参照してください。

トレイ 1 がカセットモードになっている場合は、プリンタの [注意] ライトが点滅します。**[- 値 +]** を押して、トレイ 1 の用紙サイズに合わせてサイズを調整し、**[選択]** を押します。

トレイ 2、3 およびオプションの 2 x 500 枚給紙トレイのセット (トレイ 4 および 5)

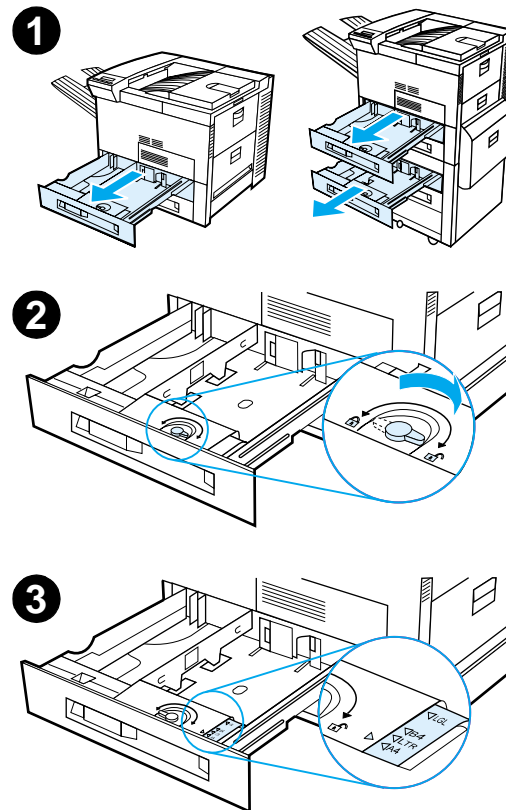
注記
紙詰まりを防ぐため、使用中はトレイを開けないでください。

用紙の詳細は、403 ページを参照してください。

1 トレイを最後まで引き出します。

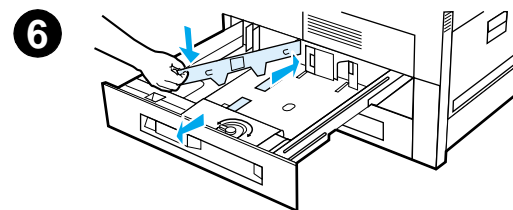
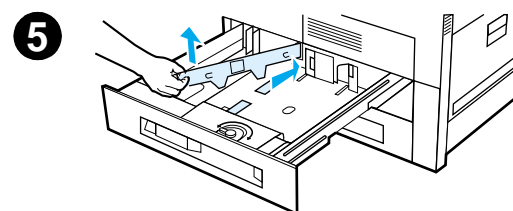
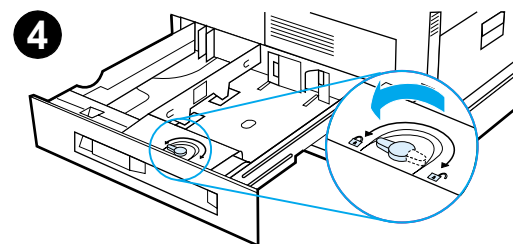
2 用紙ガイド ロックをロック解除位置に回します。

3 セットする用紙サイズのマークまで用紙ガイドをスライドさせます。

次のページに続く。

4 用紙ガイド ロックをロック位置まで回します。

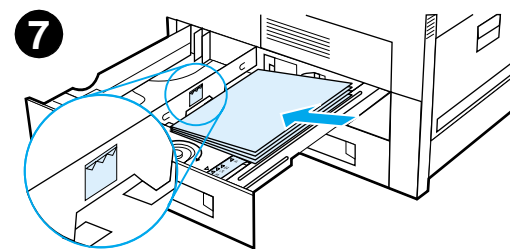
5 左用紙ガイドを中にいったん押し入れ、持ち上げてから引き出し、調節します。

6 トレイが示す適切なラインに沿って、ガイドを固定します。後部スロットにガイドを押し入れてから、前部スロットへ押し下げます。ガイドが歪んでいないことを確認してください。

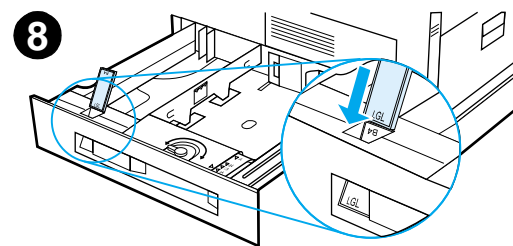
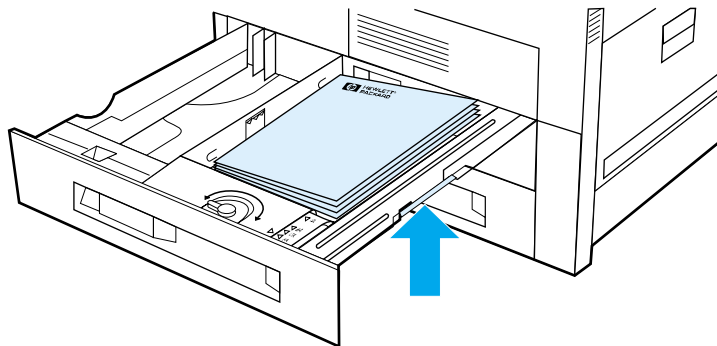
次のページに続く。

7 トレイに用紙を 500 枚まで挿入します。ガイドの用紙セット上限マークより上まで給紙しないでください。

a レターサイズまたは A4 サイズの用紙を、先頭のページをトレイの後部に向け、片面印刷の場合は印刷面を下にしてセットします。両面印刷の場合は、先頭のページをトレイの後部に向け、先に印刷する面を上にしてセットします。

b ショートエッジ給紙メディアを、先頭のページをトレイ右側に向け、片面印刷の場合は印刷面を下にしてセットします。両面印刷の場合は、先頭のページをトレイ左側に向け、先に印刷する面を上にしてメディアをセットします。

次のページに続く。

8. 用紙サイズのタブが正しくセットされていることを確認します。トレイをプリンタにスライドさせて戻します。

トレイ（用紙ソース）ではなく用紙のタイプで用紙を選択をする場合は、156 ページを参照してください。

レターサイズまたは A4 サイズより大きな用紙を使う場合は、標準排紙ビンの用紙ストッパー ガイドを調整します。100 ページを参照してください。

トレイ 2 と 3 、およびオプションの 2 x 500 枚給紙トレイ (トレイ 4 と 5) から余分な紙を取り除く

1 トレイを最後まで引き出します。

2 用紙スタックを上げて余分な紙を取り除きます。

オプションの 2000 枚給紙トレイのセット (トレイ 4)

プリンタでは、2000 枚給紙トレイ (トレイ 4) がオプションで利用可能です。トレイはプリンタの下部に収まり基部の役割を果たします。

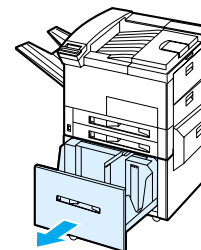
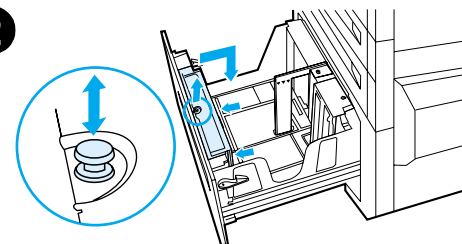
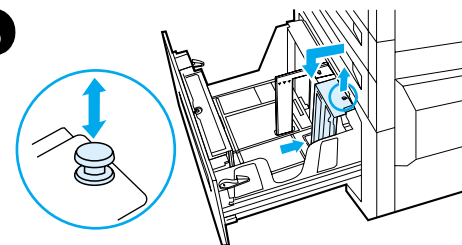
注記
紙詰まりを防ぐため、使用中はトレイを開けないでください。

用紙の詳細は、403 ページを参照してください。

1 トレイ 4 を最後まで引き出します。

2 青いピンを持って、前部ガイドを引き出します。使用する用紙サイズに対応する、給紙トレイの上部と底部にあるスロットにガイドをはめ込み、ピンを押し込みます。

3 ステップ 2 を繰り返し、後部ガイドを調節します。

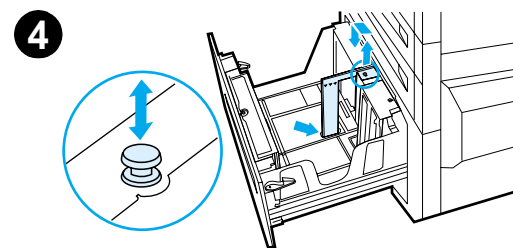
次のページに続く。

4 ステップ 2 を繰り返し、左側ガイドを調節します。

注記

11 x 17 用紙をセットするには、左側ガイドをトレイの後部まで移動します。左側ガイドを一番上に、下のスロットを 11 x 17 インチ用紙のマークのあるところに合わせます

---

5 トレイに用紙を 2000 枚までセットします。トレイ両側の用紙セット上限マークより上に用紙をセットしないでください。
セットの方法については、92 ページのステップ 7a と 7b を参照してください。

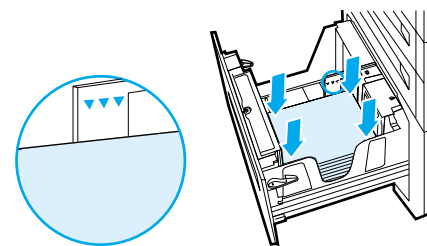
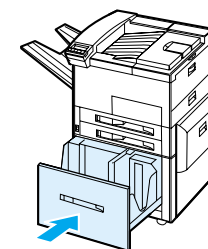
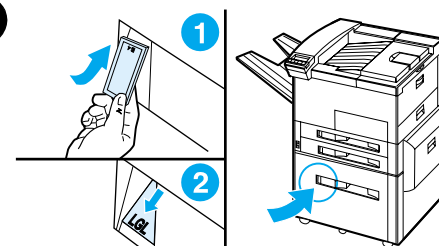
次のページに続く。

6　用紙の四隅を押さえ、用紙がトレイに歪みなく平らにセットされていることを確認します。

注記
トレイ 4 の左側の空いている領域に用紙を置かないでください。トレイ 4 が破損するおそれがあります。

7　トレイ 4 を閉じます。

8　用紙サイズのタブが正しくセットされていることを確認します。

注記
トレイにセットした用紙のタイプを設定する方法については、156 ページの「用紙のタイプとサイズ別の印刷」を参照してください。

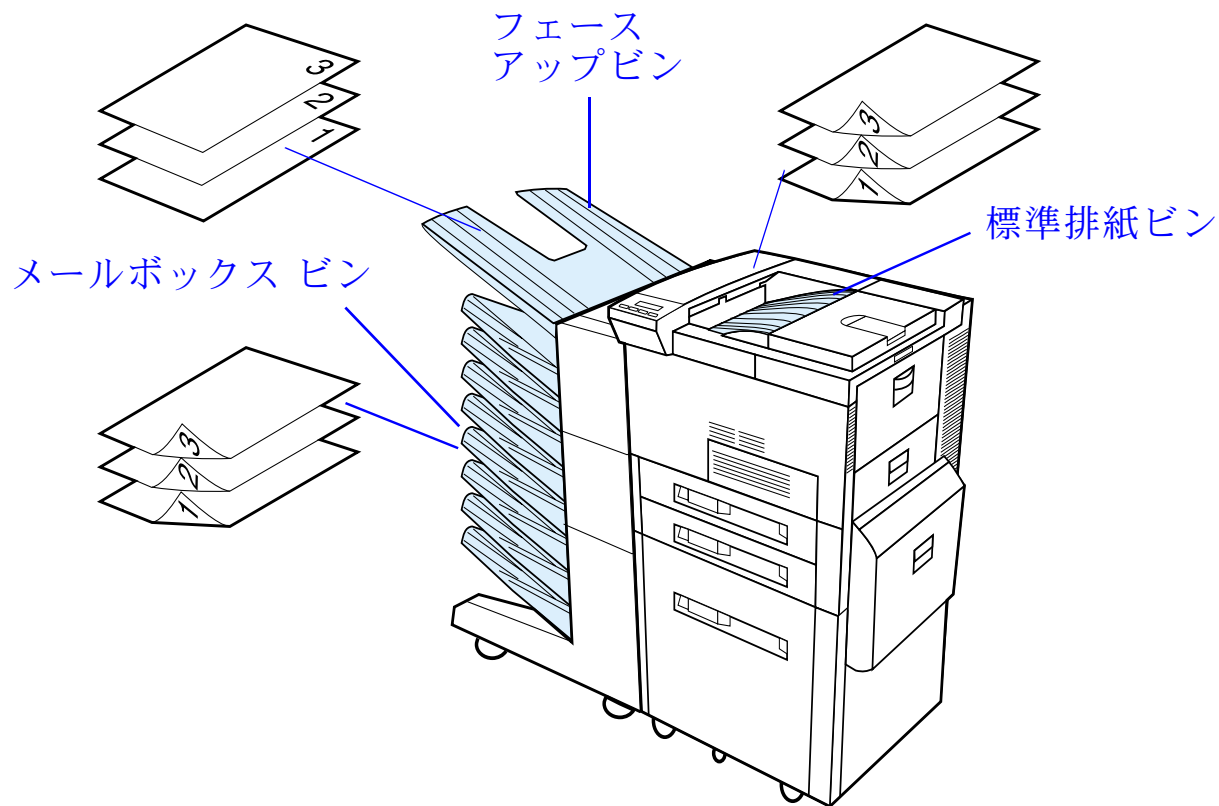
標準排紙ビン (フェースダウンビン) を使用する場合は、排紙ビンの用紙ストッパー ガイドを必ず調整します。詳細は、100 ページを参照してください。

排紙ビンの選択

プリンタには、標準排紙ビン、フェースアップビン、オプションの排紙装置など、複数の排紙場所があります。

注記 オプションの HP 排紙装置の詳細は、その装置に付属のユーザーズガイドを参照してください。

フェース
アップビン

標準排紙ビン

メールボックス ビン

注記

高品質の印刷結果を得るため、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、または重い用紙の印刷では、フェースアップビンを使用してください。

標準排紙ビンへの印刷

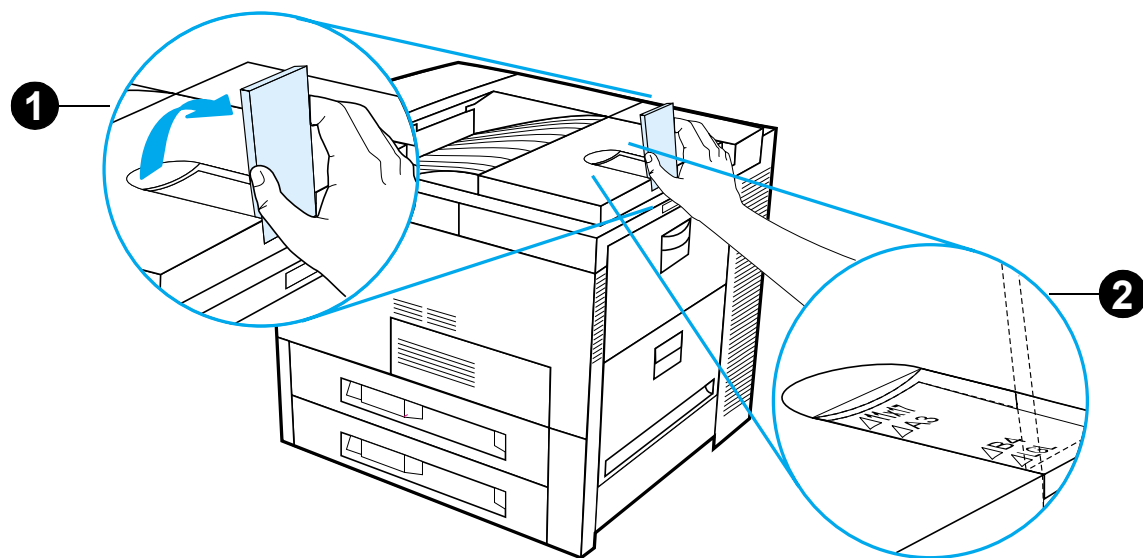
標準排紙ビンはプリンタの上部にあり、プリンタから排出される用紙が 500 枚まで、正しい順序で保持されます。排紙ビンがいっぱいになると、センサが作動し、プリンタが停止します。ビンを空にするか、用紙を減らすと印刷は続行されます。標準排紙ビンは工場出荷時のデフォルト ビンです。

用紙ストッパーの調整

用紙ストッパーは、以下の図のように標準排紙ビンの近くにあります。用紙ストッパーは、用紙がプリンタから排出されるときに平らになるように調節できます。レターサイズまたは A4 サイズ用紙の場合は、用紙ストッパーを持ち上げる必要はありません。印刷する用紙よりも小さなサイズに用紙ストッパーを設定すると、プリンタは紙詰まりを起こすので、注意してください。

1 用紙ストッパーが垂直状態になるよう、左側を持ち上げます。

2 印刷する最大の用紙サイズのマークまで用紙ストッパーをスライドさせます。

1
2

フェースアップビンへの印刷

プリンタの左上に配置されたフェースアップビンは、用紙を 100 枚まで収納でき、表を上にして (逆順に) 排紙します。このビンは主に、標準排紙ビンのカーブした用紙経路を通過できないラベル紙、封筒、または OHP フィルムのような特殊な用紙に使います。この排紙ビンは、ビンがいっぱいになっても認識されません。

排紙ビンは、アプリケーション ソフトウェア、プリンタドライバ、またプリンタのコントロールパネルで選択できます。

注記 プリンタドライバおよびアプリケーション ソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます (アプリケーション ソフトウェアの設定はプリンタドライバの設定よりも優先されます)。

メールボックスへの印刷

各メールボックスには、プリンタのフェースアップビンの代わりに使用するフェースアップビンが用意されています。プリンタでは、次のメールボックスが利用可能です。

- 7 ビン卓上メールボックス (各ビンとも用紙を 120 枚まで保持)
- 8 ビンメールボックス (各ビンとも用紙を 250 まで保持)
- ホッチキス機能付 5 ビン メールボックス (各ビンとも用紙を 250 枚まで保持)

これらのメールボックスはプリンタの左側に装着されます。どのメールボックスも、次のいずれかの動作モードで操作できます。

メールボックス	各ビンを排紙先として個々に指定できます。ネットワーク管理者またはプリンタ管理者は、それぞれに名前を割り当てることができます。
コレータ	このモードでは、印刷された用紙が自動的に丁合いされます。各 MOPY は、一番上のビンから順にそれぞれのビンに排紙されます。この場合、1 つのジョブには複数の MOPY が含まれます。

次のページに続く。

ジョブの分割	印刷ジョブは、一番上から順に空のビンに 1 つずつジョブを自動的に割り当てます。用紙のあるビンは外します。ビンにすべて用紙がある場合は、一番上から順に空きのあるビンにジョブが割り当てられます。ビンがいっぱいになると、用紙がそのビンから排出されるまで装置は停止します。排出されると、同じビンから割り当てが再開されます。
スタッキング	このモードでは、ジョブの境界に関係なく、印刷された排紙が一番下から一番上のビンに積み重ねられます。この動作モードでは、メールボックス ビンを全収容可能枚数まで利用できます。装置はプリンタソフトウェアでは 1 つの論理ビンとして認識されます。

次のページに続く。

動作モードの設定方法

ネットワーク管理者またはプリンタ管理者は、コントロールパネルまたは HP Web JetAdmin や HP LaserJet Utility などの HP ネットワーク構成ユーティリティを使って、動作モードを選択します。ユーザーは、管理者が選択したモードに従ってプリンタドライバを設定する必要があります。

双方向環境

プリンタはネットワーク管理者が設定したモードを自動的に選択します。

非双方向環境

プリンタドライバの設定は、プリンタメールボックスのモードと同じである必要があります。モードの変更方法は、ドライバとオペレーティングシステムによって異なります。ドライバのオンラインヘルプを参照してください。

プリンタのコントロールパネルには、使用するメールボックスとモードによって、異なるメッセージが表示されます。詳細は、プリンタソフトウェアのヘルプを参照してください。

次のページに続く。

メールボックス モード

注記 コントロールパネルの排紙ビンの名前をカスタマイズするには、HP Web JetAdmin ソフトウェアを使用してください。HP Web JetAdmin の詳細は、HP の Web web サイト http://www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

	メールボックス モードでのコントロールパネルの表示	物理的な位置
ホッチキス機能付 **HP 5** ビン メールボックス	フェースアップ ビン	フェースアップビン
	オプション ハイシトレイ 1 ～ 5	メールボックス 1 ～ 5
	オプション ハイシトレイ 6	ホッチキス機能付ビン
HP 7 ビン卓上メールボックス	フェースアップ ビン	フェースアップビン
	オプション ハイシトレイ 1 ～ 7	メールボックス 1 ～ 7

	メールボックス モードでのコントロールパネルの表示	物理的な位置
HP 8 ビンメールボックス	フェースアップ ビン	フェースアップビン
	オプション ハイシトレイ 1 ～ 8	メールボックス 1 ～ 8

ジョブの分割、コレータ、スタッキング モード

注記 コントロールパネルの排紙ビンの名前をカスタマイズするには、HP Web JetAdmin ソフトウェアを使用してください。HP Web JetAdmin の詳細は、HP の Web サイト http://www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

	ジョブの分割、コレータ、およびスタッキングの各モードでのコントロールパネルの表示	物理的な位置
ホッチキス機能付 **HP 5** ビン メールボックス	フェースアップ ビン	フェースアップビン
	オプション ハイシトレイ 1	メールボックス 1 ～ 5
	オプション ハイシトレイ 2	ホッチキス機能付ビン
HP 7 ビン卓上メールボックス	フェースアップ ビン	フェースアップビン
	オプション ハイシトレイ 1	メールボックス 1 ～ 7

排紙ビンの選択

	ジョブの分割、コレータ、およびスタッキングの各モードでのコントロールパネルの表示	物理的な位置
HP 8 ビンメールボックス	フェースアップ ビン	フェースアップビン
	オプション ハイシトレイ 1	メールボックス 1 ～ 8

注記 プリンタで使用できる用紙のタイプについては、405 ページを参照してください。封筒、ラベル紙、および OHP フィルムは、フェースアップビンに排紙する必要があります。

ホッチキスは、ホッチキス機能付 5 ビン メールボックスの左側にあります。ホッチキスは 2 ～ 20 枚、105 g/m^2 (28 ポンド) のジョブの用紙を留めることができます。ホッチキスビンは、最高 350 枚の用紙を収納できます。ホッチキス機能付ビンに送られた用紙のみがホッチキスで留められます。

ソフトウェアでメールボックスを選択

メールボックスは、アプリケーション ソフトウェア、プリンタドライバ、または プリンタのコントロールパネルで選択できます。または、次の指示に従って、デフォルトのプリンタ排紙ビンを選択します。選択場所と選択方法は、アプリケーション ソフトウェアまたは関連するプリンタドライバによって異なります (一部のオプションは、プリンタドライバのみで選択できます)。

コントロールパネルでメールボックスを選択

1 ヨウシ トリアツカイ メニューと表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 ハイシ バショ = ヒョウジュン ハイシ ビン * と表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

3 ハイシ バショ = オプション ハイシトレイ 6 と表示されるまで、[+] を繰り返し押します。「x」は、選択されているメールボックスと使用されている動作モードによって異なる番号です。ネットワーク管理者がこれらの名称を変更している場合もあります。

4 [選択] を押して、選択を保存します。選択した項目の横にアスタリスク (*) が表示されます。

ホッチキスの使用

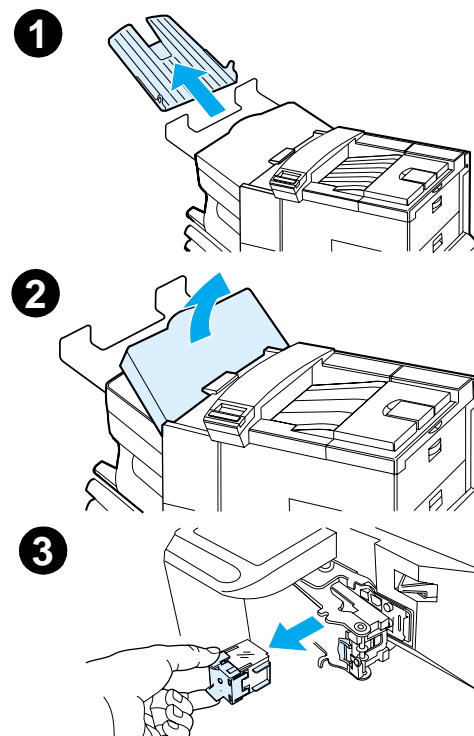
注記 3,000 枚ホッチキス / スタッカまたは他のホッチキス装置についての詳細は、その装置に付属のユーザーズガイドを参照してください。

ホッチキスカートリッジの取り付け (ホッチキス機能付 5 ビンメールボックス)

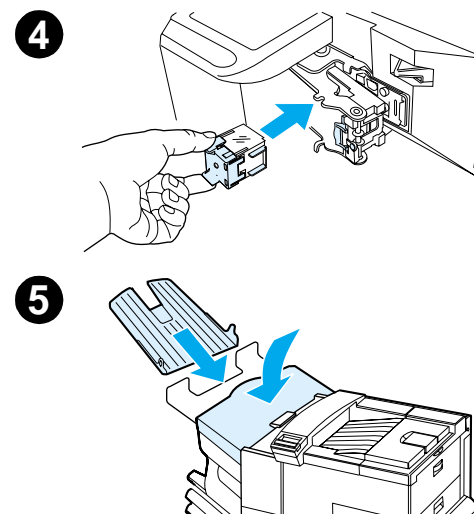
1 プリンタの電源を切り、フェースアップビンを取り外します。

2 ホッチキスユニットのカバーを開けます。

3 ホッチキスカートリッジのタブをつまんで、空のホッチキスカートリッジを引き出します。

次のページに続く。

4 新しいホッチキスカートリッジからプラスチックの搬送クリップを取り除きます。新しいホッチキスカートリッジが所定の位置に収まるように挿入します。

5 ホッチキスユニットのカバーを閉じ、フェースアップビンを元の位置に戻して、プリンタの電源を入れます。

注記
ホッチキスの針が完全になくなった場合、またはホッチキスの針詰まりが発生してすべての針を取り除く必要がある場合は、次の 6 つの部数についてホッチキスを使用できません。

書類をホッチキスで留める (ホッチキス機能付 5 ビンメールボックス)

ホッチキスは、サイズがレターまたは A4 で、重量が 60 ～ 105 g/m² (16 ～ 28 ポンド) の用紙を 2 ～ 20 枚まで留めることができます。ホッチキス機能付ビンは、デフォルトの排紙ビンとして設定してはいけません。ホッチキスで留めるジョブが 1 枚のみまたは 20 枚以上の場合は、プリンタはジョブをビンに印刷しますが、ホッチキスで留めません。たとえば、印刷ジョブが 30 枚の場合には、21 枚は印刷後にホッチキスビンに送られます (ホッチキス留めなし)。残りの 9 枚は印刷されてホッチキスビンに送られます (ホッチキス留めなし)。ホッチキス機能付ビンは、ホッチキスで留められた書類を 350 枚まで保持できます。ジョブをホッチキスで留めるには、オプション ハイシトレイ x に送ります。使用モードに従って適切なビンを選択する方法については、106 ページと 108 ページを参照してください。

ソフトウェアでホッチキス機能を選択

ホッチキス機能は、アプリケーション ソフトウェアまたはプリンタドライバで選択できます。ホッチキス機能を使用するには、この方法をお勧めします。ソフトウェアまたはプリンタドライバで用紙宛先を指定できない場合は、次の指示に従って、デフォルトのプリンタ排紙ビンの選択を設定します。選択場所と選択方法は、アプリケーション ソフトウェアまたは関連するプリンタドライバによって異なります (一部のオプションは、プリンタドライバのみで選択できます。プリンタドライバのアクセス方法については、63 ページを参照してください)。

次のページに続く。

注記 プリンタドライバおよびアプリケーション　ソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます (アプリケーション ソフトウェアの設定はプリンタドライバの設定よりも優先されます)。

コントロールパネルでホッチキス機能を選択

ソフトウェアでホッチキス機能がサポートされていない場合は､次の方法で設定します。

1 ヨウシ トリアツカイ メニューと表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 ハイシ バショ = ヒョウジュン ハイシ ビン * と表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

3 ハイシ バショ = オプション ハイシトレイ x と表示されるまで､[+] を繰り返し押します (使用モードに従って適切なビンを選択する方法については、106 ページと 108 ページを参照してください)。ネットワーク管理者がビンの名称を変更している場合があります。たとえば、ホッチキスという名前が付けられている場合もあります。

4 [選択] を押して選択内容を保存します。選択した項目の横にアスタリスク (*) が表示されます。

用紙の両面に印刷する (オプションの両面印刷ユニット)

オプションの両面印刷ユニット (デュプレクサ) を取り付けると、プリンタを使って自動的に用紙の両面に印刷できます。これを両面印刷といいます。

注記 インストールとセットアップの方法については、両面印刷ユニットに付属のマニュアルを参照してください。両面印刷を行うためには、メモリを追加する必要がある場合があります (480 ページ参照)。

次のページに続く。

両面印刷のガイドライン

注意 ラベル紙、OHP フィルム、封筒、サスタムサイズ用紙、または重量が 105 g/m² (28 ポンド) 以上の用紙には、両面印刷しないでください。プリンタの故障や紙詰まりの原因になる可能性があります。

- 両面印刷ユニットが認識されるように、プリンタドライバを構成する必要がある場合があります (詳細は、プリンタソフトウェアのヘルプを参照してください)。
- 用紙の両面に印刷するには、ソフトウェアまたはプリンタドライバから指定します (プリンタソフトウェアのヘルプを参照してください)。
- プリンタドライバにこのオプションがない場合は、プリンタのコントロールパネルのヨウシ トリアツカイ メニューで両面印刷の設定をリョウメン インサツ =オンに変更します。さらに、ヨウシ トリアツカイ メニューの綴じ込みをロングエッジ (長辺) またはショートエッジ (短辺) に設定します (詳細は、120 ページを参照してください)。

注記 カスタムサイズ用紙トレイを取り付けてある場合、トレイ 1 からの標準サイズ用紙の両面印刷はできません。

両面印刷を行うときの用紙の向き

両面印刷ユニットは、2 ページ目を先に印刷するため、レターヘッドまたは印刷済み用紙を、次に示すような方向でセットする必要があります。

- レターサイズおよび A4 サイズの用紙は、表を下にして、上端つまり短いほうの端をプリンタの後部に向けてセットします。
- 上記のサイズ以外の用紙は、表を下にして、上端つまり短いほうの端をプリンタに向けてセットします。

次のページに続く。

他のすべてのトレイ

- レターサイズおよび A4 サイズの用紙は、表を上にして、上端つまり短いほうの端をトレイの後部に向けてセットします。
- 上記のサイズ以外の用紙は、表を上にして、上端つまり短いほうの端をトレイの右側に向けてセットします。

用紙の両面印刷に適用できるレイアウト

以下に、4 つの用紙の方向オプションを示します。これらのオプションは、プリンタドライバ、またはプリンタのコントロールパネルで選択できます (ヨウシ トリアツカイ メニューでトジコミを設定し、インサツ メニューでヨウシ ノ ムキを設定します)。

注記 綴じ込むほうの端の名前は、プリンタドライバによって異なる場合があります。

左から右へ印刷

右から左へ印刷

4. ロング
エッジ横長

封筒の印刷

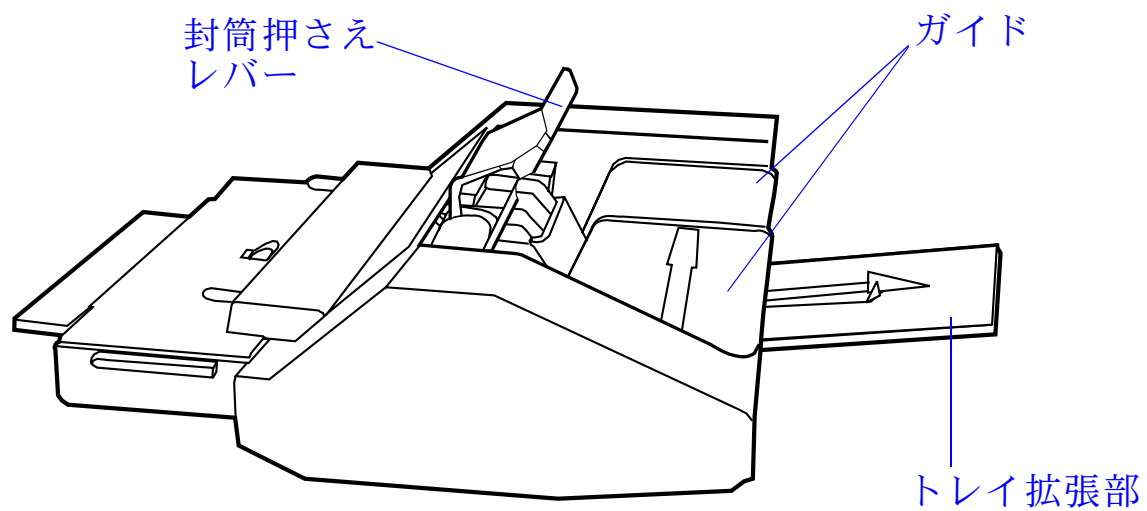
封筒の自動給紙 (オプションの封筒フィーダ)

オプションの封筒フィーダを使うと、プリンタに封筒が 100 枚まで自動給紙されます (使用可能な封筒のサイズについては、405 ページを参照してください)。封筒フィーダを使わずに封筒に印刷する方法については、130 ページを参照してください。

注記 封筒フィーダの取り付けと設定方法については、封筒フィーダに付属のマニュアルを参照してください。

封筒フィーダが認識されるように、プリンタドライバを構成する必要がある場合があります。詳細は、プリンタソフトウェアのヘルプを参照してください。

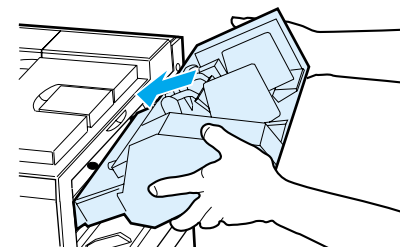
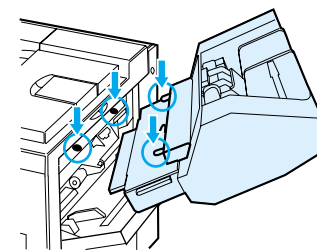
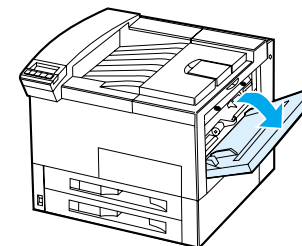
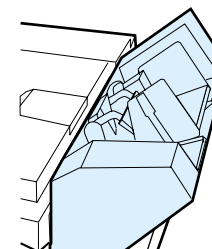
次のページに続く。

封筒押さえ
レバー
ガイド
トレイ拡張部

封筒フィーダの挿入

1 トレイ 1 を開けて、封筒フィーダ用の開口部にあるカバーを取り除きます。

2 封筒フィーダのピンとプリンタにあるフィーダ用の穴を探します。

3 封筒フィーダを対応するプリンタの溝に合わせます。

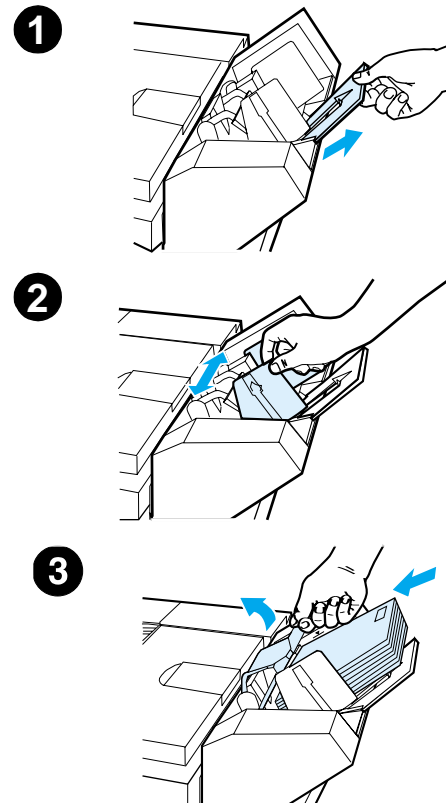
4 所定の位置に固定されるまで、封筒フィーダをプリンタにスライドさせます。

封筒フィーダに封筒をセット

注記
プリンタでの使用が認められている封筒のみに印刷します (419 ページ参照)。

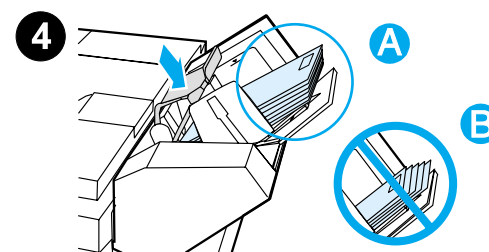
1 封筒用トレイの拡張部を引き出します。拡張部は紙詰まりを防ぐのに効果的です。

2 使用する封筒のサイズに幅ガイドを調整するには、左側ガイドのタブを押します。

3 封筒押さえレバーを持ち上げ、封筒を上限マークまで挿入します。

次のページに続く。

4 レバーを引き下げます。封筒は図の (A) のように角度を付けます。図の (B) のように反対に角度を付けてはいけません。

注記

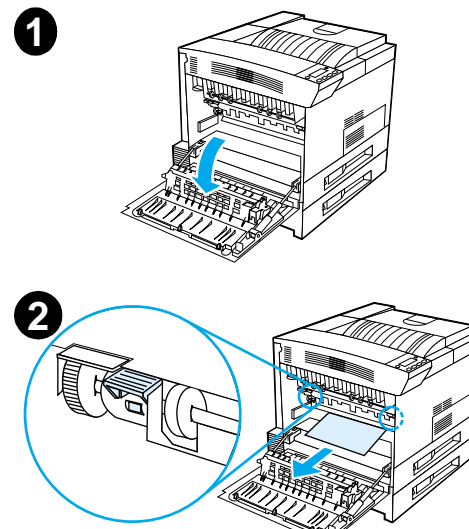
封筒のサイズは、アプリケーション ソフトウェア（設定できる場合）、プリンタドライバ、またはプリンタのコントロールパネルにあるヨウシ トリアツカイ メニュー（439 ページ参照）から選択します。用紙のタイプとサイズ別の印刷方法については、156 ページを参照してください。

封筒印刷のフューザレバーの変更

注記
この方法を使用して封筒を印刷した場合は、標準用紙 (メディア) タイプの下の位置にフューザレバーを戻します。

1 左ドアを開けます (オプションの排紙装置が取り付けられている場合は、プリンタから取り外してから左ドアにアクセスします)。

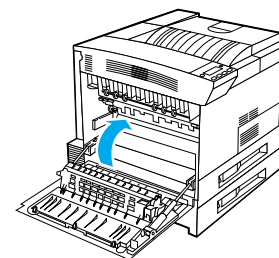
警告 !
フューザの周囲に触れないでください。熱くなっている場合があります。

2 図 2 に示すように、2 つの T 型レバーを見つけて押し上げます。

次のページに続く。

3 左ドアを閉じます。

4 封筒を印刷するときにフェースアップビンが選択されていることを確認します。

封筒の印刷が終了したら、フューザレバーを必ず下の位置に戻します。

注意
フューザレバーを標準用紙タイプのダウン位置に戻さないと、良い印刷品質が得られません。

トレイ 1 から封筒に印刷

オプションの封筒フィーダを使うと、プリンタに封筒が 100 枚まで自動給紙されます。封筒フィーダのご注文方法については、40 ページを参照してください。封筒フィーダを使って印刷する方法については、123 ページを参照してください。

トレイ 1 を使ってさまざまなタイプの封筒に印刷できます (トレイには最高 10 枚まで挿入できます)。印刷速度は封筒の形状によって異なります。封筒を大量に購入する前にサンプルを使って印刷テストを行うことをお勧めします。

マージンは、封筒の端から 15 mm (0.6 インチ) 以上に設定します。

注意

止め具類や窓の付いた封筒、内側がコーティングされた封筒、粘着部分が露出している封筒、あるいはその他の合成素材を使用した封筒を使うと、プリンタに重大な故障が起きる可能性があります。

紙詰まりやプリンタの故障を避けるために、封筒の両面印刷はしないでください。

封筒を給紙する前に、封筒が平らで、破損部分がなく、互いにくっついていないことを確認します。圧力を使って粘着する封筒は使用しないでください (封筒の仕様については、419 を参照してください)。

トレイ 1 への封筒のセット

1 トレイ 1 を開けます。

2 印刷する封筒サイズに応じて、トレイ拡張部を引き出します。

3 用紙幅ガイドに封筒の表を上にしてセットします。10 枚までセットできます。

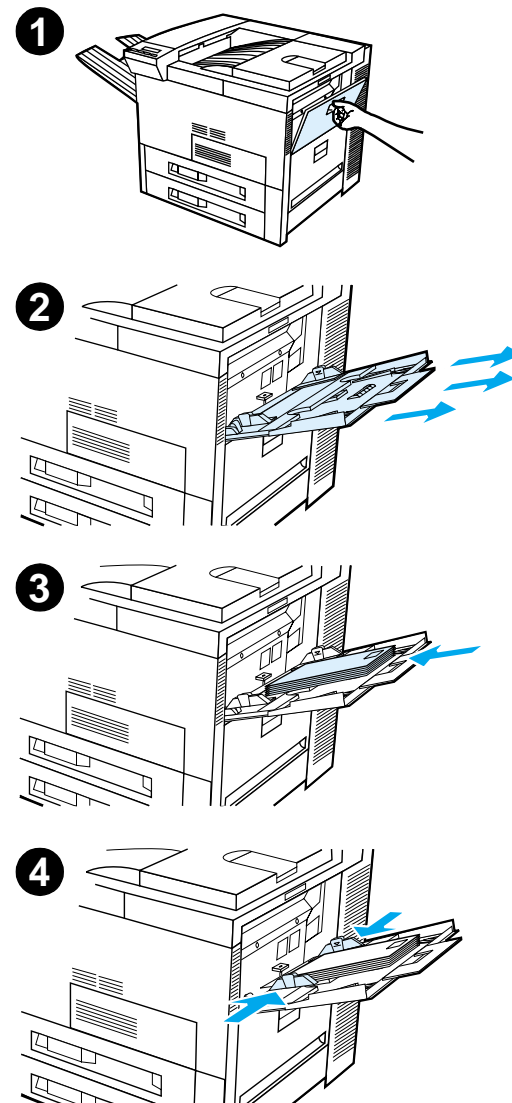
4 封筒の両端が折れ曲がらないように封筒に軽く触れるまで、用紙幅ガイドをスライドさせます。

注記

重量が 105 g/m² (28 ポンド) を超える用紙の場合、トレイ 1 からフェースアップビンに出力して、カールが発生しないようにします。

トレイ 1 が [カセット] モードになっているときは、プリンタの [注意] ライトが点滅します。

[- 値 +] を押してトレイ 1 の用紙サイズに合わせてサイズを調整し、[選択] を押します。

フューザレバーは、封筒を印刷するときには変更する必要があります (128 ページ参照)。

ソフトウェアアプリケーションから封筒に印刷

1 トレイ 1 またはオプションの封筒フィーダ (インストールされている場合) に封筒をセットします。

2 トレイ 1、自動と指定するか、またはアプリケーション ソフトウェアで用紙のタイプを選択し、適切な封筒のサイズを設定します (419 ページ参照)。

3 ソフトウェアで封筒が自動フォーマットされない場合は、アプリケーションで印刷の向きを横長に指定します。

注意 プリンタの紙詰まりを避けるには、印刷中に封筒を取り出したり、挿入したりしてはいけません。

高品質の印刷結果を得るため、421 ページの表を使って、返信住所および宛先住所のマージンを設定します。この表は、COM-10 と DL 封筒の一般的な住所マージンを示しています。封筒の 3 つの後部フラップが重なる部分に印刷するのは避けます。

注記 封筒に印刷し、それをメールボックスに排紙する場合は、メールボックスのフェースアップビンに排紙されます。

特殊な用紙の印刷

レターヘッド、印刷済み用紙、および穴あき用紙への印刷

特殊な用紙には、レターヘッド、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、全方向はみ出しイメージ、はがき、カスタムサイズ用紙、重い用紙が含まれます。

レターヘッドまたは印刷済みの用紙を印刷する場合は、トレイを正しい方向にセットすることが重要です。

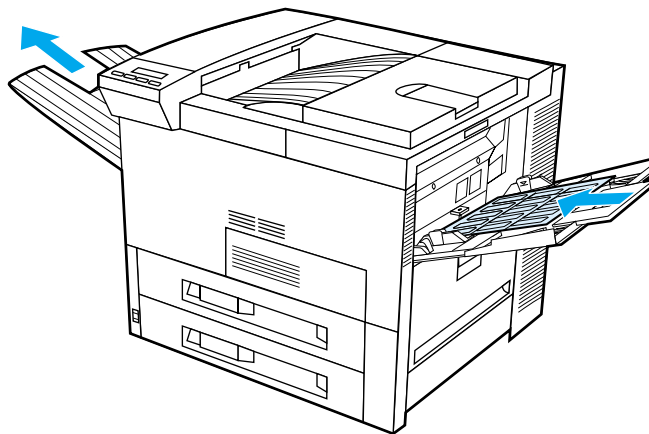
穴あき用紙 (レターサイズまたは A4 サイズ) を印刷する場合は、トレイ 1 を除くすべてのトレイで、穴をプリンタの右側に向けて用紙をセットします。トレイ 1 を使用する場合は、穴をプリンタの左側に向けて用紙をセットします。穴あき用紙の両面に印刷するときは、コントロールパネルのヨウシ トリアツカイ メニューで、用紙のタイプとして穴あき用紙を選択し、プリンタドライバから穴あき用紙を選択する必要があります。

注記 ホッチキス装置は、両面印刷した穴あき用紙のホッチキス留めをサポートしません。

ラベル紙の印刷

レーザープリンタ印刷用のラベル紙のみを使用してください。ラベル紙が、使用する給紙トレイの仕様を満たしていることを確認します (416 ページ参照)。

操作方法

- トレイ 1 を使って最高 50 枚のラベルシートに印刷できます。
- レターサイズまたは A4 サイズのラベル紙の場合は、印刷面を上にして、上になる短辺を後ろ向きにセットします。他サイズのラベル紙の場合は、短いほうの端をプリンタ側に向けてセットします。
- ラベル紙に印刷するときは、フェースアップビンを使用します。

次のページに続く。

注意 この説明に従わないで操作した場合、プリンタが故障する可能性があります。

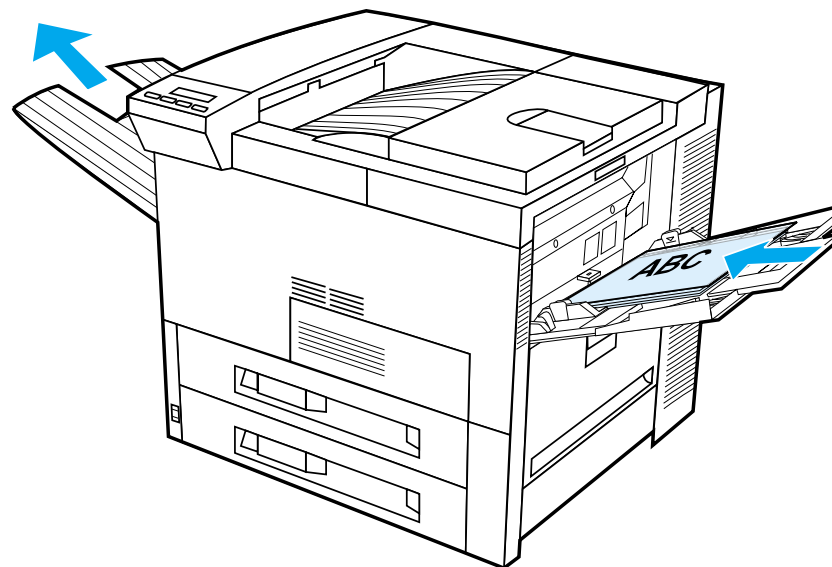
ラベル紙印刷時の注意

- ラベル紙は紙よりも重いため、トレイ 1 がいっぱいになるまでセットしないでください。
- 台紙からはがれている、しわが入っている、または破れているラベル紙を使用しないでください。
- 台紙が露出していないラベル紙を使用してください (ラベルを 1 枚も使っていないシートを使ってください)。
- ラベル紙のシートをプリンタに複数回通さないでください。ラベル紙の粘着剤はプリンタを 1 回通過することを前提としています。
- ラベル紙の両面に印刷しないでください。
- ラベル紙を、フェースアップビン以外の排紙装置に排紙しないでください。

OHP フィルムの印刷

HP LaserJet プリンタで使用する OHP フィルム は、プリンタの定着処理の温度、200° C (392° F) に耐えられなければなりません。

レーザー プリンタでの使用に推奨されている OHP フィルムのみを使用します。OHP フィルムは互いにくっつきやすいため、必ず排紙ビンから OHP フィルムを取り出してから、次のフィルムに印刷します。

OHP フィルムに印刷するときは、フェースアップビンを使用します。

次のページに続く。

注意 ラベル紙、OHP フィルム、封筒、カスタム用紙、または重量が 105 g/m^2 (28 ポンド）以上の用紙には、両面印刷しないでください。プリンタの故障や紙詰まりの原因になる可能性があります。

トレイ 1 でのカスタムサイズ用紙

トレイ 1 からカスタムサイズ用紙に印刷できます。用紙の仕様については、405 ページを参照してください。

最小サイズの用紙の印刷

用紙サイズの設定にプリンタドライバを使用する場合は、**[カスタム]** ボタンで、[用紙] タブを選択して用紙サイズを設定します。

1. 使用中のアプリケーション ソフトウェアで用紙ソースとして [トレイ 1] を選択します。次に、プリンタドライバ内でカスタムサイズ用紙に割り当てた用紙サイズの名前または [カスタム] を選択します。

用紙ソース掲 トレイ 1

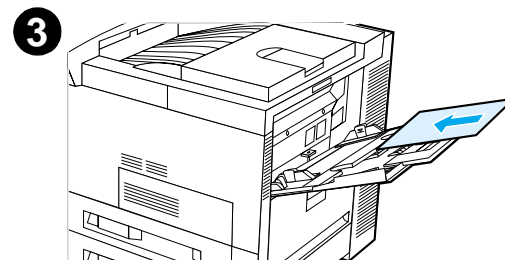
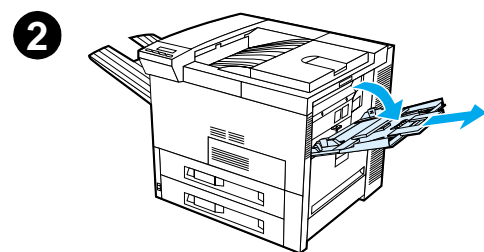
用紙サイズ掲 カスタム

次のページに続く。

2 トレイ 1　からカスタム-サイズ用紙に印刷します。86 ページの“トレイ 1 のセット”を参照してください。

3 プリンタ内のローラによって用紙が取り込まれるには、プリンタに給紙される用紙の端は 98 mm (3.9 インチ)以上でなければなりません。用紙の端から端までの長さは 190 mm (7.5 インチ）以上でなければなりません。

注記

用紙の仕様については、405 ページを参照してください。

はみ出しイメージの印刷

プリンタでは 297 x 450 mm（11.7x17.7 インチ）までのサイズの特別紙に印刷できるため、279 x 432 mm（11x17 インチ）までのサイズのはみ出しイメージをクロップマーク付きで印刷できます。アプリケーション ソフトウェアまたはオンラインヘルプを参照してください。

カード、カスタムサイズ用紙、厚紙の印刷

カスタム-サイズ用紙はトレイ 1 から印刷できます。用紙仕様については、403 ページの「用紙仕様」を参照してください。

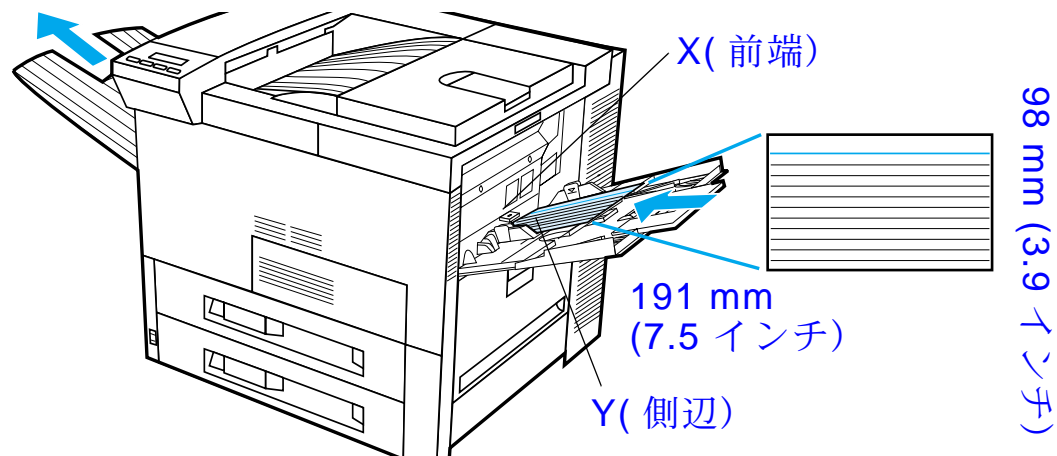
注記 プリンタのコントロールパネルは一度に 1 つのカスタムサイズに設定できます。複数のカスタムサイズ用紙をプリンタにセットしないでください。

カスタム-サイズ用紙の印刷ガイドライン

- 幅 98 mm (3.9 インチ) 未満または長さ 191 mm (7.5 インチ) 未満の用紙に印刷することはできません。
- カスタムサイズ用紙の両面印刷は、オプションの両面印刷アクセサリではサポートされていません。

カスタム用紙のサイズ設定

カスタム用紙をセットするときは、アプリケーション ソフトウェア (推奨する方法)、プリンタドライバ、またはプリンタのコントロールパネルでサイズを指定する必要があります。カスタムサイズ用紙について定義したサイズ設定は、プリンタに取り付けられたすべてのカスタム用紙トレイに適用されます。

注記 カスタムサイズ用紙はプリンタ内で 1 度だけ認識されます。プリンタドライバおよびアプリケーション ソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます (アプリケーション ソフトウェアの設定はプリンタドライバの設定よりも優先されます)。

ソフトウェアから設定できない場合は、コントロールパネルを使ってカスタム用紙サイズを設定します。

1 インサツ メニューで、カスタム ヨウシ ヲ セッテイ = ハイを設定します。

2 インサツ メニューから、設定する単位としてミリメートル (mm) またはインチを選択します。

次のページに続く。

3 インサツ メニューで、上図のように X 寸法 (用紙の前端) を設定します。トレイ 1 では、X は 98 ～ 297 mm (3.9 ～ 11.7 インチ) です。上図のように Y 寸法 (用紙の側端) を設定します。トレイ 1 では、Y は 191 ～ 450 mm (7.5 ～ 17.7 インチ) です。

4 トレイ 1 にカスタム用紙をセットし、トレイ 1 モード=カセットを設定する場合は、プリンタのコントロールパネルのヨウシ トリアツカイ メニューでトレイ 1 サイズ=カスタムと設定します。153 ページの " トレイ 1 のカスタマイズ操作 " を参照してください。

5. ソフトウェアからは、ドライバ内でカスタムサイズ用紙に割り当てた用紙サイズの名前または **[カスタム]** を選択します。

たとえば、カスタムサイズ用紙が 203x254 mm (8x10 インチ) の場合は、X = 203 mm および Y = 254 mm (X = 8 インチ および Y = 10 インチ) と設定します。

3 高度な印刷作業

概要

この章では、プリンタの機能を最大限に活用するために役立つ情報について説明します。

次のページに続く。

プリンタドライバの機能の使用

アプリケーション ソフトウェアから印刷するときに、プリンタの機能の多くはプリンタドライバを通して使用できます。Windows のプリンタドライバにアクセスする方法については、72 ページを参照してください。

注記 プリンタドライバおよびアプリケーション ソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます (アプリケーション ソフトウェアの設定はプリンタドライバの設定よりも優先されます)。

プリンタの丁合い

プリンタ丁合い機能を使用すると、複数のオリジナル印刷が行うことができ (モピー)、次の利点があります。

- ネットワークのトラフィックを削減できる
- アプリケーションへすばやく戻れる
- すべての文書がオリジナルである

次のページに続く。

RIP ONCE

RIP ONCE 機能を使うと、印刷ジョブをプリンタで一度に処理できます。印刷ジョブは、一度フォーマットすると、複数回、印刷できます。一時中断して印刷ジョブを再度、処理する必要はありません。この機能は通常アクティブになっています。

プリンタ設定情報の保存

プリンタドライバでは、頻繁に使用するプリンタ設定をデフォルト設定として保存できます。たとえば、レターサイズ、縦向き、トレイの自動選択 (使用できる最初のトレイから) で印刷されるようにドライバを設定できます。

Windows のプリンタドライバでは、複数のジョブのプリンタ設定を保存できます。保存されている設定を簡易設定と呼びます。たとえば、封筒用の簡易設定や、文書の最初のページをレターヘッドに印刷する簡易設定を作成できます。

新しいプリンタドライバの機能

Windows のプリンタドライバで、**[簡易設定]**、**[用紙に合わせて調節]** (任意の用紙サイズから任意の用紙サイズ) 、**[綴じ込み印刷]** の各オプションを検索します。詳細は、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

次のページに続く。

透かし模様を使った印刷

透かし模様とは、「極秘」など、文書の各ページのバックグランドに印刷される注意書きです。使用できるオプションについては、ドライバを確認してください。

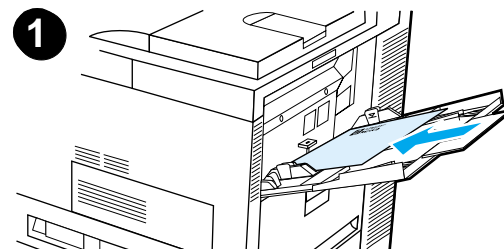
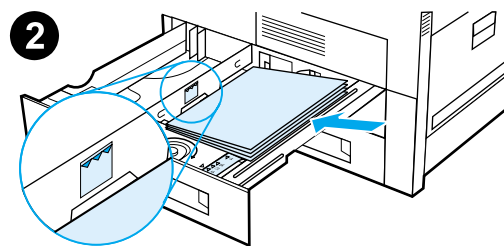
Macintosh の場合は、**[カスタム]** を選択すると、使用するドライバのバージョンに従って選択するテキストを指定することができます。

注記 Macintosh 用の Watermarks は、伝統的な中国語、簡体字中国語、韓国語、日本語、チェコ語、ロシア語、およびトルコ語では使用できません。

最初のページに別の用紙を使用

1. Windows の場合、プリンタドライバの用紙タブから [最初のページには別の用紙を使用] を選択します。最初のページにはトレイ 1 (または手差し) を選択し、残りのページには他のトレイを選択します。トレイ 1 に最初のページの用紙をセットします (手差しの場合は、プリンタにジョブが送られ、プリンタで用紙が要求されてから、トレイ 1 に用紙をセットします)。用紙は、印刷面を上にして、用紙の上部がプリンタの後部を向き、ロングエッジがプリンタに垂直になるようにセットします。

   Macintosh の場合は [印刷] ダイアログボックスから、[First from] および [Remaining from] を選択します。

注記
選択場所と選択方法は、アプリケーション ソフトウェアまたは関連するプリンタドライバによって異なります (一部のオプションは、プリンタドライバのみで選択できます)。

2 別のトレイに文書の残りのページの用紙をセットします。用紙のタイプ別に最初のページと残りのページを選択できます。詳細は、156 ページの “用紙のタイプとサイズ別の印刷 ” を参照してください。

最後のページに白紙を使用

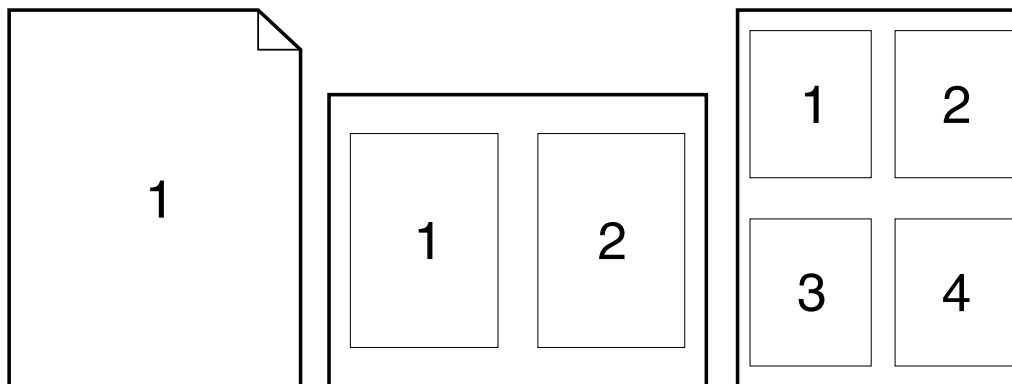
このオプションを使用すると、プリントジョブの最後に白紙のページを追加することができます。

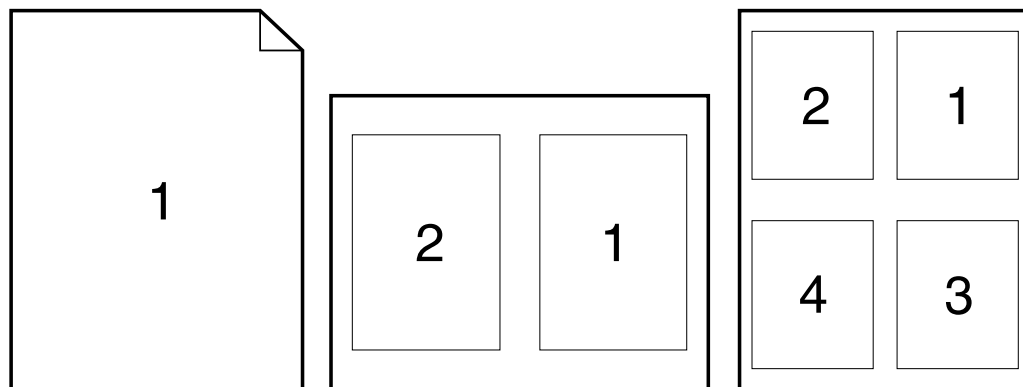
Windows の場合は、プリンタドライバの **[用紙]** タブで **[最初のページには別の用紙を使用]** を選択してから、**[後ろのページ]** を選択します。後ろのページに使用する用紙のソースを選択するか、または **[後ろのページを追加しない]** を選択して、この機能をオフにすることができます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。この機能は、一部のプリンタドライバで使用できます。ドラフト段階の文書の印刷コストを節約できる便利な機能です。

1 枚の用紙に複数のページを印刷するには、プリンタドライバで [レイアウト] オプションまたは [1 枚に印刷するページ数] オプションを探します (この印刷方法は、2 アップ、4 アップ、または n アップの印刷と呼ばれます)。

左から右へ印刷

最後のページに白紙を使用

右から左へ印刷

最後のページに白紙を使用

トレイ 1 のカスタマイズ操作

個々の印刷ニーズに合わせてトレイ 1 をカスタマイズできます。

プリンタは、トレイ 1 に用紙がセットされているときはいつでも、トレイ 1 から印刷するように設定できます。また、トレイ 1 にセットされている用紙が特に要求された場合は、トレイ 1 のみから印刷するように設定できます。プリンタのコントロールパネルのヨウシ トリアツカイ メニューで、トレイ 1 モード＝サイショまたはトレイ 1 モード＝カセットを設定します (トレイ 1 モード＝サイショの場合は、トレイ 1 モード＝カセットの場合よりも、トレイ 1 からの印刷速度が少し遅い可能性があります)。

トレイ 1 モード = サイショ

トレイ 1 に用紙が常にセットされていない場合、または手差し印刷のときにだけトレイ 1 を使う場合は、ヨウシ トリアツカイ メニューのトレイ 1 モード＝サイショ (デフォルト設定) をそのまま使います。

- トレイ 1 モード＝サイショとは、トレイ 1 が空であったり閉まっていたりしない限り、トレイ 1 の用紙が使用されることを意味します。
- ただし、プリンタドライバまたはアプリケーション ソフトウェアで別のトレイを指定して、他のトレイの用紙を選択することもできます。

トレイ 1 モード = カセット

トレイ 1 モード＝カセットとは、トレイ 1 が内部トレイと同じように扱われることを意味します。プリンタでは、最初にトレイ 1 の用紙を探す代わりに、一番下のトレイから上に向かって順番に用紙が使われるか、ソフトウェアで指定された用紙タイプやサイズに一致するトレイの用紙が使われます。

- トレイ 1 モード＝カセットを設定すると、ヨウシ トリアツカイ メニューにトレイ 1 の**サイズ**と**タイプ**を設定するオプションが表示されます。
- プリンタドライバまたはアプリケーション ソフトウェアで、用紙のタイプ、サイズ、またはソースで、任意のトレイ (トレイ 1 を含む) の用紙を選択できます。用紙のタイプとサイズ別の印刷方法については、156 ページを参照してください。

トレイ 1 からの手差し

手差し機能を使うと、封筒やレターヘッドなどの特殊用紙をトレイ 1 から印刷できます。手差しを選択した場合はトレイ 1 からしか印刷できません。

ソフトウェアまたはプリンタドライバから [手差し] を選択します。プリンタのコントロールパネルのヨウシ トリアツカイ メニューから [手差し] をオンにすることも可能です。

注記 [手差し] が選択されているとき、トレイ 1 モード＝サイショの場合は、印刷が自動的に開始します (トレイに用紙がある場合)。トレイ 1 モード＝カセットの場合は、トレイ 1 に用紙があるかないかにかかわらず、トレイ 1 への用紙のセットを要求するメッセージが表示されます。このため、必要に応じて、別の用紙をセットできます。[Go] を押して、トレイ 1 から印刷を開始します。

用紙のタイプとサイズ別の印刷

プリンタは、**ソース** (用紙トレイ) ではなく、**タイプ** (普通紙、レターヘッドなど) と**サイズ** (レター、A4 など) 別で用紙を選択するように設定できます。

タイプとサイズ別による印刷の利点

数種類の用紙を頻繁に使用する場合は、いったんトレイを正しくセットアップしたら、印刷のたびに各トレイにセットされている用紙のタイプを確認する必要はありません。プリンタが共有されており、複数の人が用紙をセットしたり、取り出したりしている場合にこれは特に便利です。

タイプとサイズ別による印刷では、印刷ジョブが確実に正しい用紙に印刷されます (一部のプリンタには、間違った用紙に印刷されないように、トレイを「閉鎖」する機能が付いています。用紙のタイプとサイズ別による印刷では、トレイを閉鎖する必要はありません)。

次のページに続く。

タイプとサイズ別に印刷するには：

1 トレイの調整と用紙のセットが正しく行われているかどうかを確認します (86 ページ以降の、用紙のセット方法を説明した節を参照してください)。

2 プリンタのコントロールパネルのヨウシ トリアツカイ メニューで各トレイの用紙タイプを選択します。セットする用紙の**タイプ** (ボンド紙や再生紙など) が不明な場合は、用紙パッケージのラベルを確認します。使用可能なタイプについては、411 ページを参照してください。

3 コントロールパネルで用紙サイズを選択します。

- **トレイ 1:** ヨウシ トリアツカイ メニューでトレイ 1 モード＝カセットが設定されている場合は、用紙サイズもヨウシ トリアツカイ メニューで設定します。カスタム用紙がセットされている場合は、インサツ メニューで、カスタム用紙のサイズをトレイ 1 にセットされた用紙に設定します。カスタムサイズ用紙に印刷する方法については、138 ページを参照してください。
- **その他のトレイ**：用紙サイズ設定は、用紙がプリンタに正しくセットされたときに調整されます (86 ページ以降の、用紙のセット方法を説明した節を参照してください)。

4 ソフトウェアまたはプリンタドライバから、用紙のタイプとサイズを選択します。

次のページに続く。

注記 ネットワークプリンタの場合は、HP Web JetAdmin を使ってタイプとサイズを設定できます。プリンタソフトウェアのヘルプを参照してください。

タイプとサイズによる印刷を行うには、トレイ 1 の用紙を取り出すか、トレイ 1 を閉じるか、プリンタのコントロールパネルのヨウシ トリアツカイ メニューでトレイ 1 モード＝カセットを設定する必要がある場合があります。詳細は、439 ページを参照してください。

プリンタドライバおよびアプリケーション ソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます (アプリケーション ソフトウェアの設定はプリンタドライバの設定よりも優先されます)。

フューザ調節モードの変更

フューザ調節モードでは、特定タイプの用紙について、フューザ温度と印字速度を指定できます。このモードを変更することにより、405 ページに示す仕様を公式的に満たしているいるものの、印刷に問題のある用紙（重量が重い、軽い、または表面が粗いなど）について、印字品質を高めることができます。

フューザ調節モードは、用紙のタイプに関連付けられています。フューザ調節モードのうちのどれか 1 つのモードを使用するには、印刷ジョブについてプリンタドライバ内で指定する用紙のタイプは、次のいずれかである必要があります。

- 普通紙
- 印刷済み用紙
- レターヘッド
- OHP フィルム
- 穴あき用紙
- ラベル紙
- ボンド紙
- 再生紙
- カラー
- カードストック
- 粗め

次のページに続く。

フューザ調節モードは、これらの用紙の各タイプに合わせてコントロールパネルから変更できます。フューザ調節モードの一覧を次に示します。

フューザ調節モード	レターサイズおよび **A4** サイズ用紙のフューザ温度および印字速度
ヒョウジュン	標準のフューザ温度、32 ppm
ヒクイ	標準より低いフューザ温度、32 ppm
タカイ 1	標準より高いフューザ温度、32 ppm
タカイ 2	さらに高いフューザ温度、24 ppm
タカイ 3	さらに高いフューザ温度、16 ppm

次のページに続く。

大部分の用紙タイプについて、ヒョウジュンがデフォルトで設定されます。例外を次に示します。

- OHP フィルム = ヒクイ
- ラベル紙 = タカイ 1
- カードストック = タカイ 2
- 粗め = タカイ 1

コントロールパネルから用紙タイプごとにフューザ調節モードを変更するには：

1 ヨウシ トリアツカイ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 フューザ モード メニュー ノ セッテイ = イイエが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

3 ハイが表示されるまで、[- 値 +] を押します。

4 [選択] を押してオプションを選択します。

5 希望の用紙タイプが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

6 希望のフューザ調節モードが表示されるまで、[- 値 +] を繰り返し押します。

次のページに続く。

7 [選択] を押してフューザ調節モードを選択します。

8 [Go] を押してメニューを終了します。

注意 フューザ調節モードをタカイ 1、タカイ 2、またはタカイ 3 に変更した場合は、そのジョブの印刷が終わったら必ずヒョウジュン設定に戻すようにしてください。

カスタムサイズ用紙のセット

カスタムサイズ用紙はトレイ 1 にセットでき、オプションのカスタムサイズ用紙トレイのアクセサリを使用すれば、トレイ 3 およびトレイ 5 にもセットできます。ただし、コントロールパネルで定義できるカスタムサイズ用紙は 1 種類だけです。つまり、カスタムサイズ用紙トレイは複数の中から選択できますが、それらのトレイについて、トレイと同じサイズの用紙を入れる必要があります。

カスタムサイズ用紙をトレイ 1 にセットした場合、標準よりも遅い速度で印刷が行われます。これは、プリンタがサポートする最大サイズの用紙を基準にして給紙されるためです。カスタムサイズ用紙をトレイ 3 またはトレイ 5 にセットした場合、標準速度で印刷が行われます。これは、コントロールパネルで定義された用紙サイズを基準にして給紙されるためです。

カスタムサイズ用紙トレイを取り付けてある場合、カスタムサイズ用紙の両面印刷はできません。

1 カスタムサイズ用紙をトレイ 1、3、または 5 にセットします。詳しい操作方法については、86 ページの「トレイ 1 のセット」および 90 ページの「トレイ 2、3 およびオプションの 2 x 500 枚給紙トレイのセット (トレイ 4 および 5)」を参照してください。

2 コントロールパネルで、インサツ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

次のページに続く。

3 カスタム ヨウシ ヲ セッテイ = イイエが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

4 ハイ が表示されるまで、**[- 値 +]** を押します。

5 **[選択]** を押して選択内容を保存します。

6 測定の単位を選択するには：

a タンイが表示されるまで、**[項目]** を押します。

b 希望の測定単位が表示されるまで、**[- 値 +]** を繰り返し押します。

c [選択] を押して選択内容を保存します。

7 X 寸法を選択するには（X 寸法については、140 ページを参照）：

a X スンポウが表示されるまで、**[項目]** を繰り返し押します。

b 希望のサイズが表示されるまで、**[- 値 +]** を繰り返し押します。

c [選択] を押して選択内容を保存します。

次のページに続く。

8 Y 寸法を選択するには（Y 寸法については、140 ページを参照）：

a Y スンポウが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

b 希望のサイズが表示されるまで、[- 値 +] を繰り返し押します。

c [選択] を押して選択内容を保存します。

9 [Go] を押してメニューを終了します。

ジョブ保留

ジョブ保留機能には、クイックコピー、試し刷り後の保留ジョブ、個人用ジョブ、および保存ジョブの 4 つがあります。これらの機能はすべてインストールしたハードディスクで使用することができます。また、試し刷り後保留のジョブおよび個人用ジョブは、ハードディスクがインストールされていなくても可能です。各機能の詳細は、後続のページを参照してください。

それぞれの機能にアクセスするには、まず、次の手順に従い、使用する機能について説明するセクションに進んでください。

Windows の場合のみ

1 アプリケーションの **[メニュー]** から **[印刷]** を選択します。

2 **[プロパティ]** をクリックして **[プロパティ]** ダイアログボックスを表示します。

3 ジョブの排紙先オプションを表示するには、**[排紙先]** タブをクリックします。

4 **[排紙機能]** から **[オプション]** をクリックして、ジョブの保留オプションを表示します。

Macintosh の場合のみ

新しいドライバの場合は、**[印刷]** ダイアログボックスのプルダウンメニューから **[ジョブの保留]** を選択します。以前のドライバ用に **[プリンタ固有のオプション]** を選択します。

ジョブのクイックコピー

クイックコピー機能を使用することにより、ジョブを指定部数分印刷し、ジョブのコピーをプリンタのハードディスクに保存できます。追加部数を後で印刷することもできます。保存可能なクイックコピーによるジョブの数を指定する方法については、467 ページで説明する「クイックコピー ノ ジョブ」コントロールパネル項目を参照してください。

クイックコピージョブの追加印刷

プリンタのハードディスクに保存されているジョブの追加部数をコントロールパネルから印刷するには：

1 コジンヨウ / ホゾン ジョブ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 自分のユーザー名が表示されるまで、[項目] を押します。

3 希望のジョブ名が表示されるまで、[値] を押します。

4 [選択] を押してジョブを選択します。マイスウ = x が表示されます。

5 希望の印刷部数が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

6 [選択] を押してジョブを印刷します。

保存されているクイックコピージョブの削除

クイックコピージョブをプリンタに送ると、同じ名前を持つ以前のジョブは、プリンタによって上書きされます。同じジョブ名を持つクイック コピージョブが保存されておらず、プリンタの記憶領域が不足している場合は、保存されている他のクイックコピージョブが古い順に削除される場合があります。保存できるクイックコピージョブのデフォルト数は 32 です。保存できるクイックコピージョブの数は、コントロールパネルから設定できます （459 ページ参照）。

注記 プリンタの電源をいったんオフにして再度オンにすると、クイックコピー、試し刷り後保留のジョブ、および個人用ジョブのすべてが削除されます。

すでに保存されているクイックコピージョブは、コントロールパネルまたは HP Web JetAdmin から削除することもできます。

1 コジンヨウ / ホゾン ジョブ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 自分のユーザー名が表示されるまで、[項目] を押します。

3 希望のジョブ名が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

4 [選択] を押してジョブを選択します。マイスウ = 1 が表示されます。

次のページに続く。

5 サクジョが表示されるまで、[- 値 +] を押します。

6 [選択] を押してジョブを削除します。

ジョブの試し刷り後に保留

ジョブの試し刷り後保留機能を使用すると、素早く簡単に、ジョブを一部だけ試し刷り後、確認してから、追加の部数を印刷することができます。ジョブは、追加の部数を印刷するまで、プリンタのハードディスクまたはメモリで保留されます。追加部数が印刷されると、試し刷り後保留のジョブはプリンタから削除されます。

注記 また、プリンタにハードディスクがない場合でも、プリンタの RAM の空きメモリを使用すると、ジョブの試し刷り後保留機能を使用することができます。この機能を十分に活用するには、ハードディスクを追加することをお勧めします。

ジョブを永久に保存し、他のジョブによって記憶領域が必要になった場合でもそのジョブが削除されないようにするには、プリンタドライバで [ホゾンジョブ] オプションを選択します。

保留されているジョブの残り部数の印刷

プリンタのハードディスクで保留になったジョブの残り部数は、コントロールパネルから印刷できます。

1 コジンヨウ / ホゾン ジョブ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 自分のユーザー名が表示されるまで、[項目] を押します。

3 希望のジョブ名が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

4 [選択] を押してジョブを選択します。マイスウ = x が表示されます。

5 希望の印刷部数が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

6 [選択] を押してジョブを印刷します。

保留されているジョブの削除

ユーザーが試し刷り後保留のジョブを送ると、同じ名前を持つ以前のジョブはすべて、プリンタによって上書きされます。

注記 プリンタの電源をいったんオフにして再度オンにすると、クイックコピー、試し刷り後保留のジョブ、および個人用ジョブのすべてが削除されます。

すでに保存されている試し刷り後保留のジョブは、コントロールパネルから削除することもできます。

1. コジンヨウ / ホゾン ジョブ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。
2. 自分のユーザー名が表示されるまで、[項目] を押します。
3. 希望のジョブ名が表示されるまで、[- 値 +] を押します。
4. [選択] を押してジョブを選択します。マイスウ = x が表示されます。
5. サクジョが表示されるまで、[- 値 +] を押します。
6. [選択] を押してジョブを削除します。

個人用ジョブの印刷

個人用ジョブ印刷機能を使用することにより、プリンタのコントロールパネルから 4 桁の PIN 番号を使ってジョブを発行するまで、ジョブが印刷されないように指定できます。PIN 番号の指定はプリンタドライバで行われ、指定された番号は印刷ジョブの一部としてプリンタに送られます。

注記 また、プリンタにハードディスクがない場合でも、プリンタの空き RAM メモリを使用すると、個人用ジョブ印刷機能を使用することができます。この機能を十分に活用するには、ハードディスクを追加することをお勧めします。

個人用ジョブの指定

個人用ジョブをプリンタドライバで指定するには、[コジンヨウ ジョブ] オプションを選択し、4 桁の PIN 番号を入力します。

個人用ジョブの発行

個人用ジョブはコントロールパネルから印刷できます。

1 コジンヨウ / ホゾン ジョブ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 自分のユーザー名が表示されるまで、[項目] を押します。

3 希望のジョブ名が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

4 [選択] を押します。PIN:0000 が表示されます。

5 [- 値 +] を押して PIN の最初の数字を変更し、[選択] を押します。数字部分にアスタリスク (*) が表示されます。この手順を繰り返して、残りの 3 つの数字も変更します。マイスウ = 1 が表示されます。

6 希望の印刷部数が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

7 [選択] を押してジョブを印刷します。

個人用ジョブの削除

ユーザーが個人用ジョブを送ると、同じ名前を持つ以前のジョブはすべて、プリンタによって上書きされます。個人用ジョブは、印刷が開始されると、プリンタのハードディスクまたはメモリから自動的に削除されます。

注記 プリンタの電源をいったんオフにして再度オンにすると、クイックコピー、試し刷り後保留のジョブ、および個人用ジョブのすべてが削除されます。

個人用ジョブは印刷前でも、プリンタのコントロールパネルから削除できます。

1 コジンヨウ / ホゾン ジョブ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 自分のユーザー名が表示されるまで、[項目] を押します。

3 希望のジョブ名が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

4 [選択] を押します。PIN:0000 が表示されます。

5 [- 値 +] を押して PIN の最初の数字を変更し、[選択] を押します。数字部分にアスタリスク (*) が表示されます。この手順を繰り返して、残りの 3 つの数字も変更します。マイスウ = 1 が表示されます。

次のページに続く。

6 サクジョが表示されるまで、[- 値 +] を押します。

7 [選択] を押してジョブを削除します。

印刷ジョブの保存

印刷ジョブは、印刷しなくても、プリンタのハードディスクにダウンロードできます。ダウンロードしたジョブは、プリンタのコントロールパネルからいつでも印刷できます。たとえば、他のユーザーがアクセスして印刷できるような、総務関連の用紙、カレンダー、タイムカード、または経理関連の用紙などをダウンロードする場合があります。

印刷ジョブをハードディスクに永久に保存するには、ジョブの印刷時に、プリンタドライバで [ホゾンジョブ] オプションを選択します。

保存されているジョブを個人用ジョブとして指定

ドライバに保存されているジョブを個人用ジョブとして指定するには、[ジョブの保存] オプションで [印刷] オプションに必要な PIN を選択して、4 桁の PIN を入力します。

保存されているジョブの印刷

プリンタのハードディスクに保存されている印刷ジョブは、コントロールパネルから印刷できます。

1 コジンヨウ / ホゾン ジョブ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 自分のユーザー名が表示されるまで、[項目] を押します。

3 希望のジョブ名が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

4 (個人用ジョブを印刷する場合のみ、この手順に従ってください。) [選択] を押してジョブを選択します。PIN:0000 が表示されます。

5 (個人用ジョブを印刷する場合のみ、この手順に従ってください。) [- 値 +] を押して PIN の最初の数字を変更し、[選択] を押します。数字部分にアスタリスク (*) が表示されます。この手順を繰り返して、PIN の残りの 3 つの数字も変更します。マイスウ= 1 が表示されます。

6 希望の印刷部数が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

7 [選択] を押してジョブを印刷します。

保存されているジョブの削除

保存されているジョブを送ると、同じ名前を持つ以前のジョブはすべて、プリンタによって上書きされます。プリンタのハードディスクに保存されているジョブは、コントロールパネルから削除できます。

1 コジンヨウ / ホゾン ジョブ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 自分のユーザー名が表示されるまで、[項目] を押します。

3 希望のジョブ名が表示されるまで、[- 値 +] を押します。

4 (個人用ジョブを削除する場合のみ、この手順に従ってください。) [選択] を押してジョブを選択します。PIN:0000 が表示されます。

5 (個人用ジョブを削除する場合のみ、この手順に従ってください。) [- 値 +] を押して PIN の最初の数字を変更し、[選択] を押します。数字部分にアスタリスク (*) が表示されます。この手順を繰り返して、PIN の残りの 3 つの数字も変更します。マイスウ= 1 が表示されます。

6 サクジョが表示されるまで、[- 値 +] を押します。

7 [選択] を押してジョブを削除します。

オプションの HP Fast InfraRed Connect による印刷

HP Fast InfraRed Connect を使用することにより、ラップトップコンピュータなど、IRDA に準拠した任意のポータブルデバイスからプリンタへワイヤレス印刷が可能になります。

印刷接続は、送信側の赤外線（FIR）ポートを動作範囲内に設置することによって維持されます。作業者の手、用紙、直射日光、またはどちらか一方の FIR ポートに差し込んでいる明るい光などによって、接続が遮断される場合があることに注意してください。

注記 詳細については、HP Fast InfraRed Connect のユーザーズガイドを参照してください。

Windows 3.1x による印刷の設定

注記 Windows 3.1 で印刷するときは、[コントロール パネル] ウィンドウの [プリンタ] アイコンに移動します。次に、[プリント マネージャを使う] がオンで、[Fast Printing Direct to Port] がオフになっていることを確認します。

1 プリンタがインジ カノウ モードになっていることを確認します。

2 **[プログラム マネージャ]** ウィンドウの **[メイン]** グループを選択し、**[コントロール パネル]** を選択します。

3 **[プリンタ]** ウィンドウで、適切なプリンタが選択されていることを確認します。適切なプリンタが選択されていない場合は、**[選択]** をクリックして、プリンタを選択します。

4 **[接続]** をクリックし、ポータブルコンピュータの FIR ポートと同じ COM ポート設定を選択します。

5 印刷するファイルを選択します。

Windows 9x による印刷の設定

InfraRed Driver を起動する前に、以下の手順を完了します。

1 **[プリンタ]** パネルから、デフォルトのプリンタとして、そのプリンタのモデル番号を選択します。

2 **[プリンタ]** パネルから **[プロパティ]/[詳細]** に移動し、[Virtual Infrared LPT Port] が選択されていることを確認します。

3 印刷するファイルを選択します。

ジョブの印刷

1 ラップトップコンピュータ (または IRDA 準拠の FIR ウィンドウの装備された ポータブルデバイス) を、HP Fast InfraRed Connect の 1 メートル以内 (2 ～ 3 フィート) に配置します。印刷用に効果的な接続を確保するため、FIR ウィンドウは +/- 15 度の角度に設定します。次の図は、印刷に必要なデバイスの配置を示しています。

次のページに続く。

2 ジョブを印刷します。HP Fast InfraRed Connect のステータスインジケータが点灯し、次にプリンタのステータスパネルにジョブ ノ ショリチュウと表示されます。

ステータスインジケータが点灯しない場合は、HP Fast InfraRed Connect および送信デバイスの FIR ポートの配置を変えて印刷ジョブを再送し、その配置を維持します。用紙の追加作業などで機器を移動させる必要がある場合は、移動した後で、すべてのデバイスが接続を確保できる動作範囲に収まるよう元に戻します。

印刷ジョブが完了する前に接続が中断されると、HP Fast InfraRed Connect のステータスインジケータが消灯します。遮断から 40 秒以内であれば、接続を再確立してジョブの印刷を継続できます。40 秒以内に接続を再確立した場合、ステータスインジケータが再度点灯します。

注記 送信ポートを動作範囲外に移動した場合またはポート間の障害物によって送信が妨害された場合、接続は永久に遮断されます（障害物の例として、作業者の手、用紙、直射日光などが考えられます）。HP Fast InfraRed Connect を使った印刷は、ジョブのサイズによって、パラレルポートに直接ケーブルを接続して行う印刷よりも、時間のかかる場合があります。

印刷の中断と再開

ジョブの中断と再開の機能を使用することにより、印刷中のジョブを一時中断して、別のジョブを印刷できます。別のジョブの印刷が終わったら、中断したジョブの印刷を再開できます。

ジョブの中断が行えるのは、複数のコピーを丁合い印刷しているときに、プリンタの赤外線（FIR）ポートに接続してプリンタにジョブを送る場合に限られます。あるコピーの最後のページに達すると、プリンタは現在のジョブの印刷を自動的に停止します。次にプリンタは、FIR 接続によって送られたジョブを印刷します。そのジョブの印刷が終わると、複数のコピーが残っている前の印刷を、最後に停止した箇所から再開します。

端から端までの印刷

この機能を使用すると、ページのすべての端から約 2 ㎜ 内を印刷可能にすることができます。

内部トレイ修正ページを使うと、管理者は各トレイを修正することができます。修正ページは、各内部トレイと外部用紙ハンドリング装置の一番上のトレイから印刷できます。修正ページは封筒フィーダからは印刷できません。

端から端までの印刷モードは、プリンタドライバまたはコントロールパネルから設定します。一般的に、個別の印刷ジョブを印刷するときは、プリンタドライバを使用します。コントロールパネルから設定するときは、端から端までの印刷機能は、コントロールパネルまたは印刷ジョブから電源をオフにされるまで、端から端までの印刷モードに保存されます。

修正ページの印刷

1 希望する 1 つまたは複数のトレイに用紙がセットされ、プリンタにトレイが正しく挿入されていることを確認します。

2 ヨウシ トリアツカイ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

3 ハシカラハシマデ ノ セッテイ＝イイエが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

次のページに続く。

4 [値] を押して値をハイに変更します。

5 [選択] を押します。

6 インサツ テスト ページ トレイ＝ n が表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

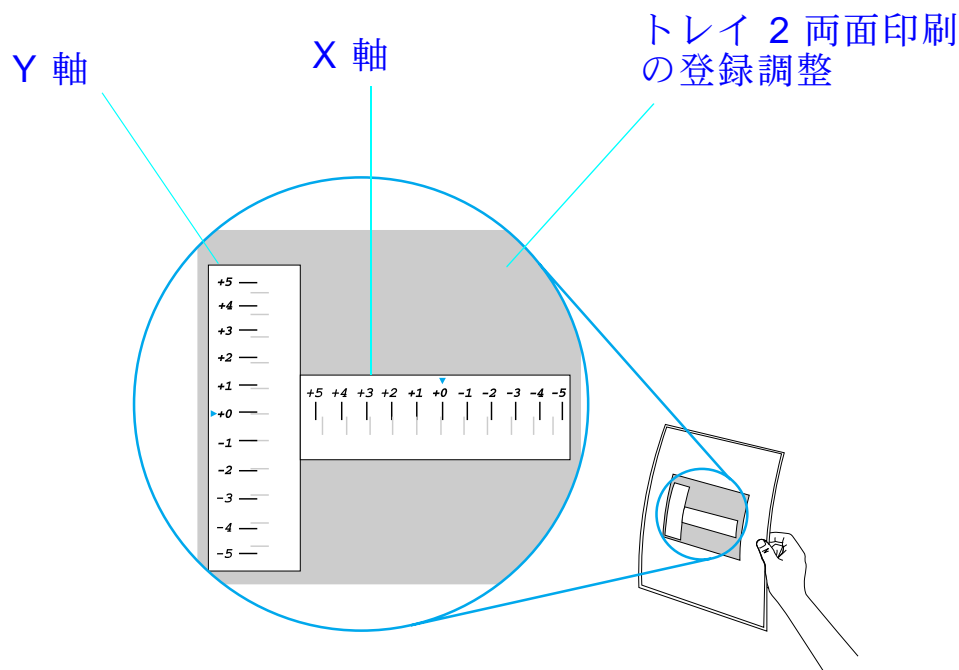
7 [値] を押して希望のトレイを選択します (すべて、1、2、3、または 4)。

8 [選択] を押して修正ページを印刷します。

9 修正ページの手順に従って修正プロセスを完了します。

注意 端から端まで印刷する機能を使用するときは、トナーカートリッジが交換されるたびにプリンタのクリーニングを行ってください。クリーニングの手順については、198 ページを参照してください。

両面印刷の登録

両面印刷の登録機能を使用すると、両面ページの表と裏に正確にイメージを合わせることができます。イメージの配置は各給紙トレイにより微妙に異なります。イメージを合わせる手順は、トレイごとに実行する必要があります。

1 プリンタのコントロールパネル画面にリョウメンインサツトウロク　メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

次のページに続く。

2 希望するトレイのインサツテスト ページが表示されるまで、[項目] を押します。

3 [選択] を押してそのページを印刷します。

4 印刷されたページを光に透かし、ページの表と裏の線が最も正確に合っている各軸の番号を選択します。

5 ステップ 1 を繰り返します。

6 トレイ n ＝ X が表示されるまで [項目] を押し、[- 値 +] を使用して、ステップ 4 でテストページから選択した番号を入力します。[選択] を押して、この値を保存します。

7 Y 軸について、ステップ 6 を繰り返します。

8 希望するトレイのインサツ テスト ページが表示されるまで、[項目] を押し、両面登録メニューを上下にスクロールします。

9 [選択] を押してページを印刷します。

10 ステップ 4 を繰り返してページの表と裏の線が正確に合わせられていることを確認します。

注記 ページの表と裏の線が正確に合っていない場合は、線が正確に合うまでステップ 4 ～ 9 を繰り返します。

4 プリンタの保守

概要

この章では、プリンタの基本的な保守のしかたについて説明します。

プリンタ保守キット

注記 プリンタ保守キットは消耗品であり、製品保証の対象ではありません。

最高の印字品質を保つために、350000 ページを印刷するたびに、プリンタの保守を求めるメッセージがプリンタに表示されます。プリンタ メンテナンス ガ ヒツヨウデスというメッセージがコントロールパネルに表示されたら、プリンタ保守キットを購入して新しいパーツを取り付ける必要があります。セッテイ メニューでサービスメッセージをオフにしてメッセージを消去します。ページをリセットするには、プリンタの電源を切り、[項目] キーと [- 値 +] キーを押したまま電源を入れます。コントロールパネルにメンテナンスマデノ ページスウ ヲ リセットと表示されるまで、キーを離さずに待ちます。

パーツのご注文方法については、40 ページを参照してください。

プリンタ保守キットのインストールの詳細は、付属のマニュアルを参照してください。

HP 以外のプリンタ保守キットに関する HP のポリシー

Hewlett-Packard 社では、新品でも再生品でも、HP 以外のプリンタ保守キットの使用はお勧めしません。HP 製品ではないため、HP ではその品質を管理できません。

プリンタ保守キットの詳細は、付属のマニュアルを参照してください。

トナーカートリッジの管理

HP 以外のトナーカートリッジに関する HP のポリシー

Hewlett-Packard 社では、新品でも再生品でも、HP 以外のトナーカートリッジの使用はお勧めしません。HP 製品ではないため、HP ではその品質を管理できません。Hewlett-Packard 社以外のトナーカートリッジを使用した結果必要とされるサービスまたは修理については、プリンタの保証書は適用されません。

新しい HP トナーカートリッジを設置し、使用済みカートリッジをリサイクルするには、トナーカートリッジの箱の指示に従ってください。また、同梱のリサイクルガイドも参照してください。

トナーカートリッジの保管

トナーカートリッジは、使用するときまでパッケージから出さないでください。

注意 トナーカートリッジへの損傷を防ぐため、数分以上トナーカートリッジに光を当てないでください。また、95° F (35° C) 以上または 32° F (0° C) 以下の室温では保管しないでください。

トナーカートリッジの寿命

トナーカートリッジの寿命は、印刷ジョブに必要なトナーの量によって異なります。1 ページ中の印刷量が 5% の場合は、HP のトナーカートリッジは平均 20000 ページに印刷できます (典型的なビジネス文書は 1 ページ中の印刷量が約 5% です)。この数値は、印刷濃度が 3 に設定され、エコノモードがオフであると仮定しています (デフォルト設定)。

トナーレベルの確認

トナーカートリッジ内のトナー残量を確認するには、プリンタ構成ページを印刷します （328 ページ参照)。プリンタ構成ページのトナー レベル セクションでは、カートリッジ内のトナー残量がグラフィカルに表示されます。

注記 トナー残量の少ないカートリッジを交換した後にコントロールパネルに表示される、アタラシイ トナーカートリッジ = イイエというメッセージに対してハイを選択しなかった場合、トナー残量を示す値が不正確になる場合があります。

HP TonerGauge のリセット

新しいトナーカートリッジをインストールしたら、HP TonerGauge をコントロールパネルからリセットする必要があります。トナーカートリッジを交換した後に上部カバーが閉じているときは、コントロールパネル上に、アタラシイ トナーカートリッジ = イイエというメッセージが約 30 秒間表示されます。HP TonerGauge をリセットするには、以下の操作を行います。

注記 アタラシイ トナーカートリッジ=イイエというメッセージがコントロールパネルから消えたら、セッテイ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。空のまたはトナー残量の少ないトナーカートリッジを交換するときは、アタラシイ トナーカートリッジ = イイエというメッセージが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

1 ハイが表示されるまで、[- 値 +] を押します。

2 [選択] を押して選択内容を保存します。

3 [Go] を押してメニューを終了します。

トナーが残り少ないときに印刷を継続

トナーの残量が少ないと、プリンタのコントロールパネルにトナーガ ノコリワズカデスというメッセージが表示されます。

トナーガ ノコリワズカデスというメッセージが表示されても、プリンタで印刷が継続される場合は、トナー シュウリョウがゾッコウに設定されています (デフォルト設定)。

トナーの残量が少ないことが検出されたときにプリンタが印刷を停止した場合は、トナー シュウリョウがテイシに設定されています。印刷を再開するには、[Go] を押します。

トナーカートリッジを交換するまで、プリンタにはトナーガ ノコリワズカデスと表示されます。

注記 空または残り少なくなったトナーカートリッジを交換した後は、xx ページの「HP TonerGauge のリセット」を参照してください。

コントロールパネルのセッテイ メニューでトナー ショウリョウ = ゾッコウまたはトナー ショウリョウ = テイシを選択します (459 ページ参照)。

トナーの拡散化

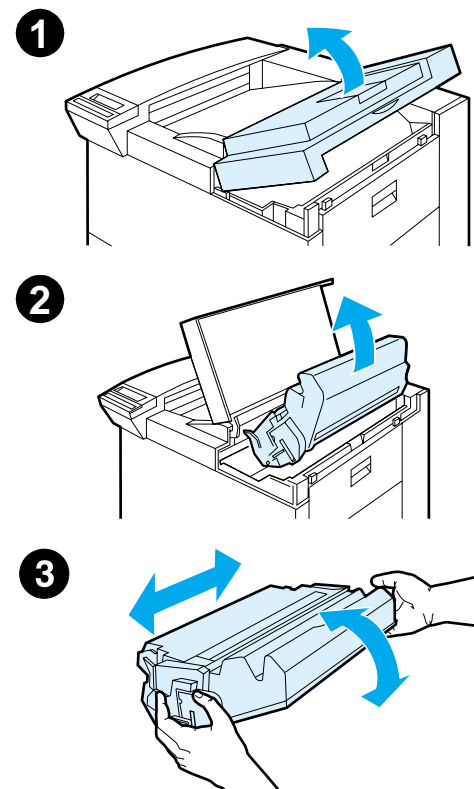
トナーの残量が少ないと、かすれた部分や薄い部分が印刷ページに現れます。トナーを拡散化することによって、印字品質を一時的に改善できる場合があります。次の手順を実行することにより、トナーカートリッジを交換する前に、実行中のジョブを終了できる場合があります。

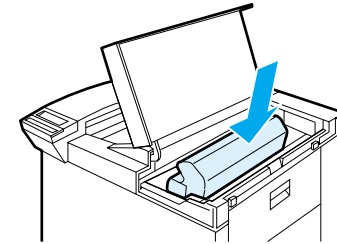
1 上部カバーを開けます。

2 プリンタからトナーカートリッジを取り出します。

3 トナーカートリッジを前後に回転しながら、左右に緩やかに振って、トナーを拡散します。

注記
トナーが衣服に付いた場合は、乾いた布で拭き取った後、冷水で洗濯してください (温水を使うと、トナーが染みになります)。

次のページに続く。

4 プリンタにトナーカートリッジを挿入し直して、上部カバーを閉じます。

それでも印刷が薄い場合は、新しいトナーカートリッジと交換します (新しいトナーカートリッジに付属のマニュアルの手順に従ってください)。

プリンタのクリーニング

印字品質を維持するため、次のような場合に、プリンタを入念にクリーニングします。

- トナーカートリッジを交換するとき
- 印字品質に問題があるとき

プリンタの外側は、水で軽く湿らせた布で拭きます。内側は、乾いた毛羽立ちのない布で拭きます。この後のページに示すクリーニング時の警告や注意をすべてお読みになり、その指示に従ってください。

注意 プリンタのクリーニングをするときは、定着処理エリアには触れないでください。高温になっている可能性があります。

トナーカートリッジを損傷しないように、プリンタ自体またはその周辺にアンモニア ベースの洗剤を使わないでください。

次のページに続く。

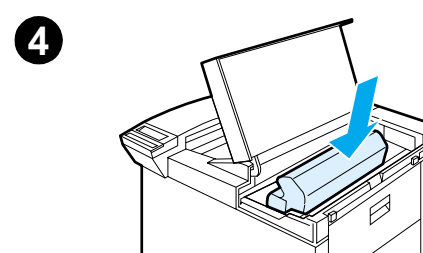
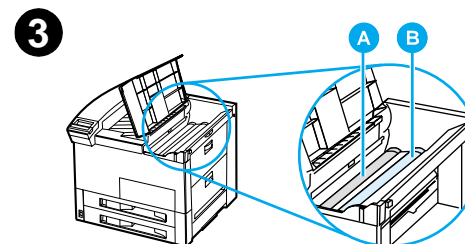
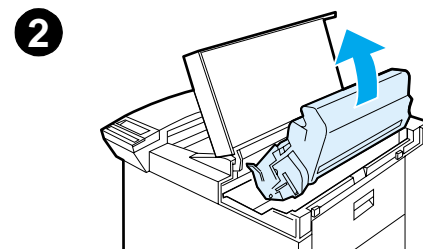
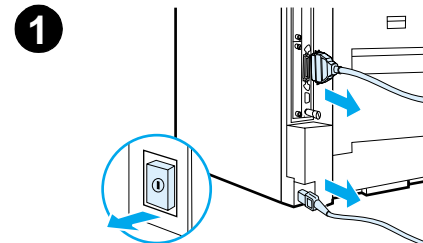
1 クリーニングを始める前に、プリンタの電源を切り、ケーブルをすべて抜きます。

2 プリンタの上部カバーを開き、トナーカートリッジを取り出します。

注意
転送ローラ (A) には触れないでください。皮脂がローラに付着すると印字品質が低下します。トナーが衣服に付いた場合は、乾いた布で拭き取った後、冷水で洗濯してください。温水を使うとトナーが染みになります。

---

3 乾いた毛羽立ちのない布で、用紙経路、登録ローラ (B)、トナーカートリッジの穴からの残留物を拭き取ります。

4 トナーカートリッジを戻し、上部カバーを閉じます。次に、ケーブルをすべて接続し、電源を入れます。

プリンタのクリーニングページを使用

印刷ジョブの表や裏にトナーの斑点が現れた場合は、次の指示に従います。

プリンタのコントロールパネルで、次の操作を行います

1 インジ ヒンシツ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 クリーニング ページ ノ サクセイが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

3 [選択] を押して、クリーニングページを作成します。

4 クリーニングページの指示に従い、クリーニング処理を完了します。

注記 クリーニングページが正しく機能するには、コピー用紙と同程度の品質の用紙 (ボンド紙や粗い紙は不可) にクリーニングページを印刷します。

トナーがプリンタの内側からクリーニングされると、光沢のある黒い点がクリーニングページの黒い紙片に現れます。黒い紙片上に白い点が印刷される場合は、クリーニングページをもう一枚印刷します。

特定の用紙タイプの印字品質を高い水準で維持するには、トナーカートリッジを交換するたびにクリーニングページを使用します。クリーニングページが頻繁に必要な場合は、別の用紙タイプを試します。

5 問題解決法

概要

この章では、プリンタの問題の解決方法を示します。

紙詰まりの除去 (203 ページ参照)	印刷中に用紙が詰まる場合があります。この節では、紙詰まりの場所を突き止め、紙詰まりをプリンタから除去し、紙詰まりが繰り返し発生する問題を解決する方法を説明します。
プリンタメッセージの意味 (229 ページ参照)	プリンタのコントロールパネルには、さまざまなメッセージが表示されます。メッセージには、ショキカチュウなど、プリンタの現在のステータスを知らせるものと、ジョウブカバー ヲトジテクダサイなど、操作を要求するものがあります。多くのメッセージは、読んだだけで意味が解ります。ただし、メッセージの中には、プリンタの問題を示したり、操作や説明をさらに必要とするものがあります。この節では、この種類のメッセージを一覧表示し、メッセージが解除されない場合の対処法について説明します。

印字品質の問題解決法 (262 ページ参照)	プリンタは、最高品質の印刷が実行されるように設計されています。印刷が不鮮明で、用紙に余計な線や斑点、にじみが見られる場合や、用紙がしわになったり、丸まったりする場合は、この節の説明に従って、印字品質の問題を解決します。
プリンタに関連する問題 (271 ページ参照)	プリンタの問題を修正するには、まず問題箇所を把握する必要があります。この節の表を利用してプリンタの問題を判断してから、該当する対処法を実行します。
プリンタの設定の確認 (327 ページ参照)	プリンタから、プリンタとその設定についての詳細情報が記載された情報ページを印刷できます。
HP デジタルコピーの問題解決法 (391 ページ参照)	この項では、HP デジタルコピーコントロールパネルに表示されるステータスメッセージを示します。デジタルコピーおよび送信機能に関する問題がある場合は、このセクションを参照してください。

紙詰まりの除去

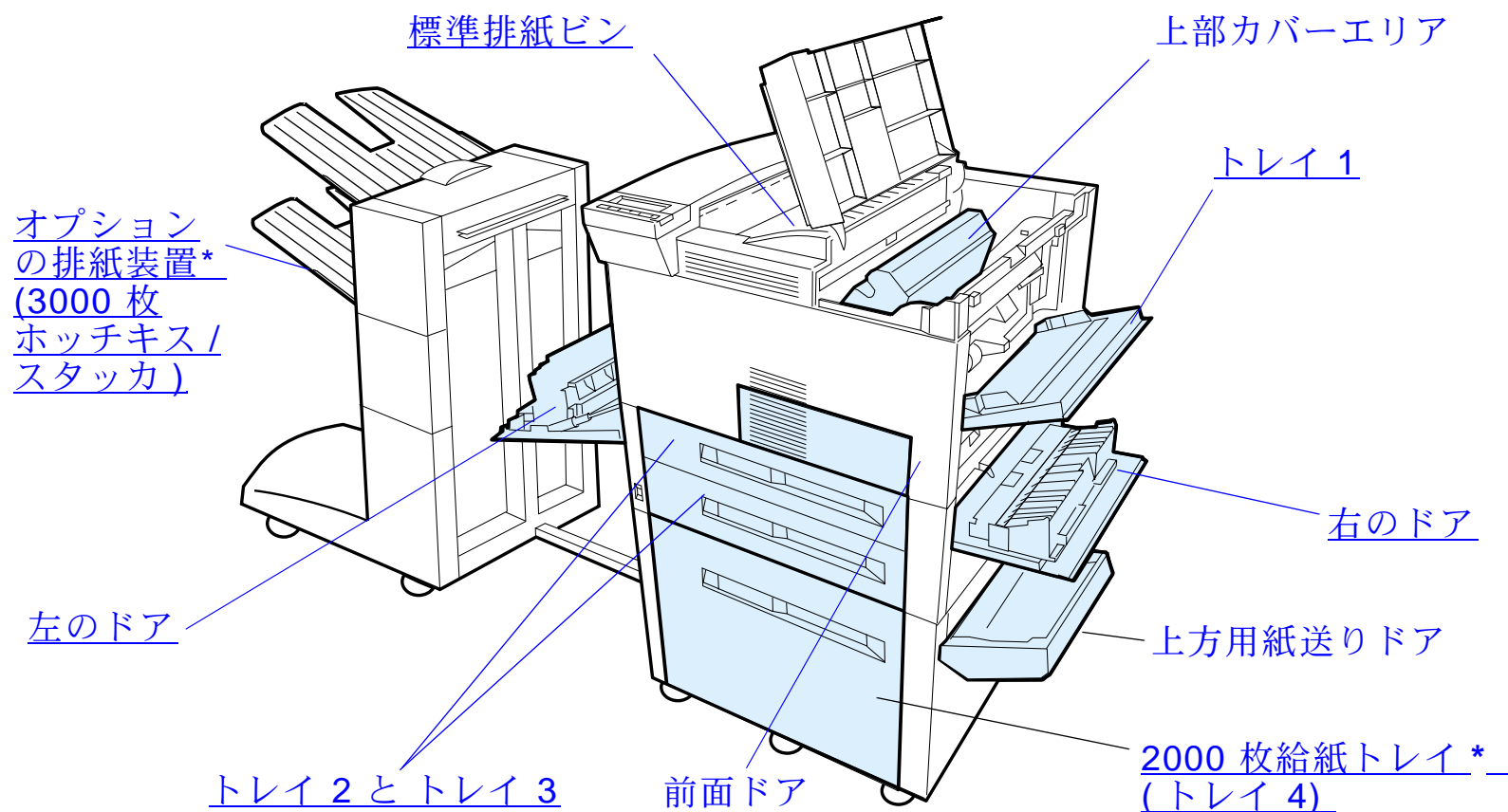
プリンタのコントロールパネルに紙詰まりのメッセージが表示された場合は、204 ページの図に示す場所で詰まっている用紙を探し、紙詰まりを除去するための手順に従います。紙詰まりのメッセージが示す場所以外で用紙を探す必要がある場合もあります。紙詰まりの場所が明らかでない場合は、まず上部カバーエリアを探します。

紙詰まりを取り除くときは、用紙を破らないように注意してください。小さな紙片がプリンタに残ると、さらに紙詰まりを引き起こす原因になります。紙詰まりが繰り返し発生する場合は、227 ページを参照してください。

注記　紙詰まりを除去し終わったら、プリンタの上部カバーを開けて閉め直すことによって、紙詰まりメッセージをコントロールパネルからクリアします。

次のページに続く。

紙詰まりは次の個所で発生する可能性があります。

標準排紙ビン
上部カバーエリア
トレイ 1
オプションの排紙装置* (3000 枚ホッチキス / スタッカ)
右のドア
左のドア
上方用紙送りドア
トレイ 2 と トレイ 3
前面ドア
2000 枚給紙トレイ * (トレイ 4)

* これらの場所には、他の用紙ハンドリングアクセサリがインストールされている場合があります。

次のページに続く。

注記 紙詰まりの後、こぼれたトナーがプリンタ内に残ることがあります。数枚印刷すると、こぼれたトナーは除去されます。

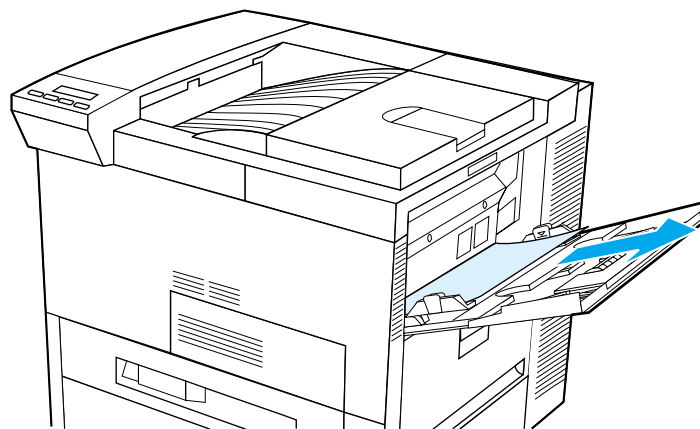
給紙トレイエリアでの紙詰まりの除去

トレイ 1 の紙詰まりの除去

1 トレイ 1 を引き下げて開けます。

2 トレイ 1 のエリアに紙が詰まっていないかどうかを確認します。

3 紙があれば下図に示す矢印の方向に引くようにして取り出します。破れた紙片も完全に取り除きます。

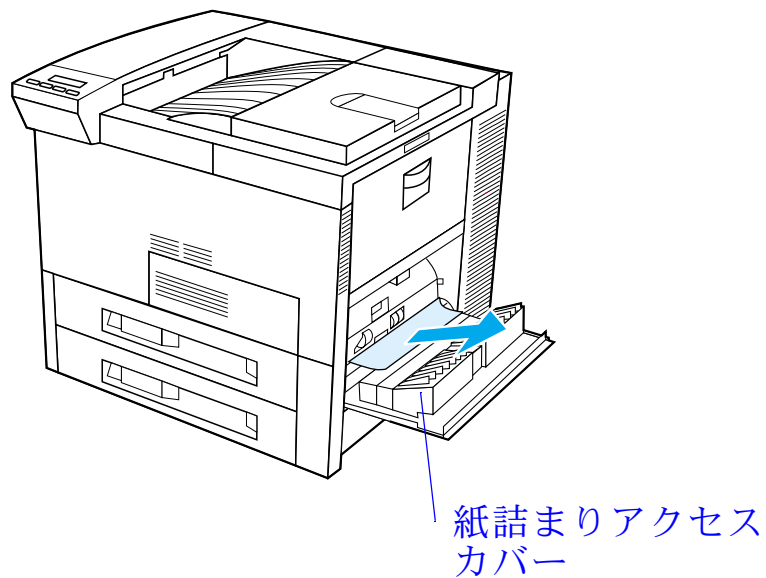
4 上部カバーを開けて閉めます。

右のドアの紙詰まり除去

1 トレイ 1 の下にある右のドアを開けます。

2 このエリアに紙が詰まっていないかどうかを確認します。

3 緑色のレバーを利用して紙詰まりアクセスカバーを開けます。

4 紙があればプリンタの外に引き出して除去します。

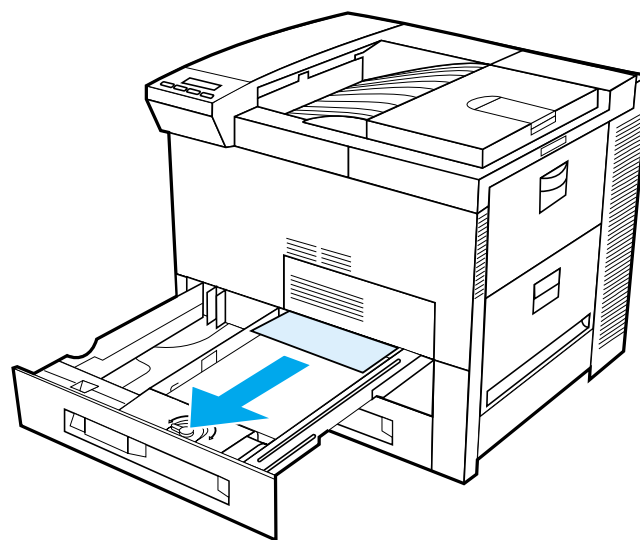
5 破れた紙片も完全に取り除きます。

トレイ 2 と 3 の紙詰まりの除去

1 トレイを開けます。

2 詰まっている紙または傷んでいる紙を、プリンタの外に引き出して除去します。

3 破れた紙片も完全に取り除きます。

4 トレイを閉じます。

5 上部カバーを開けて閉めます。

オプションの 2 x 500 枚給紙トレイ (4 と 5) の紙詰まりの除去

1 トレイを開けます。

2 傷んでいる紙または詰まっている紙をエリア (A) からプリンタの外に引き出して除去します。

3 破れた紙片も完全に取り除きます。

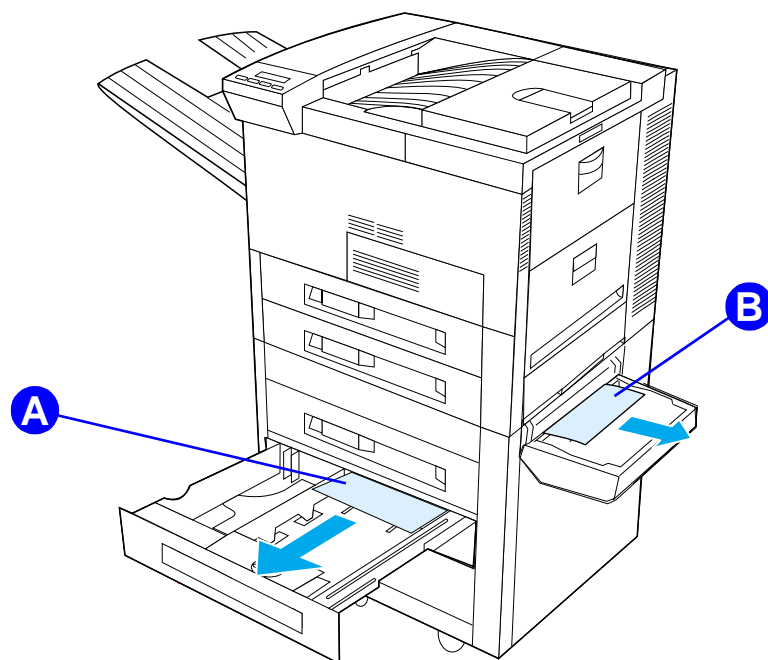
4 トレイを閉じます。

5 上方用紙送りドアを開けて、詰まっている紙を除去します (B)。

6 上方用紙送りドアを閉じます。

7 上部カバーを開けて閉めます。

次のページに続く。

A
B

オプションの 2000 枚給紙トレイ (トレイ 4) の紙詰まりの除去

1 トレイ 4 を開けます。

2 傷んでいる紙または詰まっている紙をエリア (A) からプリンタの外に引き出して除去します。

3 破れた紙片も完全に取り除きます。

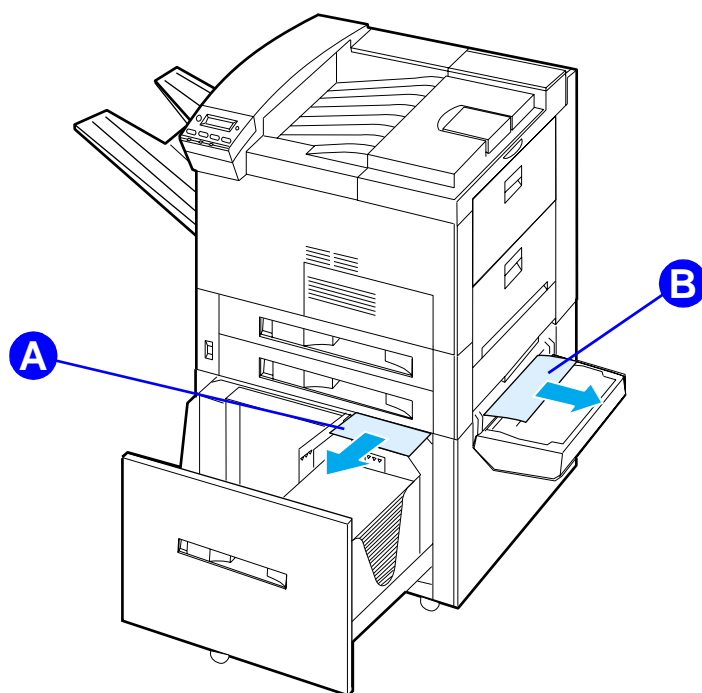
4 トレイを閉じます。

5 上方用紙送りドアを開けて、詰まっている紙をすべて除去します (B)。

6 上方用紙送りドアを閉じます。

7 上部カバーを開けて閉めます。

次のページに続く。

A
B

オプションの封筒フィーダの紙詰まりの除去

1 上部カバーを開けます。

2 トナーカートリッジを取り外します (A)。

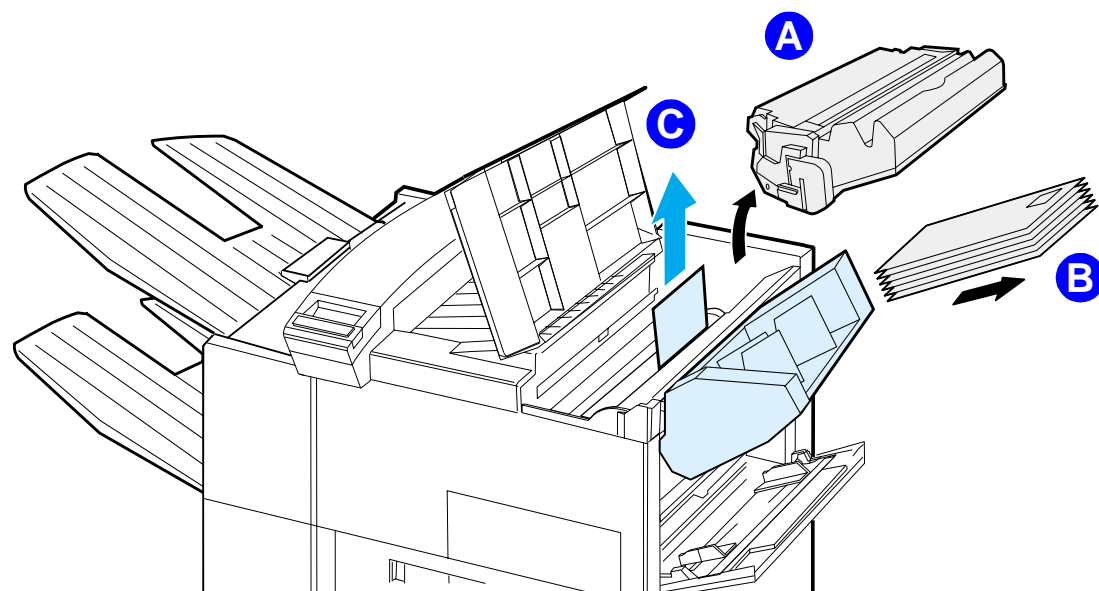
3 このエリアに封筒があれば、まっすぐ上に引き出し、封筒フィーダから除去します (B)。

4 破れた紙片も完全に取り除きます。緑色のユーザー用つまみの両方を引き上げて、隠れている封筒があれば取り除きます (C)。

5 封筒または破れた紙片を取り出すには、セットされている封筒および封筒フィーダを取り外す必要がある場合があります。

6 オプションの封筒フィーダおよびトナーカートリッジを元通りに取り付け、上部カバーを閉じます。

次のページに続く。

A
C
B

オプションの両面印刷ユニットの紙詰まりの除去

1 前面ドアを開けます。

2 このエリアに紙が詰まっていないかどうかを確認します。

3 エリア (A) に紙があればそれをプリンタの外に引き出して除去します。紙を破らないように注意してください。

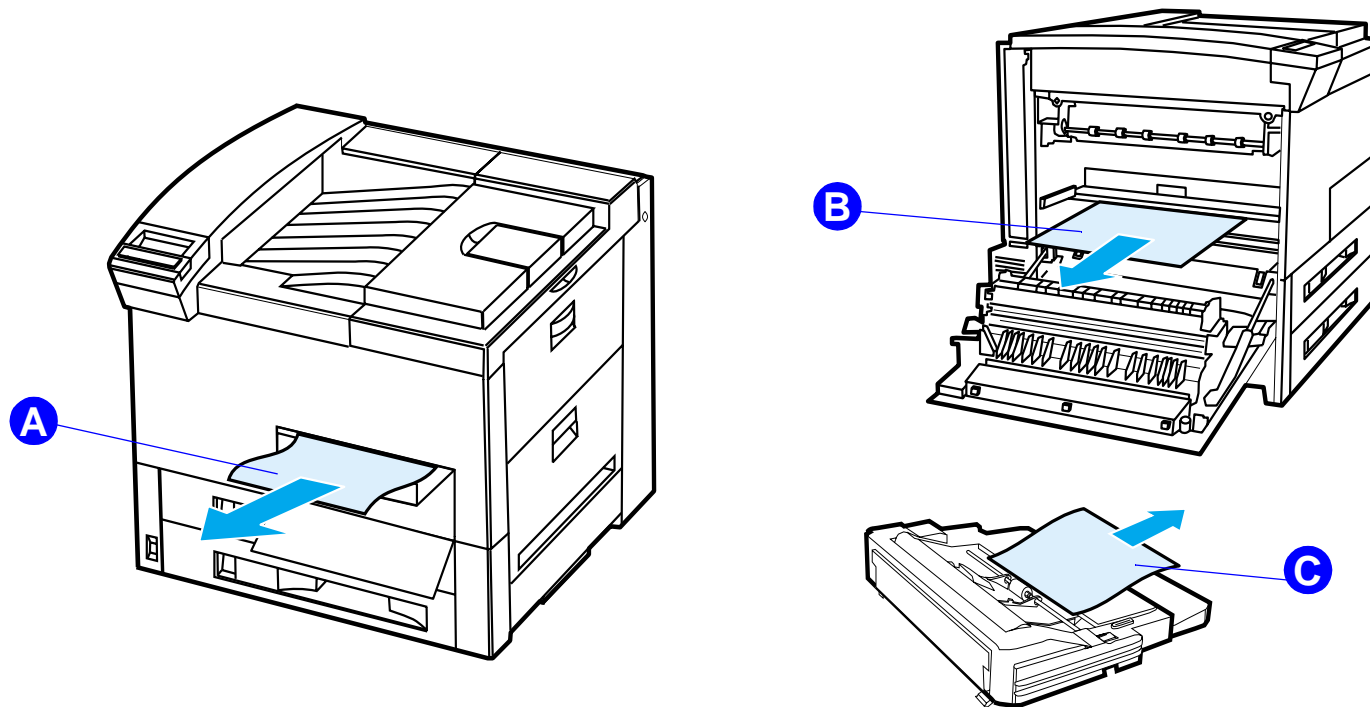
4 すべての紙を前面ドアから引き出せない場合には、左のドアを開けて、エリア (B) から慎重に紙を引き出します (メールボックスアクセサリが取り付けてある場合は、それをプリンタから離してから、左ドアを開けます)。

警告！ 隣接する定着処理エリアには触れないでください。高温になっている可能性があります。

5 両面印刷ユニットが取り付けてある場合は、プリンタの電源を切り、両面印刷ユニット の右下側にある色付きのつまみを押し、ユニット全体をスロットから引き出して取り外します。

6 両面印刷ユニット (C) 内に残っている用紙があれば取り出します。

次のページに続く。

7 両面印刷ユニットをスロットに差し入れ、所定の位置にカチリとはまるまで押し入れます。開いているドアをすべて閉めます。オプションの排紙装置が取り付けてある場合は、元の位置に戻し、プリンタの電源を投入します。

上部カバーエリアでの紙詰まりの除去

1 上部カバーを開けます。

2 トナーカートリッジを取り外します (A)。

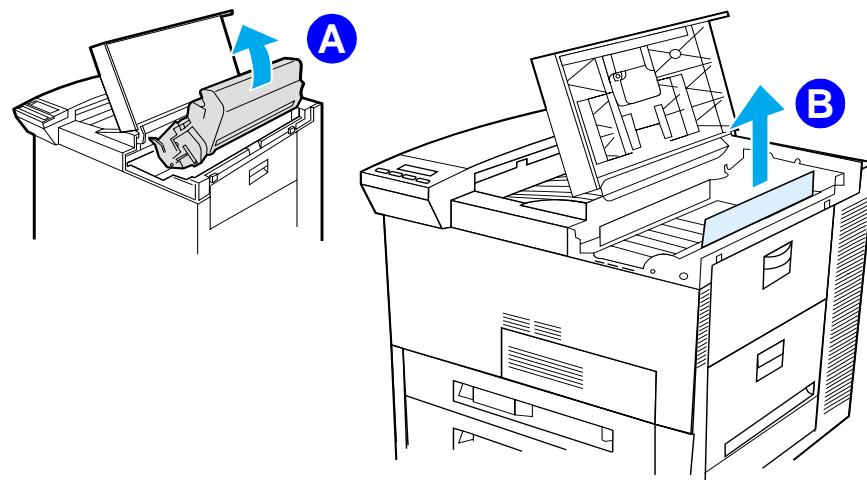
3 緑色のレバーを持ち上げ、隠れている用紙を取り除きます。

4 このエリアに紙があれば、まっすぐに引き上げるようにしてプリンタから引き出します (B)。

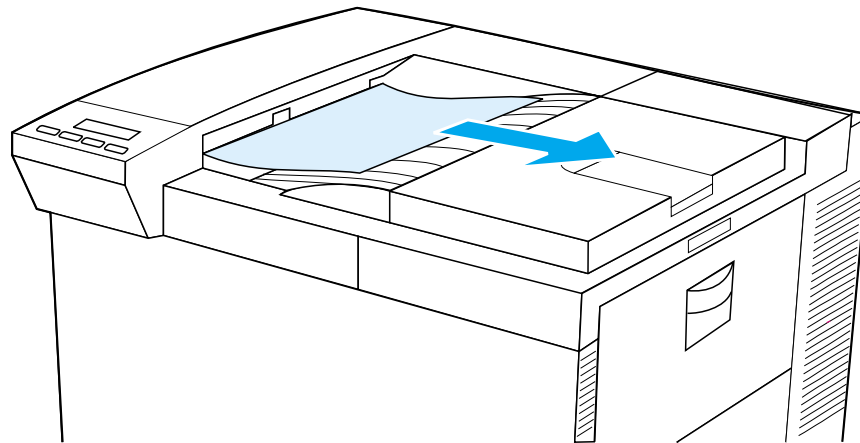
5 破れた紙片も完全に取り除きます。

6 トナーカートリッジを元に戻して、上部カバーを閉じます。

次のページに続く。

A
B

排紙エリアでの紙詰まりの除去

標準排紙ビンの紙詰まりの除去

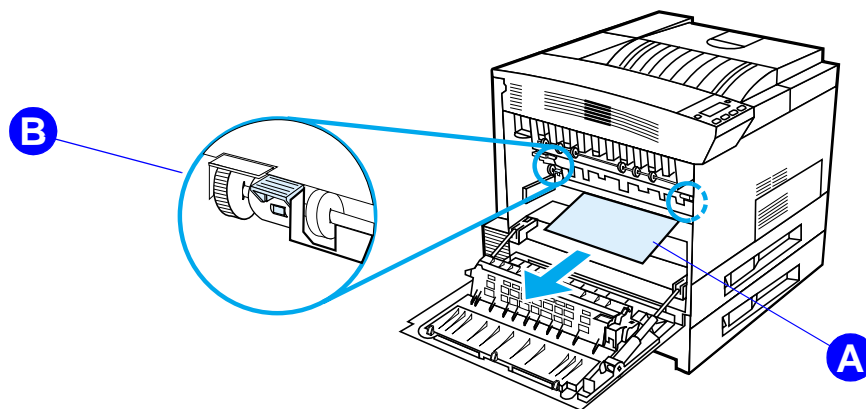
下図に示すように詰まった紙が排紙エリアに出ている場合は、紙を破らないように、ゆっくりと慎重にプリンタからまっすぐ引き出します。

左のドア (定着処理エリア) の紙詰まりの除去

1 左のドアを開けます (オプションの排紙装置が取り付けてある場合は、プリンタから離してから、左ドアにアクセスします)。

警告！ 隣接する定着処理エリアには触れないでください。高温になっている可能性があります。

2 このエリア (A) から詰まっている紙または傷んでいる紙をプリンタの外に引き出して除去します。

3 緑色のつまみ (B) を押し下げて、紙がないかどうかを慎重に確認します。破れた紙片も完全に取り除きます。

4 左ドアを閉じます。オプションの排紙装置が取り付けてある場合は、それを元の位置に戻します。

オプションのマルチビン メールボックスの紙詰まりの除去

1 フェースアップビンを取り外します。

2 エリア (A) から紙を慎重に引き出し、プリンタから取り除きます。

3 メールボックスをプリンタから離し、エリア (B) に紙があれば取り出します。破れた紙片も完全に取り除きます。

警告！ 隣接する定着処理エリアまたはエリア (C) には触れないでください。高温になっている可能性があります。

次のページに続く。

4 エリア (C) に紙があれば、慎重にプリンタから引き出します。

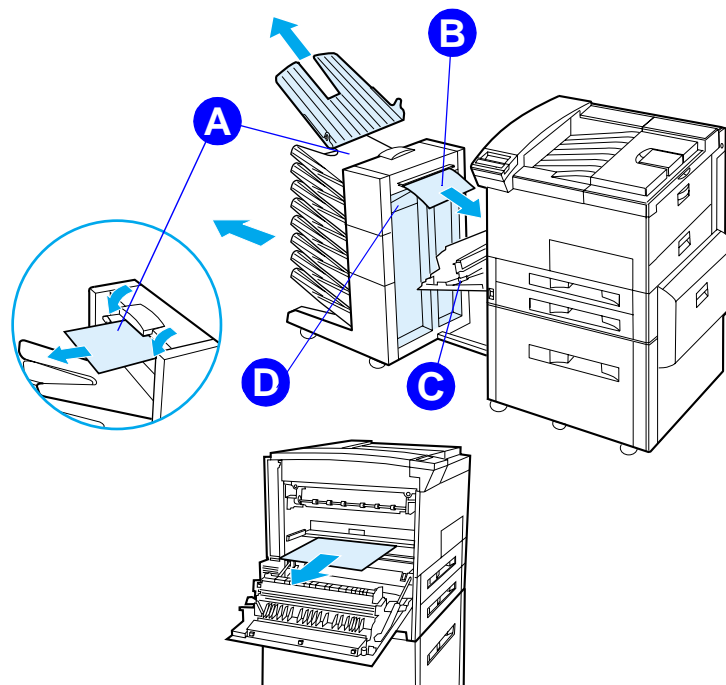
注記 紙詰まりを取り除くときは、用紙を破らないように注意してください。小さな紙片がプリンタに残ると、さらに紙詰まりを引き起こす原因になります。紙詰まりが繰り返し発生する場合は、227 ページを参照してください。

5 排紙ビンに残っている紙片を取り除きます。

6 メールボックスの背面の上方用紙送り経路 (D) から用紙をすべて取り除きます。ドアを開ける必要があります。

7 メールボックスを元の位置に戻します。

次のページに続く。

A
B
C
D

オプションの HP 排紙装置からの紙詰まりの除去

オプションの HP 排紙装置の詳細は、その装置に付属のユーザーズガイドを参照してください。

ホッチキスでの詰まりの除去 (ホッチキス機能付 5 ビンメールボックス)

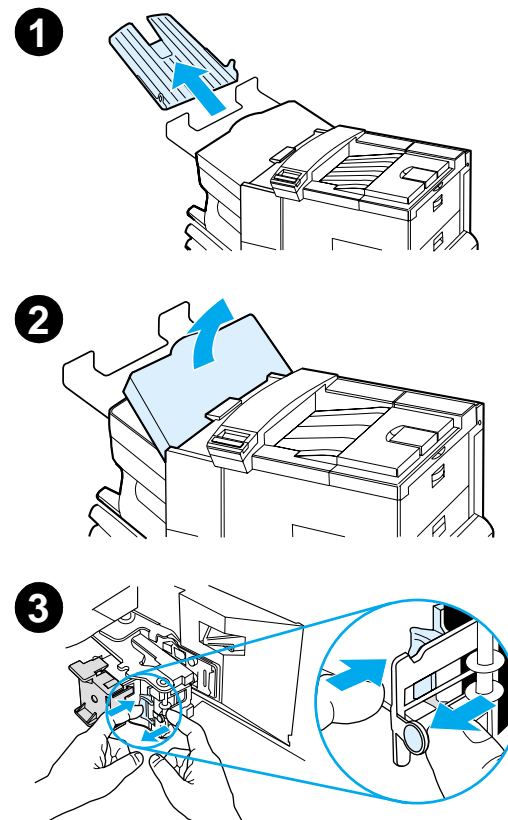
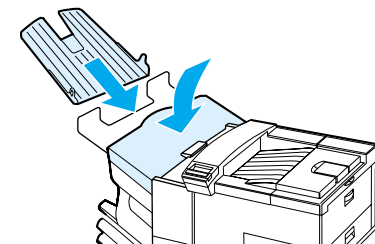
注記
オプションの HP 排紙装置の詳細は、装置に付属のユーザーズガイドを参照してください。

1 フェースアップビンを取り外します。

2 ホッチキスユニットのカバーを開けます。

3 人差し指を使って色付きのつまみを押し、もう一方の人差し指で色付きの丸いつまみを引いて、ホッチキスを開けます。

4 バラになったまたは変形したホッチキスの針をホッチキスヘッドから取り除きます。丸いつまみを元の位置にパチンとはめて戻します。

次のページに続く。

5 ホッチキスユニットのカバーを閉じ、フェースアップビンを元に戻します。ホッチキスの詰まりのために紙詰まりが発生している場合は、用紙経路から紙を除去します。

注記

ホッチキスの詰まりを除去した後は、印刷を再開しても最高で 2 つの文書まで留めることができない場合があります。これは、ホッチキスの針を装填する必要があるためです。留められなかった文書は、ユニットがホッチキス留めを再開してから手動でホッチキスで留めるか、またはジョブを再送信します。

印刷ジョブが送られた後で、ホッチキスが詰まったり、ホッチキスの針が切れたりした場合は、ジョブは印刷されます。

繰り返し発生する紙詰まりの解決

問題	処置
紙詰まりが繰り返し発生する	１．用紙がトレイ内に正しくセットされていること、および幅ガイドがすべて正しくセットされている (傾いていないこと) ことを確認します。第 2 章 印刷作業を参照してください。 ２．セットした用紙のサイズに用紙トレイが合わせてあること、トレイに用紙を入れすぎていないことを確認します。 ３．トレイ内の用紙の束をひっくり返してみます。穴あきまたはレターヘッド用紙を使っている場合は、トレイ 1 から印刷してみます。 ４．一度印刷に使用した用紙や、破れている用紙、しわの入った用紙、または不規則な形の用紙を使用しないでください。このプリンタ用に推奨される用紙およびその他の用紙については、403 ページを参照してください。 ５．用紙の仕様 (384 ページ) を確認します (用紙が推奨仕様を満たしていない場合は、問題が発生する可能性があります)。

問題	処置
	６．丁合い印刷の場合、用紙がトレイ 3 の下を通るため、紙詰まりの原因となる場合があります。トレイ 3 をプリンタから完全に引き出し、トレイの下に紙があればすべて取り除きます。次に、トレイ 3 をプリンタに再び取り付けます。 ７．プリンタが汚れている可能性があります。198 ページの説明に従って、プリンタをクリーニングします。 ８．正しい用紙サイズがセットされていることを確認します (403 ページ参照)。 ９．損なわれた紙または詰まった紙をプリンタから引き出して、すべて除去されたことを確認します。

注記 詰まりが継続する場合は、HP 認定サービスプロバイダにお問い合わせください。

プリンタメッセージの意味

231 ページの表は、プリンタのコントロールパネルに表示されるメッセージについて説明してします。番号付きのメッセージは、最後にあります。

メッセージが消えない場合

- トレイに用紙をセットするように要求するメッセージが消えなかったり、前の印刷ジョブがプリンタのメモリに残っていることを示すメッセージが表示されたりする場合は、[Go] を押して印刷するか、[ジョブのキャンセル] を押してジョブをプリンタのメモリからクリアします。
- 推奨される処置をすべて実行したのに、メッセージが表示され続ける場合は、HP 認定サービスプロバイダまでお問い合せください (このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制を参照してください)。

注記 このユーザーズガイドでは、すべてのメッセージについて説明していません (多くのメッセージは、読んだだけで意味がわかるようになっています)。

一部のプリンタメッセージは、コントロールパネルのセッテイ メニューのジドウケイゾクおよびカイジョカノウ ケイコクの設定によって変わることがあります (459 ページ参照)。

次のページに続く。

プリンタのオンラインヘルプシステムの使用

注記 オプションの HP 排紙装置の詳細は、装置に付属のユーザーズガイドを参照してください。

このプリンタには、オンラインヘルプシステムが装備されています。これによって、プリンタで発生するエラーの大部分を解決するための方法がわかります。コントロールパネルに表示される一部のエラーメッセージは、オンラインヘルプシステムの表示方法を示すメッセージと交互に表示されます。

エラーメッセージ内にクエスチョンマーク（?）が表示される場合、またはエラーメッセージがヘルプヲ ヒョウジ スルニハ ? キー ヲ オシテクダサイというメッセージと交互に表示される場合は、**[項目]** キーを押して、表示される指示に従います。

オンラインヘルプシステムを終了するには、[Go] を押します。

プリンタ メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
アクセス キョヒ メニュー ロック ジョウタイ	アクセスしようとしているプリンタコントロールパネルの機能は、不正アクセスを防ぐためロックされています。 ネットワーク管理者に相談してください。
リョウメンインサツ ユニット セツゾク フリョウ	両面印刷ユニットが正しく接続されていません。 プリンタの電源を切り、両面印刷ユニットを取り付け直します。次に、プリンタの電源を入れます。
トメガネ デバイス ヲ カクニン シテクダサイ 交互に表示されるメッセージ カミヅマリ ヲ ジョキョ シテクダサイ	ホッチキスなどの留め金デバイスが詰まっています。 詰まった紙を指定の場所から取り除きます。 メッセージを消すには、上部カバーを開けて、閉じます。 留め金デバイスが正しく接続されていることを確認します。 メッセージが消えない場合は、装置に付属のマニュアルを参照してください。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
トメガネデバイス ヲ カクニンシテクダサイ 交互に表示されるメッセージ トメガネソウチ ノ ハイチ エラー	留め金デバイスが用紙を正しく留められません。デバイスへの給紙が正しく配置されていません。 詰まった紙をすべて取り除きます。用紙を正しく配置し、必要であれば、ジョブを再び印刷します。 メッセージが消えない場合は、装置に付属のマニュアルを参照してください。
ニュウリョク デバイス ヲ カクニン シテクダサイ 交互に表示されるメッセージ ヨウシケイロ ガ アイテマス シメテクダサイ	プリンタのドアまたは用紙ガイドが開いているため、オプションの給紙トレイがプリンタに給紙できません。 ドアおよび用紙ガイドを確認します。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
ハイシ デバイス ヲ カクニン シテクダ サイ 交互に表示される メッセージ ハイシケイロ ヲ シメテクダサイ	オプションの排紙デバイスがプリンタに正しく接続されていません。印刷を継続するには、排紙デバイスを正しく接続する必要があります。
ヨウシ ケイロ ノ カクニンチュウ	エンジンがローラを回転させることにより、紙詰まりの可能性がないかどうか確認しています。
センタクシタ ゲンゴ ハ シヨウ デキ マセン	プリンタにはないプリンタ言語が印刷ジョブによって要求されました。このジョブは印刷されず、メモリから消去されます。 他のプリンタ言語用のドライバを使ってジョブを印刷するか、要求された言語をプリンタに追加します (入手できる場合)。 操作を続けるには、[Go] を押します。
ミギ ノ ドア ヲ ト ジテクダサイ	右のドアが開いています。印刷を続けるには、ドアを閉じます。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
ジョウブカバーカ サイドドア ヲ トジテクダサイ	上部ドアまたは左のドアが開いています。印刷を続けるには、ドアを閉じます。
ディスク デバイス ガ コショウ シマシタ	EIO ディスクに重大な障害が発生し、使用できません。 EIO ディスクをセットし直します。メッセージが消えない場合は、新しいものと交換してください。
ディスク ファイル ノ ソウサ シッパイ	要求した操作は実行できませんでした。存在しないディレクトリへのファイルのダウンロードなど、不正な操作を行おうとした可能性があります。
ディスク ファイル システム ガ イッパイデス	EIO ディスクからファイルを削除し、操作をやり直してください。ファイルまたはフォントを削除するには、HP LaserJet Resource Manager を使用します (詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照)。
ディスク ハ カキコミ キンシデス	EIO ディスクが書込み禁止になっており、新しいファイルを書き込めません。 HP LaserJet Resource Manager を使って、書込み禁止を解除します。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
EIO n コショウ	EIO ネットワークカードが正常に機能していません。 EIO アクセサリをセットし直します。メッセージが消えない場合は、新しいものと交換してください。
EIO n ディスク ショキカチュウ	ディスクアクセサリカードは初期化に長い時間がかかります。最初のパラメータは、このアクセサリカードのアクセサリスロット番号です。
EIO n ディスク ガ キノウ シテイマセン	EIO ディスクが正常に機能していません。 EIO ディスクをセットし直し、メッセージが消えない場合は、新しいものと交換してください。
EIO n ショキカチュウ 交互に表示されるメッセージ デンゲンヲ キラナイコト	メッセージが消えるまで待ちます（約 5 分）。プリンタの EIO カードが正常に動作し、ネットワークと通信している場合、約 1 分後にこのメッセージは消え、処置は不要になります。 EIO カードがネットワークと通信できない場合は、このメッセージが 5 分間表示されてから消えます。この場合、プリンタはネットワークと通信していません（メッセージが消えた後でも）。この問題の原因としては、EIO カード、ケーブル、ネットワーク接続などの不良、またはネットワークの問題が考えられます。ネットワーク管理者に相談してください。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
EIO n ディスク カソクチュウ	ディスクアクセサリカードは初期化に長い時間がかかります。最初のパラメータは、このアクセサリカードのアクセサリスロット番号です。
フウトウフィーダ ノ キュウシ [タイプ] [サイズ]	要求されたタイプの封筒をセットし、封筒フィーダの位置を調整します。 プリンタのコントロールパネルにあるヨウシ トリアツカイ メニューで、正しい封筒のサイズとタイプが設定されていることを確認します（439 ページを参照）。 希望の封筒がすでにセットしてある場合は、[Go] を押します。 [- 値 +] を押して、使用できる封筒のタイプとサイズの一覧をスクロールします。[選択] を押して、代用できるタイプとサイズを確定します。
ガイブ デバイス ショキカチュウ	外部の用紙ハンドリングデバイスがプリンタに接続されている場合、電源投入後またはパワー セーブ モード終了後の初期化に 10 秒間必要です。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
ホッチキスノハリ カ ノリ ガ スクナクナッテイマス	ホッチキスの針か糊が少なくなっているため、補充が必要です。
フラッシュ ショキカチュウ 交互に表示されるメッセージ デンゲンヲ キラナイコト	フラッシュ DIMM は、初めての使用の場合、初期化に時間が長くかかることがあります。
フラッシュ デバイス ガ コショウ シマシタ	フラッシュ DIMM に重大な障害が発生し、使用できません。 フラッシュ DIMM を取り外し、新しいものと交換してください。
フラッシュ ファイル ノ ソウサ シッパイ	要求した操作は実行できませんでした。存在しないディレクトリへのファイルのダウンロードなど、不正な操作を行おうとした可能性があります。

プリンタメッセージの意味

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
フラッシュ ファイル システム ガイッパイデス	フラッシュ DIMM からファイルを削除します。ファイルまたはフォントを削除するには、HP LaserJet Resource Manager を使用します (詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照)。
フラッシュ ハカキコミ キンシデス	フラッシュ DIMM が書込み禁止になっており、新しいファイルを書き込めません。 HP LaserJet Resource Manager を使って、書込み禁止を解除します。
ガイブ ニュウリョク ソウチ ジョウタイ xx.yy	印刷を再開する前に、外部入力の用紙ハンドリングデバイスを確認する必要があります。 詳しい操作方法については、用紙ハンドリングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
トナー カートリッジ ヲ ソウニュウシテクダサイ	トナーカートリッジが取り外されています。印刷を続けるには、カートリッジを元に戻します。
トレイ X ヲ ソウニュウ シテクダサイ	指定されたトレイが取り付けられていません。印刷を続けるには、トレイを挿入し、ドアを閉じます。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
PROGRAM < 番号 > ヨミコミチュウ 交互に表示される メッセージ デンゲンヲ キラナイコト	プログラムとフォントは、プリンタのファイルシステムに保存できます。これらはブートアップ時に、RAM にロードされます（ロードするプログラムやフォントのサイズおよび数によって、RAM へロードする時間が長くかかる場合があります）。< 番号 > は、ロード中のプログラムのシーケンス番号です。
シュドウ キュウシ [タイプ] [サイズ]	要求された用紙をトレイ 1 にセットします。 希望の用紙がトレイ 1 にすでにセットしてある場合は、[Go] を押します。
メモリ ブソク ノ タメ ホゾン データ ショウシツ	プリンタに空きメモリがありません。印刷中のジョブは正しく印刷されず、ダウンロードされたフォントやマクロなど、一部のリソースが削除される可能性があります。 プリンタにメモリを増設することをお勧めします（480 ページ参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
メモリ セッテイ ガ ヘンコウ サレマシタ	I/O バッファおよびリソース保存の以前の設定を使用するための十分なメモリがないため、プリンタのメモリ設定が変更されました。このような変更は通常、プリンタからのメモリの取り外し、両面印刷ユニットの追加、またはプリンタ言語の追加などの作業後に行われます。 通常はデフォルト設定が最適ですが、I/O バッファおよびリソース保存のメモリ設定を変更するか、プリンタにメモリを増設することをお勧めします（480 ページ参照）。
メモリ ブソク ノ タメ ジョブ ハ チュウシ	すべてのジョブを印刷するための十分な空きメモリがプリンタにありません。残りのジョブは印刷されず、メモリから消去されます。 操作を続けるには、[Go] を押します。 プリンタのコントロールパネルからリソース保存の設定を変更するか（432 ページ参照）、プリンタにメモリを増設してください（480 ページ参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
メモリ ブソク ノ タメ ページ ヲ カンリャクカ	空きメモリ内に格納するため、ジョブを圧縮する必要がありました。一部のデータが失われた可能性があります。 操作を続けるには、[Go] を押します。 これらのページの印字品質は許容レベルに満たない場合があります。ページを簡略化して、もう一度印刷してください。 プリンタにメモリを増設することをお勧めします（480 ページ参照）。
モピー スル ページ ガフクザツ スギマス 交互に表示されるメッセージ ケイゾク スルニハ [Go] ヲ オシテクダサイ	プリンタに送くられたデータ (字数の多いテキスト、ルール、ラスタグラフィックス、またはベクタグラフィックス) が複雑すぎます。 [Go] を押して転送データを印刷します (一部のデータは失われる可能性があります)。 このメッセージが頻繁に表示される場合は、印刷ジョブを簡略化してください。
オフライン	プリンタをオンラインにするには、[Go] を押します。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
ハイシトレイガ イッパイデス (ハイシトレイ nnn) ヨウシヲ ト リノゾキマス n (排紙トレイ名)	排紙トレイがいっぱいのため、空にする必要があります。
ガイブ シュツリョク ソウチ ジョウタイ xx.yy	外部の用紙ハンドリングデバイス内で修復可能なエラーが発生しました。プリンタからメールボックスをいったん取り外し、再び取り付けます。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。
プリンタ メンテナンス ガ ヒツヨウデス	最高の印字品質を保つため、このプリンタでは 350000 ページを印刷するごとに、定期メンテナンスを求めるメッセージが表示されます。プリンタ保守キットのご注文方法については、40 ページを参照してください。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
RAM ディスク デバイス ガ コショウ シマシタ	RAM ディスクに重大な障害が発生し、使用できません。 プリンタの電源をいったん切り、再投入してメッセージを消します。
RAM ディスク ファイル ノ ソウサ シッパイ	要求した操作は実行できませんでした。存在しないディレクトリへのファイルのダウンロードなど、不正な操作を行おうとした可能性があります。
RAM ディスク ファイル システム ガ イッパイデス	ファイルを削除して操作をやり直すか、プリンタの電源をいったん切り、再投入して、デバイス上のすべてのファイルを削除します（ファイルを削除するには、HP LaserJet Resource Manager または他のソフトウェアユーティリティを使用します。詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照してください）。 メッセージが消えない場合は、RAM ディスクのサイズを増やします。RAM ディスクのサイズを変更するには、コントロールパネルのセッテイ メニューを使用します（459 ページ参照）。
コウシン ファイル ヲ サイソウシン シテクダサイ	プリンタのファームウェアフラッシュでエラーが発生しました。正しいファームウェアイメージを再送信します。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
ホッチキスノ ハリガ スクナク ナッテイマス	ホッチキスの針が少なくなっています。針を補充してください。
ホッチキスノ ハリガ アリマセン	ホッチキスの針がありません。針を補充してください。
トナー ハ カラデス	195 ページを参照してください。
トレイ x ハ カラデス	空のトレイ (x) に用紙をセットして、メッセージを消します。 指定されたトレイに用紙をセットしなかった場合、次に使用できるトレイから印刷が続けられ、メッセージは消えません。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
トレイ x ノ キュウシ [タイプ] [サイズ]	要求された用紙を指定のトレイ (x) にセットします（86 ページ以降の用紙のセットに関するセクションを参照）。 用紙サイズに合わせてトレイが調整されていることを確認します。トレイタイプの設定およびトレイ 1 のサイズ設定は、プリンタのコントロールパネルから行う必要があります（156 ページ参照）。 A4 サイズまたはレターサイズの用紙に印刷しようとしてこのメッセージが表示される場合は、プリンタのコントロールパネルにあるインサツ メニューで、デフォルト用紙サイズが正しく設定されていることを確認します。 次に使用できるトレイから印刷するには、[Go] を押します。 [- 値 +] を押して、使用できる用紙のタイプとサイズの一覧をスクロールします。[選択] を押して、代用できるタイプとサイズを確定します。
トレイ 2 ニ リーガルヲ セットシテクダサイ (または用紙のセットを要求する同様のメッセージ)	要求された用紙を指定のトレイにセットするか、[選択] を押してメッセージを上書きし、すでにセットされた用紙に印刷します。 印刷を継続できない場合は、[Go] を押します。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
ジョブ ニ MOPY ヲ ジッコウ デキマセン	メモリまたはファイルシステムの設定のため、MOPY ジョブを実行できません。コピーが 1 部だけ生成されます。
ジョブ ヲ ホゾン デキマセン	メモリまたはファイルシステムの設定のため、プリンタにジョブを保存できません。
トレイ [YY] ニ サポート サレナイ ヨウシガ アリマス	サポートされていない用紙サイズが、外部の用紙ハンドリングデバイスによって検出されました。サポートされている用紙をセットするまで、プリンタはオフラインになります。
[タイプ] [サイズ] ヲ ダイヨウ ?	要求された用紙サイズまたは用紙タイプが使用できない場合、他のサイズまたはタイプを代わりに使用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。 [- 値 +] を押して、使用できる用紙のタイプとサイズの一覧をスクロールします。[選択] を押して、代用できるタイプとサイズを確定します。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
プリンタノ ショキカチュウ デス	プリンタのコントロールパネルから RAM ディスクの設定が変更されました。この変更は、プリンタを再度初期化するまで有効になりません。 外部デバイスのモードを変更した場合は、プリンタの電源をいったん切り、再投入して、プリンタが初期化されるのを待ちます。
フセイナ フウトウ フィーダ ガ インス トール サレマシタ	取り付けようとしている封筒フィーダは、このプリンタで使用できません。 プリンタの封筒フィーダのご注文方法については、40 ページを参照してください。 封筒フィーダが正しく取り付けられていることを確認します（125 ページ参照）。
XX.YY プリンタ エラー ケイゾク スルニハ [Go] ヲ オシテクダ サイ	プリンタエラーが発生しました。このエラーは、プリンタのコントロールパネルで [Go] を押すと解決できます。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
13.x カミヅマリ [場所]	詰まった紙を指定の場所から取り除きます（203 ページ参照）。メッセージを消すには、ドアを開いて、閉じます。 紙詰まりを取り除いた後もメッセージが消えない場合は、センサの位置がずれているか、壊れている可能性があります。HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。
20 メモリ ブソク 交互に表示されるメッセージ ケイゾク スルニハ [Go] ヲ オシテクダサイ	使用できるメモリ内に収まらない量のデータがプリンタに送られました。過度に多くのマクロ、ソフトフォント、または複雑なグラフィックスを転送しようとした可能性があります。 [Go] を押して転送データを印刷し（一部のデータは失われる可能性があります）、印刷ジョブを簡略化するか、追加メモリを増設してください（480 ページ参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
21 ページ ノ ナカミガ フクザツ スギマス 交互に表示されるメッセージ ケイゾク スルニハ [Go] ヲ オシテクダサイ	プリンタに送られたデータ（字数の多いテキスト、ルール、ラスタグラフィックス、またはベクタグラフィックス）は複雑すぎます。 [Go] を押して転送データを印刷します（一部のデータは失われる可能性があります）。 データを損失せずにジョブを印刷するには、プリンタのコントロールパネルにあるセッテイ メニューでページ プロテクト = オンに設定し、ジョブを印刷します。次に、ページ プロテクト = ジドウに戻します（459 ページ参照）。ページ プロテクト = オンのままにしないでください。パフォーマンスが低下する可能性があります。 このメッセージが頻繁に表示される場合は、印刷ジョブを簡略化してください。
22 EIO x バッファ オーバーフロー 交互に表示されるメッセージ ケイゾク スルニハ [Go] ヲ オシテクダサイ	指定スロット (x) の EIO カードに過度に多くのデータが転送されました。不正な通信プロトコルが使用されている可能性があります。 [Go] を押してメッセージを消します（データは失われます）。 ホストの構成を確認します。このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
22 パラレル I/O バッファ オーバーフロー 交互に表示されるメッセージ ケイゾク スルニハ [Go] ヲ オシテクダサイ	過度に多くのデータがパラレルポートに転送されました。 接続のゆるんだケーブルがないかどうか確認し、必ず高品質のケーブルを使用するようにしてください（46 ページ参照）。HP 社以外の一部のケーブルはピンが欠落していたり、IEEE-1284 仕様に準拠していない場合があります。 使用中のケーブルが IEEE-1284 に準拠していない場合に、このエラーが発生することがあります。最適な印刷作業を行えるように、プリンタに付属の HP ドライバを使用してください（63 ページ参照）。 [Go] を押してエラーメッセージを消します (データは失われます)。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
40 EIO x ツウシン エラー	プリンタと指定スロットにある EIO カードとの接続が遮断されました。
交互に表示されるメッセージ	[Go] を押してエラーメッセージを消し、印刷を続けます。
ケイゾク スルニハ [Go] ヲ オシテクダサイ	
41.3 ヨウシ サイズ ガ マチガッテイマス	印刷しようとしている用紙のサイズと、コントロールパネルで行ったトレイ 1 の設定が異なります。 正しい用紙サイズのトレイを取り付けます。 コントロールパネルで行ったトレイ 1 または封筒フィーダの設定が用紙サイズに合わせて正しく調整されているかどうか確認します（サイズ設定が正しく行われるまで、プリンタは現在のジョブを印刷しようとします）。 上記の操作を実行したら、[Go] を 2 回押します。紙詰まり解除が有効になっている場合、エラーを含むページは自動的に再印刷されます（または、[ジョブのキャンセル] を押して、プリンタのメモリからジョブを消去することもできます）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
41.x プリンタ エラー 交互に表示される メッセージ ケイゾク スルニハ [Go] ヲ オシテクダサイ	一時的な印刷エラーが発生しました。 [Go] を押します。紙詰まり解除が有効になっている場合、エラーを含むページは自動的に再印刷されます。 エラーが解消されない場合は、プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。
50.x フューザ エラー	内部エラーが発生しました。プリンタの電源をいったん切り、少なくとも 5 分間待ち、再投入します。 メッセージはいったん消え、次の印刷ジョブをプリンタに送る際に、再度表示される場合があります。このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
51.x または 52.x プリンタ エラー 交互に表示される メッセージ デンゲン ヲ サイト ウニュウ シテカラ ケイゾク	一時的な印刷エラーが発生しました。 プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
53.xy.zz プリンタ エラー	プリンタのメモリに問題があります。エラーを起こした DIMM は使用されません。x、y、および zz の値は、次のような意味があります。 x = DIMM タイプ 0 = ROM 1 = RAM y = デバイスの場所 0 = 内部メモリ（ROM または RAM） 1 ～ 3 = DIMM スロット 1、2、3 zz = エラー番号 指定された DIMM をセットし直すか、または交換しなければならない場合があります。 プリンタの電源を切り、エラーを起こした DIMM を交換します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
55.xx プリンタ エラー 交互に表示される メッセージ ケイゾク スルニハ [Go] ヲ オシテク ダサイ	一時的な印刷エラーが発生しました。 [Go] を押します。紙詰まり解除が有効になっている場合、エラーを含むページは自動的に再印刷されます。 エラーが解消されない場合は、プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。
56.x プリンタ エラー 交互に表示される メッセージ デンゲン ヲ サイト ウニュウ シテカラ ケイゾク	一時的な印刷エラーが発生しました。 プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
57.x プリンタ エラー 交互に表示されるメッセージ デンゲン ヲ サイト ウニュウ シテカラ ケイゾク	一時的な印刷エラーが発生しました。 プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。
58.x プリンタ エラー 交互に表示されるメッセージ デンゲン ヲ サイト ウニュウ シテカラ ケイゾク	一時的な印刷エラーが発生しました。 プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
59.x プリンタ エラー 交互に表示されるメッセージ デンゲン ヲ サイトウニュウ シテカラ ケイゾク	一時的な印刷エラーが発生しました。 プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。
62.x プリンタ エラー	プリンタのメモリに問題があります。x の値は、次に示すとおり、問題の場所を指します。 0 = 内部メモリ 1 ～ 3 = DIMM スロット 1、2、3 指定された DIMM を交換しなければならない場合があります。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
64 プリンタ エラー	一時的な印刷エラーが発生しました。 プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。
66.xy.zz ニュウリョク ソウチ エラー 交互に表示されるメッセージ ケーブル セツゾクヲ カクニンシ デンゲンヲ イレナオシマス	外部の用紙ハンドリングデバイスにエラーが発生しました。 プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
66.00.xx サービス エラー 交互に表示されるメッセージ ケーブル セツゾクヲ カクニンシ デンゲンヲ イレナオシマス	外部の用紙ハンドリングデバイスにエラーが発生しました。 プリンタの電源を切ります。 外部用紙ハンドリングデバイスすべてからケーブルをいったん取り外し、再度接続します。 プリンタの電源を投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。
68 NVRAM エラー セッテイ カクニンガ ヒツヨウ	プリンタの不揮発性メモリ（NVRAM）にエラーが発生し、一部のプリンタ設定が出荷時の設定にリセットされました。 プリンタ構成ページを印刷し、プリンタ設定でどの値が変更されたか確認します（328 ページ参照）。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
68 NVRAM ガ イッパイ セッテイカクニン ガ ヒツヨウ	プリンタの不揮発性メモリ（NVRAM）に空きがありません。一部の設定は出荷時の設定にリセットされた可能性があります。 プリンタ構成ページを印刷し、プリンタ設定でどの値が変更されたか確認します（328 ページ参照）。 [ジョブのキャンセル] を押しながらプリンタの電源を投入します。これによって、使用されていないデータがメモリ領域から削除され、NVRAM が解放されます。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。
69.x プリンタ エラー 交互に表示される メッセージ デンゲン ヲ サイト ウニュウ シテカラ ケイゾク	一時的な印刷エラーが発生しました。 プリンタの電源をいったん切り、両面印刷ユニットをセットし直したあと、電源を再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

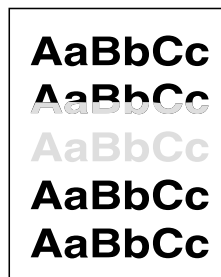
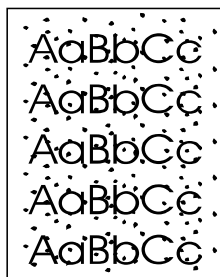
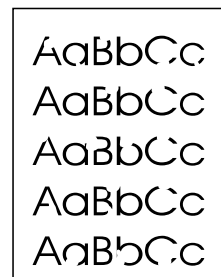
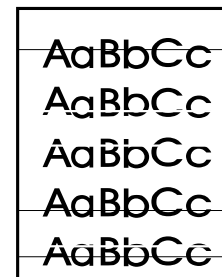
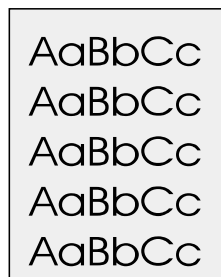
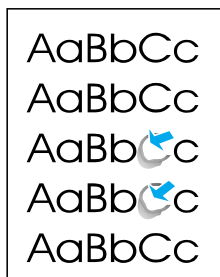
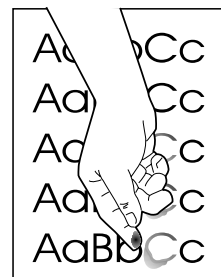
プリンタ（続き）メッセージ

メッセージ	メッセージの説明または推奨される処置
79.xxxx プリンタ エラー	プリンタがエラーを検出しました。表示される番号 (xxxx) は、特定タイプのエラーを示します。 プリンタの電源をいったん切り、再投入します。 このメッセージが特定のアプリケーション ソフトウェアまたはプリントジョブのときだけ表示される場合は、ジョブを簡略化するか、別のアプリケーションから印刷してみます。このメッセージが消えない場合は、ソフトウェア供給元までお問い合わせください。 メッセージが特定のファイルまたはアプリケーション ソフトウェアに関係ない場合は、プリンタの電源を切り、電源ケーブルを抜いてから、フォーマッタ、EIO カード、メモリ DIMM をセットし直します。電源ケーブルを再度接続し、プリンタの電源を再投入します。 このメッセージが消えない場合は、HP カスタマケアまでお問い合わせください。

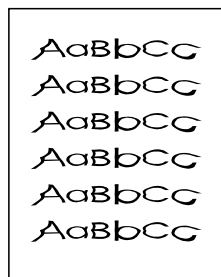
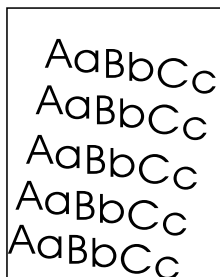
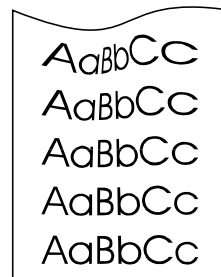
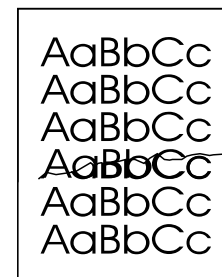
印字品質の問題解決法

以下の例を使って、どの印字品質の問題が発生しているかを判断し、その後の表を参考にして問題に対処します。

注記 以下の例は、長辺から先にプリンタに入ったレターサイズの用紙を示しています (用紙が短辺から先にプリンタに入った場合は、線や繰り返し発生する欠陥は、水平方向ではなく垂直方向に発生します)。

次のページに続く。

薄い印字や
かすみ

斑点
（表または裏）

文字などが
欠落する

線が印刷さ
れる

背景が灰
色になる

トナーの
にじみ

トナーが
落ち易い

繰り返し発
生する欠陥

歪んだ文字が
印刷される

ページの
歪み

カールや波打
ちが発生する

しわや折れ
目が入る

薄い印字やかすみ	斑点	文字などが欠落する	線が印刷される	背景が灰色になる	トナーのにじみ	トナーが落ち易い	繰り返し発生する欠陥	歪んだ文字が印刷される	ページの歪み	カールや波打ちが発生する	しわや折れ目が入る	トラブルシューティングの手順 (以下の順番で手順を実行し
	✓		✓		✓	✓	✓				✓	1. 数ページを印刷して、問題が解消されたかを確認する。
	✓				✓	✓						2. プリンタ内部を掃除するか、プリンタのクリーニングページを使用する。
✓												3. エコノモードがオフになっていることを確認する。
										✓	✓	4. トレイ内の用紙の束をひっくり返す。また、用紙を 180 度回転させる。
✓	✓	✓		✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	5. 用紙 （ または他の印刷媒体 ） のタイプと品質を確認する。
✓		✓		✓						✓	✓	6. プリンタの動作環境を確認する (xx ページ)。

薄い印字やかすみ	斑点	文字などが欠落する	線が印刷される	背景が灰色になる	トナーのにじみ	トナーが落ち易い	繰り返し発生する欠陥	歪んだ文字が印刷される	ページの歪み	カールや波打ちが発生する	しわや折れ目が入る	トラブルシューティングの手順 (以下の順番で手順を実行し
									✓		✓	7. 用紙が正しくセットされ、用紙ガイドが用紙に対してきつくまたはゆるくなっていないか確認する。
										✓	✓	8. 別の排紙ビンを使って印刷する。
✓		✓		✓								9. トナー濃度の設定を調節する。
					✓	✓						10. フューザモードの設定を変更する（159 ページ参照）定着エリアからオレンジ色の梱包スペーサが取り外されていことを確認する。
✓												11. トナーカートリッジ内のトナーを拡散させる (196 ページ)。

薄い印字やかすみ	斑点	文字などが欠落する	線が印刷される	背景が灰色になる	トナーのにじみ	トナーが落ち易い	繰り返し発生する欠陥	歪んだ文字が印刷される	ページの歪み	カールや波打ちが発生する	しわや折れ目が入る	トラブルシューティングの手順 (以下の順番で手順を実行し
✓		✓	✓	✓	✓		✓	✓				12. 新しい HP トナーカートリッジを取り付ける（トナーカートリッジに付属の操作方法を参照）。
✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓					13. プリンタ保守キットを入手し、取り付ける。
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	14. 上記に挙げた手順をすべて実行しても問題が解決されない場合は、HP 認定サービスプロバイダまたはサポートプロバイダまでお問い合わせください（このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制 のページを参照）。

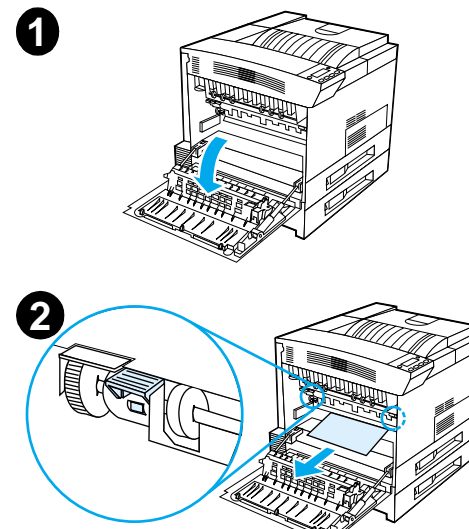
封筒のしわを取り除く

注記
ここで示す方法を使って封筒に印刷したら、フューザレバーを、標準用紙 (メディア) タイプ用の下の位置に戻してください。

1 左のドアを開けます (オプションの排紙装置が取り付けてある場合は、プリンタから取り外してから、ドアを開けます)。

警告 !
隣接する定着処理エリアには触れないでください。高温になっている可能性があります。

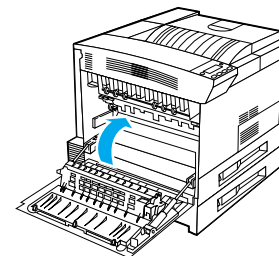
2 図 2 のように、2 つの T 型レバーを見つけ、持ち上げます。

次のページに続く。

3 左のドアを閉じます。

4 封筒に印刷するときは、フェースアップビンが選択されていることを確認します。

注意

フューザレバーを下の位置に戻さずに標準用紙タイプを使用すると、印刷の品質が低下します。

封筒の印刷が終わったら、フューザレバーを必ず下の位置に戻します。

プリンタに関連する問題の特定

トラブルシューティングのチェックリスト

次のページに続く。

- オプションの両面印刷ユニットの問題
- オプションの封筒フィーダの問題
- プリンタハードディスク
- PS のトラブルシューティング
- HP Fast InfraRed Connect の問題
- Macintosh の問題解決法

注記 オプションの HP 排紙装置の詳細は、装置に付属のユーザーズガイドを参照してください。

プリンタに関連する問題

プリンタの電源が入っていない

状況	処置
電源ケーブルが接続されていない。	AC 電源ケーブルを接地された電源コンセントとプリンタの双方にしっかりと接続します (電源から電力が供給されていることを確認します)。
プリンタの電圧が正しくない。	使用入力電圧が正しい範囲であることを確認します (プリンタ背面にある電源コネクタの横の製品ラベルで電圧の条件を確認します)。

空白または意味の不明なコントロールパネルの表示

状況	処置
プリンタの電源が入っていない。	プリンタの電源スイッチを ON 位置にします。

空白または意味の不明なコントロールパネルの表示（続き）

プリンタの電源は入っているが、内部ファンが回っていない。	プリンタの電源設定に対し入力電圧が正しいことを確認します (プリンタの背面の電源コネクタの横にある銘板で電圧の条件を確認します)。電源タップを使用していて、その電圧が仕様に適合していない場合は、プリンタをコンセントに直接接続します。
表示は空白で、内部ファンも回っていない。	プリンタの電源が入っていることを確認します。すべてのキーを押してみて、引っかかって動かないキーがあるかどうかを確認します。これで解決できない場合は、HP サービス窓口にお問い合わせください。
プリンタの表示言語が異なるか、見慣れない文字が表示される。	コントロールパネルの表示言語を構成し直します。セットアップガイドを参照してください。あるいは、[選択] を押したまま、同時に電源スイッチを ON にします。ゲンゴ ヲ センタクシテクダサイと表示されるまで [選択] を押したままにし、そのあと離します。希望の言語を選択するには、[値 -] キーと [値 +] キーを使用します。[選択] を押して、選択した言語を保存します。[Go] を押します。コントロールパネルの表示は、プリンタが印刷する準備ができたことを示します。新しい言語が画面に表示されないときは、[選択] を押して新しい選択を保存していない場合があります。

プリンタが設定ページを印刷できない

状況	処置
正しいサイズの用紙がセットされていない。	用紙トレイをチェックし、正しいサイズの用紙がセットされていることを確認します (レターまたは A4)。同様に、各ガイドが正しくセットされていることも確認します。
トナーカートリッジの密封テープが取り除かれていない。	トナーカートリッジから密封テープを取り除きます。プリンタのセットアップガイドまたはトナーカートリッジに付属の取り扱い説明書を参照してください。
用紙トレイに用紙がない。	用紙をセットし、86 ページ以降に示す操作方法を参照してください。
プリンタのカバーが開いている。	プリンタの上部カバーおよびすべてのドア (左、前面、右) をしっかりと閉じます。
紙がプリンタ内で詰まっている。	紙詰まりがないかどうか確認し、203 ページの操作方法を参照してください。
ディスプレイにメッセージが表示される。	229 ページ以降のプリンタメッセージの意味を参照してください。

ソフトウェア、コンピュータ、およびプリンタインタフェースの問題

印刷ジョブが印刷されない

状況	処置
プリンタの電源が入っていないか、通電している電源コンセントに接続されていない。	プリンタの電源が入っていることと、電源ケーブルのすべてが、プリンタ機器と通電している電源コンセントの双方にしっかりと接続されていることを確認します。
プリンタがオフラインになっている。	[Go] を押してプリンタをオンラインにします。プリンタのコントロールパネルにはインジ カノウと表示され、印字可ライトが点灯します。
ポートが正しく構成され、機能している。	● 印刷ジョブが正しいポート (LPT1、ネットワークプリンタポートなど) に送られていることを確認します。 ● 現在のポートに別のプリンタを接続して印刷してみます。

印刷ジョブが印刷されない（続き）

プリンタはオンラインになっているがデータを受信していない ([データ] ライトが点滅しない)。	● I/O ケーブルを確認します。 ● プリンタと、コンピュータまたはネットワークのポートで I/O ケーブルの接続が緩んでいないことを確認します。 ● 正常に動作することがわかっているシステムで、問題の I/O ケーブルを試してみます。 ● 正しいインタフェースケーブルが使用されており、プリンタとコンピュータの双方に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが正しく構成されていない場合は、構成の情報についてセットアップガイドを参照してください。 ● ネットワークに接続されている場合は、JetDirect の設定ページを印刷してインタフェースまたはネットワークの問題を確認します (328 ページ参照)。
プリンタにメッセージが表示される。	プリンタメッセージと対処法については、229 ページ以降のプリンタメッセージの意味を参照してください。

印刷ジョブが印刷されない（続き）

前の印刷ジョブのデータがプリンタのバッファに残っている。	● 正しいプリンタドライバを使用していることを確認します。 ● 複雑な印刷ジョブが処理中である可能性があります。 ● プリンタがオンラインになっていることを確認します。コントロールパネルがジョブ処理中を示していることを確認します。 ● 上部カバーを開けます。トナーカートリッジを取り出し、紙が詰まっていないことを確認します。トナーカートリッジを元の位置に戻します。 ● トレイ 2 と 3 を開けて、適切な用紙がセットされていることを確認します (用紙の仕様については、405 ページを参照してください)。トレイを閉じます。

印刷ジョブが印刷されない（続き）

最後のページが印刷されず、[データ] ライトが点灯している。	● 正しいプリンタドライバを使用していることを確認します。 ● 複雑な印刷ジョブが処理中である可能性があります。 ● プリンタがオンラインになっていることを確認します。コントロールパネルにジョブ ノ ショリチュウと表示されていることを確認します。 ● 上部カバーを開けます。トナーカートリッジを取り出し、紙が詰まっていないことを確認します。トナーカートリッジを元の位置に戻します。 ● トレイ 2 と 3 を開けて、適切な用紙がセットされていることを確認します (用紙の仕様については、405 ページを参照してください)。トレイを閉じます。

印刷ジョブが印刷されない（続き）

[データ] ライトは点滅しているが、何も印刷されない。	● 正しいプリンタドライバを使用していることを確認します。 ● 複雑な印刷ジョブが処理中である可能性があります。 ● プリンタがオンラインになっていることを確認します。コントロールパネルにジョブ ノ ショリチュウと表示されていることを確認します。 ● 上部カバーを開けます。トナーカートリッジを取り出し、紙が詰まっていないことを確認します。トナーカートリッジを元の位置に戻します。 ● トレイ 2 と 3 を開けて、適切な用紙がセットされていることを確認します (用紙の仕様については、405 ページを参照してください)。トレイを閉じます。

印字速度が遅すぎる

状況	処置
最初のページの印刷に要する時間が、後のページよりも非常に長い。	● プリンタのディスプレイにオンラインが表示されていることを確認します。 ● パワーセーブ機能の設定時間を延長します 設定ページ (328 ページ) を参照してください)。複雑な書式コマンドが原因でページの印刷に時間がかかる場合は、パワーセーブ設定を変更しても印字速度が改善されない場合があります。この場合は、ページを簡略化します。
プリンタの応答が常に遅い。	● プリンタの速度はアプリケーション ソフトウェアのセットアップ方法、使用しているプリンタドライバ、およびネットワーク上のトラフィック量に大きく左右されます。構成情報についてはセットアップガイドを参照してください。 ● メモリを追加する必要がある可能性があります (484 ページ参照)。

印刷が不完全または正しくない

状況	処置
空白のページが出力される。	● プリンタの電源を一度切ってから、入れ直します。 ● トナーカートリッジが正しく取り付けてあることを確認します。 ● トナーカートリッジの密封テープが取り除かれていることを確認します。テープは、端を持ってカートリッジからまっすぐ引き出し、完全に取り除きます。テープに付着している黒いトナーに触れないようにします。

印刷が不完全または正しくない（続き）

意味のとれないページが印刷されたり、重なり印刷があったり、または ページの一部しか印刷されない。	● アプリケーション ソフトウェアが正しいプリンタに対して構成されていることを確認します。 ● プリンタインタフェース (I/O) ケーブルを、動作することがわかっているケーブルと交換し、ケーブルが不良であるかどうかを確認します。 ● パラレルプリンタケーブルが不良である可能性があります。高品質のケーブルを使用してください。HP ケーブルの製品番号については、40 ページを参照してください。 ● セッテイ メニューでパーソナリティの項目を ジドウ に設定します (459 ページ参照)。プリンタが PCL に設定されていて、PS ジョブがプリンタに送られたか、またはその逆であった可能性があります。 ● プリンタに送られたデータが壊れている可能性があります。別のファイルを送り、印刷されるかどうかを確認します。
ジョブが両面印刷されなかった。	● プリンタの電源をいったん切ります。両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認し、電源を再投入します。 ● 正しい用紙サイズを使用していることを確認します (403 ページ参照)。 ● 両面印刷の操作方法に従って操作していることを確認します (116 ページ参照)。

印刷が不完全または正しくない（続き）

データがないが、プリンタメッセージが表示されない。	● アプリケーション ソフトウェアをチェックして、印刷ファイルにエラーが含まれていないことを確認します。 ● ケーブルをチェックして、プリンタとコンピュータの双方に確実に接続されていることを確認します。 ● パラレルプリンタケーブルが不良である可能性があります。高品質のケーブルを使用してください。HP ケーブルの製品番号については 40 ページを参照してください。

印刷が不完全または正しくない（続き）

ジョブの途中で印刷が停止する。	● コントロールパネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかどうかを確認します。 ● ネットワーク環境の場合、コンピュータが正しく構成され、ネットワークに問題がないことを確認します (ネットワーク管理者に問い合わせてください)。 ● 入力電圧をチェックし、それが安定しており、プリンタの仕様を満たしていることを確認します (424 ページ参照)。プリンタの電源を一度切ってから、入れ直します。 ● ネットワークアプリケーションのタイムアウト設定を確認します。値を増大する必要がある可能性があります。 ● DOS プロンプトからファイルをプリンタにコピーする場合は、コピーコマンド COPY [ファイル名] LPTn /B プリンタポートを使用します (n はポート番号を示します)。 **注記：** ページを出力するには、コンピュータから排紙コマンドを送信する必要がある場合があります。

プリンタがフォント、書式、またはトレイ / ビンの選択を無視する

プリンタが誤ったフォントまたは書式で印刷する。	● フォントがプリンタに存在せず、アプリケーション ソフトウェアからダウンロードするか、適切なフォント DIMM を設置する必要があります。アプリケーション ソフトウェアをチェックして、正しいプリンタドライバがインストールおよび構成されていることを確認します。目的のフォントが利用できるかどうかを確認するには、フォントリストを印刷します (332 ページ参照)。 ● ソフトウェアが、プリンタで利用できないフォントの代わりに代用フォントを選択しました (フォントの選択については、アプリケーション ソフトウェアのマニュアルを参照してください)。

プリンタがフォント、書式、またはトレイ / ビンの選択を無視する（続き）

プリンタが違うトレイから用紙を取り出す。	● アプリケーション ソフトウェアで正しい用紙サイズまたはタイプが選択されていることを確認します。 ● アプリケーション ソフトウェア用のドライバが、正しくインストールおよび構成され、目的の用紙サイズおよびタイプを指定できることを確認します。 ● 要求された用紙サイズが、選択されているトレイにセットされていません。プリンタは正しいサイズの用紙がセットされている、次のデフォルトトレイから用紙を取り出します。正しいサイズの用紙をトレイにセットし、トレイを正しく調整します。トレイには、印刷ジョブを完了するのに充分な枚数の用紙をセットします。 ● 2000 枚給紙トレイ (トレイ 4) または 2 x 500 枚給紙トレイ (トレイ 4 または 5) を選択し、トレイの取り付け時にプリンタの電源を切らなかった場合、プリンタは取り付けられたトレイを認識せず、次のデフォルトのトレイから給紙します (プリンタの電源をいったん切り、再投入すると、トレイが認識されます)。
コントロールパネルの設定、カイゾウドやヨウシノ ムキなどが機能しないか無視される。	ソフトウェアのコマンドは、コントロールパネルの設定に優先します (ソフトウェアがコントロールパネルの設定に対しどのように機能するかについては、55 ページを参照してください)。

プリンタがフォント、書式、またはトレイ / ビンの選択を無視する（続き）

排紙されるはずのビンとは別のビンにジョブが出力された。	そのジョブに対し、違ったサイズまたはタイプの用紙が使用されました (使用可能な用紙サイズについては 405 ページを参照してください)。
用紙の誤った面に印刷される。	● 用紙が正しくセットされていることを確認します (86 ページ以降を参照)。 ● 片面印刷の場合、トレイ 1 では印刷する面を上に向けて用紙をセットします。トレイ 2、3 および 2000 枚給紙トレイでは、印刷する面を下に向けて用紙をセットします。 ● 両面印刷の場合は、トレイ 1 では最初に印刷する面を下に向けて用紙をセットします。トレイ 2、3 および 2000 枚給紙トレイでは、最初に印刷する面を上に向けて用紙をセットします。

印刷ジョブが用紙の両面に印刷されない

状況	処置
オプションの両面印刷アクセサリに関する問題については、305 ページを参照してください。	

カスタムサイズ用紙を使った印刷ジョブが正しく印刷されない

状況	処置
コントロールパネルとドライバで設定されている用紙サイズが異なる。	コントロールパネルとドライバでそれぞれ定義したカスタムサイズ用紙が、同じであることを確認します。

トレイ 1 の問題

状況	処置
シュドウ キュウシ [種類] [サイズ] のメッセージがクリアできない。	● 前の印刷ジョブがプリンタのバッファに残っている可能性があります。 ● トレイ 1 に正しいサイズの用紙がセットされていることを確認します。用紙の仕様については、403 ページを参照してください。
トレイ 1 から印刷できない。	アプリケーション ソフトウェアで手動給紙またはトレイ 1 を選択し、トレイにセットされている用紙のサイズおよびタイプが選択されていることを確認します。手動給紙の場合は、プリンタから手動給紙が要求されてから、用紙をセットします。
用紙がトレイ 1 にセットされ、コントロールパネルに給紙または手動給紙のメッセージが表示される。	トレイに正しい用紙をセットします。トレイ 1 のセット (86 ページ) を参照してください。すでに正しい用紙がセットされている場合は、[Go] を押します。

トレイ 1 の問題

用紙が正しい排紙ビンに送られない。	● プリンタドライバで正しい排紙ビンが選択されていることを確認します。プリンタドライバの設定の変更方法については、オンラインヘルプを参照してください。 ● 用紙が排紙ビンの仕様を満たしていません。用紙の仕様については、405 ページを参照してください。

トレイ 2、3 およびオプションの 2 x 500 枚給紙トレイの問題 (トレイ 4 と 5)

状況	処置
一般的な操作の問題	一般的な用紙の操作については、第 2 章印刷作業を参照してください。
紙詰まりおよび紙送りの問題	● この章の始めの トレイ 2 と 3 の紙詰まりの除去 または オプションの 2 x 500 枚給紙トレイ (4 と 5) の紙詰まりの 除去 を参照してください。 ● 用紙の仕様が推奨範囲内であることを確認します (403 ページ参照)。 ● 用紙ガイドが正しく調整され、斜めになっていないことを確認してください (90 ページ参照)。 ● プリンタに要求されたら、保守整備を実行します。

トレイ 2、3 およびオプションの 2 x 500 枚給紙トレイの問題 (トレイ 4 と 5)（続き）

状況	処置
トレイ 2、3、またはオプションの 2 x 500 枚給紙トレイ (トレイ 4 と 5) にアクセスできない。	● セットされている用紙サイズに対し、アプリケーション ソフトウェアから適切な用紙のサイズとタイプを選択する必要があります。 ● セットされている用紙サイズに合わせてトレイを正しく調整します。利用できる用紙の正しいタイプについてはヨウシ トリアツカイ メニューを確認します (439 ページ参照)。
トレイ ノ キュウシ x [種類] [サイズ] の用紙サイズメッセージ	要求されたサイズの用紙をセットするか、または [選択] を押してすでにセットされているサイズの用紙で印刷します。プリンタはジョブをバッファに保持しており、正しいサイズの用紙での印刷を待機中です。 コントロールパネルで用紙タイプを設定します (432 ページ参照)。

オプションの 2000 枚給紙トレイ (トレイ 4) の問題

状況	処置
用紙サイズの調整および取り付け	用紙サイズの調整および取り付けについては、「用紙仕様」(403 ページ) および「オプションの 2000 枚給紙トレイ (トレイ 4) のセット」(95 ページ) を参照してください。

オプションの 2000 枚給紙トレイ (トレイ 4) の問題（続き）

紙詰まりおよび紙送りの問題	● 操作方法については、211 ページを参照してください。 ● 用紙の仕様が推奨範囲内であることを確認します (403 ページ参照)。 ● プリンタのコントロールパネルでトレイ 4 に対して設定されている用紙タイプが、トレイ 4 にセットされている用紙と一致することを確認します (95 ページ参照)。 ● 印刷中にトレイが引き出された可能性があります。 ● トレイとプリンタ間のケーブルおよびコネクタを確認します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● 電源ケーブルがコンピュータにしっかりと差し込まれていない場合は、いったん抜き取り接続し直します。 ● 各トレイに正しく用紙がセットされていることを確認します。 ● 用紙ガイドが正しく調整され、斜めになっていないことを確認します (95 ページ参照)。 ● プリンタに要求されたら、保守整備を実行します。

オプションの 2000 枚給紙トレイ (トレイ 4) の問題（続き）

トレイ 4 に通電しない。	● 電源ケーブルがプリンタと電源コンセントの双方にしっかりと差し込まれていません。電源ケーブルをいったん抜き取り、接続し直します。 ● トレイとプリンタ間のケーブルおよびコネクタを確認します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。
トレイ 4 にアクセスできない。	用紙トレイのガイド部が使用している用紙のサイズに対し正しく調整されていることを確認します (95 ページ参照)。

オプションの 2000 枚給紙トレイ (トレイ 4) の問題（続き）

プリンタがトレイ 4 を認識しない。	● オプションの 2000 枚給紙トレイがプリンタドライバで構成されていることを確認します。プリンタドライバのアクセス方法については、59 ページを参照してください。 ● プリンタの電源を一度切ってから、入れ直します。 ● トレイ 4 の基盤から伸びる C リンクケーブルがプリンタに接続されていることを確認します。接続されていない場合は、プリンタの電源を切り、ケーブルを接続し、電源を再投入します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● 電源ケーブルがトレイ 4 に接続されていることを確認します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● 依然としてプリンタがトレイ 4 を認識しない場合は、お買い求めの販売店または HP 認定サービスプロバイダにお問い合わせください。

オプションのホッチキス機能付き 5 ビンメールボックスの問題

状況	処置
ジョブがホッチキスで留められなかった。	ホッチキスに送られたジョブは、以下の 1 つまたは複数の理由によりホッチキスで留められない場合があります。 ● ホッチキスの針がありません。また、ジドウケイゾクが ON に設定されています。 ● ジョブに対し誤った用紙のサイズまたはタイプが使用されました。 ● ホッチキスにその能力限度である 20 ページを超える枚数が送られました。 ● ホッチキスのホッチキス留めヘッドに曲ったまたは変形したホッチキスの針があります (225 ページ参照)。 ● ホッチキスの詰まりが解消されたばかりです (解消後 2 件までのジョブは、留められないことがあります)。 ● ジョブに対し誤った用紙のサイズまたはタイプが使用されたために、ジョブはホッチキス機能付きビン以外のビンに送られました。 ● 1 ページのジョブはホッチキスで留められません。 ● メールボックスとホッチキス機能部との間のインタフェースケーブルが、不良であるか、または正しく接続されていない可能性があります。

オプションのホッチキス機能付き 5 ビンメールボックスの問題（続き）

繰り返し発生する一般的なホッチキス詰まりの問題	● ホッチキスで留めるジョブの厚さが 2 mm 未満であることを確認します。 ● ホッチキス内に針が引っかかっていてマガジンを塞いでいる可能性があります。他から離れてしまっている針や紙屑をホッチキス内から取り除きます (225 ページ参照)。
プリンタがホッチキス機能付 5 ビンメールボックスを認識しない。	● ホッチキス機能付 5 ビンメールボックスがプリンタドライバで設定されていることを確認します。プリンタドライバのアクセス方法については、59 ページを参照してください。 ● ホッチキス機能付 5 ビンメールボックスのケーブルが、プリンタの C リンクコネクタに接続されていることを確認します。ケーブルが接続されていない場合は、プリンタの電源をいったん切ってから C リンクコネクタに接続し、電源を再投入します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● ビンがすべて正しく取り付けられていることを確認します。 ● プリンタがまだホッチキス機能付 5 ビンメールボックスを認識しない場合は、お買い求めの販売店または HP 認定サービスプロバイダにお問い合わせください。
プリンタがホッチキスを認識しない。	● メールボックスとホッチキスの間のケーブルを確認します。両端で正しく接続されていることを確認します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。

オプションのホッチキス機能付き 5 ビンメールボックスの問題（続き）

ホッチキス機能付 5 ビンメールボックスの電源が入らない。	● ホッチキス機能付 5 ビンメールボックスおよび電源コンセントの双方に電源ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。電源ケーブルをいったん抜き取り、接続し直します。 ● ホッチキス機能付 5 ビンメールボックスのケーブルが、プリンタの C リンクコネクタに接続されていることを確認します。ケーブルが接続されていない場合は、プリンタの電源をいったん切ってから C リンクコネクタに接続し、電源を再投入します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● 各ケーブルがプリンタにそれぞれしっかりと接続されていることを確認します。
紙詰まりおよび紙送りの問題	● 使用可能な重量の用紙を使用していることを確認します (405 ページ参照)。 ● 印刷中にビンから用紙を取り出さないでください。 ● プリンタとホッチキス機能付 5 ビンメールボックス間で接続されているケーブルおよびコネクタを確認します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。

オプションのホッチキス機能付き 5 ビンメールボックスの問題（続き）

用紙が正しい排紙ビンに送られない。	● プリンタドライバで正しい排紙ビンが選択されていることを確認します。プリンタドライバの設定の変更方法については、オンラインヘルプを参照してください。 ● 用紙が排紙ビンの仕様を満たしていません。用紙の仕様については、405 ページを参照してください。 ● オプションのマルチビンメールボックスに印刷ジョブを送ろうとしている場合は、マルチビンメールボックスがプリンタとプリンタドライバにインストールされていることを確認します。また、マルチビンメールボックスのモードを確認します。このモードは、印刷ジョブの排紙先に影響します。

オプションの 8 ビンメールボックスの問題

プリンタがメールボックスを認識しない。	● 8 ビンメールボックスがプリンタドライバで構成されていることを確認します。プリンタドライバのアクセス方法については、59 ページを参照してください。 ● 8 ビンメールボックスのケーブルが、プリンタの C リンクコネクタに接続されていることを確認します。ケーブルが接続されていない場合は、プリンタの電源をいったん切ってから C リンクコネクタに接続し、電源を再投入します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● ビンがすべて正しく取り付けられていることを確認します。 ● 依然としてプリンタが 8 ビンメールボックスを認識しない場合には、お買い求めの販売店か、HP 認定サービスプロバイダにお問い合わせください。

オプションの 8 ビンメールボックスの問題（続き）

紙詰まりおよび紙送りの問題	● 使用可能な重量の用紙を使用していることを確認します (405 ページ参照)。 ● 印刷中にビンから用紙を取り出さないでください。 ● プリンタとメールボックス間のケーブルおよびコネクタを確認します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● マルチビンメールボックスエリアで紙詰まりが繰り返し発生する場合は、プリンタおよびマルチビンメールボックスが水平ではない床面に設置されている可能性があります。プリンタを水平な床面に移動します。
用紙が正しい排紙ビンに送られない。	● プリンタドライバで正しい排紙ビンが選択されていることを確認します。プリンタドライバの設定の変更方法については、オンラインヘルプを参照してください。 ● 用紙が排紙ビンの仕様を満たしていません。用紙の仕様については、405 ページを参照してください。 ● オプションのマルチビンメールボックスに印刷ジョブを送ろうとしている場合は、マルチビンメールボックスがプリンタとプリンタドライバにインストールされていることを確認します。また、マルチビンメールボックスのモードを確認します。このモードは、印刷ジョブの排紙先に影響します。

印字品質の問題解決法

オプションの 8 ビンメールボックスの問題（続き）

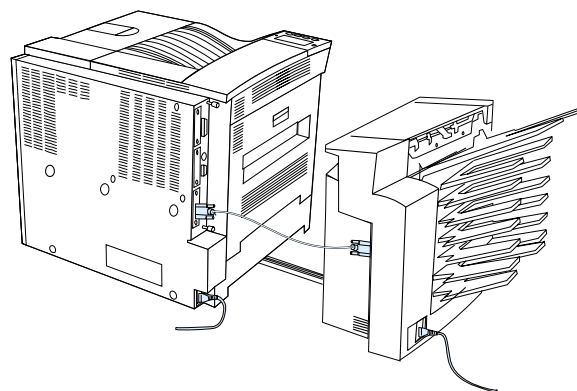
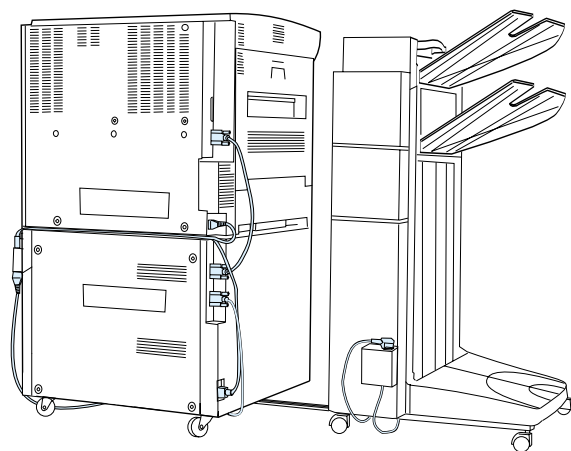
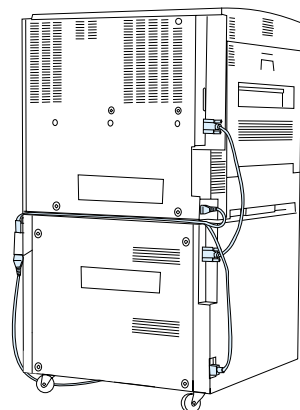
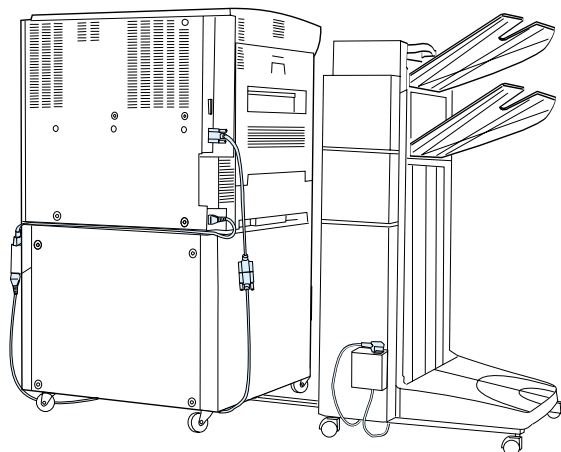
マルチビンメールボックスに通電しない。	● 電源ケーブルがしっかりとマルチビンメールボックスおよびコンセントの双方に差し込まれていることを確認します。電源ケーブルをいったん抜き取り、接続し直します。 ● マルチビンメールボックスのケーブルが、プリンタの C リンクコネクタに接続されていることを確認します。ケーブルが接続されていない場合は、プリンタの電源をいったん切ってから C リンクコネクタに接続し、電源を再投入します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● 各ケーブルがプリンタにそれぞれしっかりと接続されていることを確認します。

オプションの 7 ビン卓上メールボックスの問題

問題	対処
プリンタがメールボックスを認識しない。	● 7 ビンメールボックスがプリンタドライバで構成されていることを確認します。プリンタドライバのアクセス方法については、59 ページを参照してください。 ● C リンクケーブルが正しく接続されていることを確認します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● ビンがすべて正しく取り付けてあることを確認します。 ● 依然としてプリンタが 7 ビンメールボックスを認識しない場合は、お買い求めの販売店または HP 認定サービスプロバイダにお問い合わせください。
紙詰まりおよび紙送りの問題	● 使用可能な重量の用紙を使用していることを確認します (405 ページ参照)。 ● 印刷中にビンから用紙を取り出さないでください。 ● プリンタとメールボックス間のケーブルおよびコネクタを確認します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● マルチビンメールボックスエリアで紙詰まりが繰り返し発生する場合は、プリンタおよびマルチビンメールボックスが水平ではない床面に設置されている可能性があります。その場合は、プリンタを水平な場所に移動します。

オプションの 7 ビン卓上メールボックスの問題（続き）

用紙が正しい排紙ビンに送られない。	● プリンタドライバで正しい排紙ビンが選択されていることを確認します。プリンタドライバの設定の変更方法については、オンラインヘルプを参照してください。 ● 用紙が排紙ビンの仕様を満たしていません。用紙の仕様については、405 ページを参照してください。 ● オプションのマルチビンメールボックスに印刷ジョブを送ろうとしている場合は、マルチビンメールボックスがプリンタとプリンタドライバにインストールされていることを確認します。また、マルチビンメールボックスのモードを確認します。このモードは、印刷ジョブの排紙先に影響します。
マルチビンメールボックスに通電しない。	● 電源ケーブルがマルチビンメールボックスと電源コンセントの双方に確実に差し込まれていることを確認します。電源ケーブルをいったん抜き取り、接続し直します。 ● C リンクケーブルが正しく接続されていることを確認します。ケーブルの接続方法については、304 ページを参照してください。 ● ケーブルがしっかりとプリンタに接続されていることを確認します。

ケーブルの接続方法

オプションの両面印刷ユニットの問題

プリンタが両面印刷ユニットを認識しない。	● 設定ページ (328 ページ参照) を印刷して、両面印刷ユニットがインストールされていることを確認します。 ● プリンタの電源を切ります。両面印刷ユニットをいったん取り外し、再び取り付けます。電源を再投入します。 ● 両面印刷ユニットがプリンタドライバで構成されていることを確認します。
ジョブが両面印刷されなかった。	● 設定ページ (328 ページ参照) を印刷して、両面印刷ユニットがインストールされていることを確認します。 ● 両面印刷ユニットがプリンタドライバで構成されていることを確認します。 ● ソフトウェアがプリンタドライバの設定を無効にしていないことを確認します。
両面印刷ユニットの詰まり	使用可能な重量およびサイズの用紙を使用していることを確認します (405 ページ参照)。
両面印刷を行うようドライバが設定されていない。	両面印刷のオプションがドライバ内で正しく設定されていることを確認します。

オプションの両面印刷ユニットの問題

印刷しようとしているファイルについて、両面印刷オプションがオンになっていない。	両面印刷のオプションがドライバ内で正しく設定されていることを確認します。
用紙のタイプとしてラベル紙、OHP フィルム、または封筒が指定された。	● 選択したメディアタイプが両面印刷できることを確認します (117 ページ参照)。 ● 両面印刷できる適切なメディアタイプに変更します。
カスタムサイズ用紙で両面印刷できない。	カスタムトレイが取り付けられている場合、プリンタは、トレイ 1 またはカスタム用紙トレイからカスタムサイズの用紙を両面印刷できません。

オプションの封筒フィーダの問題

状況	処置
封筒の詰まりおよび送りの問題	● 封筒が 419 ページの仕様を満たしていることを確認します。 ● 封筒が正しくセットされていることを確認します。 ● フィーダの封筒押えが下位置になっていることを確認します。 ● オプションの封筒フィーダの拡張部が完全に引き出してあることを確認します。 ● フューザレバーが正しい位置に置かれていることを確認します (128 ページ参照)。
複数枚の封筒がプリンタ内に送り込まれる。	最初に送り込まれる (一番下の) 封筒は、残りの封筒よりもピックアップローラに近くセットされる必要があります。
プリンタ内に封筒が送り込まれない。	● 封筒フィーダに入れすぎていないことを確認してください。 ● 封筒をセットするときは、ローラにあたるまで確実に押し込むようにしてください。

オプションの封筒フィーダの問題（続き）

プリンタがオプションの封筒フィーダを認識しない。	● プリンタの電源を切り、オプションの封筒フィーダをいったん取り外し、再び取り付けてから、電源を再投入します。 ● オプションの封筒フィーダがプリンタドライバで構成されていることを確認します。プリンタドライバのアクセス方法については、63 ページを参照してください。

プリンタハードディスク

状況	処置
プリンタがハードディスクを認識しない。	プリンタの電源を切り、ハードディスクが正しく差し込まれ、しっかりと固定されていることを確認します。
ディスクが初期化されていない。 ディスク x ハショキカサレテイマセン	Windows ベースの HP LaserJet Resource Manager または Macintosh ベースの HP LaserJet Utility を使って、ディスクを初期化します。
ディスクの障害 EIO x ディスク ガ キノウシテイマセン	プリンタの電源を切り、EIO ディスクが正しく挿入され、しっかりと固定されていることを確認します。コントロールパネルのメッセージが消えない場合は、ディスクドライブを交換する必要があります。

印字品質の問題解決法

プリンタハードディスク（続き）

ディスクが書込み禁止 ディスク ハカキコミ キンシデス	ディスクが書込み禁止になっているときは、フォントや様式をディスクに保存できません。Windows ベースの HP LaserJet Resource Manager または Macintosh ベースの HP LaserJet Utility を使って、ディスクの書込み禁止を解除します。
ディスク-常駐フォントを使用しようとしたら、出力には別のフォントが代用された。	PCL を使用している場合には、PCL フォントページを印刷し、フォントがディスク上にあることを確認します。PS を使用している場合には、PS フォントページを印刷し、フォントがディスク上にあることを確認します。フォントがディスクにない場合には、HP LaserJet Resource Manager または Macintosh ベースの HP LaserJet Utility を使って、フォントをダウンロードします。

PS のトラブルシューティング

状況	処置
PS 印刷ジョブの代わりに、PS コマンドのテキスト一覧が印刷される。	コントロールパネルのパーソナリティ = ジドウ設定が、非標準の PS コードによって正しく認識されていない可能性があります。パーソナリティに PS または PCL が設定されているかどうか、パーソナリティの設定を確認します。PCL が設定されている場合、パーソナリティ = ジドウに設定します。ジドウに設定されている場合は、このジョブだけについて PS を設定します。ジョブが印刷されたら、設定をジドウに戻します。

PS のトラブルシューティング（続き）

状況	処置
指定したフォントではなく、Courier 体（プリンタのデフォルトフォント）でジョブが印刷される。	● 指定のフォントはこのプリンタでは使用できないか、ディスク上にありません。フォントのダウンロードユーティリティを使って、希望のフォントをダウンロードします。 ● メモリにダウンロードされたフォントが、プリンタの電源切断時に失われました。メモリ上のフォントは、リソース資源を使用せずに、パーソナリティスイッチを実行して PCL ジョブを印刷する場合も失われます。ディスク上のフォントは、PCL ジョブを印刷したり、プリンタの電源を切ったりしても影響ありません。 ● PS フォントページを印刷して、フォントが使用できるかどうかを確認します。ディスク上のフォントが存在しない場合は、ソフトウェアユーティリティを使ってフォントが削除されたか、ディスクドライブが再初期化されたか、またはディスクドライブが正しくインストールされていない可能性があります。プリンタ構成ページを印刷して、ディスクドライブがインストールされ、正常に動作していることを確認します。 ● ディスクディレクトリを印刷して、使用できるフォントを特定します。

PS のトラブルシューティング（続き）

状況	処置
ページのマージンが欠けて印刷される。	ページのマージンが欠けて印刷される場合は、解像度を 300 dpi にして印刷するか、メモリを増設する必要があります。また、リソース保存および I/O バッファもオフにしてみます。
ページが印刷されない。	PS エラー ノ インサツ = オンに設定し、ジョブを再度送信して、PS エラーページを印刷します。これで問題が特定できない場合は、リソース保存および I/O バッファをオフにするか、メモリを増設します (PS 印刷の詳細については、332 ページを参照してください)。
PS エラーページが印刷される。	● 印刷ジョブが PS ジョブであることを確認します。 ● プリンタの設定内容または PS ヘッダファイルをプリンタに送信するようソフトウェアによって要求されなかったかどうかを確認します。 ● アプリケーション ソフトウェア内で行ったプリンタの設定で、プリンタが選択されているかどうかを確認します。 ● ケーブルが確実に接続されているかどうかを確認します。 ● グラフィックスを簡略化します。 ● リソース保存をオンにして、使用可能なメモリを追加します。

コンピュータ、ネットワーク、または I/O ポートの問題

状況	処置
プリンタインタフェースの問題	プリンタのコントロールパネルから設定ページを印刷し、出力されたページに示されるインタフェース構成が、ホストコンピュータと一致していることを確認します (設定ページの印刷の方法については、328 ページを参照してください)。
コンピュータソフトウェアの問題	動作確認済みのアプリケーション ソフトウェアから印刷するか、単純なテキストファイルを印刷して、コンピュータが正常に機能することを確認し、問題がアプリケーション ソフトウェアにあるか、プリンタドライバにあるかを判断します (たとえば、「C:\dir>>LPTn」を確認します。ここで n は LPT1 のようにプリンタが接続されているコンピュータのポート番号)。ページを出力するには、コンピュータから排紙コマンドを送信する必要があります。
ソフトウェアが誤ったポートを選択している。	オペレーティングシステムのポート設定を確認して、印刷ジョブが正しいポート (たとえば LPT1) に送られていることを確認します。

コンピュータ、ネットワーク、または I/O ポートの問題(続き)

プリンタポートの問題	コンピュータのポートが正しく構成され、機能していることを確認します。たとえば、コンピュータのそのポートに別のプリンタを接続し、動作することがわかっているアプリケーションから印刷することによって、確認できます。
ネットワークまたは共有プリンタの問題	コンピュータを問題のプリンタに直接接続し、動作することがわかっているアプリケーションから印刷してみることによって、ネットワークまたは共有プリンタの問題を確認します。ネットワークの問題である可能性が強い場合は、ネットワーク管理者に相談するか、プリンタのネットワークカードに付属のネットワークマニュアルを参照してください。

コンピュータに次のような DOS メッセージが表示される。"Write Fault Error Writing Device LPTn: Abort, Retry, Ignore?" (デバイス LPTn に書き込み中に書込みエラーが発生しました。アボート、再試行、無視しますか ?)	● コンピュータの AUTOEXEC.BAT ファイルに、パラレルポート用の Mode コマンドを追加します。PATH ステートメントの直後に挿入する必要があります。
	
	4.0 より前の DOS バージョンの場合は次を追加 :
	`MODE LPT1:,,P`
	
	4.0 以降の DOS バージョンの場合は次を追加 :
	`MODE LPT1:,,B`
	● I/O ケーブルが不良である可能性があります。280 ページの印刷が不完全または正しくないを参照してください。

HP Fast InfraRed Connect の問題

状況	処置
FIR ポートのステータスインジケータが点灯しない。	● プリンタがインジ カノウ モードにあり、印刷元となる FIR ポートが IRDA に準拠し、動作範囲内 (182 ページのジョブの印刷 を参照) に設置されていることを確認します。 ● HP Fast InfraRed Connect がプリンタに正しく接続されていることを確認します。 ● プリンタのセルフテストを実行します。インストールしたパーソナリティとオプションの下に、FIR POD (IRDA 準拠) が印刷されていることを確認します。

HP Fast InfraRed Connect の問題（続き）

状況	処置
接続が確立できないまたは接続に時間がかかる。	● IRDA に準拠したデバイスを使用します。デバイスが IRDA に準拠しているかどうかを調べるには、デバイスに IRDA のシンボルが付いているかどうかを確認するか、コンピュータに付属のユーザーズガイドで IRDA 仕様に関する説明を参照してください。 ● 使用中のコンピュータのオペレーティングシステムに FIR ドライバが組み込まれ、互換性のあるドライバをアプリケーションが使用していることを確認します (複雑なページは印刷に時間がかかることに注意してください)。 ● 182 ページのジョブの印刷で説明したとおり、動作範囲内に HP Fast InfraRed Connect を配置し、接続の障害になるものがないことを確認します (障害物の例として、作プロバイダの手、用紙、本、明るい光などが考えられます)。 ● 2 つの FIR ポートがきれいな状態にあることを確認します (汚れや油が付いていない)。 ● FIR ポートのいずれかに明るい光 (日光、白熱灯、蛍光灯、テレビやビデオのリモートコントローラから発せられる赤外線の光など) が直接差し込んでいると、電波干渉が発生する可能性があります。どちらの FIR ポートにも明るい光が差し込んでいないことを確認します。 ● ポータブルデバイスをプリンタの FIR ポートに近づけます。

HP Fast InfraRed Connect の問題（続き）

状況	処置
ページまたは文書の一部しか印刷されない。	ジョブの転送中に接続が遮断されました。転送中にポータブルデバイスを移動すると、接続が遮断される場合があります。IRDA 準拠のデバイスは一時的な接続障害からは回復できるように設計されています。接続を再確立できる時間は 40 秒以内です（使用中のポータブルデバイスによって異なります）。
印刷ジョブは正常にプリンタへ送信されましたが、印刷されません。	すべての印刷ジョブがプリンタへ転送される前に接続が遮断された場合（印刷はまだ開始されていない）、ジョブは印刷されない場合があります。[ジョブのキャンセル] を押して、プリンタのメモリにあるデータをすべて消去します。次に、182 ページのジョブの印刷 で説明したとおり、動作範囲内にポータブルデバイスを配置し、もう一度ジョブを印刷します。
ジョブの転送中に FIR ステータス インジケータが消える。	接続が遮断された可能性があります。[ジョブのキャンセル] を押して、プリンタのメモリにあるデータをすべて消去します。次に、182 ページのジョブの印刷 で説明したとおり、動作範囲内にポータブルデバイスを配置し、もう一度ジョブを印刷します。
PS 印刷ジョブが印刷されない。	Windows の [PostScript] タブの設定を確認します。プロトコルに AppleTalk が設定され、Binary Data が選択されていないことを確認します。

Macintosh の問題解決法

状況	処置
Macintosh コンピュータがプリンタと通信していない。	● プリンタのコントロールパネルにインジ カノウと表示されていることを確認します。 ● [セレクタ] の左側で正しいプリンタドライバが選択されているかどうか確認します。次に、[セレクタ] の右側で希望のプリンタ名が選択 (反転表示) されているかどうか確認します。ドライバを設定し、PPD を使って構成すると、プリンタ名の横にアイコンが表示されます。 ● 複数のゾーンがあるネットワーク上にプリンタがある場合は、[セレクタ] の [AppleTalk ゾーン] ボックスで正しいゾーンが選択されているかどうか確認します。 ● プリンタ構成ページを印刷することにより、[セレクタ] で正しいプリンタが選択されていることを確認します (328 ページ参照)。プリンタ構成ページに示されているプリンタの名前が、[セレクタ] 内のプリンタと同じであるかどうか確認します。

Macintosh の問題解決法（続き）

状況	処置
Macintosh コンピュータがプリンタと通信していない。(続き)	● AppleTalk が使用可能であるかどうか確認します (使用中の OS バージョンによって、[セレクタ] または AppleTalk コントロールパネルで選択します)。 ● コンピュータとプリンタが同じネットワーク上にあるかどうか確認します。[アップル] メニューの [コントロールパネル] からネットワーク (または AppleTalk) コントロールパネルを選択し、正しいネットワークを選択します (LocalTalk や EtherTalk など)。
自動設定によってプリンタが自動的に設定されない。	● [構成] を選択して、プリンタを手動でセットアップします。 ● プリンタソフトウェアを再インストールします (71 ページ参照)。 ● 代替の PPD を選択します (321 ページ参照)。 ● PPD の名前が変更された可能性があります。その場合は、名前を変更した PPD を選択します (321 ページ参照)。 ● ネットワークキューのある可能性があります。

Macintosh の問題解決法（続き）

状況	処置
プリンタのドライバアイコンが［セレクタ］に表示されない。	Apple LaserWriter 8 のセレクタ拡張機能が［初期設定］フォルダにあることを確認します。このセレクタ拡張機能がシステムに存在しない場合は、Apple Computer, Inc. の Mac OS システムソフトウェア CD-ROM からドライバをインストールすることができます。あるいは、Hewlett-Packard 社製品のサポート体制にお問い合わせください。
印刷ジョブが希望のプリンタに送信されない。	同じ名前または似たような名前を持つ別のプリンタが印刷ジョブを受信した可能性があります。セレクタで選択した名前とプリンタ名が一致するかどうか確認してください（321 ページ参照）。
印刷ジョブに不正なフォントが含まれる。	● .EPS ファイルを印刷している場合は、.EPS ファイルに含まれるフォントをプリンタにダウンロードしてから、印刷を開始します。この場合、HP LaserJet Utility を使用します (77 ページ参照)。 ● New York、Geneva、または Monaco の各フォントを使って文書が印刷されない場合は、用紙設定ダイアログボックスを開き、オプションを選択して、代替フォントを選択解除します。

代替 PPD の選択

1 **[アップル]** メニューの **[セレクタ]** を開きます。

2 **[LaserWriter 8]** アイコンをクリックします。

3 複数のゾーンがあるネットワーク上にマシンがある場合は、**[AppleTalk ゾーン]** ボックスで、プリンタが配置されているゾーンを選択します。

4 使用したいプリンタの名前を、**[Select a PostScript Printer]** ボックスでクリックします（ダブルクリックすると、次の数ステップが直ちに実行されます）。

5 **[設定 ...]** をクリックします（初めての設定では **[Create] と表示される場合があります)。**

6 **[Select PPD...] をクリックします。**

次のページに続く。

7 リストの中から希望の PPD を探し、**[選択]** をクリックします。希望の PPD がリストにない場合は、次のいずれかのオプションを選択します。

- 同様の機能を持つプリンタの PPD を選択する。
- 別のフォルダから PPD を選択する。
- **[一般設定]** をクリックして、汎用 PPD を選択する。汎用 PPD を使用すると、印刷は行えますが、利用できるプリンタ機能に制限があります。

8 **[設定]** ダイアログボックスで、**[選択]** をクリックします。次に、[OK] をクリックして、**[セレクタ]** に戻ります。

注記 PPD を手動で選択すると、**[Select a PostScript Printer]** ボックス内で、選択されたプリンタの横にアイコンが表示されない場合があります。**[セレクタ]** で **[設定]** をクリックし、**[Printer Info]** をクリックします。次に、**[Update Info]** をクリックして、アイコンを表示します。

9 **[セレクタ]** を閉じます。

プリンタ名の変更

プリンタの名前を変更するときは、あらかじめ **[セレクタ]** 内でプリンタを選択します。**[セレクタ]** 内でプリンタを選択した後でプリンタ名を変更すると、**[セレクタ]** に戻ってプリンタを再選択する必要があります。

プリンタ名を変更するには、**HP LaserJet Utility** の **Set Printer Name** 機能を使用します。

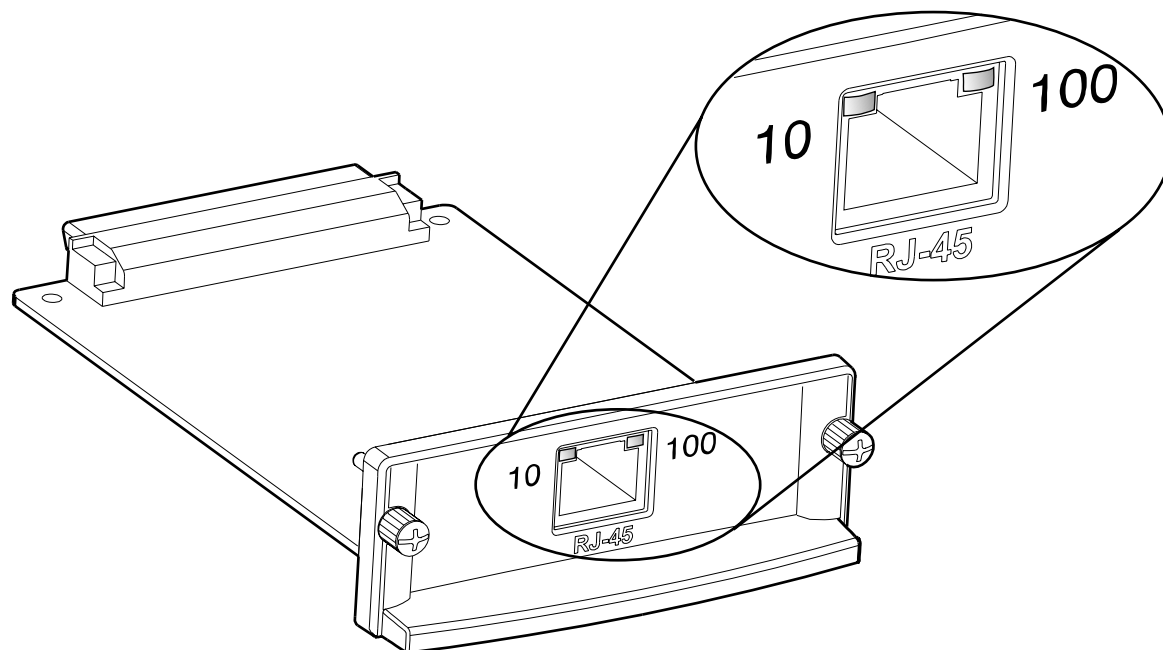
オプションの HP JetDirect EIO プリントサーバーとの通信

プリンタにオプションの HP JetDirect 内蔵プリントサーバーが搭載されており、ネットワークを介してプリンタと通信できない場合、プリントサーバーの動作を確認します。JetDirect 設定ページで I/O CARD READY のメッセージを確認します (設定ページを印刷するには 328 ページの手順に従います)。トラブルシューティングについては、HP JetDirect ソフトウェアの管理者ガイドを参照してください。

HP JetDirect 610N 10/100Base-TX プリントサーバー

プリンタにオプションの HP JetDirect 10/100Base-TX プリントサーバーが搭載されている場合は、プリントサーバーがネットワークに接続されたことを確認します。

- プリントサーバー上のリンクスピード表示 LED (10 または 100) を確認します。 どちらも消えている場合は、 カードがネットワークへの接続に失敗したことを示しています。

次のページに続く。

- JetDirect 設定ページで LOSS OF CARRIER ERROR メッセージを確認します。このメッセージも、カードがネットワークに接続されなかったことを示します。

注記

HP JetDirect 10/100Base-TX プリントサーバーでは、ネットワークへの接続の確立に最大 10 秒間かかる場合があります。

別の HP JetDirect プリントサーバーをお持ちの場合は、プリントサーバーに付属のマニュアルを参照してください。

次のページに続く。

プリントサーバーがリンクに失敗した場合は、ケーブルがすべて正しく接続されていることを確認します。プリントサーバーがそれでも接続できない場合には、以下の手順に従って、プリントサーバーを再構成します。

1 ネットワークに適するように、リンク速度 (10 または 100 Mbps) および通信モード (全二重または半二重) を手動で設定するには、EIO メニューを使用します (473 ページの EIO メニューを参照してください)。たとえば、ネットワークスイッチのポートが 100TX 全二重動作に設定されている場合は、プリントサーバーを 100TX 全二重動作に設定する必要があります。

2 プリンタの電源を一度切ってから、入れ直します。

3 プリントサーバーの動作を確認します。プリントサーバーが接続に失敗する場合は、HP 正規代理店または認定サービスプロバイダにお問い合わせください。

プリンタの設定の確認

プリンタのコントロールパネルから、プリンタと現在の設定に関する詳細が記載されたページを印刷できます。ここでは、以下の情報ページについて説明します。

- 設定ページ
- メニューマップ
- PCL または PS フォントリスト
- 用紙経路のテスト

プリンタの情報ページの完全なリストについては、プリンタのコントロールパネルのジョウホウ メニューを参照してください (436 ページ参照)。

設定ページ

設定ページを利用して、現在のプリンタ設定を確認したり、プリンタの問題のトラブルシューティングに役立てたり、メモリ (DIMM) や給紙排紙用の用紙ハンドリング装置、プリンタ言語などオプションのアクセサリがインストールされていることを確認したりします。

注記 HP JetDirect EIO カードがインストールされている場合は、JetDirect の設定ページも印刷されます。

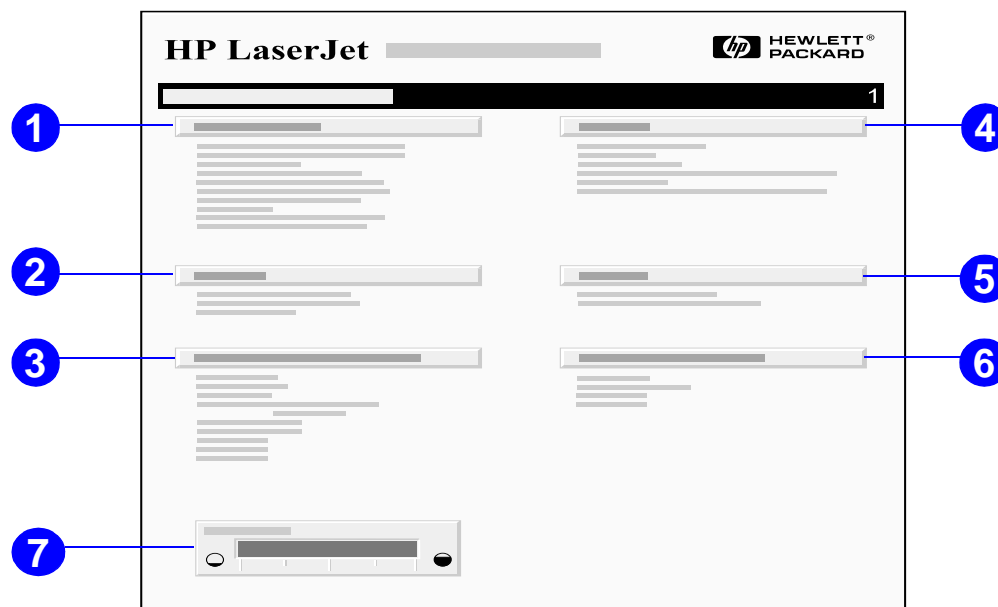
設定ページは、次の手順に従って印刷します。

1 ジョウホウ メニューが表示されるまで、**[メニュー]** を繰り返し押します。

2 セッテイ ノ インサツが表示されるまで、**[項目]** を繰り返し押します。

3 **[選択]** を押して、設定ページを印刷します。

サンプル印刷ページの数字は、プリンタメッセージ (231 ページ参照) の数字に対応します。設定ページの内容は、プリンタに現在インストールされているオプションによって異なります。

次のページに続く。

1 **プリンタ情報は、**シリアル番号、HP JetSend IP アドレス、ページ数、およびプリンタに関するその他の情報を示します。フューザ調節モードにタカイ 1、タカイ 2、またはタカイ 3 を設定した場合、高いフューザ温度で印刷されるページの数がページ数の後の括弧内に示されます。

2 **イベントログは、**ログの入力件数、参照可能最大件数、および最新 3 件の入力項目を示します。イベントログの 2 ページ目は、メーカーのページです。このページは、HP カスタマケアによるサービスが発生する可能性のある問題を解決するときに役立ちます。

次のページに続く。

3 **インストールしたパーソナリティとオプションは、**インストールされているプリンタ言語すべて (PCL や PS など) 、および各 DIMM スロットと EIO スロットに取り付けられているオプションを示します。

4 **メモリは、プリンタメモリ、DWS、**および I/O バッファとリソース保存に関する情報を示します。

5 **セキュリティは、**プリンタのコントロールパネルのロック、コントロールパネルのパスワード、およびディスクドライブのステータスを示します。

6 **用紙トレイとオプションは、**全トレイのサイズ設定と、取り付けられているオプションの用紙ハンドリングアクセサリを示します。

7 **トナーレベルは、**カートリッジ内のトナー残量をグラフィカルに示します。

メニューマップ

コントロールパネルで使用できるメニューおよび項目の現在の設定を表示するには、コントロールパネルのメニューマップを印刷します。

1 ジョウホウ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 メニュー マップ ノ インサツが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

3 [選択] を押してメニューマップを印刷します。

メニューマップをプリンタの近くに置いて、参照できるようにすると便利です。メニューマップの内容は、プリンタに現在インストールされているオプションによって異なります (多くの値は、プリンタドライバまたはアプリケーション ソフトウェアによって、オーバーライドされる可能性があります)。

コントロールパネルの項目および可能な値の完全なリストについては、432 ページを参照してください。コントロールパネルの設定を変更するには、55 ページを参照してください。

PCL または PS フォントリスト

フォントリストを使って、現在プリンタにインストールされているフォントを確認できます (フォントリストは、オプションのハードディスクまたはフラッシュ DIMM に常駐しているフォントも示します)。

PCL または PS フォントリストの印刷手順

1 ジョウホウ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

2 PCL フォント リスト ノ インサツまたは PS フォント リスト ノ インサツが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

3 [選択] を押して、フォントリストを印刷します。

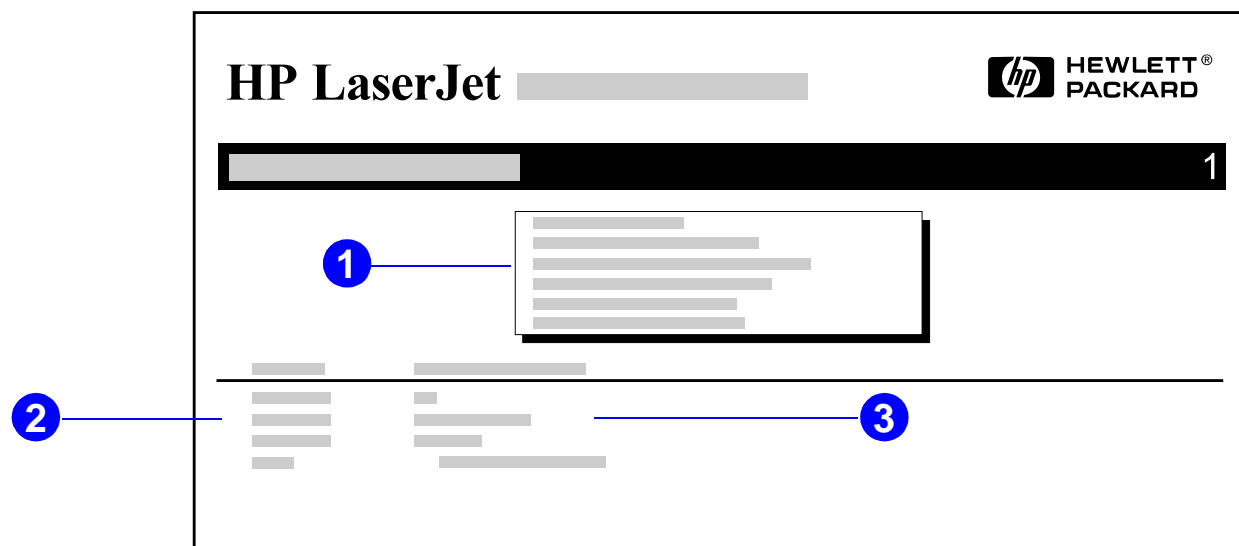
PS フォントリストは、インストールされている PS フォントとそれらのフォントのサンプルを示します。以下に、PCL フォントリストに示される情報を説明します。

- **フォント**は、フォント名とサンプルを示します。
- **ピッチ / ポイント**は、フォントのピッチまたはポイントサイズを示します。
- エスケープシーケンス (PCL プログラミングコマンド) を使って、指定のフォントを選択します (フォントリストの一番下にある凡例を参照してください)。

次のページに続く。

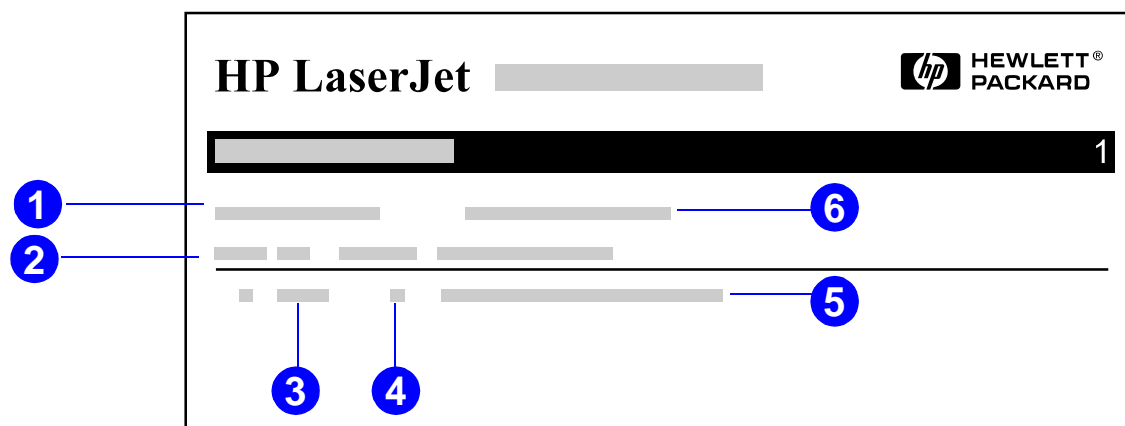
注記 DOS アプリケーションでプリンタコマンドを使ってフォントを選択する手順については、499 ページを参照してください。

- **フォント No.** は、プリンタのコントロールパネルで (アプリケーション ソフトウェアからではなく) フォントを選択するときに使用する番号です。フォント No. を後述のフォント ID と混同しないでください。番号は、フォントが保存されている DIMM スロットを示します。
  - ソフトは、ダウンロードされたフォントで、他のフォントがダウンロードされて置き換えられるか、プリンタの電源が切れるまでプリンタ内に常駐します。
  - 内蔵は、プリンタに永久的に常駐するフォントです。
- **フォント ID** は、ソフトウェアを使ってフォントをダウンロードするときにそのソフトフォントに割り当てる番号です。

ファイル ディレクトリ ページ

1 ディスク情報は、ディスクのモデル番号、シリアル番号、容量、空き容量、およびディスクへの書き込みが許可されているかどうかを示します。

2 ファイル サイズは、ディレクトリ / ファイル名の列の下の各ファイルのサイズを示します。行にディレクトリが記されている場合は、この列にはディレクトリが表示され、ディレクトリ / ファイル名の列にそのパスが示されます。

3 ディレクトリ / ファイル名は、ファイル名のリストです。サブディレクトリにあるファイルは、ディレクトリ行の直後に記されます。ファイルは必ずしもアルファベット順に記されていません。

イベント ログ ページ

1 **現在のページ数は、**プリンタから印刷されたページ数を示します。

2 **番号は、**エラーの発生した順序を示します。最後に発生したエラーの番号が最大です。

3 **エラーは、**各エラーの内部エラーコードを示します。

4 **ページ数は、**エラーが発生した時点でプリンタから印刷されたページ数を示します。

次のページに続く。

5 **説明またはパーソナリティは、**エラーの発生した原因が、プリンタのパーソナリティの問題であるか、プリンタの紙詰まりであるかを示します。

6 **シリアル番号は、**プリンタのシリアル番号を示します。

イベントログの 2 ページ目は、メーカーのページです。このページは、HP カスタマケアによるサービスが発生する可能性のある問題を解決するときに役立ちます。

用紙経路のテスト

用紙経路のテストはさまざまな用紙経路が適切に動作していることを確認したり、トレイ設定に関する問題を解決したりするために使用できます。

1 ジョウホウ メニューが表示されるまで、[メニュー] を繰り返し押します。

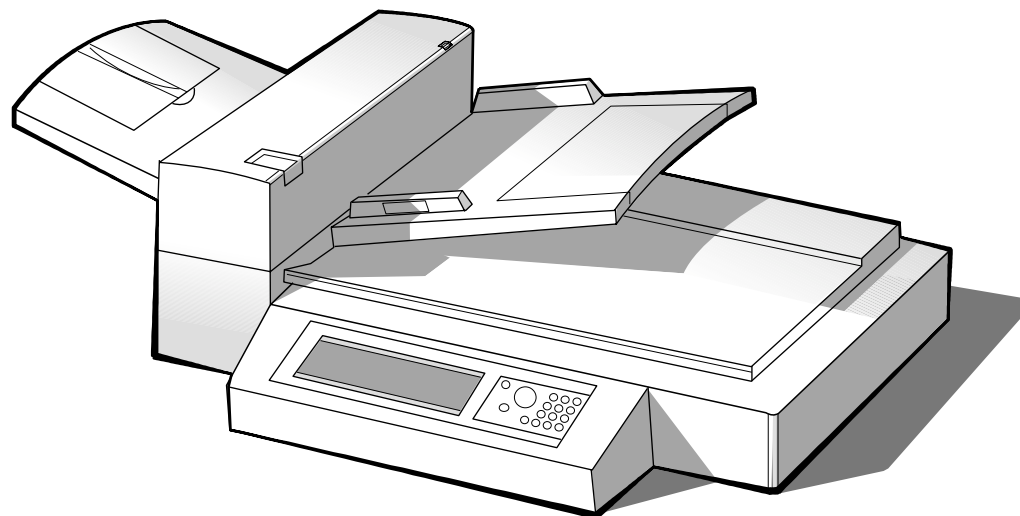
2 インサツ ヨウシ ケイロ ノ テストが表示されるまで、[項目] を繰り返し押します。

3 [選択] を押して用紙経路のテストを選択します。

4 [- 値 +] キーと [選択] キーを使用して、給紙トレイ、排紙ビン、両面印刷ユニット (使用可能な場合) 、およびコピーの枚数を選択します。最後のオプションを選択すると、用紙経路のテストが自動的に開始されます。.

6 HP デジタルコピー

概要

HP デジタルコピーは基本コピーモジュール機能を備えています。

次のページに続く。

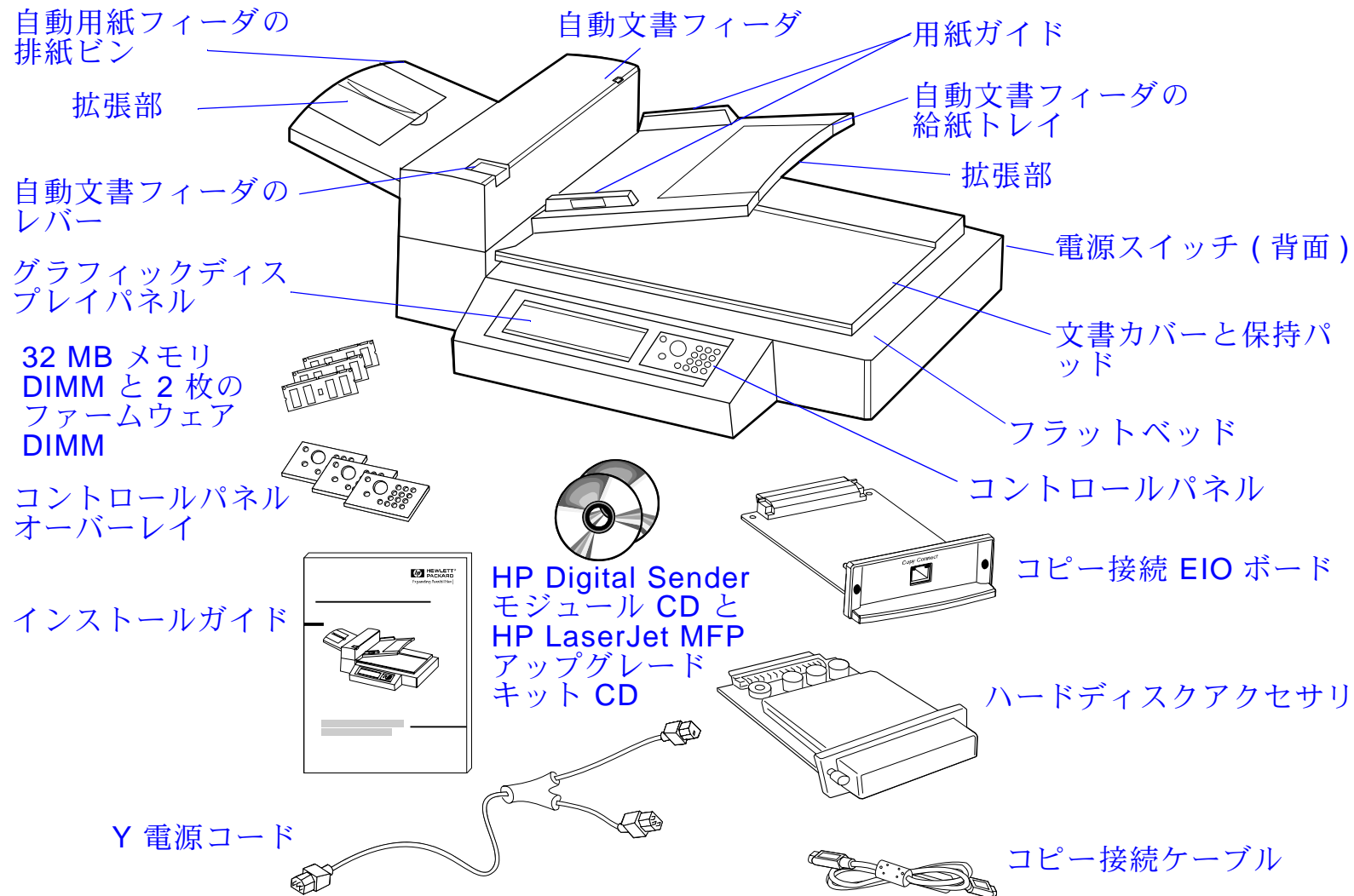
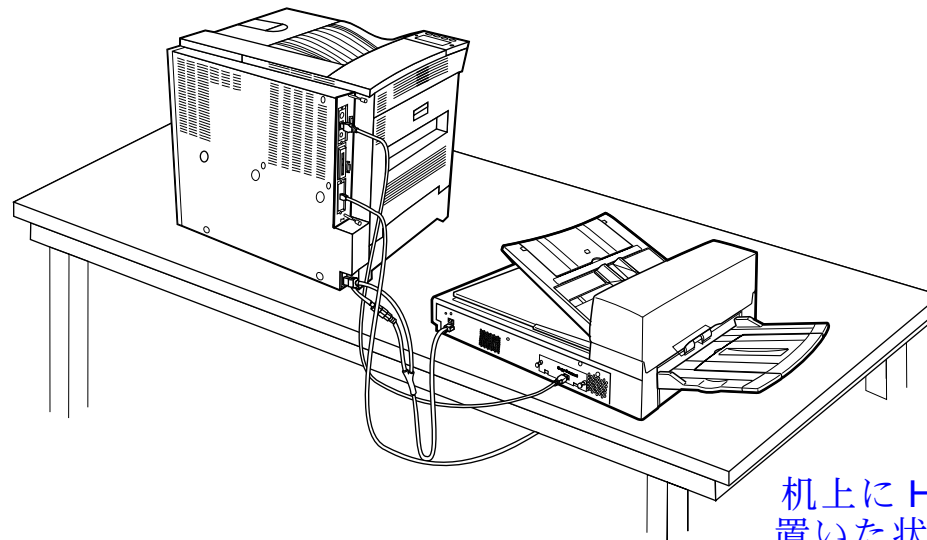
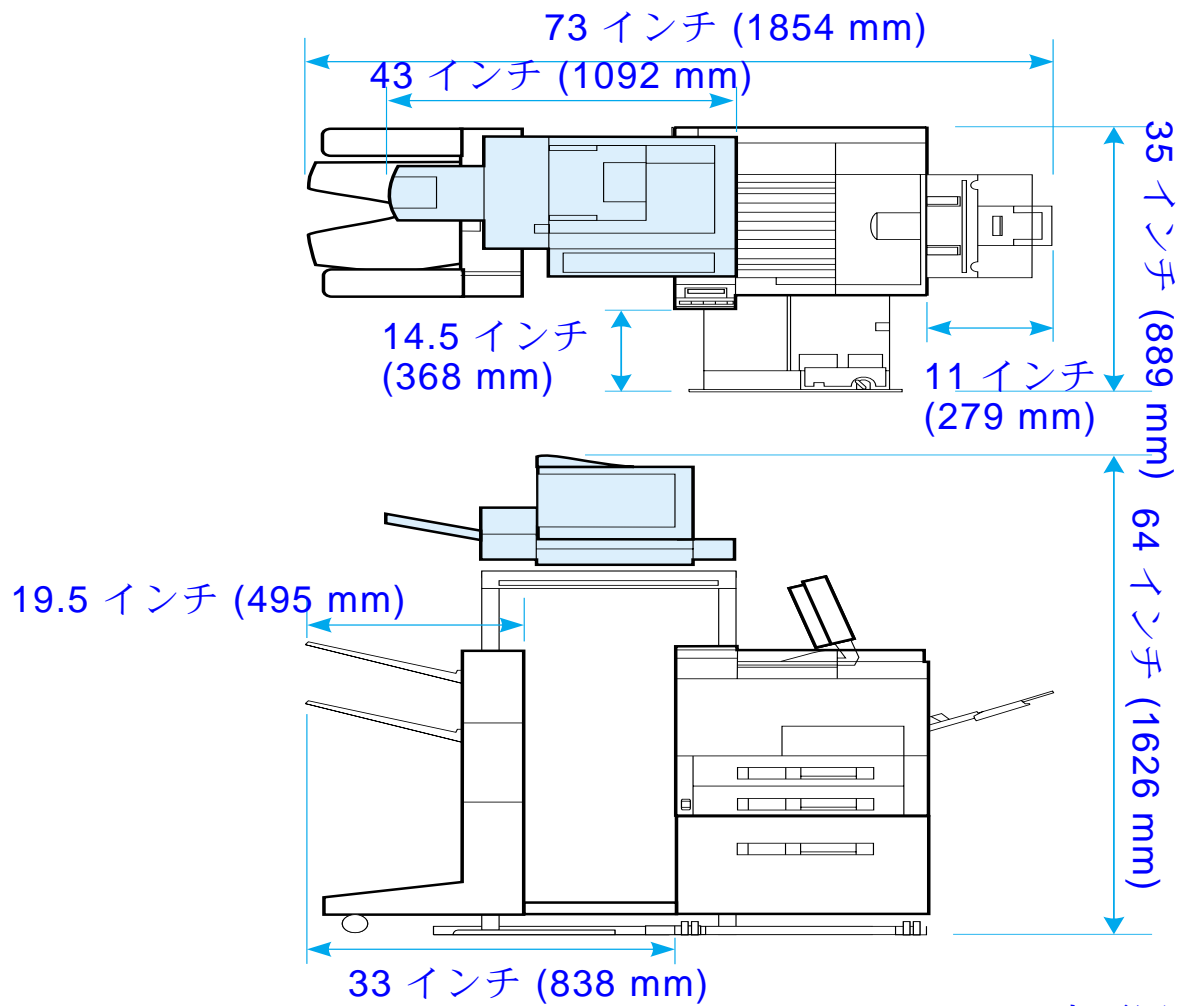
HP デジタルコピーの設置

設置チェックリスト

このセクションでは、新しい HP デジタルコピー (モデル C4230A) の設置とセットアップについて説明します。正しく設置するには、各セクションを順番に完了してください。

- HP デジタルコピーを開梱する (手順 1 ～ 2)
- HP デジタルコピーを設置する (手順 3)
- HP デジタルコピーの動作をテストする (手順 4)

警告！ HP デジタルコピーは重量があります。移動は 2 人で行ってください。

手順 1. HP デジタルコピーの部品の位置を確認する

手順 2. プリンタと HP デジタルコピーの置き場所を準備する

机上に HP デジタルコピーを置いた状態

上面図と側面図 (オプションのアクセサリ付き)

HP デジタルコピーの設置条件

- しっかりした水平面にプリンタと HP デジタルコピーを設置

- プリンタと HP デジタルコピーの周囲の十分な空間 (342 ページの図を参照)
- 換気の十分な部屋
- 相対湿度：20% ～ 80%
- 室温：50° ～ 91° F (10° ～ 32.5° C)
- 急激な温度変化と湿度変化のない、安定した環境
- 薬品の露光または直射日光を避ける
- 専用の 15 アンペア電源

注記　オプションの排紙アクセサリをプリンタから完全に引き出して拡張するための十分な空間を確保するようにしてください。

設置仕様

項目		仕様		
寸法 (mm)		幅： 1092mm (43 インチ)	奥行き： 660mm (26 インチ)	高さ： 559mm (22 インチ)
重量		22kg(49 ポンド)		
電源	電圧	100 ～ 127 VAC, 200 ～ 240 VAC +10%/-10%		
	相	単相		
	周波数	50Hz または 60 Hz +2%/4%		
消費電力		100 ワット以下		

項目		仕様	
環境条件	装置の状態	動作時	非動作時
	温度	50° F 〜 91° F (10° C 〜 32.5° C)	-4° F 〜 122° F (-20° C 〜 50° C)
	湿度	相対湿度 20% 〜 80% (結露しないこと)	相対湿度 15% 〜 90% (結露しないこと)

手順 3. HP デジタルコピーを設置する

HP デジタルコピーをオプションの HP デジタルコピースタンド上に設置する

HP デジタルコピースタンドのセットアップの詳細は、スタンドに付属のインストールガイドを参照してください。

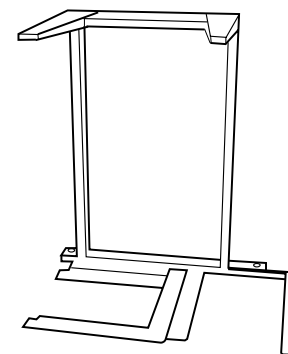
1 HP デジタルコピースタンドを希望する場所の近くに置きます。

注記

アクセサリをインストールための空間を確保してください。寸法については 342 ページの図を参照してください。

設置時にケーブルにアクセスするため、スタンドと設置場所の間に空間を確保しておくことも重要です。

HP デジタル スタンドを使用するには、2000 枚給紙トレイまたは 2 x 500 枚給紙トレイをインストールしておく必要があります。

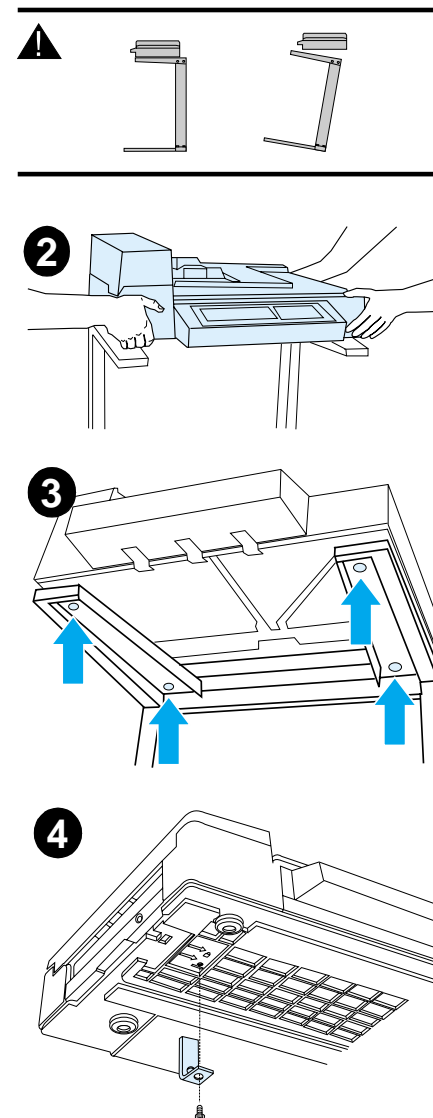
次のページに続く。

警告！
次の手順を実行するときは注意してください。HP デジタルコピーをスタンド上に置くときに、ぶつけたり動かしたりすると傾くことがあります。HP デジタルコピーの設置完了後、プリンタをすぐに所定の位置に移動する必要があります。

2 別の人と一緒に HP デジタルコピーを持ち上げ、HP デジタルコピースタンドにネジで位置を合わせます。

3 マイナスドライバで、HP デジタルコピーをスタンドにネジ止めします。

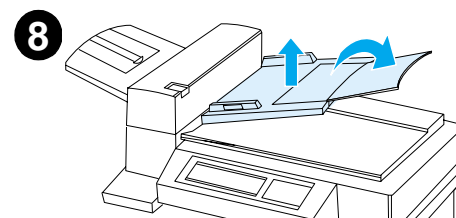
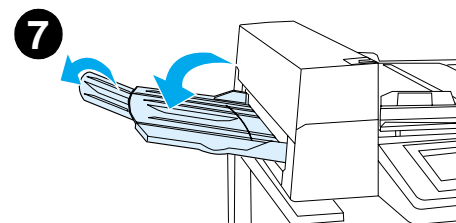
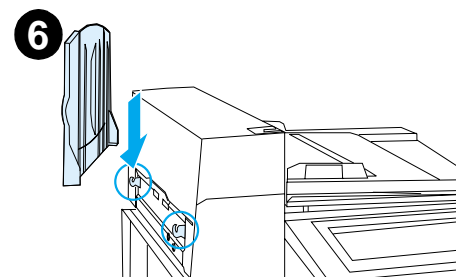
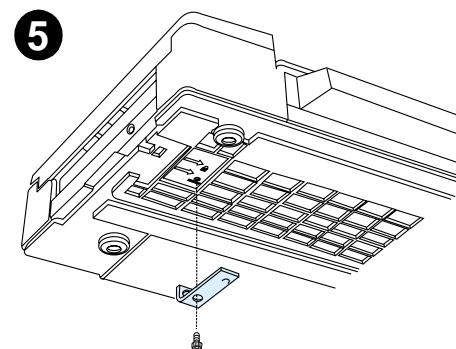
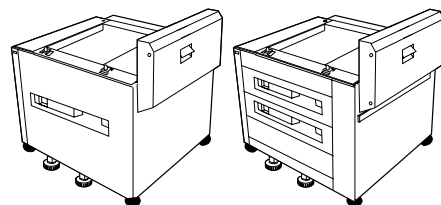
注意
出荷用ロックを付けた状態で HP デジタルコピーを動作させると、装置に損傷を与えることがあります。ステップ 4 と 5 を実行することが重要です。

4 出荷用ロックを取り外します。

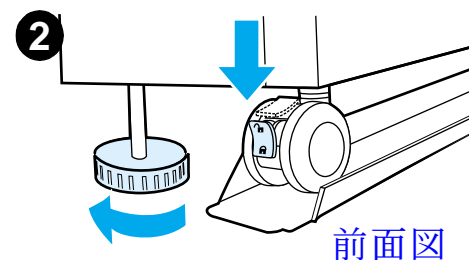
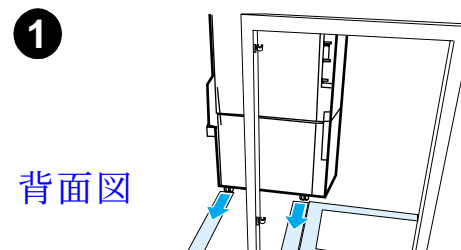
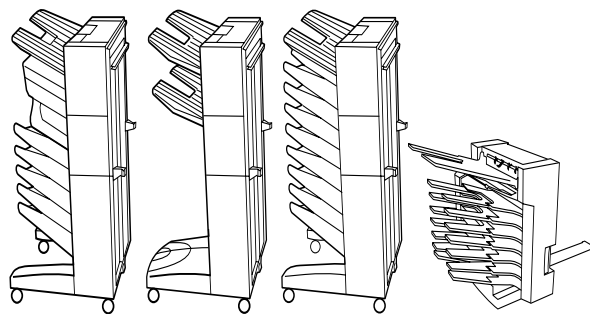
次のページに続く。

5 出荷用ロックを回して、HP デジタルコピーのアンロック位置に再挿入します (この出荷用ロックは将来移動するときに必要になります)。

6 排紙ビンをインストールするには、図のようにビンを垂直に持ち、押し下げてビンを金属製ガイドに取り付けます。

7 排紙ビンを引き下げます。長い用紙を使用するためには、図のようにビンの拡張部を出します。

8 給紙トレイを持ち上げ、所定の場所に固定します。長い用紙を使用する場合は、図のようにトレイの拡張部を裏返して広げます。

プリンタをオプションの給紙アクセサリ上に設置する

プリンタをオプションの給紙アクセサリ上に設置する手順の詳細は、アクセサリ付属のインストールガイドを参照してください。

1 プリンタを移動して、オプションの HP デジタルコピースタンドに載せます。静かにプリンタを前後に揺らして、スタンドに載せます。

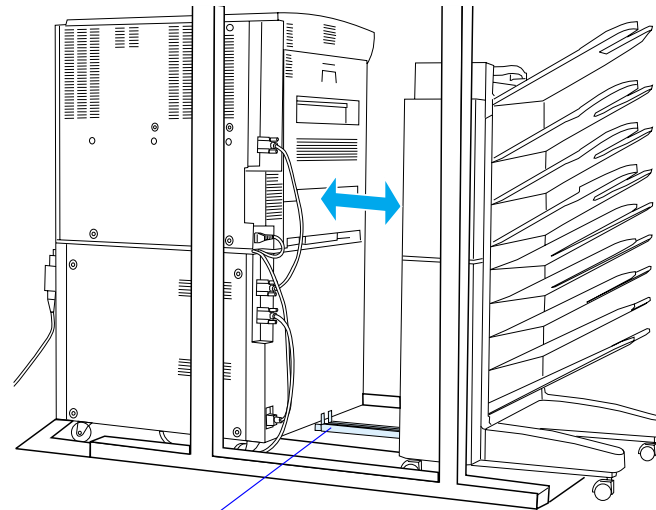
2 プリンタの位置が決まったら車輪を固定し、水平調整器を回して上下させ、プリンタを安定させます。

オプションの排紙アクセサリをインストールする

注記 オプションの排紙アクセサリのインストールについての詳細は、そのアクセサリに付属のインストールガイドを参照してください。

1 オプションの排紙アクセサリを移動し、HP デジタルコピースタンドに載せます。

注記 オプションの排紙アクセサリを移動して HP デジタルスタンドに載せるときは、取り付けブラケットに正確に位置を合わせてください。

2 前の 2 つのローラーを HP デジタルコピースタンドのベースに載せた後、取り付けブラケットを取り付けます。

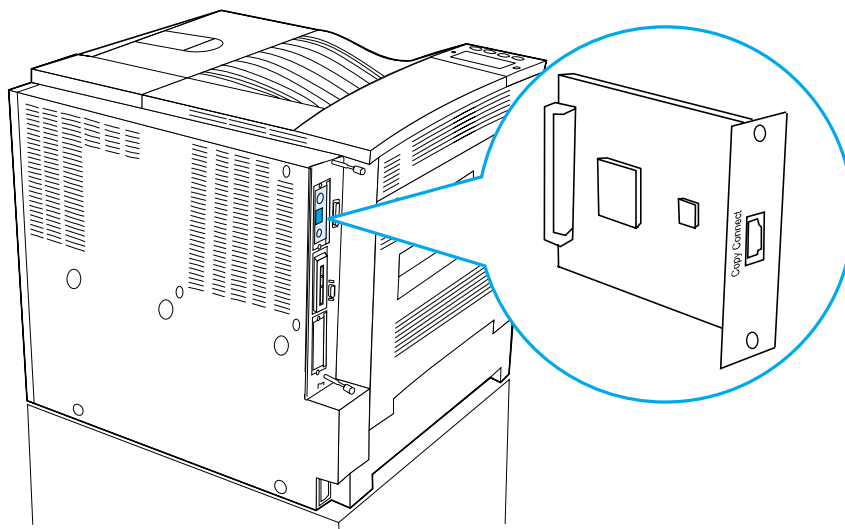
3 カチリと音がする位置まで、プリンタの方向へオプションの排紙アクセサリを移動します。

次のページに続く。

注記 スタンドの場所を決めるとき、オプションの排紙アクセサリをプリンタから完全に引き出して拡張するための空間を十分に確保してください (寸法は 342 ページを参照)。

コピー接続 EIO ボードをインストールする

注意 プリンタの電源が切られていることを確認してください。

HP デジタルコピーに付属しているコピー接続 EIO ボードを、プリンタの空き EIO スロットに挿入します (既存の EIO カバーにあるネジでコピー接続 EIO ボードをインストールします)。

注記 空きスロットにカバーが付いている場合は、ドライバで 2 つのネジを外します。カバーを取り外し、コピー接続 EIO ボードをインストールします。

コピー接続ケーブルをインストールする

1 コピー接続ケーブルを HP デジタルコピーに挿し込みます (A)。

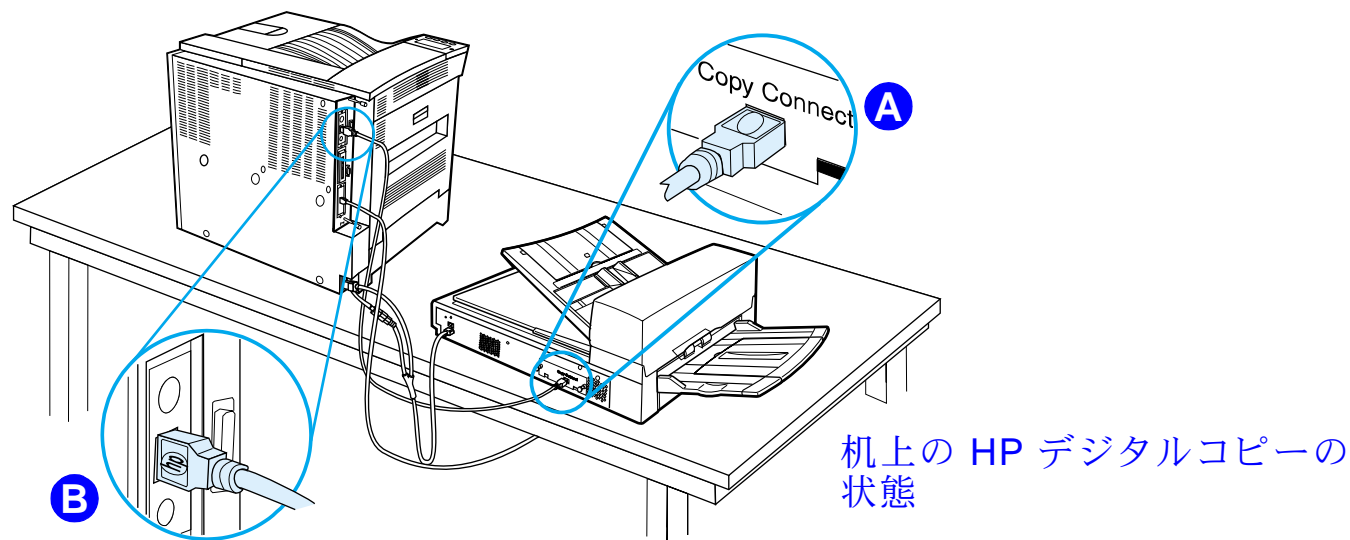
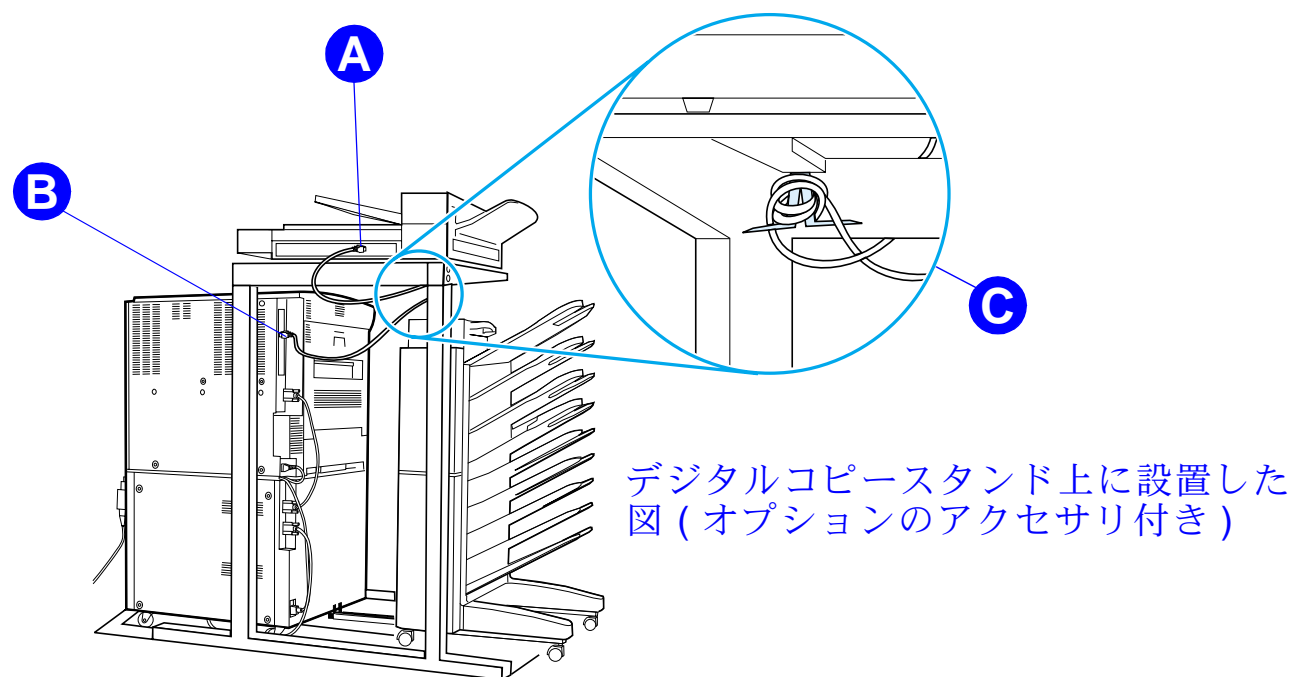
注記 ケーブル上の目印を上に向けます。

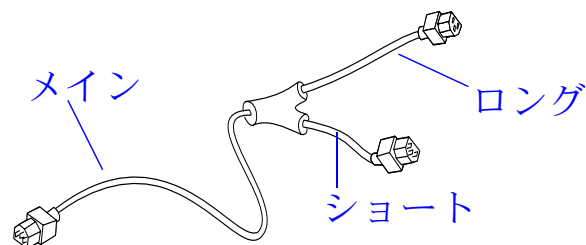
2 コピー接続ケーブルの一方をコピー接続 EIO ボードに挿し込みます (B)。HP のロゴを図のように向けます。

3 コピースタンドがある場合は、次のページのように、余ったケーブルを巻き付けます (C)。

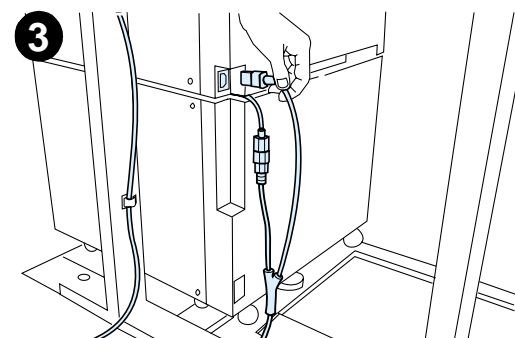
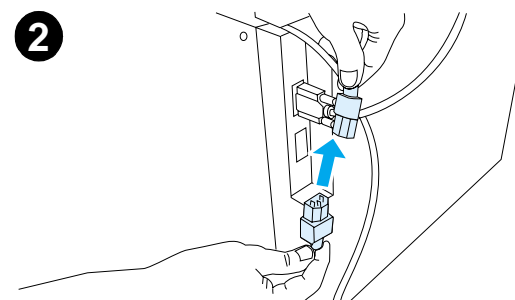
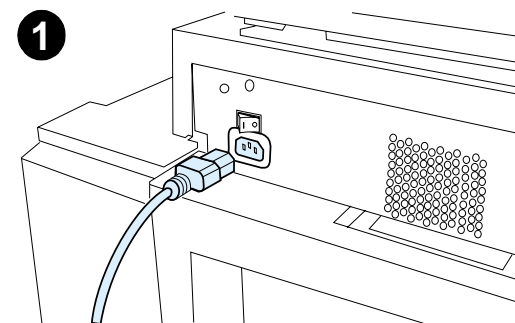
机上の HP デジタルコピーの状態

次のページに続く。

デジタルコピースタンド上に設置した図 (オプションのアクセサリ付き)

Y 電源コードをインストールする

注意
プリンタの電源を切り、HP デジタルコピーの電源スイッチがオフの位置であることを確認してから Y 電源コードをインストールしてください。

1 Y 電源コードのメイン側を HP デジタルコピーに挿し込みます。

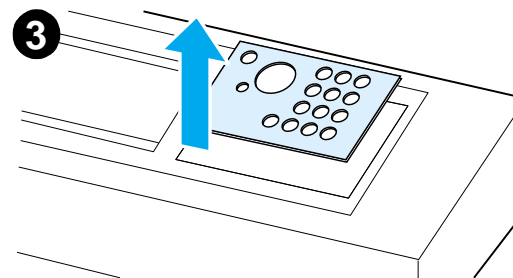
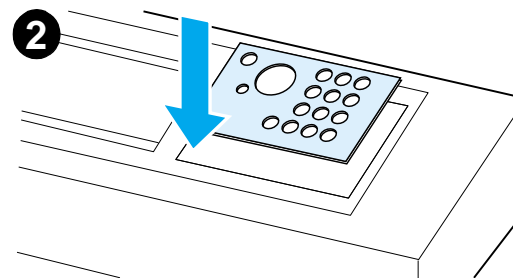
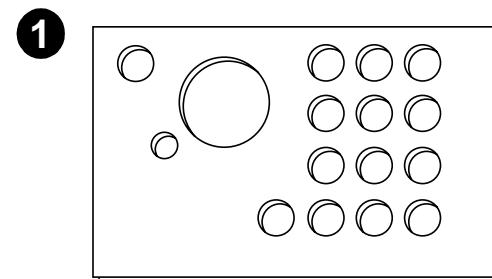
2 プリンタの電源コードを外します。電源コードを Y 電源コードのショート側に挿し込みます。

3 Y 電源コードのロング側をプリンタに挿し込みます。

コントロールパネル オーバーレイを取り付ける

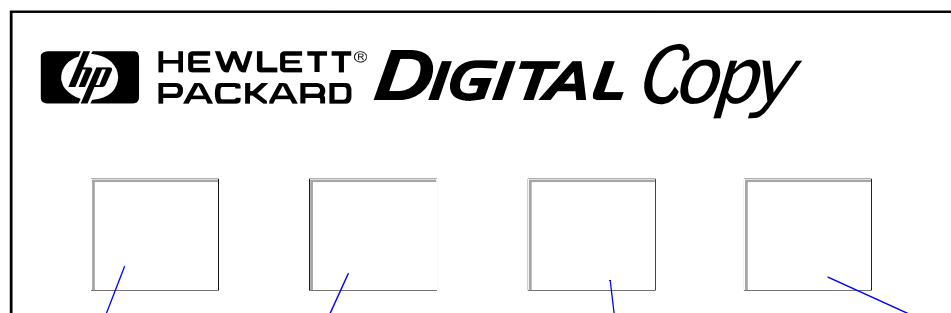
1 使用する言語が印刷されたコントロールパネル オーバーレイを選択します。

2 HP デジタルコピーのコントロールパネル上で、カチリと音がするまでオーバーレイを押し込みます。

3 コントロールパネル オーバーレイを外すには、オーバーレイの左側の溝にドライバを挿し込みます。

注記
HP デジタルコピー上に表示される言語はプリンタ上で選択した言語によってカスタマイズされます。HP デジタルコピーが提供する言語以外をプリンタの言語として設定した場合は、HP デジタルコピーのデフォルトの言語は英語になります。

手順 4. HP デジタルコピーの動作をテストする

1 プリンタの電源を入れます。インジ カノウが表示された後で HP デジタルコピーの電源を入れます。

2 HP デジタルコピーには、HP のロゴと、その下に初期化のさまざまな段階を示すアイコンを表示します。

3 初期化が終了すると、HP デジタルコピーには READY TO COPY (コピー可能) と表示されます。

次のページに続く。

注記

START ボタン上に緑の LED が点灯し、HP デジタルコピーのコピー準備ができたことを示します (373 ページ参照)。READY TO COPY 状態になるまでに HP デジタルコピーに問題が発生した場合は、359 ページを参照するか、サービスプロバイダに連絡してください。

4 文書を HP デジタルコピーの自動文書フィーダに下向きに入れるか、フラットベッドの上に置き (378 ページと 380 ページを参照)、必要なコピー枚数を選択します。緑の LED が点灯して文書が自動文書フィーダに正しく挿入されたことを示します。

5 ディスプレイパネルの START ボタンを押してコピーを開始します。

注記

コピーする文書は、HP デジタルコピーの自動文書フィーダを使用したときは排紙ビンに排出されます。自動文書フィーダを使用しない場合は、フラットベッド上にとどまります。排紙コピーはプリンタで印字されてプリンタの排紙ビンに排出されます。

HP デジタルコピーのトラブルシューティング

注記 トラブルシューティングの詳細は 391 ページの「HP デジタルコピーの問題解決法」を参照してください。

問題点	推奨される措置
電源が入らない	すべての電源コードが正しく接続されているかをチェックします。
初期化できない または コピーされない	プリンタの電源が入っているかどうかをチェックします。 コピー接続 EIO ボードが正しくインストールされているかをチェックします。 コピー接続 EIO ケーブルが正しく接続されているかをチェックします。

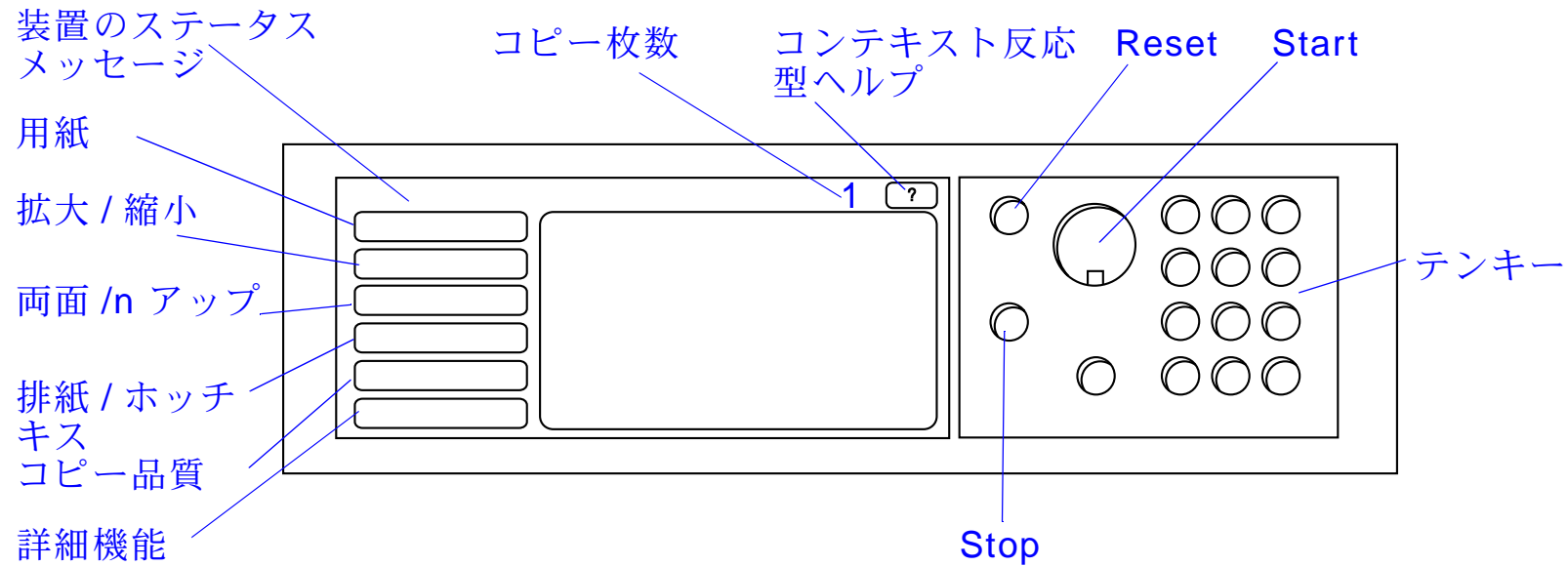
HP デジタルコピーの操作手順

このセクションでは、HP デジタルコピーの使用方法と詳細な機能について説明します。

HP デジタルコピーの特徴と利点

- 自動 / 写真 / テキストモード
- 割り込みジョブ機能 (コピーの境界で割り込み)
- n アップレイアウト (1 枚の用紙に複数ページを印刷)
- オペレータの介入操作を動画化 (例：紙詰まりの修復)
- プリンタの自動設定
- 本のコピー
- カスタムホッチキス機能
- パワーセーブ機能
- 1 回のパスで 2 回スキャン

HP デジタルコピーのコントロールパネル

コントロールパネルの配置と表示設定

ステータスバー

ステータス バーには、現在の次の状態が表示されます。

- 装置のステータスメッセージ
- 選択したコピー枚数
- コンテキスト反応型ヘルプ ボタン

装置のステータスメッセージ	READY TO COPY（コピー可能）、COPYING（コピー中）、および ACCEPTING COPY JOBS（コピージョブを受け付け中）メッセージが表示されます。ACCEPTING COPY JOBS はプリンタがビジーであることを示します。プリンタがビジーのときに次のコピージョブを設定することができます。
選択したコピー枚数	コピージョブで選択した現在のコピー枚数が表示されます。デフォルトの設定は 1 です。
コンテキスト反応型ヘルプ ボタン	このボタンはコントロールパネルディスプレイにエラーが表示されていない場合に存在します。ボタンを選択すると、コントロールパネルの現在のメッセージに関連するヘルプのトピックが現れます。

メニュー タブ

メニュー タブから HP デジタルコピーのどの設定にもアクセスすることができます。各タブは関連するジョブ設定を示します。タブ間を移動して、[OK] または [Exit] を選択して変更を行います。OK を押すとメニュータブを終了し、コピーを開始します。[Exit] を押すとデフォルトのタブ表示に戻ります。また、[Start] を選択してコピーを開始した後にメニュータブを終了することができます。

メニュータブ

- paper (用紙) タブ
- reduce/enlarge (拡大 / 縮小) タブ
- 2-sided/N-up (両面 /n アップ) タブ
- output/staple (排紙 / ホッチキス) タブ
- copy quality (コピー品質) タブ
- book copy (本のコピー) タブ
- job binding (ジョブ結合) タブ
- configuration (設定) タブ
- about (ヘルプ) タブ

メニュー タブ（続き）

paper (用紙) タブ

サイズ、トレイ、またはタイプによって、コピージョブの排紙を選択することができます。

- **Size (サイズ)** - 現在選択しているサイズを示します。選択を行うとトレイリストは自動的に更新されます。
- **Tray (トレイ)** - 現在選択しているトレイを示します。選択した用紙サイズが複数のトレイに入っているときは、トレイの選択文字が AUTOMATIC （自動）と強調表示されます。これはプリンタの自動選択の基準をベースにトレイ選択をすることを示します。選択した用紙サイズが 1 つのトレイに入っているときは、その場所がリストの文字で示されます。選択を行うとサイズと トレイのタイプは自動的に更新されます。

注意
プリンタにセットされていない用紙タイプを選択した場合は、プリンタはジョブを印刷する前に、正しい用紙の入ったトレイ 1 をインストールするように要求します。

メニュー タブ(続き)

reduce/enlarge (拡大 / 縮小) タブ

文書のサイズを拡大または縮小することができます。
文書の用紙サイズを選択し、そのコピーに別のサイズを指定することができます。たとえば、A4 からレターサイズにコピーできます。また、排紙サイズを指定し、拡大 / 縮小率を選択して、文書の範囲を拡大または縮小することができます。ページの全体を排紙の印刷可能領域にコピーすることを選択することができます。

希望する拡大 / 縮小率を選択するために、次のコントロールがあります。

- **Reduce/Enlarge (拡大/縮小)** - 給紙と排紙の用紙サイズを示します。サイズを選択すると、選択した給紙と排紙の用紙サイズでの正しい拡大 / 縮小率が表示されます。
- **Percent (パーセント)** - 現在のページの拡大/縮小率を示します。

メニュー タブ（続き）

reduce/enlarge (拡大 / 縮小) タブ (続き)

- **Custom Media Reduction (カスタム メディア縮小)** - この設定は、標準 / 拡大設定とカスタムモードを切り替えます。文書とコピーの用紙サイズを独立して選択することができます。

  Custom Media Reduction ボックスをオンにすると、文書用の文書リストから用紙サイズを選択することができ、コピーするサイズのコピーリストから用紙サイズを選択します。拡大 / 縮小率のテキスト ボックスが自動的にページの拡大 / 縮小率を計算します。

  Custom Media Reduction ボックスをオフにすると、レター (LTR) から リーガル (LGL) のように、標準の拡大 / 縮小設定のリストから選択することができます。また手動で拡大 / 縮小率を調整するために、Manual (手動) 設定を選択することができます。Manual を選択すると、拡大 / 縮小率を 1 パーセントずつ増減することができます。文書は最大 25 パーセントの縮小、または最大 200 パーセントの拡大ができます。またマニュアルを選択したときは、文書サイズの選択もできます。コピー機は選択した拡大 / 縮小率で文書を縮小します。

メニュー タブ（続き）

reduce/enlarge (拡大 / 縮小) タブ (続き)	● **Shrink Page to Printable Region (ページを印刷可能領域内に圧縮)** - この設定はページの拡大 / 縮小率を調整します。ページの全体を現在選択している排紙サイズの印刷可能領域にコピーすることができます。プリンタで印刷できるページの端からの距離には制限があります。端まで印刷されたページをコピーする場合は、このボックスをオンにするとイメージはわずかに縮小されて、排紙の印刷可能領域内に端から端までイメージ全体を印刷することができます。

メニュー タブ（続き）

2-sided/N-up (両面 /n アップ) タブ

このタブには、オプションの設定と現在の設定をグラフィカルに示すプレビューイメージのための 4 つのコントロールがあります。

- **2-sided Copying (両面コピー)** - 現在選択されている両面モードを示します。必要な両面モードを選択します。プレビューイメージは更新され、選択した状態を表示します。
- **Flip Pages Up (製本)** - この設定は排紙の両面にコピーするように選択した場合に有効になります。デフォルトでは、ジョブの裏面から見たときに、両面の製本は本のように左綴じです。この設定をオンにすると、ジョブの裏面から見たときに上綴じに見えるようにページが製本されます。プレビューイメージは更新され、選択した状態を表示します。
- **N-up Copying (n アップコピー)** - 現在選択されている、各排紙ページ上に印刷される給紙ページの数を示します。各排紙ページ上に印刷する給紙ページ数を選択します。プレビューイメージは更新され、選択した状態を表示します。
- **Print Page Borders (ページ枠印刷)** - 用紙あたり複数のページを選択したとき、この設定はアクティブです。オンにすると、排紙ページ上の各ページの周囲に、ページの枠が印刷されます。プレビューイメージは更新され、選択した状態を表示します。

メニュー タブ（続き）

output/staple (排紙 / ホッチキス) タブ	このタブ上の 2 つのメインコントロールを使用して、排紙とホッチキスのオプションを設定することができます。

- **Output Bin (排紙ビン)** - 現在選択されている排紙ビンを示します。コピージョブが排出されるビンを選択します。排紙ビンをホッチキスビンに設定し、ホッチキスオプションを選択した場合は、排紙ビンを他の場所の別のビンに変更すると、ホッチキスオプションはオフになります。
- **Stapling (ホッチキス)** - ホッチキスオプションを選択することができます。表示されるオプションの数はインストールされているホッチキス装置によって変わります。排紙をホッチキス止めするオプションを選択した場合は、排紙ビン設定が変更されて、ホッチキス止めがホッチキスビンのみで行われることを表示します。

メニュー タブ（続き）

copy quality (コピー品質) タブ	● **Copy Mode (コピー モード)** - このタブからコピー品質の設定を変更することができます。コピー モードから選択できる設定値は 3 つあります。 **Auto (自動)** - これがデフォルトのモードです。 **Photo (写真)** - 写真の明瞭度のために最適化されています。 **Text (文字)** - 文字の鮮明度のために最適化されています。 ● **Brightness (輝度)** - このタブから輝度設定の変更ができます。左矢印または右矢印を押して、スライダが示す輝度レベルを増減することができます。輝度には 5 つの設定値があります。
book copy (本のコピー) タブ	開いた本を、各ページを排紙の 1 ページにコピーすることができます。しおりを付けて、本の背をフラットベッドのガイド上のブックマークに合わせます。 ● このモードを使用するときは、コントロールパネル上に表示されるプロンプトに従ってください。 ● 複数のページをコピーし、1 つのジョブとして結合することができます。詳細はジョブ結合タブの説明を参照してください。

メニュー タブ（続き）

job binding (ジョブ結合) タブ	フラットベッドから複数のコピーを取って、1 つのジョブとして結合します。ホッチキスやコピー数などの他の設定は、すべて結合されたジョブに適用されます。 ● このモードを使用するときは、コントロールパネル上に表示されるプロンプトに従ってください。
configuration (設定) タブ	HP デジタルコピーの設定を行うことができます。たとえば、 ● キー操作音をオン / オフします。 ● コントロールパネルの表示コントラストを調整します。
about (ヘルプ) タブ	使用可能なヘルプ トピックを探すときに使用します。 次を表示します。 ● システムのバージョン情報 ● フラットベッドおよび自動文書フィーダの現在のページ番号 ● 次の保守作業までのページ数

コンテキスト反応型ヘルプ

HP デジタルコピーのヘルプ システムに切り替えるには [?] を押します。ヘルプ システムで示されるプロンプトに従って、HP デジタルコピーの特徴や機能の簡単な説明を探します。

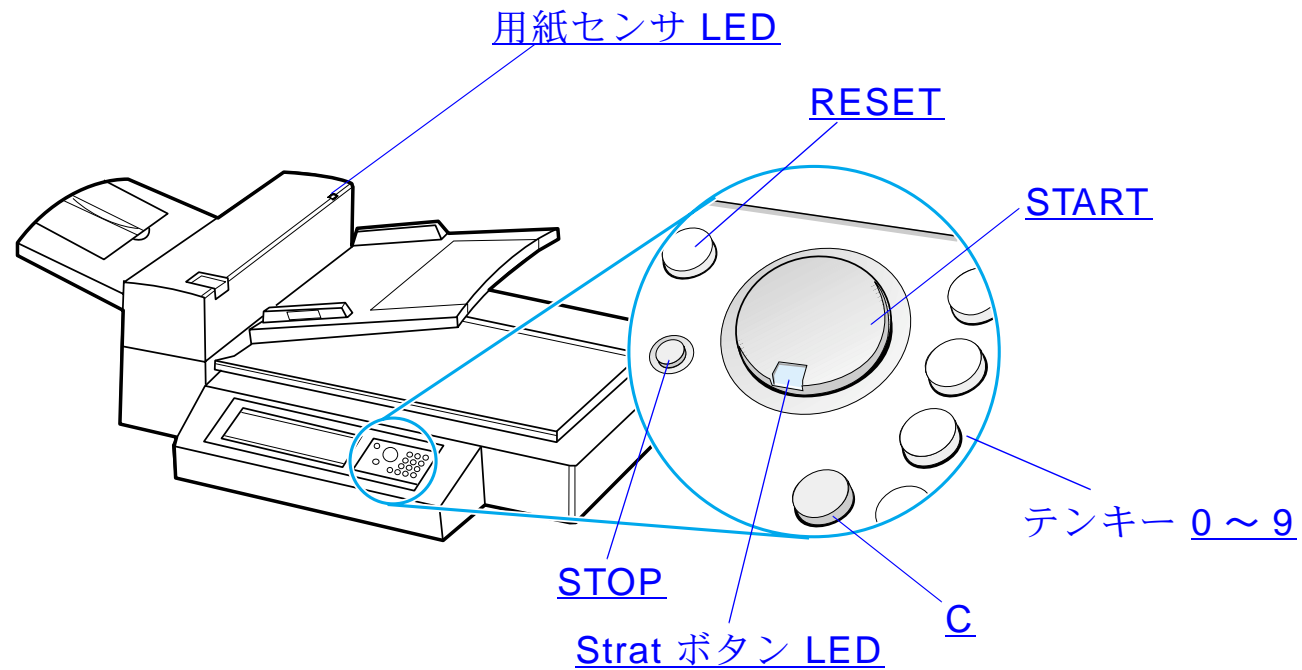
デフォルト設定

HP デジタルコピーがアイドル状態で 1 分間放置されると、HP デジタルコピーの設定はデフォルトに戻ります。HP デジタルコピーのすべての設定をデフォルトに戻すには、コントロールパネルの Reset キーを押します。

ユーザーが行った設定変更は、1 分間放置されるとデフォルトの設定にリセットされます。たとえば、HP デジタルコピーに近づいて 5 のキーを押すと、選択したコピー枚数は 5 に設定されます。1 分以内に他の設定を行わず、スタートキーを押してジョブの起動を行わないと、選択したコピー枚数は自動的に 1 に戻ります。

コピージョブ完了後は、さらに 1 分が経過するまでそのときの設定は変わりません。これによって、HP デジタルコピーの設定を、複数のジョブに対して 1 度限りの特別な方法に設定することができます。

注記：
ポストジョブのタイムアウト時間はアイドル状態のタイムアウトよりも短くなります。

ボタン/LED の機能

ボタンと **LED** の名前		機能
ボタン	0 ～ 9	必要なコピー枚数の入力に使用します。数値入力のために定期的に使用することもできます。
	RESET	コピー機のすべての設定をデフォルト値にリセットします。
	START	コピージョブを開始したり、エラーによって中断したコピージョブを継続したりします。
	STOP	コピージョブを停止します。
	C	コピー枚数の設定をクリアします (他のコピー モジュールの設定はクリアしません)。
LED	用紙センサ LED	用紙が自動文書フィーダ内で正しく揃えられているときに点灯します。
	Strat ボタン LED	この LED の詳細な説明については、375 ページの Start ボタン LED を参照してください。

次のページに続く。

Start ボタン LED

LED\ 状態	点灯	ゆっくり点滅	すばやく点滅
緑	コピーモジュールはコピー可能状態です。	コピーモジュールはパワーセーブモードです。	コピーモジュールはコピー中です。
黄色	コピーモジュールに重大なエラーが発生しました。プリンタとコピーモジュールの電源を切り、その後プリンタとコピーモジュールの電源を入れます。	コピーモジュールにエラーが発生し、注意が必要です。	コピーモジュールに、サービスプロバイダの処置が必要なエラーが発生しました。

注記 コピーモジュールがパワーセーブモードのときは、ディスプレイパネルのバックライトが消え、スタート LED がゆっくり点滅してシステムの電源がオンであることを示します。パワーセーブモードを解除するには、用紙を自動文書フィーダ上に置くか、テンキーの任意のキーを押すか、あるいはタッチスクリーンに触れます。

HP デジタルコピーの設定

機能	説明	デフォルト
コピー枚数	1 ～ 999	1
用紙給紙の選択	用紙トレイの選択	自動選択 (任意のトレイ)
	用紙サイズの選択	レター /A4
		通常用紙
丁合い	丁合い	丁合い
	スタック (丁合いなし)	
	ホッチキス止め	
	排紙ビンの選択	

HP デジタルコピーの操作手順

機能	説明	デフォルト
拡大 / 縮小	25% ～ 200% (1% ごと)	100%
	リーガル からレターへ、などの標準プリセットをサポートします。	
コピー品質	自動、文字、写真	自動
両面印刷	1-1、1-2、2-1、2-2	1-1
	プリンタに両面印刷ユニットが装備されていない場合は、1-2 と 2-2 は使用できません。	
n アップ	1-up、2-up、4-up	1-up
	2-up 文書は回転しています。	
本のコピー	開いた本を、各ページを排紙の 1 ページにしてコピーします。	選択されていません
輝度	5 レベル (明方向 2 レベル、標準、暗方向 2 レベル)	標準

HP デジタルコピーの操作手順

文書を自動文書フィーダにセットする

1 自動文書フィーダ給紙トレイ (A) を引き上げて、バー (B) を使用位置に置きます。

2 文書を揃えて下向きに給紙トレイに入れます。用紙ガイド上のラインインジケータまでセットできます。

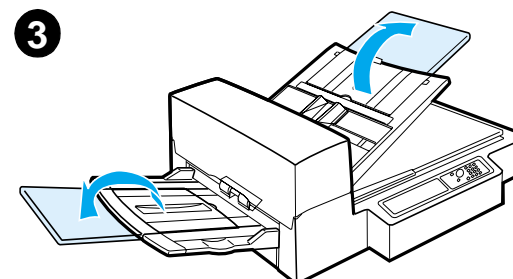
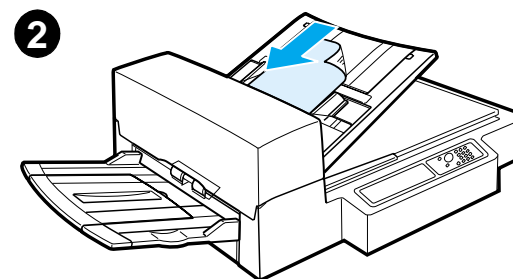
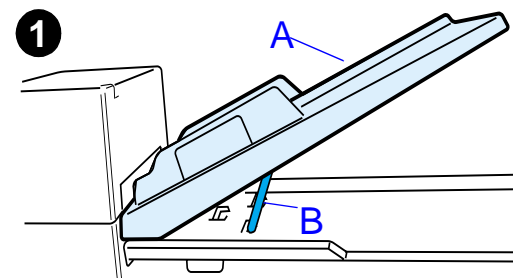
注記

文書を自動文書フィーダに置くと、パワーセーブ状態が終了します。

用紙を正しくセットすると LED が点灯します。

クリップやホッチキス針を取り除いてください。ホッチキスの穴は平らにしてください。

3 文書サイズが A4 またはレターサイズを超えている場合は、拡張部を裏返して給紙トレイと排紙ビンを広げます。

次のページに続く。

4 側面の周囲とガイドとの間にわずかの隙間があるようにガイドをセットします。ガイドを用紙サイズに合わせます。

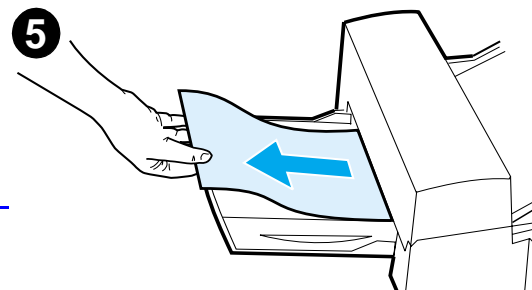
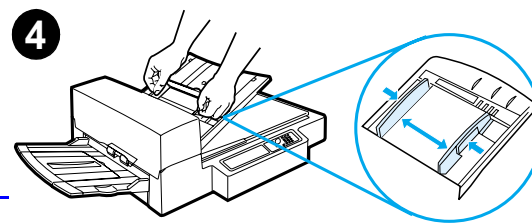
注記

ガイドレバーを押してガイドをフリーにします。

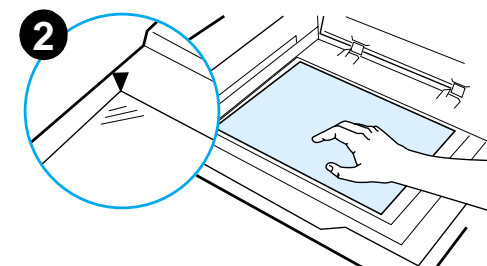
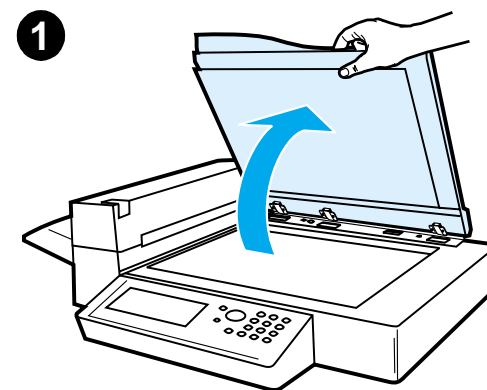
厚みが 0.32 インチ (8 mm) 以下になるように文書をセットします。

文書の側面にガイドが当たるようにガイドをセットします。

---

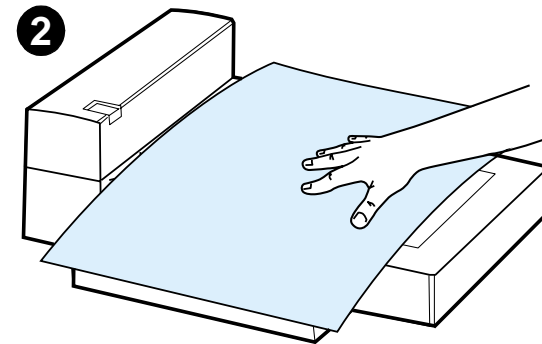
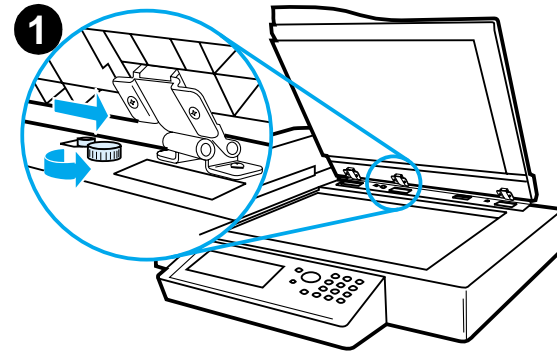
5 書類のコピー後は、HP デジタルコピーからは原稿を、プリンタ排紙ビンからはコピーを取り出します。

文書をフラットベッド上にセットする

1 文書カバーを開きます。

2 文書を下向きに置いて、基準マークに上と左を合わせます。ゆっくり文書カバーを閉じて START を押します。

文書ボードより大きい文書をセットする

1 文書カバーを約 80° 開きます。ネジを外して (下の矢印) カバーを上の矢印の方向へスライドさせます。

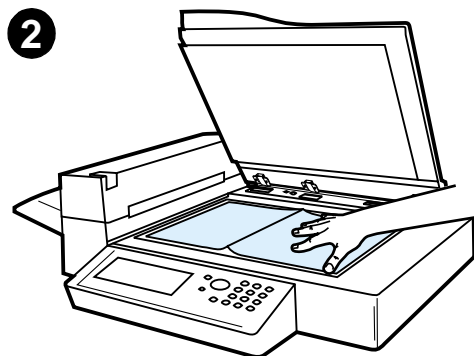
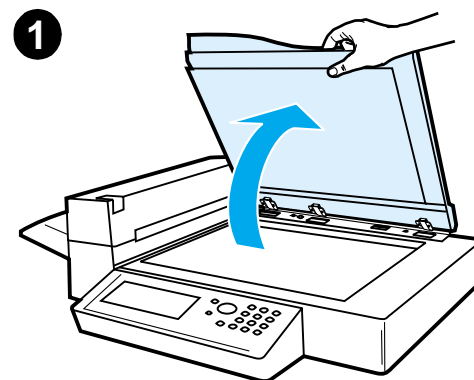
2 文書を下向きに文書ベッド上に置き、START を押します。

ジョブが終わったら文書を取り除きます。文書カバーを元どおりに取り付けて閉じます。

厚い本のページを読み取る

1 文書カバーを開きます。

2 本を下向きに文書ベッドの上に置き、START を押します。

注記
ジョブ実行中は本を動かさないでください。

本のコピー機能の詳細は、370 ページを参照してください。

外部インタフェースハーネス[1]

この機能を使用すると、HP デジタルコピー モジュールを通して送られたコピー数をジョブ課金装置を介してモニタすることができます。

注記 プリンタで印刷されたページ数は、外部インタフェースハーネスを使用した場合はカウントはされません。HP デジタルコピー モジュールでコピーされたページだけがカウントされます。

この機能を有効にする方法の詳細は、HP LaserJet 8000、8100、および 8150 プリンタのユーザーズガイドのHP LaserJet MFP アップグレードキットを参照してください。

1.HP LaserJet 8150 MFP、または HP デジタルコピーを取り付けた HP LaserJet 8150 プリンタの各モデルと組み合わせて使用します。

用紙の仕様

サポートするサイズ

- レジャー - 11 x 17 in. (279 x 432 mm)
- エグゼクティブ - 7.3 x 10.5 in. (191 x 267 mm)
- レター - 8.5 x 11 in. (216 x 279 mm)
- リーガル - 8.5 x 14 in. (216 x 356 mm)
- **A3** - 11.7 x 16.5 in. (297 x 419 mm)
- **A4** - 8.3 x 11.7 in. (210 x 297 mm)
- **A5** - 5.8 x 8.2 in. (148 x 210 mm)
- **B4 (JIS)** - 10.1 x 14.3 in. (257 x 364 mm)
- **B5 (JIS)** - 7 x 9.9 in. (176 x 250 mm)

注記 自動文書フィーダには最大 50 枚の用紙をセットできます。

文書の品質

次のものを自動文書フィーダにセットしないこと

- ノーカーボン紙
- ノーカーボンフォーム
- クリップやホッチキスの付いた用紙
- クリップ止め、ホッチキス止めされた用紙
- インクの乾いていない用紙
- ラベル

注意

次の文書は自動文書フィーダで送り込むのが困難な場合があります。文書が自動文書フィーダ内でスリップ (紙詰まり エラー) したり、重ね送りが頻繁に生じる場合は、HP デジタルコピーのフラットベッドを使用してください。

- 封筒など、厚さが一定でない用紙
- 大きいしわや巻きぐせのついた用紙
- カラーコピーされた用紙

次のページに続く。

- 折り目や破れた箇所のある用紙
- トレーシングペーパー
- コーティングされた用紙
- カーボン紙
- 6 x 4 インチ (148 x 105 mm) より小さいか、あるいは A3 またはダブルレターより大きい用紙
- 紙以外のもの
  - 布
  - 金属ホイル
  - 透明フィルム
- 印画紙
- 周囲に切り込みのある用紙
- 四角形でない用紙
- 薄い用紙

HP デジタルコピーの保守

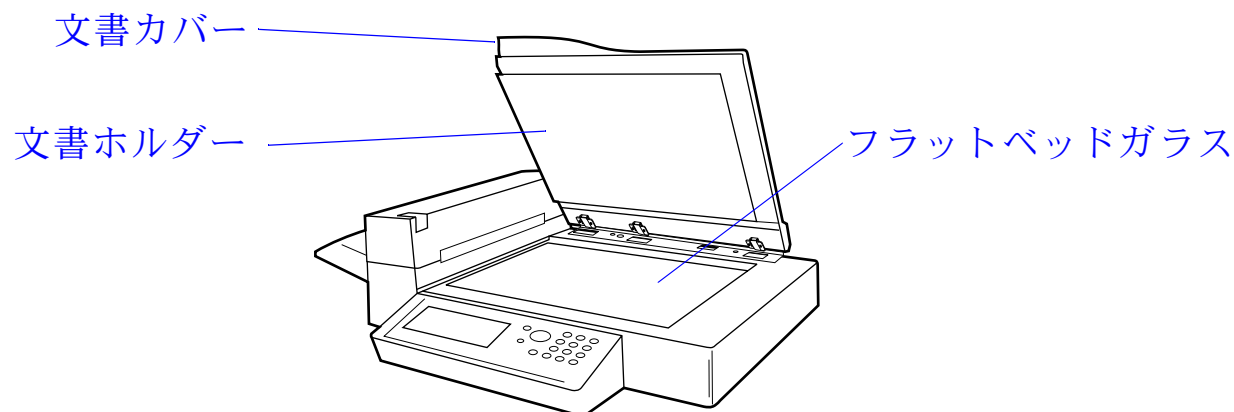
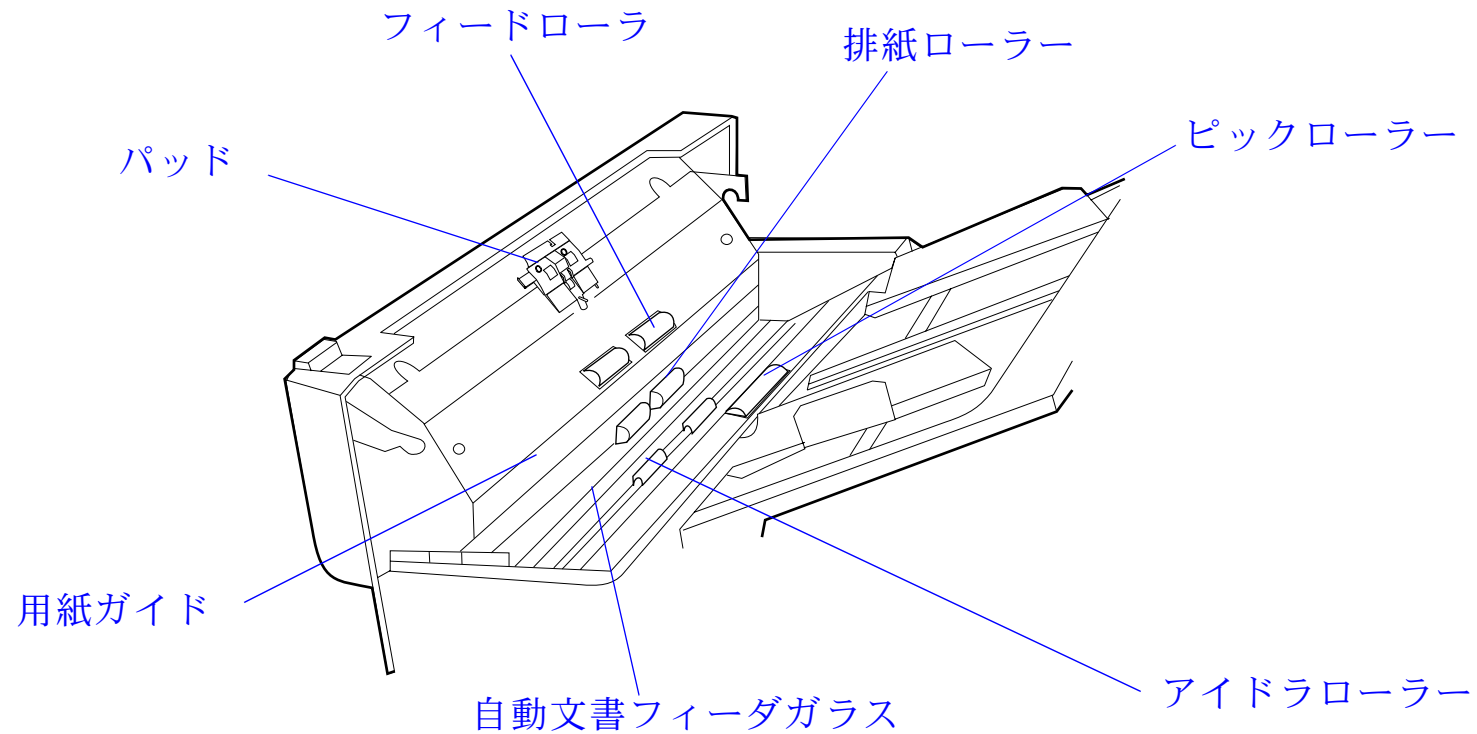
文書カバー、文書ホルダー、およびフラットベッドガラスのクリーニング

乾いた布または中性洗剤かイソプロピル アルコールを付けた布で、文書カバー、文書ホルダー、およびフラットベッドガラスのほこりを取ります。

注意 シンナーなどの有機性の溶剤を使わないでください。

フラットベッドガラスの周囲からスキャナに液体が入らないようにしてください。

自動文書フィーダをクリーニングする

フィードローラ
排紙ローラー
パッド
ピックローラー
用紙ガイド
自動文書フィーダガラス
アイドラローラー

次のページに続く。

パッド	イソプロピルアルコールを付けた布で、パッドを下向きに拭きます。拭き取るときは、スプリングを引っ掛けないように注意してください。パッドが汚れていると、用紙が重なったまま送られることがあります。
自動文書フィーダガラス	布とイソプロピルアルコールでガラスを軽く拭いて、紙くずやトナーを取り除きます。ガラスが汚れていると、自動文書フィーダ使用時に縦方向の筋が入ることがあります。
ピックローラー	イソプロピルアルコールを付けた布で、ローラーを水平方向に拭きます。ローラーの表面を傷付けないように注意してください。ピックローラーが汚れていると、ミスフィード、用紙の滑り、紙詰まりが生じることがあります。
フィードローラー、排紙ローラー、アイドルローラー	イソプロピルアルコールを付けた布で、ローラーを水平方向に拭きます。固まったトナーやインクを確実に取り除きます。自動文書フィーダを使用する前に、ローラーが乾いていることを確認してください。ローラーが汚れていると紙詰まりが発生することがあります。
用紙ガイド	用紙ガイドの周辺を静かに拭きます。汚れたり、摩滅している用紙ガイドでは、縦方向の筋が生じることがあります。

注記 HP デジタルコピーでミスフィードが頻繁に発生するときは、サービスプロバイダに依頼してクリーニングを行ってください。

パッドとローラーの保守

パッドとローラーのクリーニングは6,000 ページごとに行うことをお勧めします。

60,000 ページごとにパッドとピックローラーを交換する必要があります。

前回の保守からのページカウント情報を得るために設定ページを印刷します。設定ページを印刷するには、プリンタの電源を入れて、インンジ カノウが表示されるのを確認します。ジョウホウ メニューが表示されるまで **[メニュー]** を押します。セッテイ ノ インサツ が表示されるまで **[項目]** を押します。**[選択]** を押して設定ページを印刷します。

サービスプロバイダに連絡して、この作業を行ってください。

HP デジタルコピーの問題解決法

このセクションは、HP デジタルコピーに問題があるとき、HP デジタルコピーのコントロールパネルに表示されるメッセージを示します。HP デジタルコピーに発生するエラーには次の 2 種類があります。

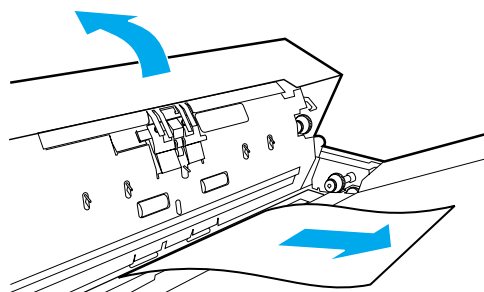
- 一時的なエラー
- 装置のエラー

プリンタのエラー メッセージと問題解決の情報は、プリンタのユーザーズガイドを参照してください。

すべてのエラーの状態が HP デジタルコピーのコントロールパネル ディスプレイ全体に表示されます。

警告！ 必ず電源を切り、システムのメイン電源を外してから作業を行ってください。

一時的なエラー

一時的なエラーは、用紙の経路に問題が発生したときに表示されます。コントロールパネルにエラーが表示され、エラーの修復に必要な処置をグラフィカルに示します。

エラーメッセージ	説明
ADF PAPER JAM	自動文書フィーダ内で用紙の紙詰まりが発生しています。コピーを続けるには紙詰まりを取り除く必要があります。
ADF COVER IS OPEN	自動文書フィーダのカバーが開いています。コピーを続けるには閉じる必要があります。
ADF MISFEED	自動文書フィーダ給紙トレイでミスフィードが発生しています。自動文書フィーダの給紙トレイの文書をセットし直します。START を押してコピージョブを続けます。

装置のエラー

装置のエラーを修復するには、プリンタと HP デジタルコピーの電源を切って、次にプリンタと HP デジタルコピーの電源を入れます。エラーメッセージが残っていればサービスプロバイダを呼びます。

エラー メッセージ	説明
Device Error: Backside RAM Buffer Failure	裏面用の RAM バッファへのアクセス中にエラーが発生しました。このエラーは、修復のための作業を要する場合があります。
Device Error: Motor Fuse Failure	モーターのヒューズが切れています。このエラーは、修復のための作業を要する場合があります。
Device Error: Lamp Fuse Failure	ランプのヒューズが切れています。このエラーは、修復のための作業を要する場合があります。
Device Error: Backside Optical Failure	裏面用の光学系に問題が発生しました。このエラーは、修復のための作業を要する場合があります。
Device Error: Frontside Optical Error	前面用の光学系に問題が発生しました。
Device Error: Mechanical Failure	機械的な問題が発生しました。出荷用ロックが正しく外されて再挿入されているかをチェックします。

7 サービスおよびサポート

概要

Hewlett-Packard 限定保証書

HP 製品	保証期間
HP LaserJet 8150、8150N、8150DN、8150 HN、8150 MFP	1 年間 出張修理

1. HP は、上記の期間中、HP ハードウェア、アクセサリ、消耗品に、素材および製造工程に起因する欠陥がないことを保証します。保証期間中にこのような欠陥の通知を受けた場合、欠陥があると判定された製品は、HP の判断で修理または交換します。交換する製品は、新品もしくは新品に準ずるものとなります。

2. HP は、上記の期間中、適切にインストールされ、使用される限り、HP ソフトウェアが素材または製造工程に起因する欠陥によるプログラム実行上の不具合がないことを保証します。保証期間中にこのような欠陥の通知を受けた場合、HP は、そのような欠陥のためにプログラムを実行できないソフトウェアのメディアを交換します。

3. HP は、HP 製品の操作が中断されることもなく、エラーが起こることもないという保証は致しません。HP が合理的な期間内に製品を保証されている状態に修理または交換できない場合、顧客は製品を速やかに返品すれば、購入金額の払い戻しを受けることができます。

4. HP 製品は、性能において新品と同等の再生パーツを含んでいる、あるいは臨時に使用されている可能性があります。

5. 保証期間は、配達日、または HP によって取り付けられた場合は設置日から開始します。顧客の都合で設置日が配達日から数えて 31 日以後になった場合は、保証期間は配達日から数えて 31 日目に開始します。

6. 保証は以下が原因の欠陥には、適用されません。(a) 不適切なまたは不正なメンテナンスあるいは調整、(b) HP によって提供されたものではないソフトウェア、インタフェース、パーツ、または消耗品、(c) 承認されていない改変や誤用、(d) 公表されている環境仕様外での製品の使用、(e) 設置場所の準備または維持に関する不備。

7. 現地の法律によって許可されている範囲で、上記の保証は唯一のもので、書面でも口述でも、明示的にも暗示的にも、他に保証はありません。特に HP は特定目的のための販売可能性、十分な品質、および適合性の暗示的な保証や条件を拒否します。

8. HP は、合法的な法廷により損害が HP 製品の欠陥によって直接引き起こされたと判定された範囲において、有形資産に対する損害一件につき $300000 (米ドル) まで、または訴えのあった製品、および負傷または死亡による損害に対して実際に支払われた金額まで、責任を負います。

9. 現地の法律によって許可されている範囲で、この保証書の賠償は、顧客の唯一の賠償です。上記の事項を除き、いかなる場合でもデータの損失、直接、特殊な、付随的な、または結果的な損失 (利益やデータの損失を含む)、またはその他の損害に関して、契約、不法行為、またはその他に基づいているかどうかにかかわらず、HP および HP のサプライヤーは一切責任を負いません。

10. オーストラリアおよびニュージーランドでの商取引に対しては、この保証書に含まれる条項は、法律で許された範囲を除いて、この製品の販売に適用される強制的な法定権利を除外、制限、または改訂するものではなく、この権利に加えられるものとします。

保証期間中およびその後のサービス

- 保証期間中にプリンタハードウェアに故障が発生した場合は、HP 認定サービス業者までお問い合せください (このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制を参照してください)。
- 保証期間後にプリンタハードウェアが故障し、HP メンテナンス契約または HP SupportPack (HP サポートパック) をお持ちの場合は、その契約書の指示に従ってサービスを要請してください。
- HP メンテナンス契約または HP SupportPack (HP サポートパック) をお持ちでない場合は、HP 認定サービス業者までお問い合せください (このユーザーズガイドの最初にある Hewlett-Packard 社製品のサポート体制を参照してください)。

トナーカートリッジの寿命の限定保証

注記 以下の保証は、このプリンタに付属のトナーカートリッジに適用されます。

この保証は以前の保証すべてを置き換えます (96/7/16)。

この HP トナーカートリッジは、トナーを使い切るまで、材料および製造工程に起因する欠陥がないことを保証します。

プリンタがトナー不足のメッセージを表示した時点で、トナーが空になったものと見なします。HP は、故障が確認された製品に対して、HP の判断で交換またはお客様の購入金額を払い戻します。

いかなる方法でも、詰め替えたり、空になったり、悪用したり、誤用したり、不正に改造したりしたカートリッジについては保証いたしません。

この限定保証には、指定された法律的な権利が与えられます。州、郡、国によって異なる他の法律的な権利が与えられる場合があります。

適用できる法律で許可される範囲で、Hewlett-Packard 社は、この保証または他の保証の不履行に起因する付随的な、結果的な、特殊な、間接的な、または典型的な損害、あるいは利益喪失については、責任を一切負いません。

HP ソフトウェアライセンス契約条項

注意：ソフトウェアの使用は、以下の HP ソフトウェアライセンス契約を条件にしています。ソフトウェアを使用することは、これらのライセンス契約に同意したことを示します。これらのライセンス契約に同意しない場合は、ソフトウェアを返却し代金をお受け取りください。ソフトウェアが他の製品とバンドルされている場合は、未使用の製品全体を返却し代金をお受け取りください。

HP との署名済みの契約書が他にないかぎり、次のライセンス契約が付属のソフトウェア使用を規定します。

ライセンス許諾

HP は、ソフトウェアの 1 コピーを使用するライセンスを許諾します。「使用する」は、ソフトウェアの保存、読み込み、インストール、実行または表示を意味します。ソフトウェアを変更したり、ライセンスを無効にしたり、ソフトウェアの機能を制御することは禁じられています。ソフトウェアの「同時使用」が許可されている場合は、正規ユーザーの最大数を超えて同時に使用することはできません。

所有権

HP またはサードパーティがソフトウェアとその著作権を所有します。ライセンスはソフトウェアのタイトルまたは所有権を授けるものでも、ソフトウェアの権利を販売するものでもありません。これらのライセンス契約の違反の場合、HP のサードパーティは権利を保護することができます。

コピーと改作

アーカイブの目的にかぎり、またはコピーや改作することがソフトウェアの正規の使用で必須の手順の場合、ソフトウェアのコピーや改作を作成することができます。コピーまたは改作すべてにおいてオリジナルのソフトウェアの著作権をすべて再生成しなければなりません。ソフトウェアをパブリックネットワークにコピーすることは許可されていません。

逆アセンブリまたは暗号解読の禁止

HP からの事前の同意を書面で入手しないかぎり、ソフトウェアを逆アセンブリまたはデコンパイルすることは禁じられています。管轄によっては、限定された逆アセンブリまたはデコンパイルに HP の同意が必要でない場合があります。要求されたら、ユーザーは逆アセンブリまたはデコンパイルに関する詳細情報を HP に提供します。暗号解読がソフトウェア操作の必要な操作でないかぎり、ソフトウェアを暗号解読することは禁じられています。

譲渡

ソフトウェアを譲渡すると同時に、ライセンスは自動的に終結されます。譲渡時に、コピーおよび関連マニュアルを含め、ソフトウェアを譲渡先に渡さなければなりません。譲渡先は譲渡の条件としてこれらのライセンス契約を受諾しなければなりません。

終結

これらのライセンス契約に適合しない場合、HP は通告をもってライセンスを終結することができます。終結と同時に、いかなる形式でも、すべてのコピー、改作、統合部分とともに、ソフトウェアを即座に破棄しなければなりません。

輸出条件

適用される法律または規則に反して、ソフトウェアまたはコピーや改作を輸出または再輸出することは禁じられています。

米国政府による制限付き権利

ソフトウェアおよびそれに付随するマニュアルは完全に私的費用で開発されています。これらは、DFARS 252.227-7013 (1988 年 10 月)、DFARS 252.211-7015 (1991 年 5 月)、DFARS 252.227-7014 (1995 年 6 月) に定義されている「商用コンピュータソフトウェア」、FAR 2.101(a) に定義されている「商用項目」、あるいは FAR 52.227-19 (1987 年 6 月) に定義されている「制限付きコンピュータソフトウェア」(または同等のエージェンシー規則または契約の条項で) のうち該当するものどれかで、配布およびライセンス契約されています。該当する FAR または DFARS 条項または製品が関連する HP 標準ソフトウェア契約によりソフトウェアまたは付随するマニュアルに提供されている権利だけを所有します。

A 仕様

概要

この付録には次の項目が含まれます。

用紙仕様

HP デジタルコピー用紙の仕様については、384 ページを参照してください。

HP LaserJet プリンタは優れた印字品質を提供します。このプリンタは、カットシート用紙 (再生紙も含む)、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、およびカスタムサイズ用紙などの幅広いメディアに対応しています。重量、粒目、および水分含有量などの特性は、プリンタの性能と印字品質に大きく影響する要素です。

このプリンタでは、このマニュアルのガイドラインに従った、さまざまな用紙やその他の印刷メディアが使用可能です。これらのガイドラインに従っていない用紙を使うと、以下の問題が発生する可能性があります。

- 印字品質の低下
- 紙詰まり頻度の増加と複数ページの同時給紙
- プリンタの耐久性の低下や修理の必要性

次のページに続く。

注記 最高の結果を得るには、HP ブランドの用紙と印刷メディアをお使いください。Hewlett-Packard 社では、他社製の用紙類の使用はお勧めできません。HP 製品ではないため、HP では、品質を管理することができません。

ここに示されたガイドラインをすべて満たす用紙を使っても、満足のゆく印字品質を実現できない場合があります。これは、用紙の誤った取り扱い、指定範囲外の温度や湿度、また Hewlett-Packard では管理できないその他の要素が原因で生じる場合があります。

用紙を大量に購入する前に、特定の用紙がこのユーザーズガイドおよび HP LaserJet Printer Family Specification Guide (HP LaserJet プリンタファミリー用紙仕様ガイド) で指定された必要条件を満たしていることを確認します (ガイドの購入方法については、40 ページを参照してください)。用紙を大量に購入する前に、その用紙をあらかじめ試します。

注意 HP 仕様を満たさない用紙を使用すると、プリンタで問題が発生し、修理が必要になる可能性があります。この場合の修理は、Hewlett-Packard の保証またはサービス契約の対象外です。

使用可能な用紙サイズについては、405 ページを参照してください。

給紙および排紙で使用可能な用紙サイズ

注記 オプションの HP 排紙装置の詳細は、その装置のユーザーズガイドを参照してください。

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
トレイ 1 (多用途)	100 枚まで 封筒 10 枚まで	● 用紙サイズ：レターサイズ、ISO A4、エグゼクティブ、ISO A5、リーガル、11x17、ISO A3、JIS B5、JIS B4、往復はがき 8K, 16K, JIS EXEC ● カスタムサイズ： 最小：98x191 mm (3.9x7.5 インチ) 最大：297x450 mm (11.7x17.7 インチ) ● 封筒サイズ：COM-10、C5、DL、Monarch、B5 **注記**：封筒、OHP フィルム、ラベル紙の印刷にはトレイ 1 を使用してください。	60 ～ 199 g/m^2 (16 ～ 53 ポンドのボンド紙) 両面印刷： 60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンドのボンド紙)

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
トレイ 2 およびオプションの 2 X 500 枚給紙トレイ (トレイ 4)	500 枚まで	用紙サイズ：レターサイズ、ISO A4、リーガル、JIS B4	60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンド)
トレイ 3 およびオプションの 2 X 500 枚給紙トレイ (トレイ 5)	500 枚まで	用紙サイズ：レターサイズ、ISO A4、リーガル、JIS B4、ISO A3、11x 17	60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンド)
オプションの 2000 枚 給紙トレイ (トレイ 4)	2000 枚まで	用紙サイズ：レターサイズ、ISO A4、リーガル、JIS B4、ISO A3、11 x 17	60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンド)

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
オプションのカスタムサイズ用紙トレイ (トレイ 3 または 5)	500 枚まで	● 標準用紙サイズ：レターサイズ、ISO A4、リーガル、JIS B4、ISO A3、11 x 17、8K、16K、JIS EXEC、エグゼクティブ ● カスタムサイズ： 最小：98 x 191 mm (3.9 x 7.5 インチ) Maximum: 297 x 450 mm (11.7 x 17.7 インチ)	60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンド)
標準排紙ビン (印刷面が下)	500 枚まで	用紙サイズ：レターサイズ、ISO A4、ISO A5、エグゼクティブ、リーガル、11 x 17、ISO A3、JIS B5、JIS B4、8K、16K、カスタムサイズ用紙	

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
フェースアップビン	100 枚まで	用紙サイズ：レターサイズ、ISO A4、ISO A5、エグゼクティブ、リーガル、11x17、ISO A3、JIS B5、JIS B4、往復はがき、Monarch、8K、16K、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、重い用紙、カスタムサイズ用紙	
ホッチキス機能付 5 ビンメールボックスおよび 8 ビンメールボックス	1 ビン 250 枚まで	用紙サイズ：レター、ISO A4、リーガル **注記** ÅF JIS B4、エグゼクティブ、11x17、ISO A3、封筒、OHP フィルム、およびラベル紙は、フェースアップビンでのみサポートされます。 ホッチキス機能付きビンでは、A4、レターサイズのみがサポートされます。	標準排紙ビン (フェースダウンビン) 60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンド) フェースアップビン 60 ～ 199 g/m^2 (16 ～ 53 ポンド)

トレイまたは ビン	容量	用紙	重量
7 ビン卓上メールボックス	1 ビン 120 枚まで	用紙サイズ：レターサイズ、ISO A4、リーガル、 **注記**：封筒、OHP フィルム、およびラベル紙は、フェースアップビンでのみサポートされます。	標準排紙ビン (フェースダウンビン) 60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンド) フェースアップビン 60 ～ 199 g/m^2 (16 ～ 53 ポンド)
封筒フィーダ	封筒 100 枚まで	封筒サイズ：COM-10、C5、DL、Monarch、B5	60 ～ 90 g/m^2 (16 ～ 24 ポンド)
両面印刷ユニット		用紙サイズ：レター、リーガル、11 x 17、エグゼクティブ、ISO A3、ISO A4、ISO A5、JIS B4、JIS B5、8K、16K、JIS EXEC	60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 ポンド)

使用可能な用紙タイプ

プリンタのコントロールパネルから次の用紙タイプを選択することができます (403 ページから始まる推奨用紙仕様を参照してください)。

- 普通紙
- レターヘッド
- 穴あき用紙
- ボンド紙
- カラー用紙
- 粗めの用紙
- 印刷済み用紙
- OHP フィルム * (418 ページ参照)
- ラベル紙 * (416 ページ参照)
- 再生紙
- カードストック * (422 ページ参照)
- ユーザー定義 (5 種類)

* トレイ 1 でのみサポートされています。

用紙の使用に関するガイドライン

最高の結果を得るには、重量が普通の 75 g/m^2 (20 ポンド) 用紙を使用します。用紙が良質であること、および傷、裂け目、しみ、ほぐれ、ほこり、しわ、穴がなく、端がカールしたり折れていたりしないことを確認します。

用紙タイプ (ボンド紙や再生紙など) がわからない場合は、用紙のパッケージに付いたラベルを確認します。

用紙によっては、印字品質の問題や、紙詰まり、またプリンタの損傷が発生します。

問題	用紙の問題点	解決策
印字品質またはトナー定着度の低下。紙送り不良。	湿りすぎ、粗過ぎ、なめらか過ぎ、または浮き彫りが厚すぎる。不良な紙束。	フューザ調節を行ってみます (159 ページ参照)。他の 100 ～ 250 Sheffield、水分含有量 4 ～ 6% の用紙を試します。
ドロップアウト、紙詰まり、カール。	保管方法が不適切。	用紙を平らに、防水包装のままで保管します。
背景のグレー度合いが増加。	厚すぎる。	より薄い用紙を使用します。フェースアップビンを使用します。

問題	用紙の問題点	解決策
過度にカールする。 紙送り不良。	湿りすぎ、間違った粒目方向、粒目が短い。	フェースアップビンを使用します。 粒目の長い用紙を使用します。
紙詰まり、プリンタの損傷。	カットアウト紙またはミシン目。	カットアウト紙またはミシン目用紙の使用を避けます。
紙送り不良。	用紙の端がぎざぎざ。	良質の用紙を使用します。

注記　ある種のサーモグラフィで使用される、低温インクで印刷されたレターヘッド用紙を使用しないでください。

浮き彫りのレターヘッドを使わないでください。

このプリンタは、熱と圧力を使ってトナーを用紙に定着させます。カラー用紙や印刷済み用紙を使う場合は、これらの用紙に使われたインクがプリンタの定着温度 (200° C (392° F) で 0.1 秒間) に対応できることを確認する必要があります。

用紙重量の換算表

米国のボンド紙以外の重量指数の、おおよその等価重量を調べるためにこの表を使用してください。たとえば、重量 75 g/m^2 (20 ポンド) の米国ボンド用紙と等価の米国カバー用紙を調べるには、まず表の中で米国ボンド用紙の重量を見つけ (上から 3 行目、左から 2 列目)、同じ行のカバー用紙の列 (左から 4 列目) を調べます。この場合、等価重量は 105 g/m^2 (28 ポンド) です。

グレーの部分は、該当用紙の標準重量を表わします。

米国はがき[a] 厚さ (mm)	米国ボンド紙重量 (ポンド)	米国テキスト / ブック用紙重量 (ポンド)	米国カバー用紙重量 (ポンド)	米国 Bristol 重量 (ポンド)	米国インデックス重量 (ポンド)	米国タグ重量 (ポンド)	ヨーロッパメトリック重量 (g/m2)	日本メトリック重量 (g/m2)
	16	41	22	27	33	37	60	60
	17	43	24	29	35	39	64	64
	20	50	28	34	42	46	75	75
	21	54	30	36	44	49	80	80
	22	56	31	38	46	51	81	81
	24	60	33	41	50	55	90	90

米国はがき[a] 厚さ (mm)	米国ボンド紙重量 (ポンド)	米国テキスト / ブック用紙重量 (ポンド)	米国カバー用紙重量 (ポンド)	米国 Bristol 重量 (ポンド)	米国インデックス重量 (ポンド)	米国タグ重量 (ポンド)	ヨーロッパメトリック重量 (g/m2)	日本メトリック重量 (g/m2)
	27	68	37	45	55	61	100	100
	28	70	39	49	58	65	105	105
	32	80	44	55	67	74	120	120
	34	86	47	58	71	79	128	128
	36	90	50	62	75	83	135	135
.18	39	100	55	67	82	91	148	148
.19	42	107	58	72	87	97	157	157
.20	43	110	60	74	90	100	163	163
.23	47	119	65	80	97	108	176	176
	53	134	74	90	110	122	199	199

a. 米国のはがきサイズは概数です。参考のみに使用してください。

ラベル紙

注記

高品質の印刷を行うために、トレイ 1 とフェースアップビンのみを使用してください。

注意

プリンタの損傷を避けるために、レーザープリンタ専用ラベル紙以外は使わないでください。

1 枚のラベルシートに 2 回以上印刷しないでください。

ラベル紙、OHP フィルム、封筒、カスタム用紙、または重量が 105 g/m^2 (28 ポンド) 以上の用紙には、両面印刷しないでください。プリンタの故障や紙詰まりの原因になる可能性があります。

ラベル紙の造り

ラベル紙を選択する際、以下の各要素の質を考慮します。

- **粘着剤：** ラベル紙の粘着剤はプリンタの最大定着温度 200° C (392° F) でも十分粘着する必要があります。
- **ラベルの配列：** ラベルの間からラベルシートの裏紙が見えないものだけを使います。ラベル間にスペースがあるとラベルがはがれ、解消しにくい紙詰まりが生じる可能性があります。
- **カール：** 印刷する前のラベルシートは、平らに置いたときに、どの方向でもカールが 13 mm (0.5 インチ) 未満である必要があります。
- **コンディション：** しわや気泡があるか、粘着が不完全なラベル紙は使用しないでください。

ラベル紙の印刷方法については、134 ページを参照してください。

OHP フィルム

注記 高品質の印刷を行うために、トレイ 1 とフェースアップビンのみを使用してください。

注意 プリンタで使用する OHP フィルムは、プリンタの最高温度 200° C (392° F) に耐えられる必要があります。プリンタの損傷を避けるために、レーザープリンタ専用の OHP フィルム以外は使わないでください。

ラベル紙、OHP フィルム、封筒、カスタム用紙、または重量が 105 g/m^2 (28 ポンド) 以上の用紙には、両面印刷しないでください。プリンタの故障や紙詰まりの原因になる可能性があります。.

OHP フィルムの印刷に問題がある場合は、トレイ 1 を使ってください。

OHP フィルムの印刷方法については、136 ページを参照してください。

封筒

注記　高品質の印刷を行うために、トレイ 1、封筒フィーダ、またはフェースアップビンのみを使用してください。

封筒の形状

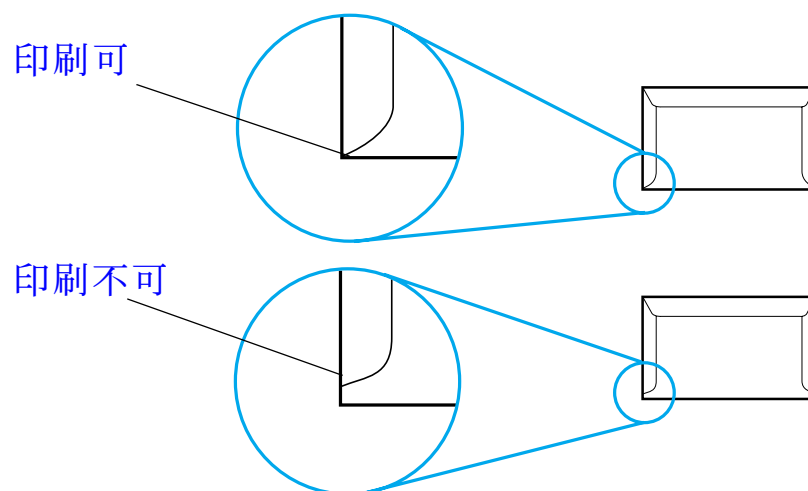
封筒の形状は非常に重要です。封筒の折り目は、メーカーによって異なるだけでなく、同一メーカーのボックス内の封筒によっても異なる場合があります。封筒にうまく印刷できるかどうかは、封筒の品質にかかっています。封筒を選択するときには、以下の要素を考慮します。

- **重量**：使用可能な封筒の重量については 406 ページを参照してください。
- **形状**：印刷前の封筒は、平らに置いたときに、カールが 6 mm (0.25 インチ) 未満であること、および中に空気が入っていないことが必要です (中に空気の入った封筒は印刷不良の原因になる可能性があります)。
- **コンディション**：しわ、切り目、またはその他の損傷がある封筒は使用しないでください。
- **トレイ 1 の封筒のサイズ**：使用可能な封筒のサイズについては 410 ページを参照してください。
- **オプションの封筒フィーダの封筒のサイズ**：使用できる封筒については、ページを参照してください。

次のページに続く。

オプションの封筒フィーダがない場合は、トレイ 1 から封筒に印刷します。130 ページを参照してください。オプションの封筒フィーダを使って封筒に印刷する方法については、123 ページを参照してください。封筒にしわが入る場合は、267 ページを参照してください。

両側に継ぎ目のある封筒

両側に継ぎ目のある封筒とは、継ぎ目が封筒の対角線上ではなくて、封筒の両側にある封筒のことです。このスタイルの方がしわになりやすい構造です。下の図にあるように、継ぎ目が封筒の角の頂点まで続く封筒を使用します。

粘着テープや折り返しの付いた封筒

粘着部分から紙片をはがして使う封筒や、のり付きの折り返しが 2 つ以上付いた封筒を使う場合は、粘着剤がプリンタ内の温度と圧力に耐えられなければなりません。余分の折り返しや、はがす紙片によってしわ、折り目、または紙詰まりが生じる可能性があります。

封筒のマージン

以下の表に COM-10 または DL 封筒の一般的な住所マージンを示します。

住所のタイプ	上部マージン	左マージン
差出人	15 mm (0.5 インチ)	15.2 mm (0.6 インチ)
宛先	51 mm (2 インチ)	85 mm (4 インチ)

注記 最高の印字品質を得るには、マージンは、封筒の端からの 15.2 mm (0.6 インチ) 以上に設定します。

封筒の保管

封筒を正しく保管することによって、高い印字品質が得られます。封筒は平らに保管します。封筒の中に空気が入り、気泡になると、印刷中にしわになる可能性があります。

カードストックと重い用紙

注記 最高の結果を得るには、フェースアッププビンを使用します。

はがきを含め多くのタイプのカードストックは、トレイ 1 から印刷できます。一部のカードストックは、他のカードストックよりもきれいに印字できます。これは、構造的にレーザープリンタの給紙に適しているからです

最高のプリンタ性能を得るには、トレイ 1 では重量が 199 g/m^2 (53 ポンド) 以下、他のトレイでは重量が 105 g/m^2 (28 ポンド) 以下の用紙を使用します。用紙が重すぎると、紙送り不良、スタッキング問題、紙詰まり、トナー定着度の低下、印字品質の低下、またはプリンタパーツの過度な摩耗が生じる可能性があります。

注記 なめらかさが 100 ～ 180 Sheffield の用紙を、トレイの最大容量まで詰めずに使えば、重い用紙の印刷が可能な場合があります。

カードストックの形状

- **なめらかさ：**135 ～ 199 g/m^2 (36 ～ 53 ポンド) のカードストックには、100 ～ 180 Sheffield のなめらかさが必要です。60 ～ 135 g/m^2 (16 ～ 36 ポンド) のカードストックには、100 ～ 250 Sheffield のなめらかさが必要です。
- **形状：**カードストックは、平らに置いたときに、カールが 5 mm (0.2 インチ) 未満である必要があります。
- **コンディション：**カードストックにしわ、切れ目、またはその他の損傷がないことを確認します。
- **サイズ：**405 ページを参照してください。

注記　カードストックをトレイ 1 に入れる前に、形がそろっていて、損傷がないことを確認します。また、カードが互いにくっついていないことを確認します。

カードストックのガイドライン

- マージンは、用紙の端から 2 mm (0.08 インチ) 以上に設定します。

プリンタ仕様

外寸

次のページに続く。

次のページに続く。

1683 mm (66.25 インチ)

889 mm (35 インチ)

368 mm
(14.5 インチ)

485 mm
(19.5 インチ)

1229 mm (48.4 インチ)

838 mm (33 インチ)

(オプションの排紙装置付き 8150)

73 in. (1854 mm)

43 in. (1092 mm)

35 in. (889 mm)

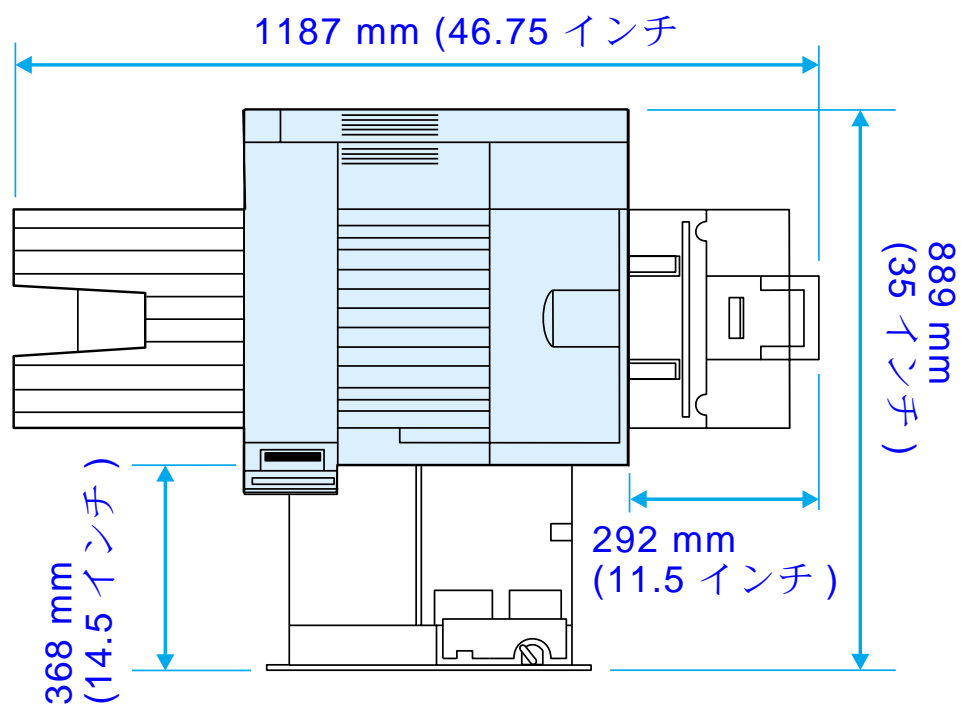
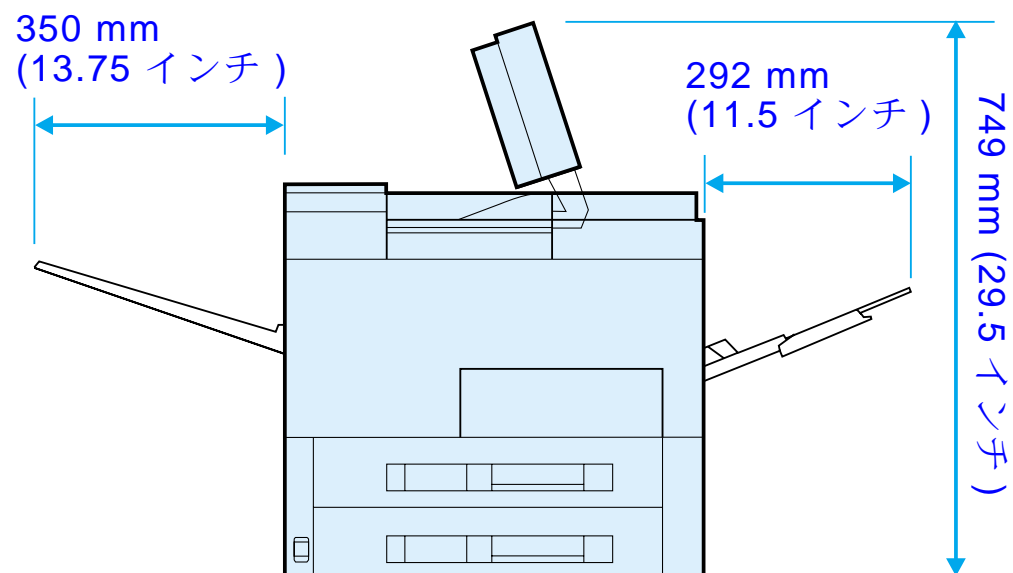
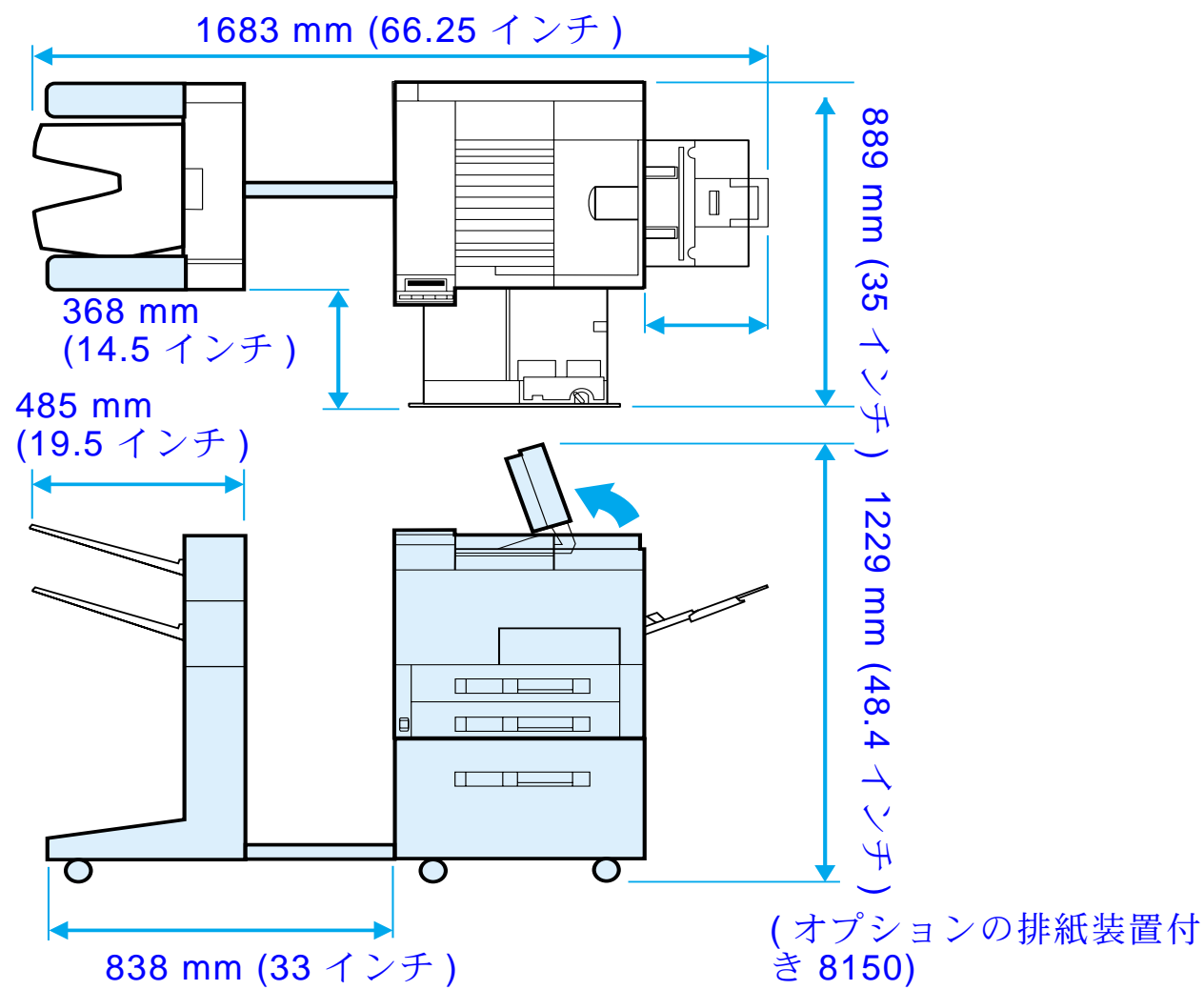
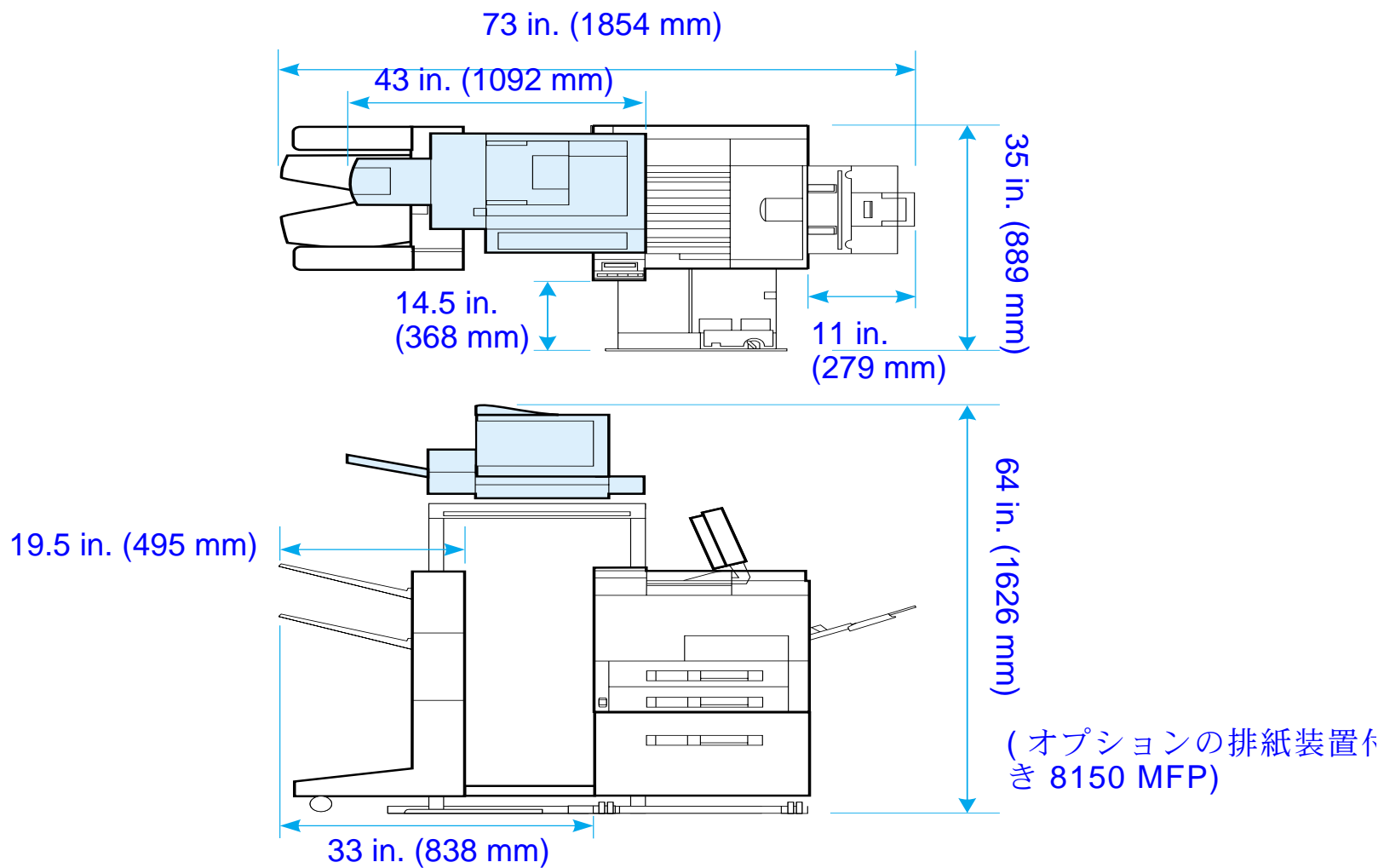
14.5 in. (368 mm)

11 in. (279 mm)

19.5 in. (495 mm)

64 in. (1626 mm)

33 in. (838 mm)

(オプションの排紙装置付き 8150 MFP)

プリンタの重量 (トナーカートリッジを除く)

- HP LaserJet 8150 および 8150 N プリンタ : 51 kg（112 ポンド）
- HP LaserJet 8150 DN プリンタ : 54 kg (120 ポンド)
- HP LaserJet 8150 HN プリンタ : 113 kg (249 ポンド)
- HP LaserJet 8150 MFP プリンタ : 136 kg (300 ポンド)

環境仕様

プリンタの状態	消費電力 (平均値、ワット、基本ユニット)	消費電力 (平均値、ワット、フル構成ユニット)
印刷中		
(100 ～ 127V のユニット)	645 ワット	685 ワット
(220 ～ 240V のユニット)	655 ワット	685 ワット
スタンバイ状態		
(100 ～ 127V のユニット)	145 ワット	160 ワット
(220 ～ 240V のユニット)	145 ワット	165 ワット
パワーセーブ状態 (デフォルトの活動時間 30 分)	31 ワット 35 ワット	56 ワット (100 ～ 127V のユニット) 61 ワット (220 ～ 240V のユニット)
パワーセーブ 2 (デフォルトの起動時間は、他に何の操作も行わない場合、パワーセーブ 1 が起動してから 10 分後)	31 ワット 35 ワット	37 ワット（100 ～ 127V のユニット） 40 ワット（220 ～ 240V のユニット）

プリンタの状態	消費電力 (平均値、ワット、 基本ユニット)	消費電力 (平均値、ワット、 フル構成ユニット)
オフ	0 ワット (100 ～ 127V のユニット) 0.1 ワット (220 ～ 240V のユニット)	0.5 ワット (100 ～ 127V のユニット) 0.9 ワット (220 ～ 240V のユニット)

推奨される最低配線容量	
100 ～ 127V	15.0 A
220 ～ 240V	7.0 A

必要電力 (入力電圧)	
100 ～ 127V (+/- 10%)	50 ～ 60 Hz (+/- 2 Hz)
220 ～ 240V (+/- 10%)	50 ～ 60 Hz (+/- 2 Hz)
220V (+/- 10%)	60 Hz (+/- 2 Hz)

	操作 (印刷)[a]	パワーセーブ 1/ スタンバイ	パワーセーブ 2
音量レベル	6.9 b	5.2 b	不可聴
音圧レベル	53 dB	36 dB	不可聴
L_{pAm} (傍観者の位置)			
音圧レベル	59 dB	41 dB	不可聴
L_{pAm} (操作者の位置)			

a. プリンタのスピードは 32 ppm。

使用時の温度	10 ～ 32.5° C (50 ～ 91° F)
相対湿度	20 ～ 80 %
分あたりの印刷ページ数 (ppm)	32 ppm
拡張メモリ	最大合計 160 MB (オプションのアクセサリメモリ DIMM を使用時)

B コントロールパネルのメニュー

概要

通常の印刷タスクのほとんどは、プリンタドライバまたはアプリケーション ソフトウェアを使ってコンピュータから行うことができます。これは、プリンタを操作する最も便利な方法です。また、コンピュータからの設定によって、プリンタのコントロールパネルの設定が優先されます。詳細は、ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。また、プリンタドライバのアクセス方法については、59 ページを参照してください。

プリンタのコントロールパネルで設定を変えることによってプリンタを制御することもできます。プリンタドライバやアプリケーション ソフトウェアでサポートされていないプリンタ機能には、コントロールパネルを使います。

注記 プリンタドライバおよびソフトウェアのコマンドは、プリンタのコントロールパネルの設定よりも優先されます。

コントロールパネルを使って、プリンタの**現在**の設定を示すメニューマップを印刷できます (55 ページ参照)。この付録では、プリンタのメニュー項目と**可能**な値をすべて示します (デフォルト値は、項目の列に示します)。

プリンタに現在インストールされているオプションによっては、ほかのメニュー項目がコントロールパネルに表示される場合もあります。

注記 オプションの HP 排紙装置の詳細は、その装置のユーザーズガイドを参照してください。

この付録には次の項が含まれます。

コジンヨウ/ホゾン ジョブ メニュー

このメニューでは、プリンタのハードディスクまたは RAM メモリに保存された個人用ジョブ、保存ジョブ、クイックコピー、および試し刷り後保留ジョブのリストが表示されます。これらのジョブは、コントロールパネルから削除することができます。詳細は、166 ページのジョブ保留 を参照してください。

注記 プリンタのハードディスクにまたは RAM メモリに個人用ジョブ、保存ジョブ、クイックコピー、および試し刷り後保留ジョブが保存されていない場合、このメニューはコントロールパネルに表示されません。

項目	値	説明
[ジョブ名]		プリンタのハードディスクまたは RAM メモリ上に保存されたジョブの名前です。
PIN:0000		個人用ジョブを印刷するには、ドライバ内でそのジョブに割り当てた PIN 番号を入力する必要があります。

項目	値	説明
コピー = x	1 ～ 999 サクジョ	追加印刷部数です。 1 ～ 999: ジョブを指定部数だけ印刷します。 サクジョ : プリンタのハードディスクまたは RAM メモリからジョブを削除します。

ジョウホウ メニュー

このメニューには､プリンタとその設定の詳細を示すプリンタ情報ページが含まれます。情報ページを印刷するには、印刷するページまでスクロールしてから [選択] を押します。

項目	説明
メニュー マップ ノ インサツ	メニューマップはコントロールパネルのメニュー項目の現在の設定レイアウトを示します。詳細は、331 ページを参照してください。
セッテイノ インサツ	設定ページはプリンタの現在の設定を示します。HP JetDirect プリントサーバーカードがインストールされている場合は、JetDirect の設定ページも印刷されます。詳細は、328 ページを参照してください。
PCL フォント リストノ インサツ	PCL フォント リストは、プリンタが現在使用できるすべての PCL フォントを示します。詳細は、332 ページを参照してください。
PS フォント リストノ インサツ	PS フォントリストは、プリンタが現在使用できるすべての PS フォントを示します。詳細は、332 ページを参照してください。

項目	説明
ファイル ディレクトリ ノ インサツ	この項目は、大容量記憶装置 (オプションのフラッシュ DIMM またはハードディスクなど) がプリンタに設置され、認識できるファイルシステムが含まれる場合にのみ表示されます。ファイルディレクトリは、インストールされたすべての大容量記憶装置に関する情報を示します。詳細は、334 ページを参照してください。
イベント ログ ノ インサツ	イベントログは、プリンタのイベントとエラーのリストです。 イベントログの 2 ページ目は、メーカーのページです。このページは、HP カスタマケアによるサービスが発生する可能性のある問題を解決するときに役立ちます。
イベント ログ ノ ヒョウジ	この項目を使うと、コントロールパネルのディスプレイに最近のプリンタイベントが表示されます。イベントログをスクロールするには、[- 値 +] を押します。

項目	説明
インサツヨウシケイロ ノ テスト	用紙経路テストを使用して、用紙経路が正常に機能しているかどうかを確認したり、トレイ構成に関する問題のトラブルシューティングを行ったりできます。 給紙トレイ、排紙ビン、両面印刷ユニット (装着されている場合)、およびコピー部数を選択します。 **注記** ホッチキスが取り付けられ、有効な排紙場所になっている場合、[ジョブのキャンセル] を押して印刷用紙経路のテストをキャンセルしても正常に動作しない場合があります。この場合は、[Go] を押します。プリンタが印刷を中止し、オフラインと表示したら、プリンタの電源をいったん切り、再投入します。
インサツ リヨウ ページ	印刷利用ページには、費用計算に利用できる情報が含まれています。この項目は、ハードディスクがインストールされている場合にのみ表示されます。

ヨウシ トリアツカイ メニュー

コントロールパネルを使って用紙取り扱い設定を正しく行うと、プリンタドライバやアプリケーション ソフトウェアから用紙のタイプやサイズを指定して印刷できます。詳細は、156 ページを参照してください。

このメニューの一部の項目 (両面印刷や手差しなど) は、アプリケーション ソフトウェア、またはプリンタドライバ (適切なドライバがインストールされている場合) からアクセスできます。プリンタドライバやアプリケーション ソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます。詳細は、145 ページを参照してください。

項目	値	説明
フウトウ フィーダ サイズ =COM10	使用可能な封筒サイズについては、405 ページを参照してください。	この項目は、オプションの封筒フィーダが取り付けられている場合にのみ表示されます。封筒フィーダに現在、セットされている封筒サイズに対応する値を設定します。 **注記** ここに示すデフォルト値は 110V プリンタ用です。220V のプリンタのデフォルトの封筒サイズは DL です。

項目	値	説明
フウトウ フィーダ タイプ = ヒョウジュン	使用可能な用紙タイプについては、405 ページを参照してください。	この項目は、オプションの封筒フィーダが取り付けられている場合にのみ表示されます。封筒フィーダに現在、セットされている封筒タイプに対応する値を設定します。
トレイ 1 モード = サイショ	サイショカセット	プリンタによってトレイ 1 がどのように使用されるかを示します。 サイショ： トレイ 1 に用紙がセットされている場合は、プリンタは最初にこのトレイの用紙を使用します。 カセット： トレイ 1 サイズ オプション（トレイ 1 モード = カセットのときに、このメニューの次の項目）を使ってトレイ 1 の用紙サイズを割り当てる必要があります。これにより、トレイ 1 が指定のトレイとして使用されます。 詳細は、153 ページを参照してください。
トレイ 1 サイズ = レター	使用可能な用紙サイズについては、405 ページを参照してください。	この項目は、トレイ 1 モード = カセットの場合にのみ表示されます。現在トレイ 1 にセットされている用紙サイズに対応する値を設定します。

項目	値	説明
トレイ 1 タイプ ＝ヒョウジュン	使用可能な用紙タイプについては、405 ページを参照してください。	この項目は、トレイ 1 モード = カセットの場合にのみ表示されます。現在トレイ 1 にセットされている用紙タイプに対応する値を設定します。
トレイ 2 タイプ ＝ヒョウジュン	使用可能な用紙タイプについては、405 ページを参照してください。	現在トレイ 2 にセットされている用紙タイプに対応する値を設定します。
トレイ 3 タイプ ＝ヒョウジュン	使用可能な用紙タイプについては、405 ページを参照してください。	現在トレイ 3 にセットされている用紙タイプに対応する値を設定します。
トレイ 4 タイプ ＝ヒョウジュン	使用可能な用紙タイプについては、405 ページを参照してください。	この項目は、4 番目の用紙トレイが取り付けられている場合にのみ表示されます。現在トレイ 4 にセットされている用紙タイプに対応する値を設定します。

項目	値	説明
トレイ 5 タイプ = ヒョウジュン	使用可能な用紙タイプについては、405 ページを参照してください。	この項目は 5 番目の用紙トレイが取り付けられている場合にのみ表示されます。現在トレイ 5 にセットされている用紙タイプに対応する値を設定します。
ハイシ バショ = ヒョウジュン ハイシトレイ	ヒョウジュンハイシトレイ フェースアップビン オプション ハイシトレイ	メールボックスを取り付けた場合に限り、オプションハイシトレイ x が表示されます。適切なビンに対応する値を設定します。
テザシ = オフ	オフ オン	トレイからの自動給紙の代わりにトレイ 1 から用紙を手差しします。テザシ = オンでトレイ 1 が空のときにプリンタに印刷ジョブが送信されると、プリンタはオフラインになり、シュドウ キュウシ [用紙サイズ] と表示されます。 詳細は、155 ページを参照してください。

ヨウシ トリアツカイ メニュー

項目	値	説明
リョウメン インサツ = オフ	オフ オン	この項目はオプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合にのみ表示されます。両面印刷を行う場合は値をオンに、片面印刷を行う場合はオフに設定します。 詳細は、116 ページを参照してください。
トジコミ = ロングエッジ	ロングエッジ ショートエッジ	この項目はオプションの両面印刷ユニットがインストールされ、両面印刷オプションがオンの場合にのみ表示されます。両面印刷を行うときに綴じ込むエッジを選択します。 詳細は、116 ページを参照してください。
オーバーライド A4 / レターサイズ = イイエ	イイエ ハイ	ハイを選択すると、A4 ジョブが送信されたときに、プリンタに A4 用紙がセットされていなかった場合は、レターサイズの用紙に印刷されます (レターサイズのジョブが送信されたときに、レターサイズの用紙がセットされていなかった場合は、A4 に印刷されます)。

項目	値	説明
フューザ モード メニュー ノ セッテイ = イイエ	イイエ ハイ	各用紙タイプに関連付けられたフューザモードを設定します (この設定は、特定の用紙タイプでの印刷に問題がある場合にのみ必要です)。 イイエ : フューザモードメニューの項目は使用できません。 ハイ : 追加項目が表示されます (446 ページの [タイプ]= ヒョウジュンを参照)。 フューザモードは、コントロールパネルのこのメニューオプションからのみ変更できます。 **注記** 各用紙タイプのデフォルトのフューザモードを確認するには、ハイを選択し、ジョウホウ メニューにスクロールします。次に、メニューマップを印刷します (436 ページ参照)。

項目	値	説明
ハシ カラ ハシ マデ ノ セッテイ＝イイエ	イイエ ハイ	端から端までの印刷ジョブを印刷するトレイに対して、マージンのアライメントを設定します。 イイエ：端から端までの設定メニュー項目はアクセスできません。 ハイ：他の端から端までの設定メニュー項目が表示されます。
トレイ テスト インサツ＝スベテ	スベテ 1 2 3 4	この項目が表示されるのは、外部に給紙処理装置がインストールされている場合にのみです。 端から端をキャリブレーションしたページが、選択されたトレイに対して印刷されます。
トレイ X ノ シフト＝ナシ	ナシ ヒダリニ 1 ヒダリニ 2 ヒダリニ 3 ミギニ 1 ミギニ 2 ミギニ 3	イメージの配置をページ上で左や右へシフトする値を設定することができます。

項目	値	説明
[タイプ]= ヒョウジュン	ヒョウジュン ヒクイ タカイ 1 タカイ 2 タカイ 3	この項目は、フューザ モード メニュー ノ セッテイ = ハイの場合のみ表示されます。プリンタの印字速度は、レターサイズまたは A4 サイズ用です。 ヒョウジュン : 標準のフューザ温度。 32 ppm で印刷します。 ヒクイ : 標準より低いフューザ温度。 32 ppm で印刷します。 タカイ 1: 標準より高いフューザ温度。 32 ppm で印刷します。 タカイ 2: さらに高いフューザ温度。 24 ppm で印刷します。 タカイ 3: さらに高いフューザ温度。 16 ppm で印刷します。 大部分の用紙タイプについて、ヒョウジュンがデフォルトで設定されます。例外を次に示します。 OHP フィルム = ヒクイ 次のページに続く。

項目	値	説明
		ラベル紙 = タカイ 1 カードストック = タカイ 2 粗め = タカイ 1 使用できる用紙タイプの全リストについては、411 ページを参照してください。 **注意** フューザ調節モードをタカイ 1、タカイ 2、またはタカイ 3 に変更した場合は、印刷が終わったら必ずデフォルト値に戻すようにしてください。特定の用紙タイプについて、タカイ 1、タカイ 2、またはタカイ 3 を設定すると、フューザなど、一部の消耗品の寿命が短くなり、他の障害や紙詰まりの原因となる場合があります。

インジ ヒンシツ メニュー

このメニューの一部の項目は、アプリケーション ソフトウェア、またはプリンタドライバ (適切なドライバがインストールされている場合) からアクセスできます。プリンタドライバやアプリケーション ソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます。詳細は、145 ページを参照してください。

項目	値	説明
カイゾウド =FASTRES 1200	300 600 FASTRES 1200	以下の値から解像度を選択します。 300: プリンタの最高速度 (32 ページ / 分) でドラフト品質の印刷結果が得られます。一部のビットマップフォントやグラフィックス、および HP LaserJet III プリンタファミリとの互換性には、300 dpi (ドット数 / インチ) が推奨されます。 600: プリンタの最高速度 (32 ページ / 分) で高品質の印刷結果が得られます。 FASTRES 1200: プリンタの最高速度 (32 ページ/分) で最高品質 (1200 dpi に匹敵) の印刷結果が得られます。 **注記** 解像度は、プリンタドライバまたはアプリケーション ソフトウェアから変更することをお勧めします。ドライバやソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます。

項目	値	説明
RET= ヒョウジュン	オフ ウスイ ヒョウジュン コイ	なめらかな角度、曲線、および輪郭を実現するために、REt (プリンタのリゾリューションエンハンスメントテクノロジー、Resolution Enhancement) 設定を使います。 REt は、FastRes 1200 を含むすべての印刷解像度に有効です。 **注記** REt 設定は、プリンタドライバまたはアプリケーション ソフトウェアから変更することをお勧めします。ドライバやソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます。

項目	値	説明
エコノモード = オフ	オフ オン	トナーを節約するにはエコノモードをオンにします。高品質の印刷結果を得るにはエコノモードをオフにします。 エコノモードを使うと印刷ページに適用されるトナー量が最大 50% 減り、ドラフト品質の印刷結果が得られます。 **注意** HP ではエコノモードの常時使用をお勧めしません。エコノモードを常時使用すると、トナーカートリッジで、機械パーツよりもトナーが長持ちする可能性があります。 **注記** エコノモードは、プリンタドライバまたはアプリケーションソフトウェアからオン / オフを変更することをお勧めします。ドライバやソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます。
トナーノウド =3	1 2 3 4 5	トナー濃度の設定を変更することによって、ページ上の印刷を薄く、または濃くすることができます。設定範囲は 1 (薄い) から 5 (濃い) までであります。ただし、通常はデフォルト値の 3 が最良の印刷結果をもたらします。

項目	値	説明
クリーニングページノ サクセイ	選択できる値はありません。	[選択] を押すと、クリーニングページが印刷され、用紙経路にある余分なトナーのクリーニングが行われます。 クリーニングページが正しく機能するには、コピー用紙等級の用紙を使って印刷します。ボンド紙や粗めの用紙は使用しないでください。クリーニングページの説明に従ってください。
クリーニングページノショリ	選択できる値はありません。	この項目は、クリーニングページが印刷された後で表示されます (上記を参照)。 クリーニングページを処理するには、[選択] を押します。

インサツ メニュー

このメニューの一部の項目は、アプリケーション ソフトウェア、またはプリンタドライバ (適切なドライバがインストールされている場合) からアクセスできます。プリンタドライバやアプリケーション ソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます。詳細は、145 ページを参照してください。

項目	値	説明
コピー = 1	1 ～ 999	1 から 999 までで任意の数値を選択して、デフォルトのコピー部数を設定します。[- 値 +] を 1 回押すと、設定値が 1 単位で変更されます。[- 値 +] を押し続けると、10 単位でスクロールできます。- **注記** コピー部数は、プリンタドライバまたはアプリケーション ソフトウェアから変更することをお勧めします (ドライバやソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます)。
フィード ナガサ= インチまたは mm	インチ mm	クロスフィードサイド上のカスタム用紙サイズをインチまたは mm で指定します。 **注記** 差込方向は、用紙がプリンタを介して差し込まれる方向です。クロスフィードの方向は、差込方向に対して垂直です。

項目	値	説明
ヨウシ = レター (110V プリンタ) または ヨウシ =A4 (220V プリンタ) および フウトウ =COM10 (110V プリンタ) または フウトウ =DL (220V プリンタ)	使用可能な用紙サイズについては、405 ページを参照してください。	用紙および封筒のデフォルトのイメージサイズを設定します。使用可能なサイズをスクロールすると、項目名が用紙から封筒に変化します。
カスタム ヨウシ ヲ セッテイ = イイエ	イイエ ハイ	イイエ： カスタム用紙メニューの項目にアクセスできません。 ハイ： カスタム用紙メニューの項目が表示されます（以下を参照）。

項目	値	説明
タンイ = インチ (110V プリンタ) または mm (220V プリンタ)	インチ mm	この項目は、カスタム ヨウシ ヲ セッテイ = ハイの場合にのみ表示されます。カスタム用紙サイズの測定単位を選択します。
X スンポウ = 11.7 インチ (110V プリンタ) または 297 mm (220V プリンタ)	使用可能な用紙サイズは、406 ページを参照してください。	この項目は、カスタム ヨウシ ヲ セッテイ = ハイの場合にのみ表示されます。プリンタに給紙される方の寸法を選択します (ショートエッジ)。
Y スンポウ = 17.7 インチ (110V プリンタ) または 450 mm (220V プリンタ)	使用可能な用紙サイズは、406 ページを参照してください。	この項目は、カスタム ヨウシ ヲ セッテイ = ハイの場合にのみ表示されます。他方の寸法を選択します (ロングエッジ)。

項目	値	説明
ヨウシ ノ ムキ = タテ	タテ ヨコ	ページのデフォルトの用紙の向きを指定します。 **注記** 用紙の向きは、プリンタドライバまたはアプリケーション ソフトウェアから設定することをお勧めします。ドライバやソフトウェアの設定は、コントロールパネルの設定よりも優先されます。
フォーム = 60 ライン (110V プリンタ) または 64 ライン (220V プリンタ)	5 ～ 128	デフォルトの用紙サイズの縦方向の間隔を 5 から 128 の間で設定します。[- 値 +] を 1 回押すと、設定値が 1 単位で変更されます。[- 値 +] を押し続けると、10 単位でスクロールできます。
PCL フォント ソース = ナイブ	ナイブ ソフト スロット 1、2、または 3	ナイブ : 内蔵フォント。 ソフト : 常駐ソフトフォント。 スロット 1、2、または 3 : 3 つの DIMM スロットの 1 つに保管されているフォント。

項目	値	説明
PCL フォント バンゴウ =0	0 ～ 999	プリンタによって各フォントに番号が付けられ、PCL フォントリストにリストされます (332 ページ参照)。フォント番号は、印刷されたページのフォント番号の列に表示されます。
PCL フォント ピッチ =10.00	0.44 ～ 99.99	この項目は、選択したフォントによっては表示されない場合があります。[- 値 +] を 1 回押すと、0.01 ピッチ単位で設定が変更されます。[- 値 +] を押し続けると、1 ピッチ単位でスクロールできます。
PCL フォント ポイントサイズ =12.00	4.00 ～ 999.75	この項目は、選択したフォントによっては表示されない場合がもあります。[- 値 +] を 1 回押すと、0.25 ポイント単位で設定が変更されます。[- 値 +] を押し続けると、1 ポイント単位でスクロールできます。
PCL シンボル セッ =PC-8	PC-8 その他多数	プリンタのコントロールパネルでシンボルセットを 1 つ選択します。シンボルセットとは、特定フォント内のすべての文字が含まれる、一意のグループです。線の描画には PC-8 や PC-850 が推奨されます。

項目	値	説明
COURIER= ヒョウジュン	ヒョウジュン ダーク	使用する Courier フォントのバージョンを選択します。 ヒョウジュン : HP LaserJet 4 シリーズのプリンタに内蔵された Courier フォント。 ダーク : HP LaserJet III シリーズのプリンタに内蔵された Courier フォント。 両方のフォントを同時に使用することはできません。
ワイド A4= イイエ	イイエ ハイ	ワイド A4 の設定によって、A4 用紙で 1 行に印刷できる文字数が変更されます。 イイエ : 1 行に 10 ピッチ文字を 78 文字まで印刷できます。 ハイ : 1 行に 10 ピッチ文字を 80 文字まで印刷できます。
LF ニ CR ヲ ツイカ = イイエ	イイエ ハイ	ハイを選択すると、下位互換性のある PCL ジョブ (純粋なテキストのみでジョブ制御なし) の各ラインフィードにキャリッジリターンが追加されます。UNIX など、一部の環境では、ラインフィード制御コードだけで、新しい行が指定されます。このオプションを使うことによって、ユーザーは各ラインフィードに必要なキャリッジリターンを追加できます。

インサツ メニュー

項目	値	説明
PS エラー ノ インサツ = オフ	オフ オン	オンを選択すると、PS エラーが発生したときに PS エラーページが印刷されます。
ハシ カラ ハシ マデ ノ ヘンコウ= オフ	オフ オン	すべての印刷ジョブに対して、端から端のモードをオンまたはオフにします。このモードは、端から端の PJL 変数を使用して印刷ジョブ内から切り替えることができます。

セッテイ メニュー

このメニューの項目は、プリンタの動作に影響します。印刷の要求に応じてプリンタを設定します。

項目	値	説明
パワーセーブ= 30　フン	15　フン 30　フン 1　ジカン 2　ジカン 3　ジカン	プリンタが一定期間アイドル状態の後にパワーセーブモードに入るように設定します。パワーセーブ機能には、以下の利点があります。 プリンタがアイドル状態のときに消費する電力を最小限に抑えます。 プリンタの電子パーツの摩耗を減らします (ディスプレイのバックライトがオフになります)。 印刷ジョブを送信したり、コントロールパネルのキーを押したり、用紙トレイや上部カバーを開いたりすると、パワーセーブモードは自動的に解除されます。 **注記** パワーセーブによってディスプレイのバックライトはオフになりますが、ディスプレイの文字を読むことは可能です。

項目	値	説明
パーソナリティ = ジドウ	ジドウ PCL PS	デフォルトのプリンタ言語 (パーソナリティ) を選択します。プリンタにインストールされている有効な言語によって、使用できる値が異なります。 通常はプリンタ言語を変更しないでください。デフォルトはジドウです。特定のプリンタ言語に変更すると、特定のソフトウェアコマンドがプリンタに送信されない限り、プリンタはある言語から別の言語に自動的に切り替えられなくなります。

項目	値	説明
リソース ノ ホゾン = オフ	オフ オン ジドウ	この項目によって、プリンタのメモリ内に、各言語の永久のリソースを保存する領域が確保されます (この項目が表示されるには、プリンタにメモリを追加する必要がある場合があります)。確保されるメモリの量はインストールされている言語によって異なります。一部の言語では、リソース保存用にメモリが確保されますが、すべての言語がそうではありません。特定の言語に割り当てられるメモリ量が変更されると、すべての言語は、未処理の印刷ジョブを含む保存されたリソースをすべて失います。 オフ **:** 言語リソースの保存は行われず、言語や解像度が変更されると、フォントやマクロなど、言語に依存するリソースは失われます。 オン **:** インストールされた言語ごとに項目が表示され、ユーザーはその言語のリソース保存領域に特定のメモリ量を割り当てることができます (以下の項目を参照)。 ジドウ **:** インストールされた各言語のリソース保存領域として使用するメモリ量をプリンタが自動的に決定します。 詳細は、489 ページを参照してください。

項目	値	説明
PCL メモリ =400K	0K とそれ以降 (この値はインストールされているメモリ量によって異なります。)	この項目は、リソース ノ ホゾン = オンの場合にのみ表示されます。PCL リソースの保存に使用するメモリ量を選択します。プリンタのデフォルト値は、PCL リソースを保存するために最小限必要なメモリ量です。[- 値 +] を押して、10 KB 単位 (100 KB まで) または 100 KB 単位 (100 を超えた場合) で設定を変更します。 詳細は、489 ページを参照してください。
PS メモリ =400K	0K とそれ以降 (この値はインストールされているメモリ量によって異なります。)	この項目は、リソース ノ ホゾン = オンの場合にのみ表示されます。PS リソースの保存に使用するメモリ量を選択します。プリンタのデフォルト値は、PS リソースを保存するために最小限必要なメモリ量です。[- 値 +] を押して、10 KB 単位 (100 KB まで) または 100 KB 単位 (100 を超えた場合) で設定を変更します。 詳細は、489 ページを参照してください。

項目	値	説明
ページ プロテクト = ジドウ	ジドウ オン	この項目は、21 ページ ノ ナカミ ガ フクザツ スギマス、ケイゾク スルニハ Go ヲ オシテクダサイというメッセージの後にのみ表示されます (249 ページ参照)。 MEt (メモリ エンハンスメント テクノロジー、Memory Enhancement) によって全ページの印刷が試みられます。ページが印刷されない場合は、ページ プロテクトをオンにします。この設定により、20 メモリ ブソク、ケイゾク スルニハ Go ヲ オシテクダサイというメッセージが表示される可能性が高くなります。このメッセージが表示された場合は、印刷ジョブを簡略化するか、メモリを追加します (480 ページ参照)。
カイジョ カノウ ケイコク = ジョブ	ジョブ オン	プリンタのコントロールパネルに解除可能な警告メッセージが表示される時間を設定します。 ジョブ **:** 警告メッセージは、警告メッセージの原因となったジョブが終了するまでコントロールパネルに表示されます。 オン **:** 警告メッセージは、[Go] を押すまでコントロールパネルに表示されます。

項目	値	説明
ジドウ ケイゾク ＝ オン	オン オフ	プリンタのエラーへの反応を指定します。 オン：エラーが発生し、印刷ができなくなった場合、このメッセージが表示され、プリンタは 10 秒間オフラインになってからオンラインに戻ります。 オフ：エラーが発生し、印刷ができなくなった場合、[Go] を押すまで、このメッセージはディスプレイに残り、オフライン状態が保たれます。 **注記** ホッチキス (ホッチキスアクセサリがインストールされている場合) が外れたときに印刷を停止するには、コントロールパネルの設定メニューにジドウケイゾク＝オフを設定します。
トナー ショウリョウ ＝ ゾッコウ	ゾッコウ テイシ	トナーが少量のときのプリンタの動作を決定します。トナーカートリッジのトナーがほとんどなくなると、まずトナーガ ノコリワズカデスというメッセージが表示されます (メッセージ表示後は 100 ～ 300 枚印刷できます)。 ケイゾク：トナーガ ノコリワズカデスというメッセージを表示したまま印刷を継続します。 テイシ：プリンタはオフラインになり、処置を待ちます。 詳細は、192 ページを参照してください。

セッテイ メニュー

項目	値	説明
RAM ディスク = ジドウ	オフ オン ジドウ	この項目は、RAM ディスクの構成方法を決定します。この項目は、オプションのハードディスクが設置されておらず、プリンタに 12 MB 以上のメモリがある場合にのみ表示されます。 オフ : RAM ディスクを使用できません。 オン : RAM ディスクを使用できます。RAM ディスク サイズ項目を使って、使用するメモリ量を設定します。 **注記** 設定をオフからオンへ、またはオフからジドウに変更すると、プリンタのアイドル時に自動的に再初期化が行われます。
RAM ディスク サイズ =xxxK	OK とそれ以降 (この値はインストールされているメモリ量によって異なります。)	この項目は、RAM ディスクのサイズを決定します。この項目は、RAM DISK= オンまたはジドウの場合に表示されます。 [- 値 +] を押して、100 単位で設定を変更します。 **注記** RAM ディスク = ジドウの場合は、この設定を変更することができません。この値を変更すると、アイドル時にプリンタの再初期化が行われます。

項目	値	説明
カミヅマリ カイジョ = ジドウ	ジドウ オン オフ	この項目は、紙詰まりが発生したときのプリンタの動作を決定します。 ジドウ : 紙詰まりの解除に最適なモードが自動的に選択されます (通常はオンです)。これはデフォルトの設定です。 オン : 紙詰まりが解除された後に自動的にページが再印刷されます。 オフ : 紙詰まりの後にページが再印刷されません。この設定を使うと、印刷性能が向上する場合があります。
メンテナンス メッセージ = オフ	オフ	この項目は、プリンタ メンテナンス ガ ヒツヨウデスというメッセージの後にのみ表示されます。 オフ : プリンタ メンテナンス ガ ヒツヨウ デスというメッセージが消えます。プリンタ保守キットを交換しないと、約 17500 ページを印刷した後に、プリンタ メンテナンス ガ ヒツヨウ デスというメッセージが再度表示されます。 プリンタの保守を実行しない限り、このメッセージの表示をオフにしてはいけません。必要とされる保守を実行しないと、プリンタのパフォーマンスは低下します。詳細は、xx ページを参照してください。

項目	値	説明
アタラシイ トナーカートリッジ = イイエ	ハイ イイエ	この項目を使用することにより、新しいトナーカートリッジを取り付けたことをプリンタに認識させることができます。この項目にハイを設定すると、HP TonerGauge でのトナー量がいっぱいにリセットされます。
クイック コピー ノ ジョブ =32	1 ～ 50	プリンタのハードディスクに保存できるクイックコピージョブの数を指定します。
ジョブ ホリュウ タイムアウト＝オフ	オフ 1 ジカン 4 ジカン 1 ニチ 1 シュウカン	クイックコピー、試し刷り後保留、個人用、および保存ジョブが、キューにより自動的に削除されるまでに保持される総時間を設定します。

MBM メニューの設定

このメニューによって、7 ビン卓上メールボックス、8 ビンメールボックス、ホッチキス機能付 5 ビンメールボックスの使用モードが定義されます。

項目	値	説明
シヨウモード メールボックス	メールボックス スタッカ ジョブ セパレータ コレータ	取り付けられたマルチビン メールボックスの使用モードを定義します。 メールボックス：各ビンは排紙先トレイとして個別に設定でき、ネットワーク管理者またはプリンタ管理者が割り当てる名前を持つことができます。 スタッカ：ジョブの区切りに関係なく、排紙された用紙を最下部のビンから最上部のビンへ積み重ねます。この使用モードでは、ビンの全収容能力を最大限に活用します。ソフトウェア側ではこのマルチビンメールボックスを 1 つの論理ビンとして認識します。 ジョブ セパレータ：プリンタに転送されたジョブを自動的に振り分けます。ジョブには複数のコピーを含むものもあり、各コピーについてビンを割り当てます。すべてのビンが使用されますが、ソフトウェア側ではこのマルチビンメールボックスを 1 つの論理ビンとして認識します。ビンがいっぱいになると、次に使用できるビンにジョブが自動的に送られます。 コレータ：MOPY を自動的に振り分けます。各 MOPY は、フェースアップビンから始まって連続するビンに給紙されます。

I/O メニュー

I/O (入出力) メニューの項目は、プリンタとコンピュータ間の通信方法に影響します。

項目	値	説明
I/O タイムアウト =15	5 ～ 300	I/O タイムアウトを秒単位で選択します。I/O タイムアウトとは、印刷ジョブを終了する前にプリンタが待機する時間 (秒単位) です。 この設定を使うと、タイムアウトを調整して、最良のパフォーマンスを実現できます。印刷ジョブの途中で他のポートからデータが表われる場合は、タイムアウト値を増やします。 [- 値 +] を 1 回押すと、設定値が 1 単位で変更されます。[- 値 +] を押し続けると、10 単位でスクロールできます。

項目	値	説明
I/O バッファ = ジドウ	ジドウ オン オフ	I/O バッファ用にメモリを割り当てます。 ジドウ : I/O バッファ用にプリンタが自動的にメモリを割り当てます。その他の設定は不要で、I/O バッファ サイズ メニュー項目は表示されません。 オン : I/O バッファ サイズ項目が表示されます (次の項を参照)。I/O バッファに使用するメモリ量を指定します。 オフ : I/O バッファは使われず、I/O バッファ サイズ項目は表示されません。 I/O バッファの設定を変更すると、フォントやマクロなどのダウンロードしたリソースは、オプションのハードディスクまたはフラッシュ DIMM に保管されていない限り、再びダウンロードする必要があります。 詳細は、491 ページを参照してください。

項目	値	説明
I/O バッファサイズ = 100K	10K 以上	この項目は、I/O バッファ = オンの場合にのみ表示されます。I/O バッファに使用するメモリ量を指定します。I/O バッファに使用できるメモリの最大量は、プリンタにインストールされているメモリ量、プリンタにインストールされている言語、およびその他のメモリ割り当てによって異なります。 [- 値 +] を押して、10 KB 単位 (100 KB まで) または 100 KB 単位 (100 を超えた場合) で設定を変更します。
パラレル ハイスピード = ハイ	ハイ イイエ	プリンタにデータが伝送される速度を選択します。 ハイ : プリンタは、新しいコンピュータとの接続で使われる高速パラレル通信をサポートします。 イイエ : プリンタは、従来のコンピュータとの接続で使われる低速パラレル通信をサポートします。
パラレル アドバンスキノウ = オン	オン オフ	双方向パラレル通信をオンまたはオフにします。デフォルトは、双方向パラレルポートに設定されています (IEEE-1284)。 この設定を使うと、プリンタからコンピュータへのステータス応答メッセージの送信が可能です (パラレルアドバンス機能をオンにすると、言語切替速度が低下する可能性があります)。

EIO メニュー

EIO (エンハンスト インプット / アウトプット) メニューは、プリンタの EIO スロットにインストールされているアクセサリによって異なります。HP JetDirect プリントサーバー EIO カードがインストールされている場合は、EIO メニューを使って基本的なネットワークパラメータを設定できます。

項目	値	説明
CFG ネットワーク = イイエ	イイエ ハイ	イイエ : JetDirect メニューにアクセスできません。 ハイ : JetDirect メニューが表示されます。
IPX/SPX= オン	オン オフ	Novell NetWare ネットワークなどの IPX/SPX プロトコルスタックのオンまたはオフを選択します。
DLC/LLC= オン	オン オフ	DLC/LLC プロトコルスタックのオンまたはオフを選択します。
TCP/IP= オン	オン オフ	TCP/IP プロトコルスタックのオンまたはオフを選択します。
ETALK= オン	オン オフ	Apple EtherTalk プロトコルスタックのオンまたはオフを選択します。

項目	値	説明
CFG IPX/SPX= イイエ	イイエ ハイ	イイエ : IPX/SPX メニューにアクセスできません。 ハイ : IPX/SPX メニューが表示されます。IPX/SPX メニューでは、ネットワークで使用されているフレームタイプパラメータを指定できます。デフォルトはジドウで、フレームタイプは検出されたものに自動的に設定および制限されます。 Ethernet カードの場合、フレームタイプは EN_8023、EN_II、EN_8022、EN_SNAP から選択できます。 Token Ring カードの場合、フレームタイプは TR_8022、TR_SNAP から選択できます。 Token Ring カードの IPX/SPX メニューでは、NetWare ソースルーティングのパラメータも選択できます。パラメータには、SRC RT = ジドウ (デフォルト)、オフ、SINGLE R、または ALL RT が含まれます。

項目	値	説明
CFG TCP/IP=イイエ	イイエ ハイ	イイエ : TCP/IP メニューにアクセスできません。 ハイ : TCP/IP メニューが表示されます。TCP/IP メニューで BOOTP = ハイと指定すると、プリンタの電源が入れられたときに bootp または DHCP サーバーから TCP/IP パラメータが自動的にロードされます。BOOTP = イイエを指定した場合は、特定の TCP/IP パラメータをコントロールパネルで手動で設定できます。IP アドレス (IP)、サブネットマスク (SM)、Syslog サーバー (LG)、およびデフォルトゲートウェイ (GW) の各バイトは手動で設定できます。たとえば次のとおりです。 Syslog Server IP アドレスを空欄にした場合でも、プリンタは動作します。またタイムアウト時間も手動で設定できます。

項目	値	説明
CFG リンク＝イイエ	イイエ ハイ	イイエ：10/100Base-TX リンクの設定メニューはアクセスされません。 ハイ：10/100Base-TX リンクパラメータをアクセスし、手動で設定することができます。 ジドウ：(デフォルト) プリントサーバーは、ネットワークのリンク速度と通信モードに従って、自動的に設定されます。 10T ハンニジュウ：プリントサーバーを 10 Mbps、半二重動作に設定します。 10T ゼンニジュウ：プリントサーバーを 10 Mbps、全二重動作に設定します。 100TX ハンニジュウ：プリントサーバーを 100 Mbps、半二重動作に設定します。 100TX ゼンニジュウ：プリントサーバーを 100 Mbps、全二重動作に設定します。

両面印刷の登録メニュー

このメニュー項目は、トレイ 2、3、または 4 を使用して、両面印刷の表と裏のイメージをアライメントするのに役立ちます。詳細は、187 ページを参照してください。

各トレイに対して次の項目を繰り返す必要があります。

項目	説明
テストページ ノ インサツ n トレイ	トレイ 2、3、または 4 に対してテストページを印刷します (外部給紙装置が装備されている場合、テストページの印刷は、トレイ 4 に対してのみ行われます)。
トレイ n X ＝ 0	0 は、トレイ n から出てきたページの両面ページの 2 番目側に対する X オフセットです。登録マークの範囲は -5 から +5 です。
トレイ n Y ＝ 0	0 は、トレイ n から出てきたページの両面ページの 2 番目側に対する Y オフセットです。登録マークの範囲は -5 から +5 です。

リセット メニュー

このメニューを使用するときは、注意が必要です。これらのメニューの項目を選択すると、バッファに読み込まれたページデータやプリンタの設定が失われる場合があります。プリンタは、以下の場合にのみリセットします。

- プリンタのデフォルト設定を復元するとき。
- プリンタ、コンピュータ間の通信が中断されたとき。
- ポートに問題があるとき。

リセット メニューの項目を使うと、プリンタの全メモリがクリアされます。これに対して、**[ジョブのキャンセル]** を使った場合は、現在のジョブだけがクリアされます。

項目	説明
メモリ リセット	この項目を選択すると、プリンタのバッファとアクティブな I/O 入力バッファがクリアされ、コントロールパネルのデフォルトが現在の設定になります。 印刷中にメモリをリセットすると、データが失われる可能性があります。

項目	説明
シュッカジ セッテイノ フクゲン	この項目を選択すると、簡単なリセットが行われ、ほとんどの出荷時 (デフォルト) 設定が復元されます。また、アクティブな I/O の入力バッファもクリアされます。 印刷中にメモリをリセットすると、データが失われる可能性があります。 JetDirect プリントサーバーがインストールされている場合、この項目は、そのサーバーに保存されているネットワーク設定には影響を与えません。
アクティブ ナ I/O チャネル ノ フクゲン	この項目を選択すると、簡単なリセットが行われ、入力バッファと出力バッファがクリアされます (アクティブな I/O のみ)。 印刷中にメモリをリセットすると、データが失われる可能性があります。
I/O チャネル ヲスベテ フクゲン	この項目を選択すると、簡単なリセットが行われ、すべての I/O について、入力バッファと出力バッファがクリアされます。
パワー セーブ	パワー セーブ機能をオンまたはオフにします。

C プリンタメモリと拡張

概要

プリンタ内の 3 つの DIMM (デュアルインライン メモリモジュール、Dual In-Line Memory Modules) スロットを使ってアップグレードできます。以下の用途に利用できます。

- プリンタ メモリの増加。4、8、16、32、64 MB の DIMM が 利用可能で、最高 160 MB。
- フラッシュ DIMM は 2、4、および 8 MB のものが利用可能です。標準のプリンタメモリとは異なり、フラッシュ DIMM にはプリンタにダウンロードした情報を、プリンタの電源が入っていない間も永久保存できます。
- DIMM ベースのアクセサリフォント、マクロ、およびパターン。
- その他、DIMM ベースのプリンタ言語およびプリンタオプション。

次のページに続く。

注記 以前の HP LaserJet プリンタ で使用されていた SIMM (シングルインラインメモリモジュール、Single In-Line Memory Modules) は、このプリンタと互換性がありません。

複雑なグラフィックスまたは PS 文書の印刷、オプションの両面印刷ユニットを使った印刷、ダウンロードしたフォントの多用、大型サイズの用紙（A3、B4、11 x 17 など ） への印刷などといった操作を頻繁に行う場合は、プリンタにメモリを増設することをお勧めします。

プリンタは、プリンタの機能を拡張するため、3 つの高機能な給紙 / 排紙 (EIO) スロットを備えています。

- 1 つ以上のネットワークカード
- ハードディスクなどの大容量記憶装置

ご注文に関する情報については、44 ページを参照してください。

プリンタにインストールされたメモリの量、または EIO スロットに何がインストールされているかを確認するには、設定ページを印刷します (328 ページ参照)。

次のページに続く。

この付録では、次の項目について説明します。

- メモリ要件の特定
- メモリのインストール
- インストールしたメモリのチェック
- メモリ設定の調整
- EIO カード / 大容量記憶装置のインストール

メモリ要件の特定

印刷に必要なメモリの量は、印刷する文書の種類によって異なります。ご使用の印刷エンジンでは、メモリを追加せずに、テキストおよびグラフィックスを 1200 dpi FastRes で印刷できます。

次のような場合にメモリを増設します。

- 複雑なグラフィックスを頻繁に印刷する。
- 一時的にダウンロードしたフォントを数多く使用する。
- 複雑な文書を印刷する。
- 文書を両面印刷する。
- 高度な機能を使用する（I/O バッファやリソース保存など）。
- PS 文書を印刷する。

次のページに続く。

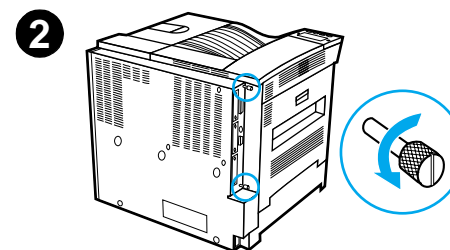
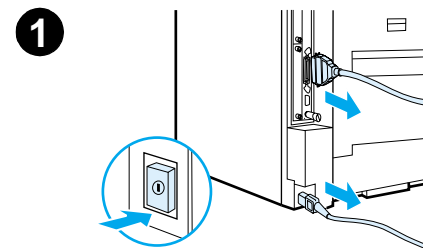
メモリのインストール

注意
静電気により、DIMM が損傷することがあります。DIMM の取扱い時には、静電気防止用リストストラップを着用するか、DIMM の静電気防止パッケージの表面に何度も触れてから、プリンタの露出した金属部に触れるようにしてください。

まだこの手順を行っていない場合は、設定ページを印刷し、プリンタにインストールされているメモリの量を確認してから、メモリを追加します (328 ページ参照)。

1 プリンタの電源をオフにします。電源コードを抜き、すべてのケーブル類を取り外します。

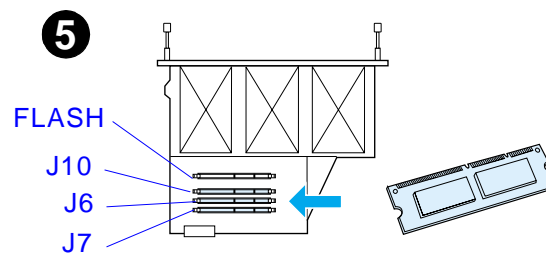
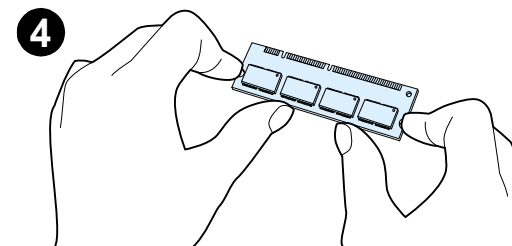
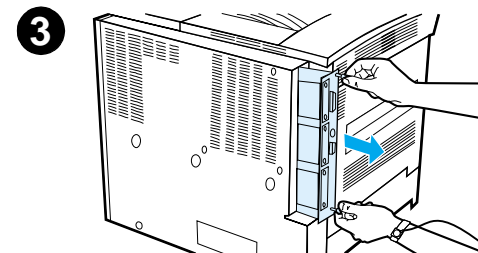
2 プリンタの背面にある 2 本の取り付けつまみネジを緩めます。

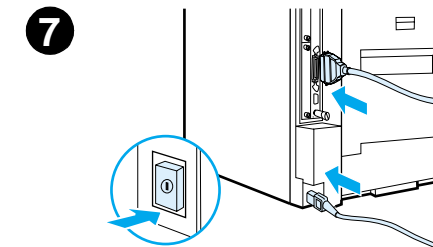
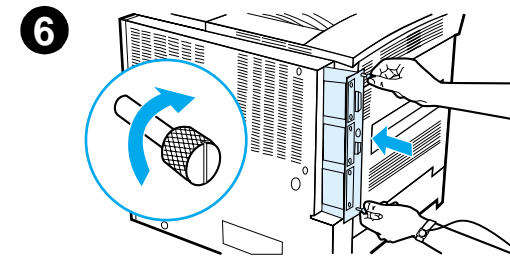
次のページに続く。

3 この 2 本のネジをつまみ、プリンタからフォーマッタボードを引き出します。ボードを、平らな絶縁体の表面に置いてください。

4 DIMM を静電気防止パッケージから取り出します。親指以外の指で DIMM の側面の縁を持ち、親指で DIMM の背面の縁を持ちます。DIMM の切り込みを、DIMM のスロットに合わせます (DIMM スロットの両側にあるロックが開いている、つまり外側に向いていることを確認してください)。

各 DIMM スロットの最大メモリ量については、487 ページの「最大メモリ構成」を参照してください。

5 DIMM をスロットにまっすぐ押し込みます (しっかりと押してください)。DIMM の両側にあるロックを、内側の正しい位置に音がするまではめてください (DIMM を取り外すには、このロックを解除する必要があります)。

次のページに続く。

6 フォーマッタボードをスライドさせて、プリンタの中に戻し、2 本のネジを締めます。

7 電源コードを差し込み、すべてのケーブルを接続します。プリンタの電源をオンにします。

最大メモリ構成

設定ページのラベル	フォーマッタボードのラベル	説明
スロット 1	FLASH	Flash firmware
スロット 2	J10	32 MB
スロット 3	J6	64 MB
スロット 4	J7	64 MB
合計		160 MB

インストールしたメモリのチェック

DIMM が正しくインストールされたことを確認するには、次の手順に従います。

1 プリンタの電源を入れるときに、プリンタのコントロールパネルにインンジ カノウと表示されるかどうか確認します。エラーメッセージが表示された場合は、DIMM が正しくインストールされなかった可能性があります。プリンタメッセージを確認してください (xx ページ参照)。

2 新しい設定ページを印刷します (328 ページ参照)。

3 設定ページのメモリセクションと、DIMM をインストールする前に印刷した設定ページを比較します。メモリ量が増加していない場合は、DIMM が正しくインストールされなかったか (インストール処理を繰り返します)、DIMM に欠陥がある場合があります (新しい DIMM をインストールするかまたは別のスロットに DIMM をインストールします)。

注記 プリンタ言語 (パーソナリティ) をインストールした場合は、設定ページの「インストールされたパーソナリティとオプション」の項を確認してください。新しいプリンタ言語が、ここに一覧表示されます。

メモリ設定の調整

リソース保存

リソース保存を使用すると、プリンタ言語や解像度を変更しても、ダウンロードしたリソース (常駐ダウンロードフォント、マクロ、パターンなど) をプリンタに保存できます。

ダウンロードしたリソースを保存するためのオプションのハードディスクやフラッシュ DIMM がない場合に、特に大量のフォントをダウンロードしたり、プリンタが共有されていたりする時は、各言語に割り当てられているメモリ量を変更することをお勧めします。

リソース保存に割り当てることができる最小メモリ量は、PCL および PS につき、それぞれ 400 KB です。

言語に割り当てるメモリ量を決めるには：

1 セッテイ メニューでリソース ホゾン = オンに設定します (328 ページ参照)。プリンタのコントロールパネルにこのオプションが表示されない場合は、メモリを追加する必要がある可能性があります。

次のページに続く。

2 また、セッテイ メニューから PCL メモリまたは PS メモリを選択し、表示されている値の最大値に設定を変更します。プリンタにインストールされているメモリの量によってこの最大値は異なります。

3 アプリケーション ソフトウェアを使って、選択した言語で使用するすべてのフォントをダウンロードします。

4 設定ページを印刷します (328 ページ参照)。フォントで必要とされるメモリ量は言語の横に記載されています。この値を 100 KB の桁に切り上げます。たとえば、475 KB であれば 500 KB を割り当てる必要があります。

5 セッテイ メニューで、PCL メモリまたは PS メモリに、ステップ 4 で導き出した値を設定します。

6 ステップ 3 を繰り返します (すべてのフォントを再びダウンロードする必要があります。下の注記を参照してください)。

注記 リソース保存の設定を変更すると、フォントやマクロなどのダウンロードしたリソースは、オプションのハードディスクまたはフラッシュ DIMM に保管されていない限り、再びダウンロードする必要があります。

I/O バッファ

印刷ジョブのキューが終了するのを待たずにコンピュータが作業を継続できるように、プリンタメモリの一部 (I/O バッファ) を使って、進行中のジョブを保管します (I/O バッファ機能がオフのときは、この機能のためにメモリは使用されません)。

ほとんどの場合、プリンタが自動的に割り当てた I/O バッファを使用するのが最適です。

ネットワーク印刷を高速化するには、I/O バッファのメモリ量を増やすことをお勧めします。

I/O バッファの設定を変更するには：

1 I/O メニューで、I/O バッファ = オンに設定します (470 ページ参照)。

2 また、I/O サイズに希望の値を設定します。

注記 I/O バッファの設定を変更すると、フォントやマクロなどのダウンロードしたリソースは、オプションのハードディスクまたはフラッシュ DIMM に保管されていない限り、再びダウンロードする必要があります。

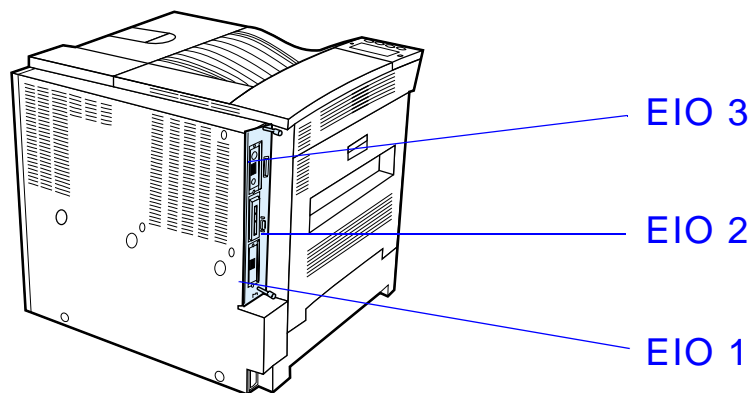
EIO カード / 大容量記憶装置のインストール

EIO カードまたは大容量記憶装置をインストールする前に、プリンタの電源を切ります。

EIO カードやオプションの大容量記憶装置 (ハードディスクなど) の設置の方向や場所については、次の図を参照してください。

大容量記憶装置に格納されたフォントを管理するには、HP LaserJet Resource Manager を使用します（83 ページ参照）。詳細については、プリンタソフトウェアのヘルプを参照してください。

HP では、お使いのプリンタやアクセサリで利用できる新しいソフトウェアツールを常に紹介しています。これらのツールは、インターネットから無償でダウンロードできます。HP の Web サイトについての詳細は、3 ページを参照してください。

新しいデバイスをインストールしたら、設定ページを印刷します。

D プリンタコマンド

概要

ほとんどのアプリケーション ソフトウェアでは、プリンタコマンドを入力する必要はありません。コマンドを入力する必要がある場合は、プリンタコマンドの入力方法について、コンピュータおよびソフトウェアのマニュアルを参照してください。

PCL

PCL プリンタコマンドは、プリンタの作業や、プリンタで使用するフォントを指定します。この付録では、PCL コマンド構文の知識があるユーザのためのリファレンスガイドを記載します。

注記 PCL 5e の下位互換性が必要でない限り、すべてのプリンタ機能を最大限に活用するには、PCL 6 プリンタドライバを使用することをお勧めします。このプリンタの PCL 5e プリンタドライバは、PCL 5e を使用する旧タイプのプリンタと下位互換性がありません。

HP-GL/2

プリンタには、HP-GL/2 グラフィックス言語を使ってベクタグラフィックスを印刷する機能があります。HP-GL/2 言語を使って印刷するには、プリンタを PCL 言語モードから HP-GL/2 言語モードに変更する必要があります。それには、プリンタに PCL コードを送信します。ドライバによって言語を切り替えるソフトウェアもあります。

PJL

HP の Printer Job Language (PJL) は、PCL やその他のプリンタ言語を制御します。PJL が提供する 4 つの主要な機能は、プリンタ言語の切り替え、ジョブの分割、プリンタの設定、およびプリンタからのステータスの読み取りです。PJL コマンドを使ってプリンタのデフォルト設定を変更することもできます。

この付録では、次の項目について説明します。

注記 この付録の最後にある表には、一般的に使用されている PCL 5e コマンドが記載されています (499 ページ参照)。PCL、HP-GL/2 および PJL コマンド全部のリストおよび解説が必要な場合は、*PCL 5/PJL Technical Reference Documentation Package* をご注文ください (40 ページ参照)。

PCL プリンタコマンド構文について

プリンタコマンドを使用する前に以下の文字を比較してください。

小文字の l:	ℓ	大文字の O:	O
数字の 1:	1	数字の 0:	Ø

多くのプリンタコマンドでは、小文字の l (ℓ) と数字の 1(1)、または大文字の O (O) と数字の 0 (Ø) を使用します。これらの文字は、ここで示されている通りに表示されない場合があります。PCL プリンタコマンドを使用するときは、指定通りの文字を、大文字と小文字を区別して正確に使い分ける必要があります。

エスケープシーケンスの組み合わせ

いくつかのエスケープシーケンスを組み合わせて、1 つのエスケープシーケンスストリングを作成できます。コードを組み合わせるときは、以下の 3 つの重要な規則に従う必要があります。

1 Ec という文字 (パラメータで表したグループ文字) の後の最初の 2 文字は、組み合わせるすべてのコマンドと同一でなければなりません。

2 エスケープシーケンスを組み合わせるときは、各エスケープシーケンスの中の大文字 (終端文字) を小文字に変えます。

3 組み合わせたエスケープシーケンスストリングの最後の文字は大文字でなければなりません。

次に示す例は、リーガル用紙を横向きに使って 8 行 / インチで印刷することを指定するエスケープシーケンスストリングの例です。

Ec&ℓ3AEc&ℓ1OEc&ℓ8D

次のエスケープシーケンスは上と同じプリンタコマンドを組み合わせて、より短いシーケンスにしたものです。

Ec&ℓ3a1o8D

PCL フォントの選択

内部フォントごとのコマンドを表示するには PCL フォントリストを印刷します (332 ページ参照)。次に、サンプルセクションを示します。記号セットとポイント サイズ用に 2 つの変数ボックスがあります。

Univers Medium	Scale	<esc>(□ <esc>(s1p ■ v0s0b4148T	I 01

これらの変数を指定しない場合、プリンタはデフォルト値を使用します。たとえば、線の描画に使用する文字を含むシンボルセットが必要な場合は、10U(PC-8) または 12U (PC-850) シンボルセットを選択します。その他の一般的なシンボルセットについては、499 ページの表に示しています。

注記

フォントの間隔は固定またはプロポーショナルのいずれかです。プリンタには固定フォント (Courier、Letter Gothic、および Lineprinter) とプロポーショナルフォント (CG Times、Arial、Times New Roman、その他) の両方が内蔵されています。

固定間隔フォントは一般的にスプレッドシートやデータベースなど、列が縦に整列する必要のあるアプリケーションに使用されます。プロポーショナル間隔のフォントは、テキストやワードプロセッシングアプリケーションに広く使用されます。

一般的な PCL プリンタコマンド

機能	コマンド	オプション (#)
ジョブ制御コマンド		
リセット	EcE	なし
コピー部数	Ec&ℓ#X	1 ～ 999
両面印刷 / 片面印刷	Ec&ℓ#S	0 = シンプレックス (片面) 印刷 1 = デュプレックス (両面) 印刷、ロングエッジ綴じ込み 2 = デュプレックス (両面) 印刷、ショートエッジ綴じ込み

機能	コマンド	オプション (#)
ページ制御コマンド		
用紙ソース	EC&ℓ#H	0 = 現在のページを印刷、または排紙します。 1 = トレイ 2 2 = 手差し、用紙 3 = 手差し、封筒 4 = トレイ 1 5 = トレイ 3 6 = 封筒フィーダ 7 = 自動選択 20 = トレイ 4 21 = トレイ 5 22-69 = 外部トレイ

機能	コマンド	オプション (#)
用紙サイズ	EC&ℓ#A	1 = エグゼクティブ 2 = レター 3 = リーガル 6 = 11 x 17 17 = 16K 18 = JIS EXEC 19 = 8K 25 = A5 26 = A4 27 = A3 44 = B6-JIS 45 = B5-JIS 46 = B4-JIS 72 = 往復はがき 80 = Monarch 81 = Com-10 90 = DL 91 = 国際 C5 100 = B5 101 = カスタム

機能	コマンド	オプション (#)
用紙タイプ	Ec&n#	5WdBond = ボンド紙 6WdPlain = 普通紙 6WdColor = カラー用紙 7WdLabels = ラベル 9WdRecycled = 再生紙 11WdLetterhead = レターヘッド 10WdCardstock = カードストック 11WdPrepunched = 穴あき用紙 11WdPreprinted = 印刷済み 13WdTransparency = OHP フィルム #WdCustompapertype = カスタム [1]
方向	Ec&ℓ#O	0 = ポートレート (縦) 1 = ランドスケープ (横) 2 = 逆ポートレート 3 = 逆ランドスケープ
上部マージン	Ec&ℓ#E	# = 行数
テキスト長 (下部マージン)	Ec&ℓ#F	# = 上部マージンからの行数
左マージン	Ec&a#L	# = 列数

機能	コマンド	オプション (#)
右マージン	Ec&a#M	# = 左マージンからの列数
水平移動距離 (HMI)	Ec&k#H	1/120 インチ増分 (印刷を水平方向に圧縮)
垂直移動距離 (VMI)	Ec&ℓ#C	1/48 インチ増分 (印刷を垂直方向に圧縮)
行間隔	Ec&ℓ#D	# = 行数 / インチ (1, 2, 3, 4, 5, 6, 12, 16, 24, 48)
ミシン目スキップ	Ec&ℓ#L	0 = オフ 1 = オン
プログラミングヒント		
行の終了の折り返し	Ec&s#C	0 = オン 1 = オフ
機能の表示オン	EcY	なし
機能の表示オフ	EcZ	なし

機能	コマンド	オプション (#)
言語の選択		
PCL モードに変更	EC%#A	0 = 以前の PCL カーソル位置を使用 1 = 現在の HP-GL/2 ペン位置を使用
HP-GL/2 モードに変更	EC%#B	0 = 以前の HP-GL/2 ペン位置を使用 1 = 現在の PCL カーソル位置を使用

機能	コマンド	オプション (#)
フォント選択		
シンボルセット [2]	Ec(#	8U = HP Roman-8 シンボルセット 10U = IBM レイアウト (PC-8) (コードページ 437) デフォルト シンボルセット 12U = IBM ヨーロッパ式レイアウト (PC-850) (コードページ 850) 8M = Math-8 19U = Windows 3.1 Latin 1 9E = Windows 3.1 Latin 2 (東ヨーロッパで一般的に使用) 5T = Windows 3.1 Latin 5 (トルコで一般的に使用) 579L = Wingdings Font
プライマリ間隔	Ec(s#P	0 = 固定 1 = プロポーショナル
プライマリピッチ	Ec(s#H	# = 文字 / インチ
ピッチモード [3]	Ec&k#S	0 = 10 4 = 12 (エリート) 2 = 16.5 - 16.7 (圧縮)

機能	コマンド	オプション (#)
プライマリ高さ	Ec(s#V	# = ポイント
プライマリスタイル [2]	Ec(s#S	0 = 垂直 (実線) 1 = 斜体 4 = 凝縮 5 = 凝縮斜体
プライマリストローク重み [2]	Ec(s#B	0 = 標準 (ブックまたはテキスト) 1 = 準太字 3 = 太字 4 = 極太字
書体 [2]	Ec(s#T	各内部フォントのコマンド リストを表示するには、PCL フォントリストを印刷します (332 ページ参照)。

1 カスタム用紙の場合は、カスタム用紙タイプを用紙の名前で置き換え、# を名前の文字数に 1 を足した数字で置き換えてください。

2 シンボルセット表や、さらに詳しい情報が必要な場合は、*PCL 5/PJL Technical Reference Documentation Package* をご注文ください (40 ページ参照)。

3 プライマリピッチ コマンドを使用することをお勧めします。

規制情報

概要

FCC 規則

この装置はテストされ、Class B デジタルデバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。これらの基準は、居住空間での設置における有害な電気系統の干渉に対するしかるべき保護の提供を定めています。本装置は高周波エネルギーを発生、使用、また放射する可能性があります。指示どおりに設置や使用が行われていない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。しかし、特別な設置をしたからといって絶対に支障をきたさないという保証は致しかねます。本装置の電源を入れたり切ったりしたときに、ラジオやテレビの電波受信に支障がある場合、ユーザーは次の処置の 1 つまたは複数を試してみてください。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または位置を変える。
- この装置と受信機の距離を広げる。
- 受信機が接続されている電気回路とは別の電気回路につながれたコンセントに本装置を接続する。
- この装置を購入した店または、無線 / テレビの技術者に相談する。

注記　HP が明示的に認めていないプリンタへの変更や改造を行うと、この装置を操作するユーザーの権利が無効になる場合があります。

FCC 規則の Part 15 の Class B 基準に準拠するには、遮へいインターフェイス ケーブルを使用する必要があります。

注記　HP LaserJet 8150 MFP、または HP デジタルコピー機能を装備した 8150 プリンタのすべてのモデルは、クラス A 基準に準拠しています。

製品に関する環境保全への配慮

環境保全

Hewlett-Packard は環境保全に配慮しながら、高品質の製品を提供することを追求しています。このプリンタは環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

このプリンタ設計によって解消される事柄：

オゾン放出	プリンタの電子写真現像にはチャージローラが使用されているため、オゾンガス (O_3) はほとんど発生しません。
CFC の使用	プリンタおよびパッケージ材の製造過程において、米国清浄空気条例 (Class I U.S. Clean Air Act) の成層圏オゾン層破壊化合物 (たとえば、CFC｛クロロフルオロカーボン｝) は一切使用されていません。

このプリンタ設計によって削減される事柄：

消費電力

パワーセーブモードを使用すると、印刷時の消費電力である 685/685 (110V/220V ユニット) ワットから、37/40 (110V/220V ユニット) ワットに下がります。これにより、プリンタの性能を維持したまま、消費電力を削減できます。この製品は、米国と日本の Energy Star 規格に準拠しています。Energy Star とは、電力効率の良いオフィス製品の開発を促進するために自発的に設立されたプログラムです。EnergyStar は米国環境保護局 (EPI) の登録サービスマークです。

Energy Star の協賛企業 Hewlett-Packard 社は、Energy Star が定めるエネルギー効率の指針にこの製品が準拠していると判定しました。

トナー消費量

エコノモードでは通常よりトナー使用量が 50% 少ないため、トナーカートリッジの寿命が長くなります。(エコノモードを常時使用しないでください。)

用紙の使用

オプションの両面印刷機能を使用すれば、1 枚の用紙に両面印刷できるため、用紙の使用量が減り、天然資源の節約に貢献します。

このプリンタ設計によってリサイクル可能になるもの：

プラスチック

プラスチックのパーツには、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することが可能です。

HP LaserJet の印刷サプライ品

多くの国々で、この製品の印刷サプライ品 (たとえば、トナーカートリッジやフューザなど) は、Planet Partners Printing Supplies Environmental Program を介して、HP 社に戻すことができます。利用が簡単で、無料で引き取るプログラムを 25 以上の国々に用意しています。各新しい HP LaserJet のトナーカートリッジおよび消耗品梱包には、複数の言語で書かれたプログラム情報が付属しています。

HP Planet Partners Printing Supplies Environmental Program について

1990 年以来、HP LaserJet Toner Cartridge Recycling Program により、LaserJet トナーカートリッジに使われた 3100 万点以上の部品が回収されました。回収していなければ、世界各地に廃棄されていたかも知れません。HP LaserJet のトナーカートリッジは回収センターに送られ、リサイクルのためカートリッジ部品を解体するリサイクル業者にまとめて出荷されます。材料は分解され素材にされて、他の業界に利用されてさまざまな有益な製品になります。

Planet Partners プログラムの詳細は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

用紙	このプリンタは、*HP LaserJet Printer Family Paper Specifications Guide* (HP LaserJet プリンタファミリー用紙仕様ガイド) の規準を満たす再生紙の印刷に使用できます。

プリンタの寿命を長持ちさせるために、HP が提供しているサービス：

追加保証	Hewlett-Packard 社製品のサポート体制は、プリンタおよび HP 支給の内部コンポーネントをすべて保証します。購入日付から開始して、3 年間保証されます。HP SupportPack (HP サポートパック) は、製品を購入してから 90 日以内に購入する必要があります (このユーザーズガイドの最初にある説明を参照してください)。
スペアパーツおよび消耗品入手可能期間	この製品のスペアパーツおよび消耗品は、製品の製造中止から少なくとも 5 年間は入手することができます。

製品材料の安全性に関するデータ

トナーカートリッジ / ドラムの材料データ安全シート (MADS) を入手するには、Web サイト http://www.hp.com/go/msds にアクセスして、HP LaserJet のアイコンを選択してください。インターネットをご使用できない場合は、1-800-231-9300 の米国 HP FIRST (ファックスによるサービス) にダイアルしてください。トナーカートリッジ / ドラムの材料 / 化学的な安全データシートのリストについては、インデックス番号 7 を使用してください。米国外で詳細を知りたいお客様は、1-404-329-2009 に電話する必要があります。

環境保全

プラスチック	プラスチックパーツには、プリンタの廃棄時にプラスチックを正しく分別できるようにするための国際基準により、材質認証マークがついています。プリンタの外装とシャーシ部は技術的にはリサイクル可能です。
プリンタおよびパーツ	リサイクルを考慮した設計がプリンタやアクセサリに取り入れられています。正しい機能性と確かな信頼性を追求する一方で、使用パーツ数は最小限に止められています。異なるパーツは簡単に分別できるように設計されています。締め具部分や他の接合部分は容易に見つけてアクセスでき、一般のツールで取り外すこともできます。優先度の高いパーツは効率的に分解修理ができるようにアクセスしやすく設計されています。プラスチックパーツはリサイクルしやすいよう、主に 2 色に分けてデザインされています。小型パーツには、お客様のアクセスポイントを示すために特別に色が付けられているものもあります。 HP は、環境保全に配慮しながら、返却された製品を処理しています。機能パーツの多くは再生され、テストされ、保証付きのサービスパーツとして再利用されます。しかし、機能しないプリンタパーツは、新しい製品の製造には使われません。製品パーツの残りは可能であれば再生されます。製品のリサイクル情報については、最寄りの HP カストマ・ケア・センタ (3 ページ参照) にお問い合わせください。

用紙	*HP LaserJet Printer Family Paper Specifications Guide* のガイドラインに適合している場合、プリンタは再生紙の使用に適しています。このプリンタは、DIN 19 309 に準拠した再生紙の使用に適しています。

準拠宣言

ISO/IEC ガイド 22 および EN45014 に準じる

製造業者の名前：	Hewlett-Packard Company
製造業者の住所：	11311 Chinden Boulevard
	Boise, Idaho 83714-1021, USA

上記の者はこの製品が

製品番号：	HP LaserJet 8150、8150 N、8150 DN、8150 HN、8150 MFP[3]
モデル番号：	C4265A、C4266A、C4267A、C4268A、C4269A
製品オプション：	すべて

以下の製品仕様に準拠することを宣言します：

安全規格：	IEC 950: 1991+A1+A2+A3+A4 / EN 60950: 1992+A1+A2+A3+A4
	IEC 825-1: 1993 / EN 60825-1: 1994 Class 1 (Laser/LED)

EMC：	EN 55022: 1998 (Class B [1, 3])
	EN 55024: 1998
	EN 61000-3-2: 1995
	EN 61000-3-3: 1995
	FCC Title 47 CFR, Part 15 (Class B[2, 3]) / ICES-002, Issue 2
	AS / NZS 3548: 1995

補足情報：

ここに記載する製品は、EMC 指令 89/336/EEC および Low Voltage 指令 73/23/EEC に準拠し、CE のマークが付いています。

１) この製品は、Hewlett-Packard のパーソナルコンピュータを使った、一般的な設定のもとにテストされました。

２) このデバイスは、FCC 規制の Part 15 に準拠します。このデバイスを操作する場合、次の 2 つの条件に従う必要があります。(1) このデバイスが有害な電波干渉を発生しないこと、および (2) 誤動作を起こし得る電波干渉を含め、このデバイスで届くあらゆる電波干渉を受けること。

3) LaserJet 8150 MFP、またはデジタルコピー機能を装備した HP LaserJet 8150 プリンタのすべてのモデルは、クラス A 基準に準拠しています。

４) この製品には、ローカルエリアネットワーク (LAN) オプションが含まれます。インターフェイスケーブルが IEEE 802.3 のいずれかのコネクタに接続しているとき、プリンタは EN 55022 Class A の基準を満たしています。

Boise, Idaho USA
July 29, 1999

規格準拠に限定した情報についての連絡先：

オーストラリア：	製品規制管理者、Hewlett-Packard Australia Ltd., 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria 3130, Australia
ヨーロッパ：	最寄りの HP カストマ・ケア・センタ 、販売およびサービスオフィスまたは Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE, Herrenberger Straße 130, D-71034 B 喘 lingen（ドイツ）（FAX: +49-7031-14-3143）
米国：	製品規制管理者、Hewlett-Packard Company, PO Box 15 Mail Stop 160, Boise, ID 83707-0015 (電話：208-396-6000)

安全規定

レーザー安全規定

米国食品薬品局 (U.S. Food and Drug Administration) の Center for Devices and Radiological Health (CDRH) は、1976 年 8 月 1 日以降に製造されたレーザー製品の規制を開始しました。アメリカ合衆国で販売される製品はこの規則に従うことが義務づけられています。1968 年の Radiation Control for Health and Safety Act に従って、米国保健省 (U.S. Department of Health and Human Services: DHHS) Radiation Performance Standard のもとで、プリンタは「Class 1」製品として認証されています。プリンタ内部で放出される放射線は、住居や外塀のなかで完全に閉じ込められ、レーザー光線も通常のユーザー操作の段階では密閉された状態になります。

警告！ このユーザーズガイドで説明している以外の制御、調整、または手順を試みると、有害な放射線が放散される場合があります。

カナダ DOC 規制

HP LaserJet 8150、8150 N、8150 DN、8150 HN

Canadian EMC Class B 基準に準拠。

<<Conforme á la classe B des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. << CEM>>.>>

LaserJet 8150 MFP、およびデジタルコピー機能を装備した HP LaserJet 8150 プリンタのすべてのモデル

Canadian EMC Class A 基準に準拠。

<<Conforme á la classe A des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. << CEM>>.>>

VCCI 規定 (日本)

HP LaserJet 8150、8150 N、8150 DN、8150 HN

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

LaserJet 8150 MFP、およびデジタルコピー機能を装備した HP LaserJet 8150 プリンタのすべてのモデル

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

韓国の EMI 規定

HP LaserJet 8150、8150 N、8150 DN、8150 HN

사용자 안내문 (B급 기기) 이 기기는 비업무용으로 전자파장해 검정을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있읍니다.

LaserJet 8150 MFP、およびデジタルコピー機能を装備した HP LaserJet 8150 プリンタのすべてのモデル

사용자 안내문 (A급 기기) 이 기기는 업무용으로 전자파장해 검정을 받은 기기이오니, 만약 잘못 구입하셨 을 때에는구입한 곳에세 비업무용으로 교환하시기 바랍니다.

フィンランドのレーザー規定

LASERTURVALLISUUS

LUOKAN 1 LASERLAITE

KLASS 1 LASER APPARAT

HP LaserJet LaserJet 8150, 8150 N, 8150 DN, 8150 HN, 8150 MFP -laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite. Normaalissa käytössä kirjoittimen suojakotelointi estää lasersäteen pääsyn laitteen ulkopuolelle.

Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (1994) mukaisesti.

VAROITUS !
Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNING !
Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP LaserJet LaserJet 8150, 8150 N, 8150 DN, 8150 HN, 8150 MFP -kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO !
Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömälle lasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

VARNING !

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen.

Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista:

Aallonpituus 765-795 nm

Teho 5 mW

Luokan 3B laser

索引

す

せ

そ

た

ち

て

ほ

ま

め

も

よ